

ヨルダン・ハシミテ王国  
計画・国際協力省

ヨルダン・ハシミテ王国  
円借款「人材育成・社会インフラ改善事業」  
に係る案件実施支援調査

ファイナルレポート

平成 25 年 3 月  
(2013年)

独立行政法人  
国際協力機構 (JICA)

株式会社 オリエンタルコンサルタンツ



# 目 次

図表リスト  
添付資料目次  
調査対象地域図  
略語集

<b>1. 調査の概要</b> .....	<b>1</b>
1.1. 調査の背景 .....	1
1.2. 本円借款事業の目的 .....	1
1.3. 本円借款事業の実施体制 .....	1
1.3.1. 実施責任機関 .....	1
1.3.2. 本円借款事業の構造の定義 .....	1
1.3.3. 各実施機関 .....	2
1.4. 調査の目的および活動内容 .....	2
1.5. 調査の実施体制 .....	3
1.6. 調査のアプローチ .....	4
1.6.1. 事業全体の効果の最大化 .....	4
1.6.2. 関連機関との連携構築 .....	4
1.6.3. 技術的・財政的自立発展性の確保 .....	4
1.6.4. シリア難民による影響 .....	5
1.7. 調査の実施方法 .....	5
1.8. 調査実施工程 .....	5
<b>2. サブ・プロジェクトの選定</b> .....	<b>6</b>
2.1. 選定手順 .....	6
2.2. 選定基準 .....	6
2.2.1. 第1スクリーニングの選定基準 .....	6
2.2.2. 第2スクリーニングの選定基準 .....	7
2.2.3. 最終確認の選定基準 .....	8
2.3. 選定過程における実施責任機関および実施機関との主な協議事項 .....	8
2.3.1. サブ・プロジェクトの対象地域 .....	8
2.3.2. 薬剤の供与 .....	8
2.3.3. ドイツ・ヨルダン大学（GJU） .....	9
2.3.4. MOHESR 傘下のサブ・プロジェクトにおける 2011 年度の財務（支払い）状況 .....	9
2.3.5. 繊維工場の建設（サブ・プロジェクト No. 722（MOL）） .....	10
2.4. 選定結果 .....	11
2.4.1. 第1・第2スクリーニングの結果－JICA 調査団から実施責任機関へのショートリス トの推薦 .....	11
2.4.2. 最終確認の結果 .....	11
<b>3. 事業実施における相手国側の状況</b> .....	<b>13</b>
3.1. 事業実施責任機関（EA）および実施機関（IA） .....	13

3.1.1.	計画・国際協力省（MOPIC）	13
3.1.2.	労働省（MOL）	14
3.1.3.	高等教育・科学研究省（MOHESR）	17
3.1.4.	教育省（MOE）	19
3.1.5.	保健省（MOH）	22
3.2.	横断的テーマにおける社会状況の概観	25
3.2.1.	人口動態	25
3.2.2.	労働市場・雇用	26
3.2.3.	家計・貧困	29
3.3.	対象セクターの現状分析	30
3.3.1.	職業訓練セクター	30
3.3.2.	高等教育セクター	33
3.3.3.	教育セクター	35
3.3.4.	保健医療セクター	37
3.3.5.	セクター別課題と対策	39
<b>4.</b>	<b>会計監査業務</b>	<b>43</b>
4.1.	会計・調達の現状	43
4.1.1.	本円借款事業の会計・調達の仕組みの概要	43
4.1.2.	ヨルダン国における調達方法の現状	43
4.1.3.	ヨルダン国における会計監査の現状	45
4.1.4.	サブ・プロジェクトの会計監理の現状	48
4.2.	ディスバースメント請求の見通し	48
4.2.1.	ディスバースメント請求のフロー	48
4.2.2.	ディスバースメント請求額の予測	49
4.2.3.	ディスバースメント請求に関する財務状況とその分析	50
4.2.4.	現状および予測される課題	51
4.3.	ディスバースメント請求必要書類作成の支援	52
4.3.1.	ディスバースメント請求における必要書類	52
4.3.2.	SOE 準備方法	52
4.3.3.	SOE 準備の支援結果	54
4.4.	証憑の精査および選定	57
4.4.1.	適切な証憑に求められる情報とヨルダン国におけるその現状	57
4.4.2.	各実施機関における証憑状況	58
4.4.3.	証憑の精査・選定、および会計監査報告	61
<b>5.</b>	<b>成果管理</b>	<b>62</b>
5.1.	運用・効果モニタリング指標	62
5.1.1.	モニタリング・評価指標	62
5.1.2.	指標選定の方法論	62
5.1.3.	セクターごとの指標とその値	65
5.1.4.	リスク要因	67

5.2. 四半期進捗報告書（QPR）作成支援 .....	68
5.2.1. QPR 作成支援方法 .....	68
5.2.2. QPR 作成支援結果 .....	72
5.3. サブ・プロジェクトの現場視察 .....	72
5.3.1. 整備施設・調達機材等の現物および活用状況 .....	72
5.3.2. 各実施機関における機材管理・追跡方法の状況 .....	76
5.3.3. モニタリング・評価のための機材追跡方法の提案 .....	76
<b>6. 結論および提言 .....</b>	<b>79</b>
6.1. サブ・プロジェクト選定における合意形成 .....	79
6.2. 円滑なディスバースメント請求のための対策 .....	79
6.3. 成果向上のための対策 .....	79
6.3.1. プロジェクト・シートの活用（各サブ・プロジェクトの成果や進捗モニタリング） ..	79
6.3.2. 四半期報告書（QPR）作成支援シートの活用 .....	80
6.4. 実施における課題および我が国の ODA による今後の協力に関する提言 .....	80
6.4.1. 実施責任機関および各実施機関担当者の能力強化 .....	80
6.4.2. ディスバースメントの促進 .....	80
6.4.3. ODA マークもしくは日章旗の掲示 .....	81
6.5. 事業成果のモニタリング .....	81

## 図表リスト

図 1-1	本円借款事業の実施体制 .....	2
図 1-2	成果管理業務の実施体制 .....	3
図 1-3	会計監理業務の実施体制 .....	3
図 1-4	調査実施工程 .....	5
図 2-1	サブ・プロジェクトの選定手順 .....	6
図 2-2	MOHESR 傘下大学案件の支払い手順（2012 年 1 月以前の支払い現況） .....	10
図 3-1	MOPIC 組織図（2012 年度） .....	13
図 3-2	MOL 組織図（2012 年度） .....	16
図 3-3	VTC 組織図（2012 年度） .....	16
図 3-4	MOHESR 組織図（2012 年度） .....	19
図 3-5	MOE 組織図（2012 年度） .....	22
図 3-6	MOH 組織図（2012 年度） .....	24
図 3-7	年齢群人口割合（％）と年齢層別人口 .....	25
図 3-8	県別・失業率（％）（2010 年） .....	28
図 3-9	全失業者人口に占める県別失業者人口の割合（％）（2012 年第 3 期） .....	28
図 3-10	貧困率（％）（貧困線以下の人口割合） .....	30
図 4-1	AB 組織図 .....	47
図 4-2	ディスパースメント請求プロセス .....	48
表 2-1	第 1 スクリーニングの選定基準（当初計画と現状（調整後）） .....	6
表 2-2	第 2 スクリーニングの選定基準（計画と現状） .....	7
表 2-3	最終確認の選定基準 .....	8
表 2-4	各サブ・プロジェクトの選定結果の変更点（第 1・第 2 スクリーニングと最終確認） .....	11
表 2-5	選定結果別サブ・プロジェクト（概要） * <sup>1</sup> .....	12
表 3-1	職業訓練公社による職業訓練の概要 .....	14
表 3-2	MOL と VTC の支出実績および予算（2010～2012 年） .....	15
表 3-3	MOHESR の監督による高等教育制度概要（2012 年 12 月現在） .....	17
表 3-4	MOHESR の監督による公立・私立高等教育の状況 .....	17
表 3-5	高等教育科学技術省の支出実績及び支出予算額（2010～2012 年） .....	18
表 3-6	MOE 監督の教育制度 .....	19
表 3-7	MOE 所轄の効率中等教育校（11-12 学年）と公立幼稚園（2010/11 学校年） .....	20
表 3-8	MOE 所轄の公立特殊教育校（2010/2011 学校年） .....	20
表 3-9	MOE 支出実績および支出予算額（2010 年～2012 年） .....	21
表 3-10	MOH が監督する公立・保健医療施設（2011 年現在） .....	23
表 3-11	MOH の支出実績および支出予算額（2010 年～2012 年） .....	23
表 3-12	県別の人口と人口密度 .....	25
表 3-13	年齢群別の障害者割合（2004 年世帯調査） .....	26
表 3-14	ヨルダンの国内総生産（GDP）概要 .....	26
表 3-15	経済参加度と雇用率 .....	27
表 3-16	失業率（％） .....	28
表 3-17	世帯員の年間支出 .....	29
表 3-18	ヨルダンにおける貧困線と貧困率 .....	29

表 3-19	2011 年時の職業訓練校登録者数.....	31
表 3-20	2011 年度のプログラム別・職業訓練校卒業生（2009 年以前登録者） .....	31
表 3-21	2011 年度の短期専門訓練校の卒業生数.....	31
表 3-22	VTC 訓練校卒業者の雇用率.....	32
表 3-23	全訓練生における障害者の割合 .....	32
表 3-24	労働省に登録する求職者雇用率（労働省斡旋サービスによる） .....	32
表 3-25	2010/2011 年度の学部卒業生数（公立・私立） .....	33
表 3-26	外国で学ぶヨルダン人留学生.....	34
表 3-27	ヨルダンの大学で学ぶ外国人留学生（2010/2011 年度、上位 10 か国） .....	34
表 3-28	就学前教育（二年制・幼稚園）の総就学率（%） .....	36
表 3-29	識字率（%） .....	36
表 3-30	基礎教育の純就学率.....	36
表 3-31	中等教育試験（Tawjihi）の合格率.....	37
表 3-32	特殊教育プログラムを受けられる障害児の割合 .....	37
表 3-33	基礎保健指標.....	38
表 3-34	病院ベッド数（10,000 人あたり） .....	38
表 3-35	医療従事者数（10,000 人あたり） .....	39
表 4-1	GTD と GSD の現状 .....	43
表 4-2	試算方法とその選定背景.....	49
表 4-3	ディスバースメント予測額（概要） .....	50
表 4-4	ディスバースメント請求に関する財務状況とその分析 .....	50
表 4-5	ディスバースメント予測額（概要） .....	52
表 4-6	SOE の各項目における要求事項 .....	53
表 4-7	SOE 準備に関する実施機関等からの質疑とその回答 .....	54
表 4-8	各実施機関にて準備された SOE の概要（2012 年度末時点） .....	55
表 4-9	適切な証憑に求められる情報とそれらに対するヨルダン国での現状比較 .....	58
表 4-10	各実施機関における SOE 準備のために活用可能な書類 .....	59
表 5-1	ベースライン数値及び 2014 年目標数値特定の根拠資料.....	63
表 5-2	主な加筆・更新点（対応する活動） .....	69
表 5-3	QPR 各項目への求められる対応一覧表* .....	69
表 5-4	第 1PDCA サイクルにおける設定活動と期限 .....	72
表 5-5	本円借款事業で支援が予定されている機材・家具の現状（現場視察より） .....	73
表 5-6	本円借款事業で支援が予定されている施設の現状（現場視察より） .....	74
表 5-7	既存機関（受益者候補）の現状（現場視察より） .....	75
表 5-8	機材台帳様式.....	78

## 添付資料

添付資料-1. 調査団員・氏名

添付資料-2. 活動記録

添付資料-3. 面談者リスト

添付資料-4. 選定サブ・プロジェクト一覧表

添付資料-5. サブ・プロジェクト選定手順

添付資料-6. サブ・プロジェクト選定結果

添付資料-7. サブ・プロジェクト選定に関する公式書簡

添付資料-8. 四半期報告書（更新版）

添付資料-9. 実施責任機関および実施機関の担当者

添付資料-10. 銘板（案）

添付資料-11. 銘板設置条件（施設）の推薦

添付資料-12. 優良案件の推薦

添付資料-13. 打合せメモ

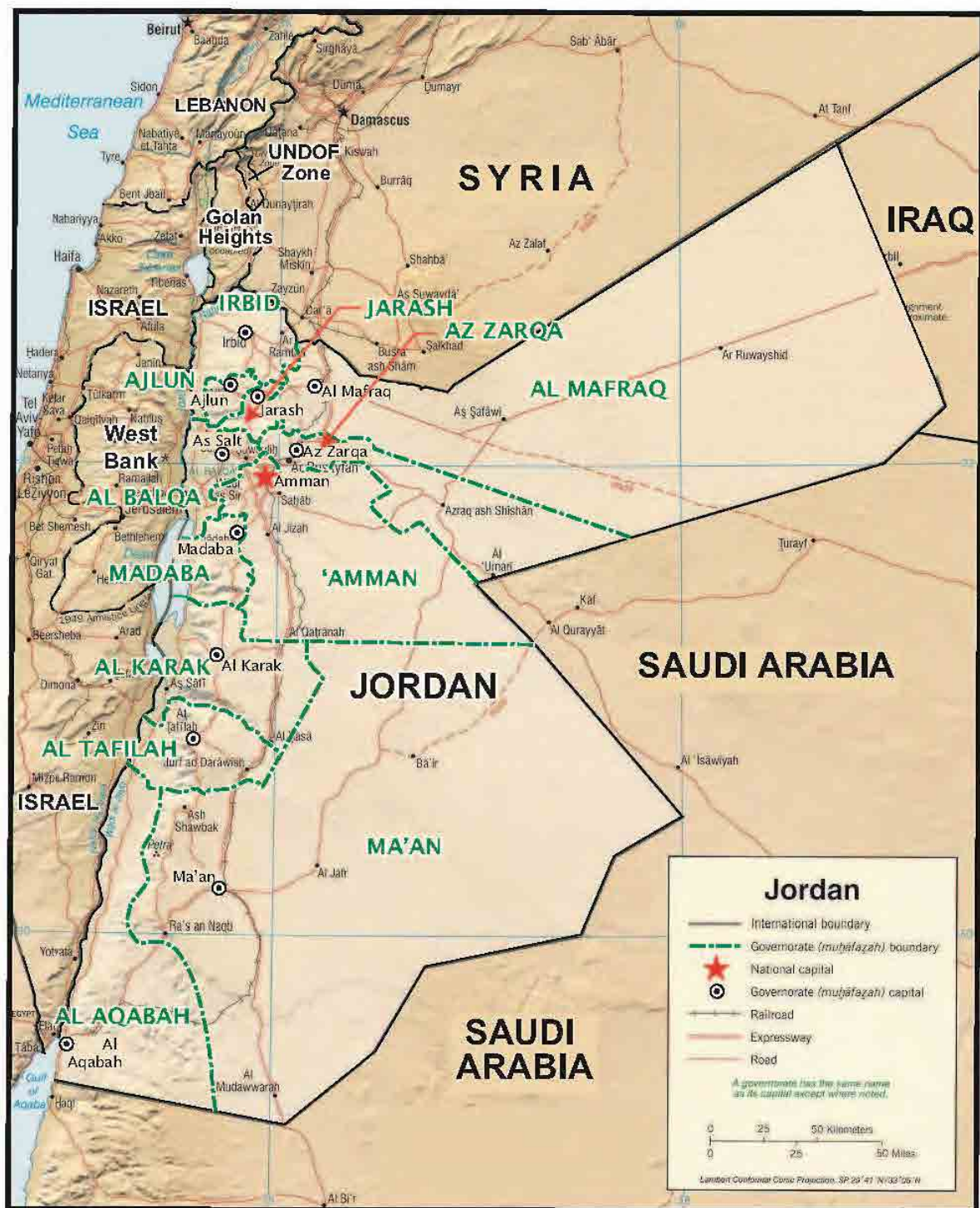
添付資料-14. ワークショップ・セミナー資料（SOE の作成、サブ・プロジェクトのモニタリング）

添付資料-15. 参考資料／入手資料リスト

添付資料-16. 現地調査写真

添付資料-17. プロジェクト・シート





調査対象地域図



## 略語集

AB	Audit Bureau	監査局
ARABOSAI	Arab Organization of Supreme Audit Institutions	アラブ最高会計検査機関
ASOSAI	Asian Organization of Supreme Audit Institution	最高会計検査機関アジア地域機構
CV	Curriculum Vitae	履歴書
DOS	Department of Statistics	統計局
EA	Executing Agency	実施責任機関
EDP	Executive Development Program	国家上位開発計画
EFA	Education for All	万人のための教育
EMIS	Education Management and Information System	教育情報管理システム
ERfKE	Education Reform for Knowledge Economy	エルフケイ（知識経済発展のための教育改革）
FY	Fiscal Year	会計年度
G	Grade	学年
GBD	General Budget Department	政府予算局
GDP	Gross Domestic Product	国内総生産
GIS	Geographical Information System	地理情報システム
GJU	German Jordanian University	ドイツ・ヨルダン大学
GSD	General Supplies Department	政府調達庁
GTD	Government Tenders Department	政府入札庁
HCD	Higher Council for the Affairs of Persons with Disabilities	障害高等審議会
HQ	Headquarters	本部（本庁）
IA	Implementing Agency	実施機関
ICB	International Competitive Bidding	国際競争入札
IFAD	International Fund for Agricultural Development	国際農業開発基金
ILO	International Labour Organization	国際労働機関
IMR	Infant Mortality Rate	乳幼児死亡率
INTOSAI	International Organization of Supreme Audit Institution	最高会計検査機関国際組織
IT	Information Technology	情報技術
JD	Jordan Dinar	ヨルダンディナール（通貨）
JICA	Japan International Cooperation Agency	独立行政法人 国際協力機構
JOCV	Japan Overseas Cooperation Volunteers	青年海外協力隊
JPY	Japanese Yen	日本円
JST	JICA Study Team	JICA 調査団
JUST	Jordan University of Science and Technology	ヨルダン科学技術大学
KG	Kindergarten	幼稚園
L/A	Loan Agreement	借款契約
LCB	Local Competitive Bidding	現地競争入札
MDGs	Millennium Development Goals	ミレニアム開発目標
MMR	Maternal Mortality Rate	妊産婦死亡率
MOE	Ministry of Education	教育省
MOF	Ministry of Finance	財務省
MOH	Ministry of Health	保健省
MOHESR	Ministry of Higher Education and Scientific Research	高等教育・科学研究省

MOL	Ministry of Labour	労働省
MOPIC	Ministry of Planning and International Cooperation	計画・国際協力省
MOSD	Ministry of Social Development	社会開発省
MPWH	Ministry of Public Works and Housing	公共事業・住宅省
NEC	National Employment Centre	国家雇用センター
NER	Net Enrolment Rate	純就学率
NGO	Nongovernmental Organization	非政府組織
ODA	Official Development Assistance	政府開発援助
O&M	Operation & Maintenance	運営・維持管理
OPV	Oral Polio Vaccine	口径ポリオワクチン
PC	Personal Computer	パーソナルコンピューター
PCR	Project Completion Report	事業完了報告書
PDCA	Plan-Do-Check-Act	計画→ 実行→ 評価→ 改善
QCBS	Quality and Cost Based Selection	技術・価格評価選定方式
QIZ	Qualified Industrial Zones	優良認定産業地区
QPR	Quarterly Progress Report	四半期進捗報告書
RFR	Request for Replenishment	リプレニッシュメント貸付実行請求
SOE	Statement of Expenditures	支払概要書
TIMSS	Trends in International Mathematics and Science Study	国際数学・理科教育調査
TOT	Training of Trainers	指導員訓練
TV	Television	テレビ
TVET	Technical Vocational Educational and Training	技術職業教育・訓練
UN	United Nations	国際連合
UNDP	United Nations Development Program	国連開発計画
UNESCO	United Nations Education, Scientific and Cultural Organization	国際連合教育科学文化機関
UNHCR	United Nations High Commissioner for Refugees	国連難民高等弁務官事務所
UNRWA	United Nations Relief and Works	国連パレスチナ難民救済事業機関
VTC	Vocational Training Corporation	職業訓練公社
WHO	World Health Organization	世界保健機構

## 1. 調査の概要



# 1. 調査の概要

## 1.1. 調査の背景

ヨルダン・ハシミテ王国（以下「ヨルダン」）における 2009 年の失業率は 12.9%（出典：「ODA 国別データブック 2011」外務省発行）と高く、特に若年層（15～24 才）の失業率は 27.1%と国際労働機関（ILO）の公表する世界平均値 12.6%と比較しても非常に高い。

このように、特に若年層を中心とした雇用問題と人材育成の質的改善が大きな課題となっている中、さらに 2011 年の「アラブの春」以降、社会経済情勢が急速に不安定となり、公共サービス改善に向けた社会インフラ改善が喫緊の課題として求められている。

上記状況を踏まえ、ヨルダンの職業訓練、職業訓練施設・高等教育施設、保健医療施設・初中等教育施設の拡充により、ヨルダン国内の産業育成と公共サービスの改善を図り、もって同国経済・社会の安定に寄与することを目的として、“人材育成”と“社会インフラ改善”の 2 分野のサブ・プロジェクトへの支援より構成される新規円借款（以下「本円借款事業」）がわが国政府からヨルダン国政府に対して支援表明された（なお、“社会インフラ改善”は、“初中等教育および身体障害者教育のための施設整備”と“保健医療施設整備”の 2 つのコンポーネントを含む）。

このような状況の下、ヨルダン国政府より、約 150 件のサブ・プロジェクトが提案された。JICA による精査を経て、JICA 調査団の派遣までに、119 件のサブ・プロジェクトが選定された。

## 1.2. 本円借款事業の目的

ヨルダン国の職業訓練、人材育成施設・保健医療施設・初中等教育施設・高等教育施設の拡充を実施することによって、同国の産業の発展および公共サービス改善を図り、もって同国経済・社会の安定に寄与することを目的とする。

## 1.3. 本円借款事業の実施体制

本円借款事業の実施のため、次の実施体制が構築された。実施責任機関および各実施機関の任務について、ヨルダン国および日本側にて確認された。

### 1.3.1. 実施責任機関

計画・国際協力省（以下「MOPIC」）のプログラム・プロジェクト局が実施責任機関となる。実施責任機関の任務は次のとおりである。

- (i) 総括管理
- (ii) モニタリングおよび評価
- (iii) 社会配慮
- (iv) 環境配慮
- (v) 財務管理
- (vi) 報告

### 1.3.2. 本円借款事業の構造の定義

本円借款事業は、①人材育成、②社会インフラ改善の 2 分野における 55 件のサブ・プロジェクトより構成される。これらのサブ・プロジェクトは、本調査によりヨルダン国側と JICA 調査団により選定され、JICA により承認された。各サブ・プロジェクトは、施設建設・機材や家具調達等の本円借款事業の対象コンポーネントと、本円借款事業の非対象コンポーネントを含む。

### 1.3.3. 各実施機関

本円借款事業のサブ・プロジェクトは、次の実施機関によって実施される。各実施機関の任務は、施設建設・機材調達の管理、職業訓練の提供、および実施責任機関への報告等である。

#### (1) 人材育成

- 職業訓練公社（以下「VTC」）
- 労働省（以下「MOL」）
- 高等教育・科学研究省（以下「MOHESR」）

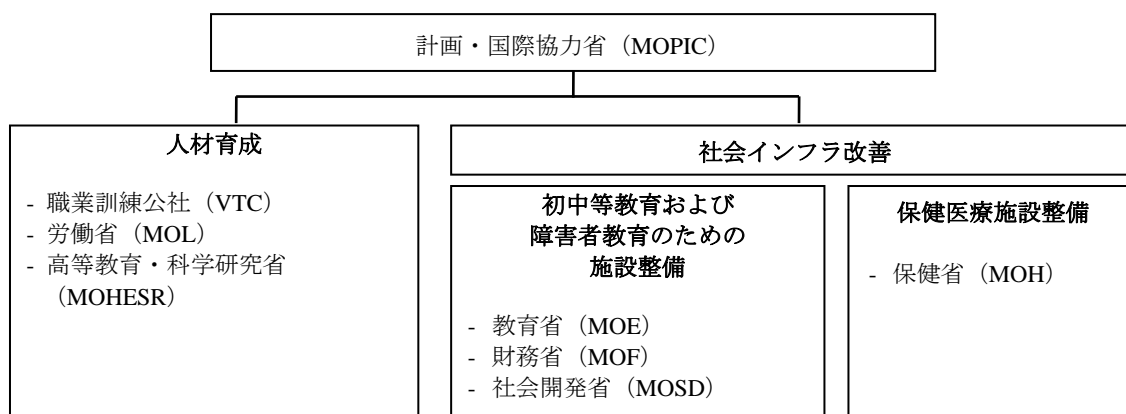
#### (2) 社会インフラ改善

初中等教育および障害者教育のための施設整備

- 教育省（以下「MOE」）
- 財務省（以下「MOF」）
- 社会開発省（以下「MOSD」）

保健医療施設整備

- 保健省（以下「MOH」）



出典：JICA 調査団作成

図 1-1 本円借款事業の実施体制

### 1.4. 調査の目的および活動内容

本調査業務の目的は、本円借款事業の成果発現に向けた成果管理と会計監理業務を支援し、ヨルダン国政府による本円借款事業の持続的で円滑な実施促進を図ることにある。

以下に、本調査業務における活動内容を示す。

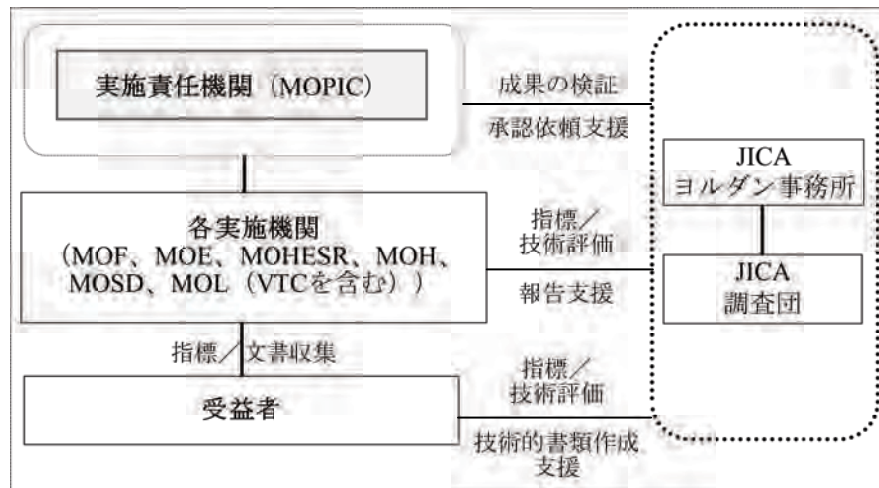
- 本円借款事業においてサブ・セクター（職業訓練、高等教育、保健医療、初中等教育）ごとにベースライン調査を実施し、効果指標を設定する。
- 成果および進捗確認に関するモニタリングを通じ、成果発現および今後の支援のあり方（本円借款事業の方針と合致したサブ・プロジェクトの選定を含む）について提言する。
- ヨルダン政府が作成する進捗報告書（四半期報告書）の作成を支援する。
- 実施責任機関および実施機関に対する会計監理支援（本円借款事業の貸付実行内容（総額約 120 億円相当）の確認を含む）を行う。



なお、本円借款事業「人材育成・社会インフラ改善事業」は、2012 年 8 月 14 日、122 億 3,400 万円を限度とする円借款貸付契約が既に調印され、2012 年 1 月を事業開始とするレトロアクティブ事業である。借款協定により、2012 年 1 月 1 日以前の如何なる支出も本円借款事業の対象とならない。

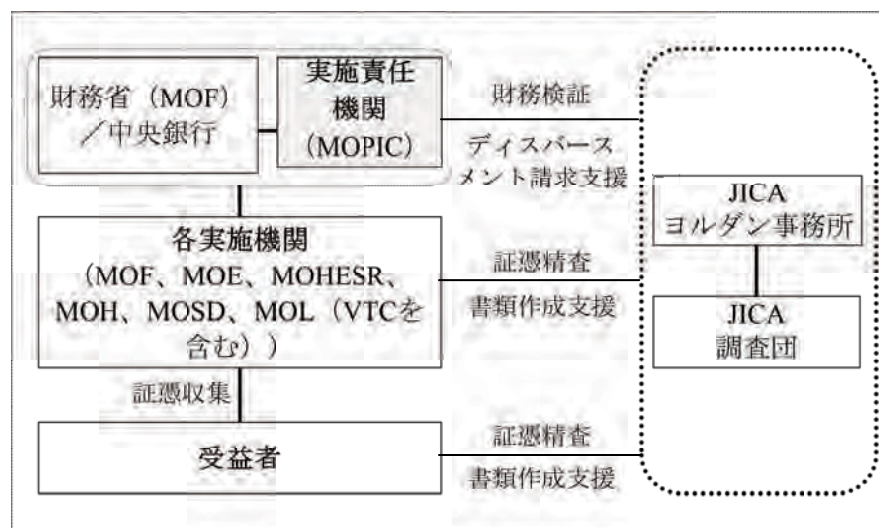
## 1.5. 調査の実施体制

本調査は以下の体制によって、実施された。



出典：JICA 調査団作成

図 1-2 成果管理業務の実施体制



出典：JICA 調査団作成

図 1-3 会計監理業務の実施体制

## 1.6. 調査のアプローチ

上記背景を踏まえ、次のアプローチに従って本調査を実施した。

### 1.6.1. 事業全体の効果の最大化

本調査は、円借款事業（JO-P12）の一環として実施されており、高等教育、初中等教育、職業訓練、保健医療と、幅広い分野より構成されている。したがって、本円借款事業の目標を達成するためには、各サブ・プロジェクトおよびそれらを構成する各コンポーネントが事業全体の効果の最大化に寄与することが求められている。よって、この観点より本調査に取り組むこととする。

本円借款事業は、人材育成や社会インフラ改善を通じて、貧困地域の若年世代に貢献することを目標のひとつとしている。このため、実施責任機関であり、ヨルダン国全土にわたる開発案件を総括する MOPIC プロジェクト・プログラム局と緊密な連携を図ることが、本調査の円滑な実施のためには不可欠である。

### 1.6.2. 関連機関との連携構築

関連機関との連携構築の成否は本円借款事業の成否に直接関わる。よって、関連機関との連携構築は組織の強化において重要な課題である。したがって、まず、各関係機関との理想的な連携形態を調査、検討する。これに基づき、連携構築の可能性および本円借款事業実施管理の仕組みについて、実施機関の組織構造および主要スタッフの稼働可能性等より明確にする。

#### (1) 計画・国際協力省（MOPIC）との連携

本調査では、各実施機関からの情報の入手と実施機関への情報の伝達が必要であるため、その窓口となる MOPIC との連携は非常に重要である。さらに、MOPIC は実施責任機関として貸付実行に係る JICA とヨルダン国政府との調整役であり、本円借款事業における実施責任を担っている。

これに加え、本円借款事業の遂行において、MOPIC は各実施機関による事業実施に伴う技術的な品質管理を、各実施機関は支払概要書（以下「SOE」）を作成するための証憑の収集、整理、評価指標の収集等を担っている。

したがって、MOPIC と実施機関との円滑な連携が構築できれば、円借款事業としてのシナジー効果の発揮や持続的な事業推進が可能になると考えられる。

また、ヨルダン側による SOE や四半期報告書（以下「QPR」）の作成および事業のモニタリングを支援するため、JICA 調査団はこれらの作業手順の提示や、各雛形への本円借款事業の状況の反映等を行う。

#### (2) 他関連機関との連携

本円借款事業の実施においては、実施機関だけではなく、施設建設については公共事業省および同省政府入札庁、機材調達については財務省政府調達庁、資金調達・支払いに関しては同省予算局、会計監査については会計監査院などの協力が必要となる。よって、これらの関連機関との連携構築は本円借款事業の円滑な実施、成果やその品質の向上において重要である。

### 1.6.3. 技術的・財政的自立発展性の確保

#### (1) 技術的自立発展性の確保

技術的な自立発展性を確保することは、本円借款事業の成果発現において非常に重要である。よって、本調査では、効果指標を継続的にモニタリングし、JICA やヨルダン国政府が事業評価できるように、定期的に報告する仕組みを構築する。

## (2) 財政的自立発展性の確保

事業で求められている目的を達成させるためには、継続的な財政負担が必要である。基本的には、政府の予算によって、完成した施設や機材の運営維持管理費が賄われることになるが、政府の予算に頼るだけではなく、新たな収益源の確保やビジネスモデルの開拓等を図ることで、財政的自立発展性を確保できると考える。

### 1.6.4. シリア難民による影響

本調査期間においては、シリア内紛のために多くのシリア難民がヨルダンに入国し、生活、保健医療、教育等に係る支援を必要としていることが認められた。これは、ヨルダンにおいて財政的に負の効果をもたらし、本円借款事業の関連セクターの現状にも影響を及ぼしている。

このため、本調査では、シリア難民による影響の軽減（シリア難民によって影響を受けているホスト・コミュニティへの支援）に資するサブ・プロジェクトも選定対象とする。

## 1.7. 調査の実施方法

上述の本調査のアプローチに基づき、本調査の実施方法を次に示す。

- 各サブ・プロジェクト実施機関の組織体制および実施窓口を特定する。
- 会計・調達監理手順の双方の観点から、各サブ・プロジェクト実施機関の業務能力を測定・判断する。
- 実施責任機関である計画・国際協力省（MOPIC）、サブ・プロジェクト実施機関および関連組織の各責務内容と業務区分を明確に把握する。
- サブ・プロジェクトの選定に係り、JICA およびヨルダン国政府の双方が合意し得る基準を設定する。
- ヨルダン国の監査制度を把握すると共に、本円借款事業との整合性を確認する。
- 成果監理に係る指標を設定すると共に、各指標におけるベースライン値および今後の目標値を評価・特定する。
- サブ・プロジェクトの現場視察により、整備施設・調達機材等の現状、進捗、現物および活用状況等を確認する。
- 調査結果に基づき、事業進捗の促進および成果の拡大に資する方策を検討・提言する。

## 1.8. 調査実施工程

本調査の実施期間は、2012 年 10 月上旬から 2013 年 3 月下旬までである。本調査業務全体の実施工程を下図に示す。

	9	10	11	12	1	2	3
	2012				2013		
国内業務		国内準備 □			国内整理 □	最終整理 □	
現地調査		第 1 次現地調査 ■			第 2 次現地調査 ■		
成果品		インセプション・レポート ▲		インテリム・レポート ▲		ファイナル・レポート ▲	

出典：JICA 調査団作成

図 1-4 調査実施工程

添付資料-2 および 3 に、活動記録および面談者リストを示す。






## 2. サブ・プロジェクトの選定



## 2. サブ・プロジェクトの選定

### 2.1. 選定手順

本円借款事業の対象サブ・プロジェクトを選定するため、JICA 調査団は、3 段階・4 ステップから構成される選定手順を設定し、これに従い選定を行った。選定手順を以下に示す。

段階	手順	実施者
第1スクリーニング	1. プロジェクト・シート（ヨルダン側準備）や収集情報に基づくサブ・プロジェクトの振り分け 	MOPIC、JST
第2スクリーニング	2. サブ・プロジェクトの各コンポーネントの精査 	JST
最終確認	3. JICA への報告（選定サブ・プロジェクト、各コンポーネント、およびディスパースメント見積もり総額（概算）） 	JICA、JST
	4. MOPIC への報告（選定サブ・プロジェクトの確認）	MOPIC、JST

出典：JICA 調査団作成

図 2-1 サブ・プロジェクトの選定手順

### 2.2. 選定基準

選定手順の各段階に、借款協定や ODA 理念、サブ・プロジェクトの状況等に基づく選定基準を設定した。各段階の選定基準を、以下に示す。

#### 2.2.1. 第1スクリーニングの選定基準

当初、日本とヨルダン国双方政府間で締結された協議議事録（2012 年 3 月 26 日署名）、覚書（2012 年 6 月 4 日署名）、借款協定（2012 年 8 月 14 日署名）、および日本の ODA 理念に基づき、11 の選定基準が設定されていた。

第1スクリーニングの時点で各サブ・プロジェクトのコンポーネントを把握することは非常に難しいことが判明した。この現状を考慮し、当初の 11 の選定基準を下表のとおり調整した。

表 2-1 第1スクリーニングの選定基準（当初計画と現状（調整後））

当初計画	現状（調整後）	備考
1-1. 軍事関連を含まないこと。	1-1. 軍事関連を含まないこと。	変更なし。
1-2. 本円借款事業の目的達成に貢献し得ること。	1-2. 本円借款事業の目的達成に貢献し得ること。	変更なし。
1-3. 職業訓練・初中等教育・高等教育・保健医療のいずれかと直接関わり、分類可能であること。	1-3. 職業訓練・初中等教育・高等教育・保健医療のいずれかと直接関わり、分類可能であること。	変更なし。
1-4. 上記 4 分野に直接関わるコンポーネントであること。	1-4. 上記 4 分野に直接関わるコンポーネントであること。	変更なし。
1-5. 組織設立を主目的としないこと。	1-5. 組織設立を主目的としないこと。	変更なし。

当初計画	現状（調整後）	備考
1-6. ヨルダン国にほとんど存在しない問題の解決に関する案件ではないこと。	1-6. ヨルダン国にほとんど存在しない問題の解決に関する案件ではないこと。	変更なし。
1-7. 消耗品の調達ではないこと。	-	第2スクリーニングの選定基準に移行。
1-8. サービスの提供ではないこと。	-	
1-9. イベント（セミナー、シンポジウム等）の開催ではないこと。	-	
1-10. JICA における「環境社会配慮ガイドライン」においてカテゴリーCに分類されること。	-	最終確認の選定基準に移行。
1-11. 他援助機関によって支援されていないこと。	-	

出典：JICA 調査団作成

## 2.2.2. 第2スクリーニングの選定基準

第1スクリーニングの選定基準および選定結果に基づき、第2スクリーニングの選定基準を計画した。その後、各実施機関より得た対象サブ・プロジェクト候補の現状を考慮し、選定基準を調整した。

第2スクリーニング開始時は、対象サブ・プロジェクトにおいて本円借款事業による支援が主な資金源となるよう、2012年1月もしくは選定時点の出来形が50%以下であることを選定基準のひとつとして設定していた。これは、支援対象における本円借款対象分の明確化の一助となる点で、事後評価においても有効である。しかし、サブ・プロジェクトの多くは既に開始しており、50%以上の進捗に達していることが判明した。

これに加え、ヨルダン国では、経済・社会不和により、2010年から2011年の2年間、政府により新規案件の形成が保留されていた。よって、本円借款事業の対象サブ・プロジェクトとして、新規案件や2012年から開始する案件を見出すことは非常に難しいことが判明した。

よって、JICA 調査団は、出来形に関する選定基準を削除した。これに代わり、選定過程において、本円借款対象となるコンポーネントが有形かつ測定可能であり、実施前後にてその成果が比較可能であることを考慮した。

第2スクリーニングの選定基準を以下に示す。

表 2-2 第2スクリーニングの選定基準（計画と現状）

計画	現状（調整後）	備考
2-1. 施設建設、機材・家具調達のみに構成されること。	2-1. 施設建設、機材・家具調達のみに構成されること。	変更なし。
2-2. 他援助機関によって支援されていないこと。	2-2. 他援助機関によって支援されていないこと。	変更なし。
2-3. 施設建設の場合、出来形が50%以下であること。	-	サブ・プロジェクトの現状を考慮し、本選定基準は削除。
2-4. 契約済みであること。 * 契約済みのコンポーネントは「優先リスト」へ登録。 * 未契約のコンポーネントは「追加リスト」へ登録。	-	

出典：JICA 調査団作成



### 2.2.3. 最終確認の選定基準

第 2 スクリーニングを経て選定されたサブ・プロジェクトは、下表の選定基準に基づき、ヨルダン側にて確認された。なお、ヨルダン側の確認を経て選定されたサブ・プロジェクト群がショートリストとして、JICA に申請された。

表 2-3 最終確認の選定基準

基準	備考
3-1. JICA 発行「環境社会配慮ガイドライン」においてカテゴリーC に分類されること。	MOPIC は JICA に対し、選定サブ・プロジェクトがこの基準を満たしている旨、公式文書にて通知した(2012 年 12 月 9 日付)。
3-2. 他援助機関によって支援されていないこと。	

出典：JICA 調査団作成

## 2.3. 選定過程における実施責任機関および実施機関との主な協議事項

### 2.3.1. サブ・プロジェクトの対象地域

#### (1) 現況

サブ・プロジェクトの現状把握を通じ、対象地域について以下が確認された。

- サブ・プロジェクトの多くは、首都アンマンを拠点としている。しかし、例えば、情報技術分野の開発に関するサブ・プロジェクトでは、主サーバーを首都アンマンに設置し、中央（特に省庁）と全国の大学や病院との連携構築が目的となっている。このように、首都アンマンを拠点とするサブ・プロジェクトは貧困地区を含むヨルダン国全土へ裨益効果をもたらすことが期待されている。
- 多くのシリア国難民が自国の混乱より避難するため、ヨルダンに流入している。この状況は、ヨルダンの財政に負の影響を及ぼしていると共に、本円借款事業の対象セクターにも影響を与えている。

#### (2) 結論

上記に基づき、以下の方針が定まった。

- サブ・プロジェクトの対象地域は貧困地域（国家平均における貧困レベル以下の地域）に限定しない（首都アンマンを拠点とするサブ・プロジェクトにおいても貧困地域に裨益し得る場合）。

### 2.3.2. 薬剤の供与

#### (1) 現況

MOH 等との協議を経て、下記の主張を確認した。

- 本円借款事業にて申請されている薬剤の供与に関するサブ・プロジェクトの事業費は、合計 JD29 百万である。
- シリア国難民の流入により、ヨルダン国内の薬剤需要量が増加している。

## (2) 結論

MOH 等、ヨルダン側からの強い要望はあるものの、薬剤は使用すると無形となり追跡不可能であるため、消耗品とみなす。消耗品の供与は対象外とする選定基準に従い、本薬剤の供与も本円借款事業の対象外とすることとした。

なお、最終的に、JICA 本部は、本円借款事業の持続可能性の観点より、薬剤の供与は本円借款事業の対象としないことを決定した。

### 2.3.3. ドイツ・ヨルダン大学 (GJU)

#### (1) 現況

ヨルダン側より、MOF 傘下のサブ・プロジェクトとしてドイツ・ヨルダン大学 (GJU) への支援が要望された。要望内容および GJU に関し把握した状況は以下のとおりである。

- GJU は、2005 年、ヨルダン国家、MOHESR、およびドイツ連邦政府教育研究省間の基本合意書に基づき、国王令により設立された。
- GJU は、ムシャカルに位置するヨルダンの公立大学のひとつである。
- GJU は、知識の実践への活用および知識の移転に焦点をあてたドイツの応用科学系大学の手法を模範としている。
- GJU では、ドイツ語の講義が実施されている。また、4 年生はドイツ留学の機会が提供される（半年間をドイツの応用科学系大学で学び、ドイツの産業界に触れることを目的とする）。
- GJU は、ドイツ学識交換サービス (DAAD) とドイツ連邦政府教育研究省を通じ、ドイツより支援を受けている。
- GJU は、マダバに 5,000 人の学生を対象とした新キャンパスの開発を進めている（全 5 段階。現在、第 1 段階（2012 年 10 月 21 日着工）を進行中）。新キャンパスは、特殊需要のある学生、女子学生および彼らの家族の支援を目的としている。

#### (2) 結論

現況に基づき、JICA 本部より下記の見解が提示された。

- 資金の観点より、日本による支援とドイツ側による支援を明確に区別することは可能であるものの、ドイツで学び、将来的にドイツの産業発展のために活躍することを期待されている学生のために、日本の円借款を活用する意義を見出すことは難しい。

上記 JICA 本部の見解、協議および精査の結果に基づき、実施責任機関、JICA ヨルダン事務所、および JICA 調査団間にて、MOF 傘下の本サブ・プロジェクト（名称：“German Jordan University”）は、本円借款事業の対象としないことを合意した。

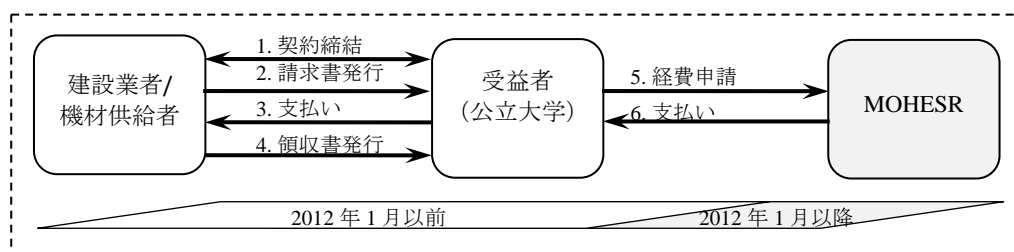
### 2.3.4. MOHESR 傘下のサブ・プロジェクトにおける 2011 年度の財務（支払い）状況

#### (1) 現況

MOHESR 傘下のサブ・プロジェクトのうち、公立大学を受益者とするサブ・プロジェクト (No. HES) では、下記のとおり複雑な支払い体系をとっていることが確認された。

- 建設業者や機材供給者との契約者は、MOHESR ではなく受益者（公立大学）となる。

- 受益者（公立大学）は、建設業者や機材供給者に支払い後、MOHESR に対し請求を行う。
- 2011 年に受益者（公立大学）から建設業者や機材供給者に支払いが行われ、2012 年に受益者（公立大学）から MOHESR に請求が発生している取引がある。
- 建設業者や機材供給者によって発行される支払いの証憑は、2012 年 1 月 1 日以降の日付でなければ、本円借款事業の対象とはならない。



出典：JICA 調査団作成

図 2-2 MOHESR 傘下大学案件の支払い手順（2012 年 1 月以前の支払い現況）

## (2) 結論

借款協定の第 2 章第 4 条「2012 年 1 月 1 日以前に発生した支出はディスバースメントの対象とならない。」との記述に基づき、2011 年に発生した如何なる支払いも認められない。

### 2.3.5. 繊維工場の建設（サブ・プロジェクト No. 722（MOL））

#### (1) 現況

MOL へのヒアリングおよび現場視察を通じ、以下の状況が確認された。

- 本サブ・プロジェクトにて建設される繊維工場は、近隣の女性に対し、職業訓練の機会を提供する。
- すでに、本サブ・プロジェクトにて 6 工場が建設されている。これに加え、7 工場の建設が計画されている（内、3 工場は早急の建設が求められている）。
- すでに建設済みのアル・アリーン工場を視察したところ、下記が確認された。
  - MOL は工場を建設し、近隣より労働者を雇用することを条件とし、投資会社へ引き渡す。
  - 開設より 5 年間は、工場は無料で賃貸される。その後、5 年間、投資会社は市場の約 75% の賃貸料を MOL に支払う。
  - MOL は工場開設より 18 ヶ月間、労働者の給料の 30% を支給する。
  - 投資会社は工場での生産活動に必要な機材・電気・水等を負担する。
  - 現在、アル・アリーン工場では 470 名の労働者が雇用され、訓練共に就労の機会を得ている。

#### (2) 結論

現場視察を通じた本サブ・プロジェクトの内容の精査より、本サブ・プロジェクトは本円借款事業の対象として適切であると判断する。

## 2.4. 選定結果

### 2.4.1. 第1・第2スクリーニングの結果—JICA 調査団から実施責任機関へのショートリストの推薦

実施責任機関と JICA 調査団により実施した第 1 スクリーニング結果、および、これに続き第 2 スクリーニングとして JICA 調査団が各実施機関と行ったサブ・プロジェクトのコンポーネントの精査結果に基づき、65 件のサブ・プロジェクトが本円借款事業の対象として選定された。JICA 調査団は JICA の合意の下、この 65 件を本円借款事業対象サブ・プロジェクトのショートリストとして、実施責任機関に提示した。

### 2.4.2. 最終確認の結果

最終確認を経て、本円借款事業対象サブ・プロジェクトのショートリストに対し合意を形成するため、JICA 調査団は実施責任機関および JICA ヨルダン事務所と協議を行った。この結果、本円借款事業の対象サブ・プロジェクトは JICA 調査団の提示した 65 件より 55 件に変更となった。

キューート基金をはじめとする援助機関や湾岸協力会議により、有望サブ・プロジェクトへの支援が決定したことが、対象サブ・プロジェクトの数が減少した最大の要因である。

第 1・第 2 スクリーニングおよび最終結果を経た選定結果の変更点とその変更理由を、表 2-4 に示す。

表 2-4 各サブ・プロジェクトの選定結果の変更点（第 1・第 2 スクリーニングと最終確認）

No	サブ・プロジェクト名	第 1・第 2 スクリーニングの結果		最終確認の結果	
		結果	備考	結果	備考
MOF					
162	Support the projects of the National Fund for Youth and Support Movement Support	no	本円借款事業の目的達成に寄与しない。	no	変更なし。
192	Highness Royal Initiative for governorates development	no	本円借款事業の目的達成に寄与しない。かつ、日本の ODA 理念に適合しない。	no	変更なし。
	German-Jordanian University	no	日本の ODA 理念に適合しない。	no	変更なし。
MOE					
573	Additions for Vocational Education Buildings		-	no	湾岸アラブ諸国により支援されることとなった。
587	Adding Class Rooms for Kindergartens		-	no	湾岸アラブ諸国により支援されることとなった。
589	Different Establishments and Additional Class Rooms		-	no	湾岸アラブ諸国により支援されることとなった。
595	Building 60 schools		-	no	湾岸アラブ諸国により支援されることとなった。
598	Different Establishments and Additional Class Rooms		-	no	湾岸アラブ諸国により支援されることとなった。
601	Developing e-government services for schools	no	MOE により除外された。	no	変更なし。
MOHESR					
604	Administration Project	no	本円借款事業の目的達成に寄与しない。	no	変更なし。
612	Establishing diploma university college in Tayba and Korah districts		-	no	湾岸アラブ諸国により支援されることとなった。
613	Establishing diploma university college in Bani Kenanah districts		-	no	湾岸アラブ諸国により支援されることとなった。
614	Establishing a diploma university college in Jarash governorate		-	no	湾岸アラブ諸国により支援されることとなった。
617	University infrastructure		-	no	湾岸アラブ諸国により支援されることとなった。
618	Support the scientific research fund		-	no	湾岸アラブ諸国により支援されることとなった。

No	サブ・プロジェクト名	第1・第2スクリーニングの結果		最終確認の結果	
		結果	備考	結果	備考
MOH					
643	Establishing Building for serums and Vaccines		-	no	湾岸アラブ諸国により支援されることとなった。
662	Forensic Medicine in southern governorates		-	no	湾岸アラブ諸国により支援されることとなった。
664	Diabetes and Endocrinology	no	キューートにより支援されることとなった。	no	変更なし。
669	Equipping and furnishing Zarga' hospital	no	キューートにより支援されることとなった。	no	変更なし。
MOSD					
680	Handicapped Affairs Program Administration Project	no	本円借款事業の目的達成に寄与しない。	yes	本円借款事業の対象となる機材の調達が含まれることが判明した。
MOL (VTCを含む。)					
713	Administration Project	no	本円借款事業の目的達成に寄与しない。	no	変更なし。
722	Transferring Investment to Remote Areas	yes	建設対象物である繊維工場が職業訓練機能を有することが判明した。	yes	変更なし。
VTCS	Supporting Vocational Training Institutes	-	サブ・プロジェクト No. 723 に含まれることが判明した。	-	サブ・プロジェクト No. 723 から独立させ、サブ・プロジェクト No. VTCS として扱うこととなった。
725	Combating poverty and unemployment	no	無形のコンポーネントのみであることが判明した。	no	変更なし。

出典：JICA 調査団作成

実施機関ごとのサブ・プロジェクトの選定結果を、表 2-5 に示す。実施責任機関および JICA 調査団にて合意に至った本円借款事業の対象サブ・プロジェクト・ショートリストを、添付資料-4 に示す。

表 2-5 選定結果別サブ・プロジェクト（概要）\*1

実施機関	当初リスト	第1・第2スクリーニング結果（中間） （2012/10/24 時点）*2		第1・第2スクリーニング結果（最終） （2012/11/25 時点）		最終確認結果 （2012/11/26 時点）	
		yes	p	yes	p	yes	P
MOPSD	1	0	0	0	0	0	0
MOF	7	1	3	1	0	1	0
MOE	29	12	6	17	0	12	0
MOHESR	13	10	0	9	0	4	0
MOH	49	23	9	30	0	28	0
MOSD	2	0	1	0	0	1	0
MOL (VTCを含む)	18	6	4	8	0	9	0
合計	119	52	23	65	0	55	0

出典：JICA 調査団作成

注記\*1：各選定結果の設定を以下に示す。

yes：本円借款事業の対象となり得るコンポーネントを含むサブ・プロジェクト。

p：結果保留。さらなる精査を要するサブ・プロジェクト（コンポーネント内容・進捗・支払い状況等）。

注記\*2：中間結果は、実施責任機関、JICA および JICA 調査団の共通理解として共有した。

選定手順の各段階における選定基準、それらの変更点および各段階における選定サブ・プロジェクト数を、添付資料-5 および 6 に示す。また、対象サブ・プロジェクトの合意形成段階にて実施責任機関と JICA にて交わされた書簡を、添付資料-7 に示す。



### **3. 事業実施における相手国側の状況**





### 3. 事業実施における相手国側の状況

#### 3.1. 事業実施責任機関（EA）および実施機関（IA）

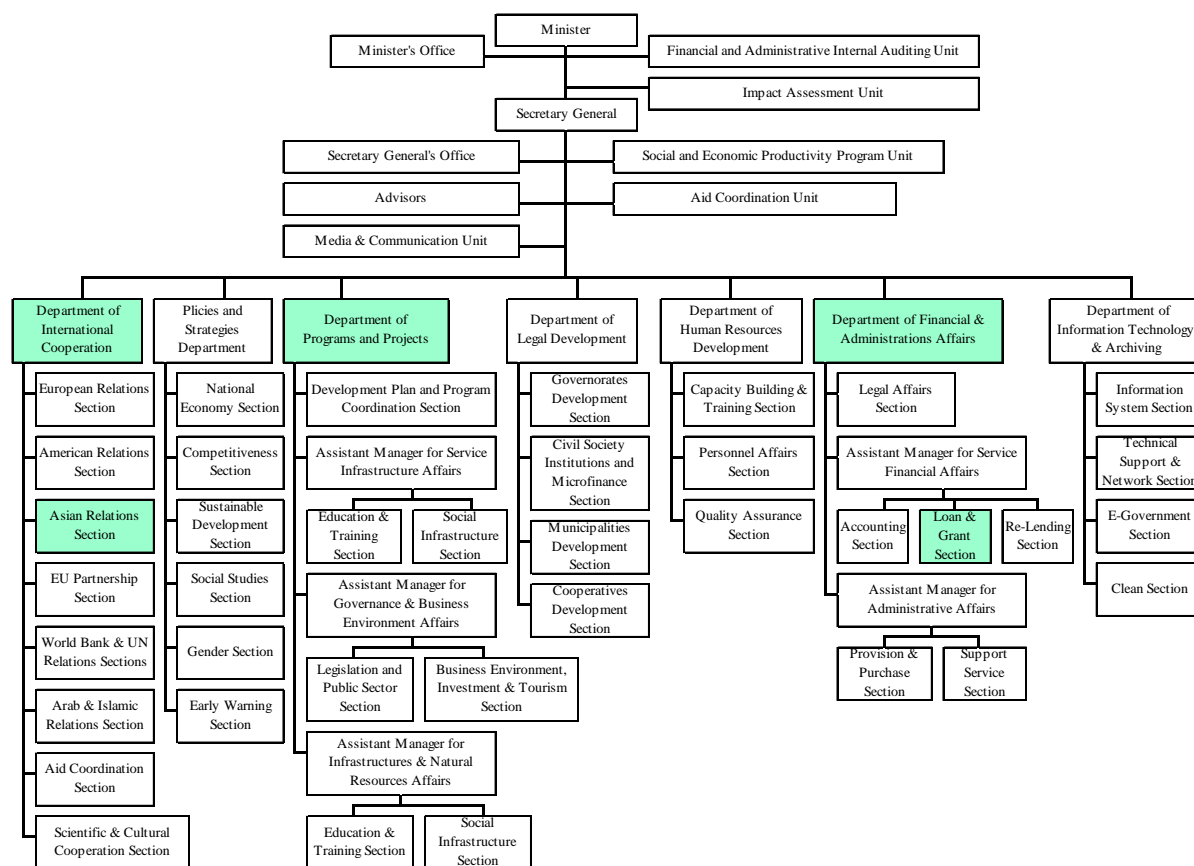
##### 3.1.1. 計画・国際協力省（MOPIC）

##### (1) 役割・責務

本円借款の借入国側の借款協定署名者である計画・国際協力省(MOPIC)は、国家経済と社会の発展と向上を目的に行われる開発事業の実施監督を担う省である。技術的・財政的支援を提供する他政府の公的開発援助機関、国際開発援助機関、財政支援機関との関係構築及び調整、現行の国家アジェンダ（National Agenda 2006-2015 年）、および同アジェンダに基づく国家上位開発計画(Executive Development Program 2011-2013) に基づく同国優先課題に対応した国際援助の促進と受入れ合意の促進は、同省の重要な責務である。

##### (2) 本円借款事業の担当部局

MOPIC のプログラム・プロジェクト局が、国際協力局内のアジア地域課、財務管理事業局内の借款・無償事業課と協力し、本円借款事業の実施総括と責任を担うとともに、四半期報告書（QPR）およびプロジェクト完了報告書（PCR）など、プロジェクト現況報告書（PSR）の取り纏めと JICA への提出を担当する。各実施機関（IA）と関係組織との調整や、実施を円滑に進めるに当たっての必要な措置の手配等は、プログラム・プロジェクト局が総括責任担当となる。



出典：MOPIC（2012 年 11 月）

図 3-1 MOPIC 組織図（2012 年度）

### 3.1.2. 労働省（MOL）

#### (1) 役割・責務

労働省（以下「MOL」）は労働政策の策定という総合的な責務のほか、ヨルダン国内の労働問題への対応を担う。「Labor Law No 8/ 1996」、および「No 38/1994」を労働省設立根拠として、労働分野の多様な役割を担い、関係者組織の調整、労働法規の改正、生産者の権利保護、外資促進への取り組み、労働者の育成、ヨルダン国内労働市場の外国人労働者の監督、就労斡旋サービス等を行う。近年は、産業と労働市場の活性化を狙いとした投資刺激政策、およびそれに伴うヨルダン人就労者数の拡大や民間セクターとの連携強化が、重要な取り組み分野となっている。<sup>1</sup>

雇用促進と就労斡旋の分野では、国立雇用センター（NEC）を 2004 年に設置し、民間企業への人材紹介、求職者への民間企業・求人情報サービスを提供している。これは、県事務所の雇用促進センターやセルフサービスセンターとリンクしたもので、求職登録、求人情報照会のほか、ジョブコーチ、履歴書作成指導などのキャリアガイダンスも提供している。このほか、求人情報を求職者が自由に検索できるワンサイトサービス・オフィスの設置を進めている。

職業訓練事業は、1976 年に設立された職業訓練公社（以下「VTC」）が、省監督の下、就労志向・実技志向型のプレサービスおよびインサービスの技術労働者訓練を行っている。サービス内容は、1) 青少年と成人への技術訓練、2) 指導員訓練校運営および職業現場実習を通じた指導員の水準・技術の向上、3) 多職種の短期コース訓練、4) 労働安全衛生に係る実習、5) 中小・零細企業の設立支援ガイダンス、6) 雇用者および被雇用者への労働法規の知識・情報提供等がある。2012 年現在では、全国計 44 の職業訓練校を運営しており、技術レベルおよび業種別のプログラムのほか、女性や障害者等訓練対象を絞ったプログラムも提供している。職業訓練校のほかに、VTC は、3 種の短期コース技術訓練校（労働安全衛生訓練校、指導員訓練校、運転士養成校）を設置している。<sup>2</sup>

表 3-1 職業訓練公社による職業訓練の概要

種類	職業訓練			技術アップグレード	インテンシブ
レベル	専門技術職 (Craftsman)	熟練技能 職(Skilled)	准熟練技能職 (Semi-skilled)	レベル 1/ディプロマ	短期プログラム
期間	2-4 学期	2-4 学期	1 学期	多様な期間設定	多様な期間設定
入学 要件	上 3 種レベルのプログラムの志願者は、以下の要件を満たすこと。  1. プログラム開始時に 16 歳以上であること 2. 実技訓練が可能な健康な者であること 3. 兵役義務など、プログラム受講を継続の、阻害要件がないこと 4. 各プログラムの訓練を受ける上での学術能力を有する者であること			レベル 1 の志願者は以下レベルのアップグレードを目的とする者であること。 1. 専門技術職 (Craftsman) 2. 熟練技能職 (Skilled) 3. 准熟練技能職 (Semi-Skilled)  ディプロマ（或いは同等水準）への志願者は中等教育学校を卒業しかつ第 12 学年修了者であること（中等試験合格者或いは不合格者）。	短期プログラムの志願者は、個別、学校、地域のニーズを満たす知識、技術、素行を有する者であること。  又、志願者はプログラム開始時に 16 歳以上であること。

出典：VTC 年報 2011（2012 年 7 月）

<sup>1</sup> 労働省ウェブサイト, <http://www.mol.gov.jo/Default.aspx?tabid=175>

<sup>2</sup> VTC 年報 2011（2012 年 7 月）

## (2) 予算状況と国家上位開発計画（EDP）における短期目標

ヨルダン国内の経済停滞と縮小に伴い、MOL の 2012 年度予算は削減された。特に開発・資本予算で大幅な削減となった。他方、職業訓練関連予算は 2012 年度の省全体予算の 44.8 %を占めており、職業訓練に対する省の優先度がうかがえる。

表 3-2 MOL と VTC の支出実績および予算（2010～2012 年）

(通貨：JD)

分類	年度	2010 年 実績	2011 年 実績	2012 年 予算
労働省全体	資本予算（開発予算）	4,202,874	5,700,000	5,096,000
	経常支出予算	10,925,662	11,357,000	11,615,000
	小計	<b>19,331,410</b>	<b>22,757,000</b>	<b>21,807,000</b>
	前年比 (%)	N.A.	17.7%	△4.2%
うち 職業訓練・ 雇用促進予算	資本予算（開発予算）	2,000,000	1,440,000	1,275,000
	経常支出予算	8,000,000	8,345,000	8,500,000
	小計	<b>10,000,000</b>	<b>9,785,000</b>	<b>9,775,000</b>
	前年比 (%)	N.A.	△2.2%	△0.1%

出典：Summary of total expenditure of Ministries（2012 年）

注記： 1) ヨルダンの会計年度は 1 月から 12 月である。2) VTC の財源は、MOL を通じた政府一般財源（上記）のほか、公社の独自収入、議会承認を受けた支援者からの寄付金がある。

国家上位開発計画（2011-2013 年）に基づく同セクターの短期目標は、次のとおりである。

- 職業訓練を通じた失業者数・率の低減への貢献
- キャリアガイダンスを含む就労斡旋サービスを通じた失業者数・率の低減への貢献
- 経済活動への女性の参加促進
- 障害者への就労機会の拡大
- 産業ニーズ・国際標準に合致する効率的・効果的な職業訓練システムの整備
- 国内産業で急増する自国労働者を吸収するための雇用創出・刺激投資策の促進
- ヨルダン人の技能労働への就労意欲の高揚、等

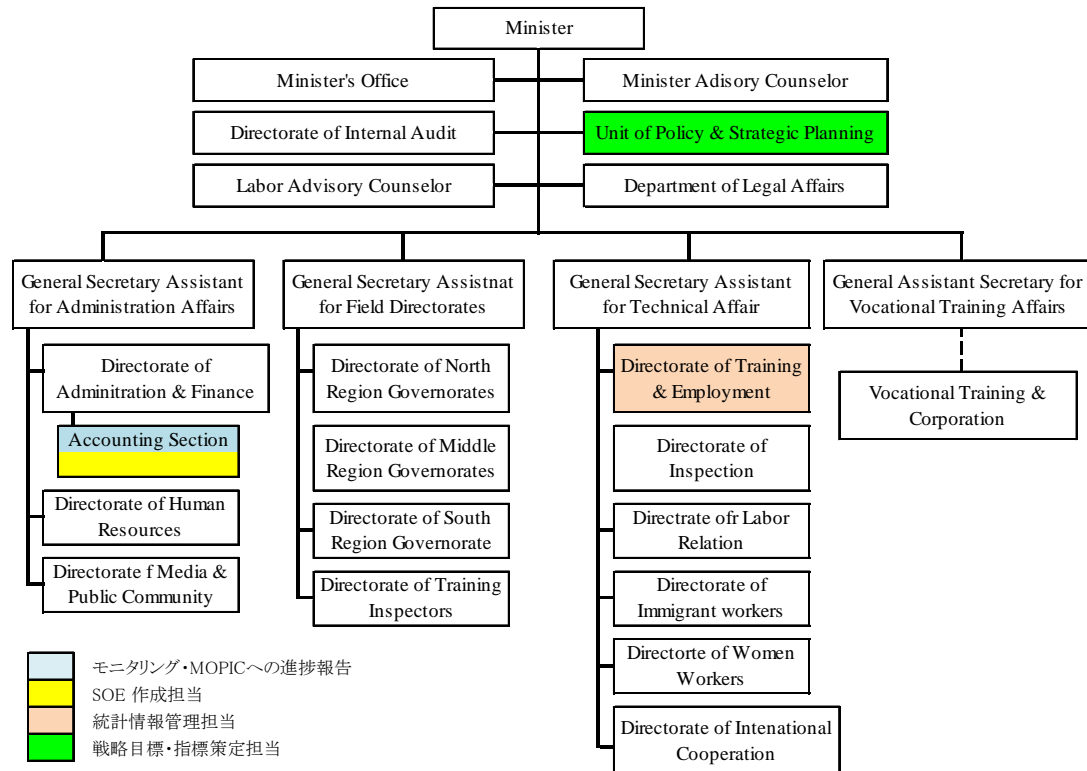
## (3) 本円借款事業の担当部局

### 1) MOL

運営管理・財務局の会計課が、本円借款事業の同省におけるサブ・プロジェクト実施運営管理を担当し、サブ・プロジェクト実施関係者との調整、および MOPIC へのモニタリング報告を担う。

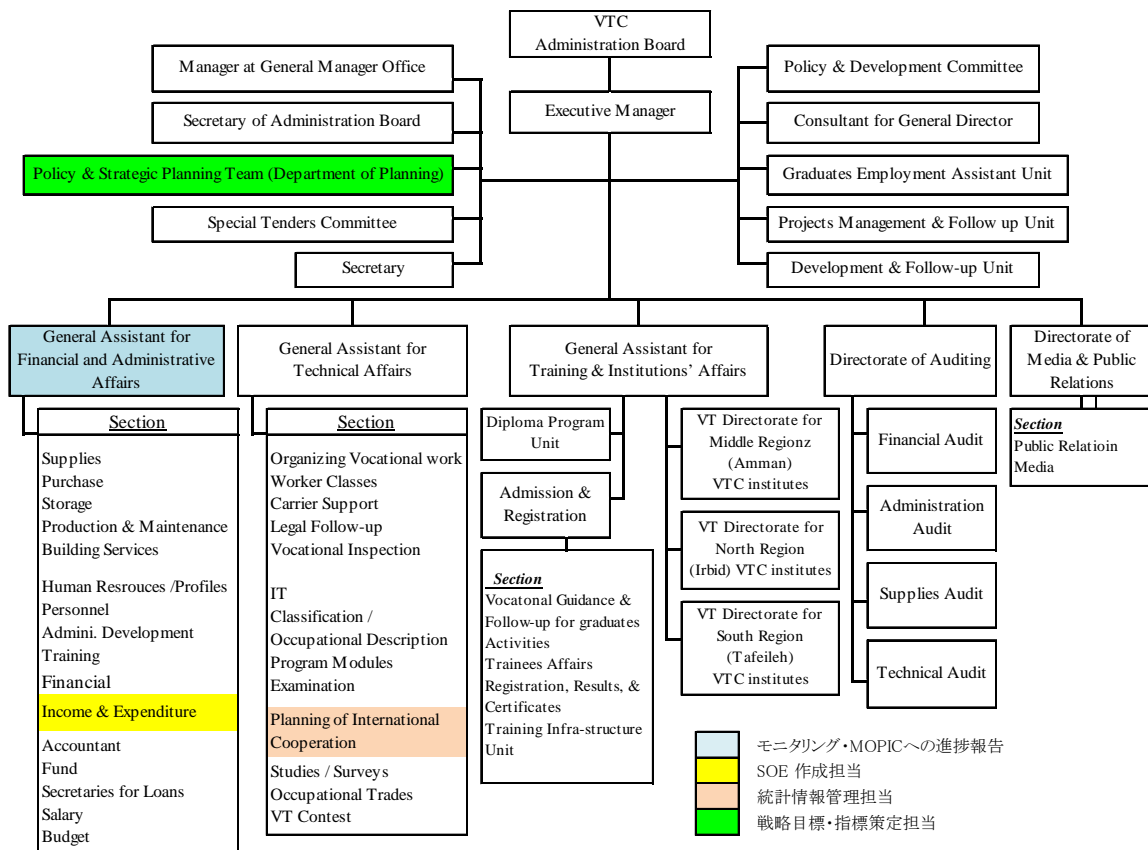
### 2) VTC

財務・運営管理総局が、同局内の収支課と協力し、サブ・プロジェクトの実施運営管理、サブ・プロジェクト実施関係者との調整、労働省への報告、および MOPIC へのモニタリング報告を担う。



出典：MOL2011 年度年報（2012 年 7 月）

図 3-2 MOL 組織図（2012 年度）



出典：VTC2011 年度年報（2012 年 6 月）

図 3-3 VTC 組織図（2012 年度）

### 3.1.3. 高等教育・科学研究省（MOHESR）

#### (1) 役割・責務

高等教育・科学研究省（以下「MOHESR」）は、すべての高等教育機関の監督を行う。ヨルダン初の四年制の公立大学であるヨルダン大学が 1962 年に設立されて以降、多様な教育施設が設置されており、2012 年現在では、公立大学 10 校、私立大学 16 校、地域大学 1 校、専門大学 3 校、私立短大 19 校、公立短大 20 校以上が、同省の監督下にある。

学術的業務やプログラム開発において、同省が四年制大学への指導・監督を担うと同時に、バルカ応用大学が、短期大学の監督を主導している。同省はバルカ応用大学や教育省、労働省等とも協議しながら、新規の技術系短大制度の設置および技術系短大の創設を進めているところである。同短大の教育プログラムは、技術者、情報技術者、看護師、社会福祉指導員等、教育職種は多岐に亘っており、産業界で活躍する高度専門技術職人材の育成を目指している。<sup>3</sup>

表 3-3 MOHESR の監督による高等教育制度概要（2012 年 12 月現在）

一般的 就学期間	学術水準	施設種		
第 5 学年以上	普遍・高等教育	大学院以上		
第 4 学年		4 年制総合大学 単科大学*		
第 3 学年	(一部 3 年制) **			
第 2 学年	短期大学		技術専門短大***	
第 1 学年				

注記 \*：単科大学は一専攻科をもつ 4 年制大学のこと

注記\*\*：殆どの短期大学は 2 年制だが、一部 3 年制の短大がある。

注記\*\*\*：技術系短大の設立は、省が現在進めている事業の一つ。

表 3-4 MOHESR の監督による公立・私立高等教育の状況

年度	2008	2009	2010	2011
<b>教職員数</b>				
大学教職員数	7,283	7,613	8,038	8,149
短大教職員数	1,828	1,924	1,924	2,065
<b>学生数</b>				
学士課程学生数	209,312	219,277	219,277	226,713
修士課程・博士課程学生数	17,089	17,543	17,543	17,532
短期大学学生数	28,351	30,061	30,061	28,695
<b>施設数</b>				
大学数(修士・博士課程を含む)	26	26	26	31
短大数	48	49	49	54

出典:MOHESR Annual Statistical Report 2012

障害・特殊教育については、教員のインサービプログラムと、学部学生と修士課程学生を対象とした特殊教育教員養成プログラムを提供する公立大学があり、同プログラムは、ヨルダン大学にて 1991 年に開始された障害児教育が始まりとされる。特殊教育の専門家やプログラム開発者を育てる修士課程・博士課程の研究科もある。2006 年には、大学院 2 校、大学 5 校、短大 8 校が、特殊教育課程を設置して学術研究・特殊教育教員養

<sup>3</sup> Higher Education in Jordan, Technical Education Sector in Jordan, MOHSR（共に 2012 年 10 月）

成を行っている。<sup>4</sup>

高等教育機関業務の IT 化は同省の優先的取り組みであり、具体的には、評価認証条件に合致した大学・短大とするための運営管理業務・入学システム電子化や効率化、高等教育 EMIS の充実が挙げられる。EMIS データベースの同省での集約化では、全大学とのネットワーク化を進め、多様なユーザーがアクセスできるウェブ情報の整備を行っている。

## (2) 支出予算状況と国家上位開発計画（EDP）における短期目標

同セクターへの政府投資はヨルダン国の経済情勢における浮き沈みに関係なく継続して増額され、政府の高等教育への高い関心が伺われる。他方、2011 年度には顕著な増額がみられるものの 2012 年度には資本（開発）予算は減額された。

表 3-5 高等教育科学技術省の支出実績及び支出予算額（2010～2012 年）

（通貨単位：1JD）

分類 \ 年度	2010 年 実績	2011 年 実績	2012 年 予算
資本予算(開発予算)	12,510,203	24,179,000	15,597,500
経常支出予算	7,154,813	47,844,500	63,971,000
小計	<b>19,665,016</b>	<b>72,023,500</b>	<b>79,568,500</b>
前年比 (%)	N.A.	266.3%	10.5%

出典：Summary of total expenditure of Ministries（2012 年）

国家上位開発計画（2011-2013 年）に基づく同セクターの短期目標は、次のとおりである。

- 高等教育による失業低減への貢献
- 科学研究推進メカニズムの強化
- 技術教育と短期大学への就学の拡大
- 資格認証を満たす質の高い大学の拡充

## (3) 本事業の担当部局

技術部・次官補が財務部門内の財務部・会計課と共に、本円借款事業の同省におけるサブ・プロジェクト実施運営管理を担当し、サブ・プロジェクト実施関係者との調整、および MOPIC へのモニタリング報告を担う。

<sup>4</sup> 「国別障害関連情報-ヨルダン・ハシェミット王国」 JICA 人間開発部 2006 年（平成 18 年）



### 3.1.4. 教育省 (MOE)

教育省はヨルダン国における普通教育の普及と非識字者の根絶責務を担う。同省は公立教育機関での普通教育を所轄・監督し、対象年度は早期・就学前教育、全 10 学年で構成される基礎教育、全 2 学年で構成される中等教育である。

基礎教育は無償・義務教育であり、公立校はヨルダンに居住する外国人の学齢児童も受入れを行っている。基礎教育の学校種は多様で、地域性や社会インフラリソースに因り、男女共学校、男子校、女子校、低学年校（通常 1 年生と 2 年生を対象）等がある。第 10 学年時に第 8 学年、9 学年、10 学年時の成績が取り纏められ、学術専攻（文系・理系）或いは職業教育専攻のいずれの中等教育に進むかの進路判断がされる。生徒の意向は尊重されるが、最終的に、同省が定める成績基準等により決定される。

一般的な 就学年齡	學年	水準	施設種別		
			中等総合学校	中等学术学校	中等職業教育校
16 ~	12 学年	中等教育			
	11 学年				
15	10 学年	基礎教育 (初等 + 中等 前教育)	基礎教育学校(第 1 学年 ~ 第 10 学年)		
14	9 学年				
13	8 学年				
12	7 学年				
11	6 学年				
10	5 学年				
9	4 学年				
8	3 学年				
7	2 学年				
6	1 学年				
5	年少 2	就学前教育	幼稚園		
4	年少 1				

注記：学校は 2 学期制で、8 月最終週に始まり、6 月 15 日頃に終業する。通学日数は概ね、1 学期が 187 日間、2 学期が 198 日間である。

中等教育には、理系・文系の学習を行う普通（学術系）学校のほか、学校教育志向型の職業教育校、および双方の専攻を併設した総合中等学校がある。<sup>5</sup> 第 12 学年に入ると科目ごとに毎学期実施される中等教育試験（Tawjihi）が実施されるが、これが大学進路の唯一、かつ必須の判断基準となるため、生徒と家族にとって、極めて重要なものとなっている。<sup>6</sup>

同省のもう 1 つの重要な役割として、特別なニーズをもつ児童への特殊教育の提供・監督が挙げられる。「全児童が無償・義務教育を享受する」との、同国の教育政策基本原則に基づき、省の所轄下にて、学習障害、聴覚障害、視覚障害等をもつ障害児や、特別に秀でた才能を有する児童等、特殊学習ニーズをもつ児童に向けた基礎教育校がある。<sup>7</sup>

表 3-7 MOE 所轄の効率中等教育校（11-12 学年）と公立幼稚園（2010/11 学校年）

種別	総合中等学校	職業中等学校	学術中等学校	基礎教育学校	幼稚園
共学校	40	1	312	1,292	3
男子校	46	19	466	710	0
女子校	88	0	214	242	0
計	174	20	992	2,244	3

出典：統計局及び教育省 Education Statistics Annual Report 2011

注記：上記・公立幼稚園は、幼稚園のみの運営園を示し、基礎教育学校等に併設されたものを含まない。また、教育省所轄の上記学校の他、民間運営の幼稚園が 1,412 施設ある。また、基礎・中等学校では、上記の教育省所轄校の他に、他国政府・民間・UNRWA の運営による基礎学校が 926 校、及び中等学校が 236 校ある。

表 3-8 MOE 所轄の公立特殊教育校（2010/2011 学校年）

分類	学校種別	2010-2011 学年の学校数
障害児対象	知的障害児学校	14
	視覚障害児学校	2
	聴覚障害児学校	10
秀でた才能をもつ児童対象	特別能力学校	6
	パイオニアセンター	19
	秀才児クラス	42
	計	93

出典：Special Education Program, MoE（2012 年 11 月）

教育省は現在、教育情報マネジメントシステム（EMIS）の整備に尽力しており、これによって教育統計集約、普遍教育、および、ミレニアム目標の達成度把握に努めている。EMIS は教育セクターの課題の把握にも用いられるほか、政策戦略や開発事業の特定にも活用される。EMIS は、各県配置の全事務所に既に導入されているが、適切・効率的に中央省の EMIS 課にてデータを集約できるように、省は現在、国際基準に基づいたプロ

<sup>5</sup> 職業教育は産業職種専攻(27 職種)、家庭科専攻（食品加工、縫製、育児、ヘアカット& セット、ホテルサービス）、農業専攻（家畜・植物栽培、食品加工など）の 3 専攻がある。出所：教育省・職業教育生産課 2012 年 11 月。

<sup>6</sup> 中等教育試験（Tawjihi）の合格基準は満点を 100%と算定して 50%以上の成績取得を意味する。65%以上の成績を取った生徒はどの公立大学・短大にも出願でき、55%以上 65%未満であれば（公立大学は受入れないため）、多くは私立大学へ出願する。成績が 50% 未満の生徒は、不合格扱い（大学出願資格がない）となるが、短大に出願が可能である。出所：教育省及び高等教育・科学研究省 2012 年 11 月。

<sup>7</sup> ヨルダンの特殊教育政策は、厳密なインクルージョン教育を採用していないと見られる。



グラムの充実と、データベース整備、GIS マップ整備などに係る県事務所の EMIS 能力の育成を進めている。<sup>8</sup>

## (2) 支出実績と国家上位開発計画（EDP）における短期目標

基礎教育の重要性と、就学年齢人口への対応ニーズを鑑みて<sup>9</sup>、ヨルダン国政府は同分野への支出予算を過去 2 年連続で拡大し、他省では前年比予算削減が見られる 2011 年度にも、本分野では増額となっている。

表 3-9 MOE 支出実績および支出予算額（2010 年～2012 年）

（通貨：JD）

分類	年度	2010 年 実績	2011 年 実績	2012 年 予算
資本予算（開発予算）		40,340,806	59,359,000	53,252,500
経常支出予算		550,407,640	642,895,800	668,829,000
小計		<b>590,748,446</b>	<b>702,254,800</b>	<b>722,081,500</b>
前年比 (%)		n.a	18.9%	2.8%

出典：Summary of total expenditure of Ministries（2012 年）

国家上位開発計画（2011-2013 年）に基づく、同セクターの短期目標は、次の通りである。

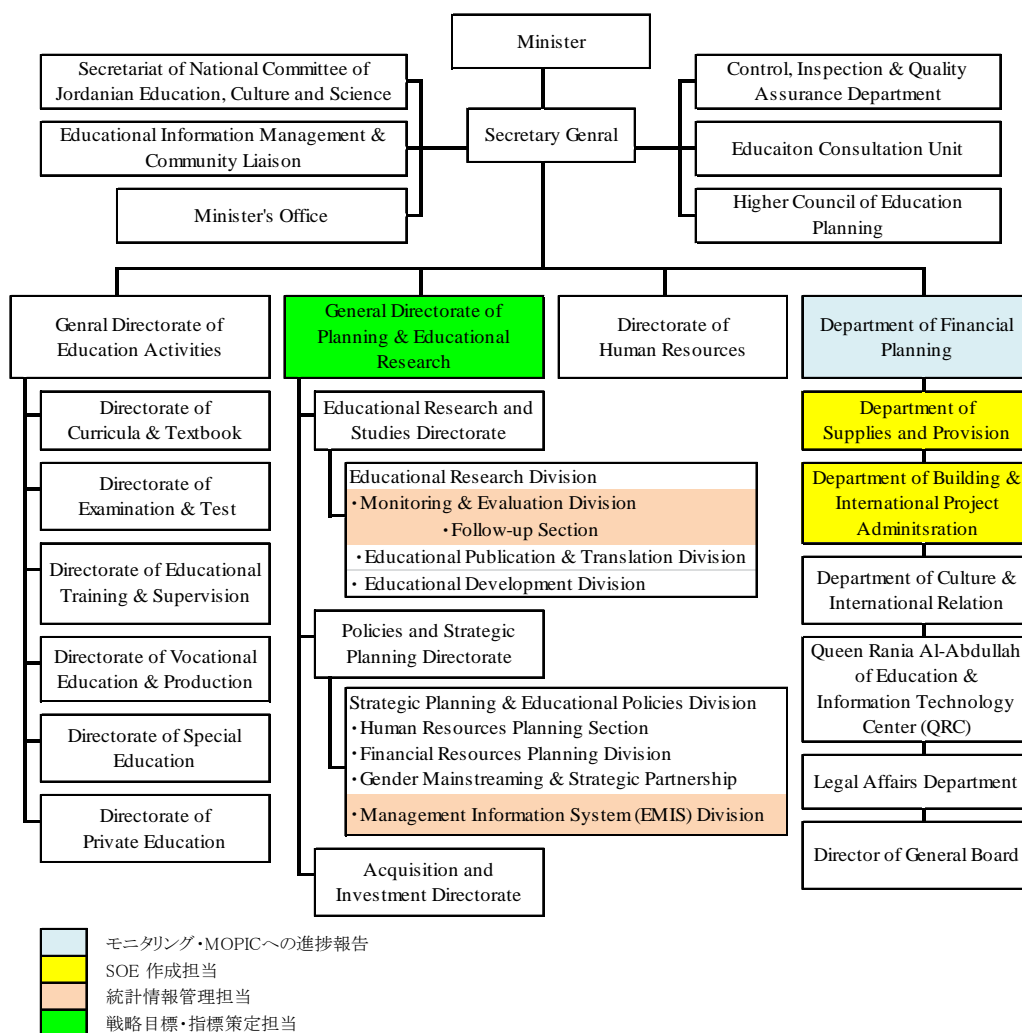
- 安全かつ適切な教育環境の提供（二部制学校、賃貸学校の削減、教室増設等）
- 就学前教育への就学の拡大
- 基礎・中等教育就学の拡大
- 基礎・中等教育における、男女格差、地域格差の是正
- 障害児、特殊才能児への特殊教育機会の拡大
- 算数・数学の学習能力向上のための教育の質向上、等

## (3) 本円借款事業の担当部局

財務計画局が、技術部門・次官とともに本円借款事業の教育セクター・サブ・プロジェクトの運営管理、サブ・プロジェクト実施関係者間の調整および MOPIC へのモニタリング報告を担当する。

<sup>8</sup> 2012 年 11 月現在で全県に 39 地方事務所を設置している。出典: List of Directorates Offices, MOE Nov.2012

<sup>9</sup> 人口増加率は 2.2%による 15 歳未満人口は、2011 年時に 37.3%を占める。出典: Annual Statistical Report 2011, DOS 2012。



出典：MOE、(2012年11月)

図 3-5 MOE 組織図 (2012 年度)

### 3.1.5. 保健省 (MOH)

#### (1) 役割・責務

保健省は、ヨルダン国の「New Public Health Law No.54/ 2002」を遵守する責務をもち、これに準拠して国内の多様な保健医療問題への対応を担う。主要業務は、疾病予防と医療サービス、保健医療施設のサービス内容や医療の質及び業績の監督、薬剤の配布と管理、患者への適切な薬剤使用の促進と、薬剤アクセスの拡大、市民への医療保険の加入促進、保健医療専門職へのインサービス及びプレサービス訓練の提供、等がある。

保健医療における施設サービスでは、病院、医療センター、地域医療クリニックを所轄・監督している。プライマリヘルスケアの施設では、1) 保健医療総合センター、2) プライマリヘルスセンター、3) 地域保健センターがある。プライマリヘルスでは、このほか、母子保健センター、呼吸器疾患クリニック、歯科クリニックがあり、更に、病院医療の分野では、ロイヤルメディカルサービス（軍病院）や民間病院と密接に協力した、保健医療サービスを提供する。

医療サービスの質、施設水準、運営・業務実績水準について、病院ごとやヘルスセンターごとでレベルが異なるために、省は現在、すべての病院とヘルスセンターが認定病院、或いはセンターとなるための基準を満たせるように、医療・施設・業務に係る、質の標準化に取り組んでいる。

表 3-10 MOH が監督する公立・保健医療施設（2011 年現在）

施設種	主な提供サービス	施設数
病院	総合ヘルスセンター及びプライマリヘルスセンターが提供する全検査・治療・サービス、多様な診療科の先進医療、救急治療、高度技術医療、入院、難病、出産サービスなど	106
総合ヘルスセンター	プライマリヘルスセンターが対応する全疾患検査・治療とサービス、専門医療（小児科、産婦人科、内科、形成外科、耳鼻咽喉科、眼科）、救急、入院治療など	86
プライマリヘルスセンター	基礎医療・予防医療、乳幼児ワクチン接種、歯科医療、学校保健サービス、食品衛生検査・簡易疫学調査、など	371
地域ヘルスセンター	地域市民へのプライマリヘルスケア（プライマリヘルスセンターより小規模地域）、健康促進活動、保健・疾患・出生・死亡等情報の提供など	220
母子保健ケアセンター	妊産婦ケア、胎児・新生児ケア、乳幼児ケア、リプロダクティブヘルスサービスなど	435
歯科クリニック	歯科検査・治療など	12
胸部心臓疾患クリニック	心臓・肺・呼吸器等の検査および疾患の治療など	377

出典: MOH Web homepage、および、2012 and Health system profile of Jordan、WHO（2006 年）

保健医療サービス市場と、同分野での経済成長の観点から、ヨルダン国政府は公立病院における観光医療の促進を図っており、病院のソフト面・ハード面の改善を進めている。観光医療は、同省にとって新規の開発分野であるとともに、比較的治安が安定しているヨルダン国にて高度医療を希望する外国人患者の受け入れを促進するという、国際的ニーズも高まりつつある分野となっている。<sup>10</sup>

## (2) 支出実績と国家上位開発計画（EDP）における短期目標

国内の経済成長の低迷にともない、保健省の過去 2 年における年度支出予算は、縮減傾向にあり、特に、資本（開発）支出予算の縮小が顕著である。

表 3-11 MOH の支出実績および支出予算額（2010 年～2012 年）

(通貨: JD)

分類	年度	2010 年 実績	2011 年 実績	2012 年 予算
資本予算(開発予算)		76,599,235	89,230,345	66,865,250
経常支出予算		364,480,721	345,881,000	363,385,900
小計		<b>441,079,956</b>	<b>435,111,345</b>	<b>430,251,150</b>
前年比 (%)		N.A.	△1.4%	△1.1%

出典: Summary of total expenditure of Ministries、(2012 年)

国家上位開発計画（2011-2013 年）に基づく、保健医療セクターの短期目標は次のとおりである。

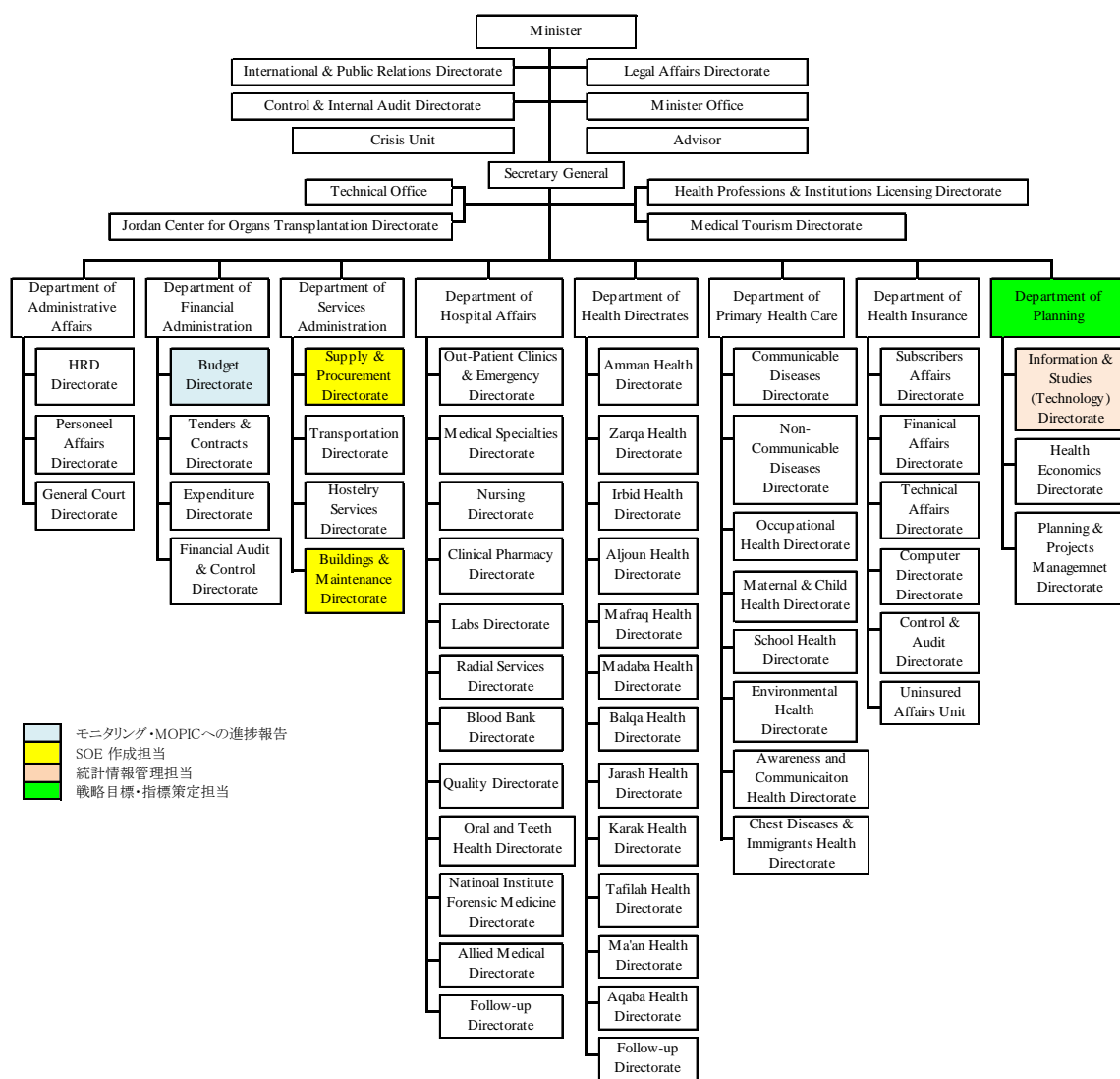
- 評価認証を受けた、病院施設数の増加
- 保健医療セクターの、人材規模の拡大

<sup>10</sup> 周辺諸国でのヨルダン医療の質の評価は良好で、2008 年時の病院収入の 32%が、外国人患者による診療収入であるとされる。出典: MoH 2012 年 11 月

- 保健医療セクター財源の活用に係る効率化
- 慢性疾患（非感染症）の、疾病要因の縮減
- リプロダクティブケア、家族計画の利用率の向上

### (3) 本事業の担当部局

財務管理部内の予算課が、保健医療セクター・サブ・プロジェクトの実施運営管理と、実施関係者の調整、および、MOPIC へのモニタリング報告を担う。



出典：MOH（2012年11月）

図 3-6 MOH 組織図（2012 年度）

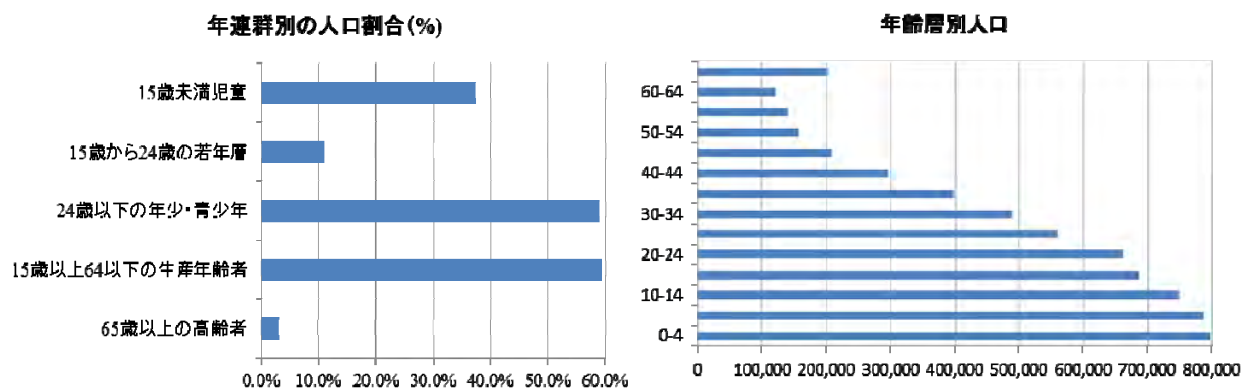
### 3.2. 横断的テーマにおける社会状況の概観

#### 3.2.1. 人口動態

##### (1) 年齢群別人口

ヨルダンの人口は、2011 年時に約 620 万人で、増加率は 1994 年時の 4.2%、2006 年時の 2.4%から、2010 年には 2.2%へと急速に縮小した。高齢化率（65 歳以上割合）は 3.2%である。

15 歳未満の人口は 37.3%（3,018,280 人）、25 歳未満の人口は 58.9%（3,680,160）を占め、生産年齢人口（15-64 歳）が 59.4%（3,916,520）と、割合が大きく、経済活動可能人材の比率は高い。



出典：Annual Statistical Report 2011, Department of Statistics（2012 年）

図 3-7 年齢群人口割合 (%) と年齢層別人口

表 3-12 県別の人口と人口密度

県	人口	割合 (%)	面積(km2)	密度/ km2
アンマン	2,419,600	8.5	7,579	319
バルカ	418,600	1.3	1,120	374
ザルカ	931,100	5.4	4,761	196
マダバ	156,300	1.1	940	166
イルビット	1,112,300	1.8	1,572	708
マフラック	293,700	29.9	26,551	11
ジェラッシュ	187,500	0.5	410	457
アジュローン	143,700	0.5	420	342
カラック	243,700	3.9	3,495	70
タフィラ	87,500	2.5	2,209	40
マアーン	118,800	37.0	32,832	4
アカバ	136,200	7.8	6,905	20
全国平均	6,249,000	100	88,794	70

出典: Department of Statistics, Jordan Statistical Yearbook 2011（2004 年世帯調査からの人口増加率 2.2%に基づく）

##### (2) 障害者人口

2004 年国勢調査による障害者の割合は 1.2%（男性 60.4%、女性 39.6%）であるが、ヨルダン国では障害統計が整備されていないこと、障害定義が標準化されていないこと、学校・保健施設での障害評価が制度化されていない等から、WHO は、少なくとも 3.8%のヨルダン人が、定義によっては 10%のヨルダン人が、何らかの障害をもつと推定している。

国勢調査による年齢群別の障害者割合は 15～34 歳の若年層がもっとも高く（38.3%）、続いて 5～14 歳の年少・学齢児童（22.9%）である。<sup>11</sup>

表 3-13 年齢群別の障害者割合（2004 年世帯調査）

年齢群	4 歳未満	5 - 14 歳	15 - 34 歳	35 - 59 歳	60 歳以上	計
割合(%)	6.3	22.9	38.3	20.6	12.0	100

出典：2004 Census, Department of Statistics（「情報収集整備調査報告書」からの 2 次ソース）

### (3) シリア難民

2011 年 3 月に勃発したシリア内紛によって周辺国に逃れた難民数は、2012 年 9 月現在で、27 万 8,392 人に上り（UNHCR 発表）、南の隣国ヨルダンにも多くの難民が入国している。2012 年 9 月末時の、ヨルダン国における UNHCR 登録者数は、10 万 2 千人を超えた。<sup>12</sup> UNHCR に登録しない難民を含めた場合には、さらに人口規模は多いものと推測されており、ヨルダン国政府・難民事業広報室によれば、2011 年 3 月以降にヨルダン国に入国したシリア難民は、約 40 万人と見積もられる。<sup>13</sup>

UNHCR の試算では、2013 年 1 月時において緊急の支援ニーズをもつシリア難民は約 25 万人に上り、うち多くの家族世帯が、乳幼児・学齢児童を抱えているとされる。<sup>14</sup>

2012 年 7 月に発表された MOPIC と国連等支援機関共同による「国内シリア難民ニーズ調査」によれば、シリア難民世帯が最も集中しているのは、国境近く、及び、大都市を有するアンマン、イルビット、続いてマフラック県である。

## 3.2.2. 労働市場・雇用

### (1) 国内総生産（GDP）概観

ヨルダン国は現在中所得国に位置付けられ、「国連 2010 年人間開発レポート」では人間開発指標について全 189 ヶ国中 82 位、アラブ 17 か国中の 8 位にランクされている。

表 3-14 ヨルダンの国内総生産（GDP）概要

項目	2007 年	2009 年	2011 年	2012 年 第 1 四半期
実質 GDP 成長率（%）	8.2	5.5	2.6	3
国民一人当たり GDP 額（US\$）	3108.6	3994.5	4628.2	N.A.
産業・工業セクターの GDP 貢献率（%）	25.7	24.7	24.9	23.1
サービスセクターの GDP 貢献率（%）	70.5	71.0	70.6	72.6
農業セクターの GDP 貢献率（%）	3.8	4.3	4.5	4.3

出典：Main Economic Indicator, National Economic Division, Policies & Strategies Directorate, MOPIC, 2012 年 9 月改訂版

<sup>11</sup> 「障害情報整備調査：ヨルダン・ハシミテ王国」 JICA 2009 年

<sup>12</sup> UNHCR-Jordan <http://www.unhcr.org/> February 2013

<sup>13</sup> The Jordan Times, February 25, 2013

<sup>14</sup> Ibid. UNHCR.

## (2) 経済参加率

過去20年における経済発展は、経済国としてヨルダンの国際認知度を高めた一方で、ヨルダン人の生産人口における経済参加率は2008～2009年より伸びておらず、2009年の40.1%から、2011年には39%に落ち込んだ。女性の経済参加率の低さが顕著であり、男性62.8%に対し、女性は14.7%に留まる。雇用創出数は2009年より大きく減少しており、雇用政策における大きな問題となっている。

近年の貿易融和・開放に向けた経済政策は、輸出産業と貿易経済地区での移民労働者増加の引き金となった。全創出雇用数に占める移民労働者の雇用割合は、2011年には29.5%に達し、労働吸収力と雇用創出力の高い優良認定産業地区（QIZ）での被雇用者割合では、外国籍（移民）労働者割合が伸び続けており、2011年には被雇用者数の78.7%を占めている。このように、雇用においてはヨルダン人労働者と移民労働者の競合関係がみられる。

表 3-15 経済参加度と雇用率

指標	2006	2007	2008	2009	2010	2011
経済参加率全国平均	37.7%	39.8%	39.5%	40.1%	39.5%	39.0%
男性	36.1%	64.4%	64.0%	64.8%	63.5%	62.8%
女性	11.9%	14.7%	14.2%	14.9%	14.7%	14.7%
雇用創出数	35,166	70,356	69,092	76,316	62,813	65,686
移民労働者の就労数	289,724	313,962	303,325	335,707	298,342	280,263
全雇用数に占める移民労働者の割合	23.6%	23.9%	22.6%	23.9%	21.2%	29.5%
QIZ* における雇用数(人数)	54,062	50,048	43,072	33,082	35,941	36,643
QIZ の就労者における移民労働者の割合	68.5%	73.5%	75.6%	75.4%	77.4%	78.7%
QIZ の就労者におけるヨルダン人の割合	31.5%	26.5%	24.4%	24.6%	22.6%	21.3%

出典：2011 Annual Report, Ministry of Labor 2012。2011年の雇用創出数は DoS 2012。

2011年時に就労ビザを有し正規就労する外国籍者は計280,263人、うち90%が学士の資格を有しない基礎技能労働者である。最も多い国籍はエジプト（68%、190,480人）、続いてインドネシア（5.5%、15,545人）、フィリピン（5.1%、14,157人）、スリランカ（0.9%、2,576人）、シリア（0.7%、1,852人）で、産業別では製造業（34.5%）での就労がもっとも多く、続いて農業（32.8%）、サービス業（29.6%）などである。<sup>15</sup>

## (3) 失業

失業率は2011年時に前年より悪化し12.9%に達した。懸念されるのは27%に上る若年層（15～24歳）の失業率の高さで（男性23%、女性45%）、世界平均12.7%をはるかに上回る。<sup>16</sup>

学歴と技術資格は就労に大きく影響し、中等教育水準を満たさない学歴者の失業率は55.2%に上り、学士水準の学歴・資格を有しない者の失業率は34.2%である。<sup>17</sup>

<sup>15</sup> 2011 Annual Report, Ministry of Labor, 2012

<sup>16</sup> Global Employment Trends 2012, ILO 2012

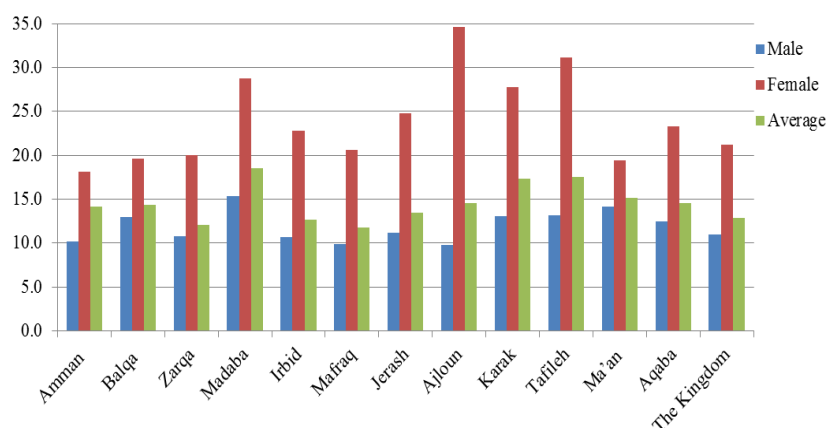
<sup>17</sup> 学士を持たない者の失業に係る情報の出典は、Jordan Statistical Yearbook 2011 and Employment and Unemployment Survey- Annual Report 2011, Department of Statistics, 2012

表 3-16 失業率 (%)

指標	年	2006	2007	2008	2009	2010	2011
失業率 (全国平均)		14.0%	13.1%	12.7%	12.9%	12.5%	12.9%
男性平均		11.9%	10.3%	10.1%	10.3%	10.4%	11.0%
女性平均		25.0%	25.6%	24.4%	24.1%	21.7%	21.2%
中等教育資格を持たない者の失業率		62.7%	58.0%	58.1%	56.9%	54.4%	55.2%

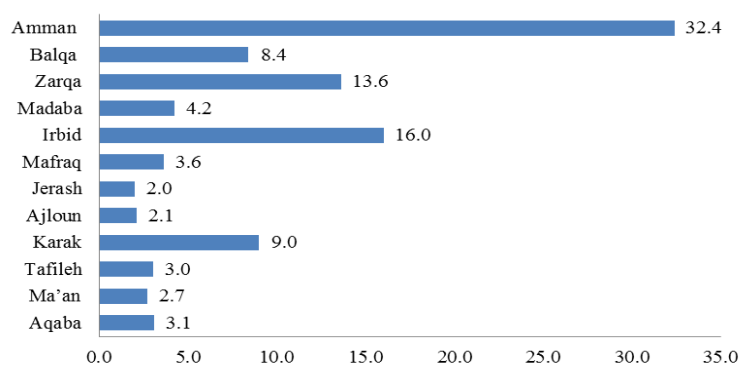
出典：2011 Annual Report, Ministry of Labor (2012 年)

県別では、大都市アンマンやイルビットの失業率は他県より比較的低いが、それでも11%を超える。両県は人口比率が大きいいため失業者人口は多く、2012 年第三四半期の全失業者の32.4%がアンマン、16%がイルビットの住民である。



出典: Employment and Unemployment Survey- Annual Report 2011, Department of Statistics 2012

図 3-8 県別・失業率 (%) (2010 年)



出典: Employment and Unemployment Survey- Annual Report 2011, Department of Statistics 2012

図 3-9 全失業者人口に占める県別失業者人口の割合 (%) (2012 年第 3 期)



### 3.2.3. 家計・貧困

#### (1) 世帯支出

2010 年時の全世帯の平均月収は、男性が JD 403、女性が JD 359 である。最低賃金（月額）は 2012 年 2 月に過去 3 年継続していた JD 150 から JD190 に増加したが、物価上昇と比較するとまだ十分な上昇とは言えない。<sup>18</sup> 世帯の年間家計支出をみると、最も平均支出額が大きいのはアンマン県で、これは同県の平均所得額の高さとともに消費者物価の平均的高さが影響している。県別での最高支出平均額と最低支出平均額の格差が最も大きい費目は、医療費（5.9 倍差）、教育費（3.8 倍差）で、基礎サービスにおける地域間格差がみられる。<sup>19</sup>

表 3-17 世帯員の年間支出

(通貨: JD)

県	食品	タバコ・酒	衣類	住居	交通・通信	教育	医療	個人活動(趣味)	文化・娯楽・スポーツ活動	他	支出計(JD)
アンマン	738.8	82.2	74.6	630.8	389.7	147.1	60.4	64.2	31.0	52.6	2,271.4
バルカ	532.9	75.9	30.9	359.3	299.7	112.7	31.0	47.4	7.1	27.6	1,524.5
ザルカ	572.5	78.5	56.9	356.7	251.5	68.1	44.0	51.3	21.7	16.5	1,517.7
マダバ	647.0	106.9	54.9	338.0	172.0	51.4	14.9	50.2	9.8	5.0	1,450.1
イルビット	557.0	80.0	59.7	359.6	278.1	77.2	20.8	49.3	25.7	27.8	1,535.2
マフラック	503.2	65.2	53.9	301.3	210.1	50.2	19.0	39.9	18.1	29.2	1,290.1
ジェラッシュ	697.0	72.6	80.0	333.5	268.9	77.8	26.3	51.9	18.8	14.1	1,640.9
アジュローン	451.0	64.9	50.3	286.4	232.2	76.3	10.3	43.1	15.5	22.8	1,252.8
カラック	685.6	88.1	76.0	348.9	290.0	91.1	19.4	60.2	21.3	35.8	1,716.4
タフィラ	531.0	76.4	52.6	334.3	179.5	49.7	17.5	44.2	12.1	10.7	1,308.0
マアーン	437.9	57.8	51.8	320.0	205.3	38.9	19.6	42.6	8.7	9.2	1,191.8
アカバ	550.2	71.0	46.8	409.3	201.8	62.8	15.8	34.2	13.3	19.3	1,424.5
全国平均	575.3	76.6	57.4	364.8	248.2	75.3	24.9	48.2	16.9	22.6	1,510.3

出典: Households Expenditure & Income Survey 2010, Department of Statistics 2011

#### (2) 貧困

ヨルダンは、貧困削減において過去 10 年大きな成長を遂げており、ミレニアム開発目標が定める国際絶対的貧困ライン（1 日 1 ドル）以下の人口割合について、1998 年から 2008 年の 10 年間に 1% にまで半減し<sup>20</sup>、政府が算定する貧困線以下の人口割合についても、1997 年の 21.3%から 2008 年には 13.3%にまで低減した。<sup>21</sup> 他方、2006 年から 2008 年にかけて、僅かな悪化が見られる。

表 3-18 ヨルダンにおける貧困線と貧困率

年	1997 年	2002/2003 年	2006 年	2008 年
ヨルダン貧困線	JD 366 (US\$ 516)	JD 392 (US\$ 553)	JD 556 (US\$ 785)	JD 680 (US\$ 960)
貧困率	21.3%	14.2%	13.0%	13.3%

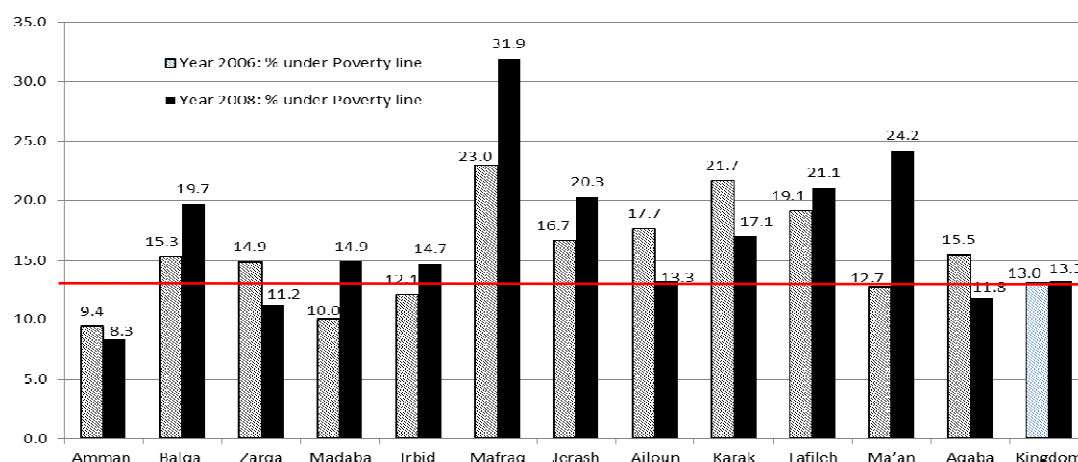
出典: Poverty Assessment、Main Economic Indicators、MOPIC（2012 年 9 月）

<sup>18</sup> 最低月給は 2006～2008 年は JD110、2009～2011 年は JD150 である。出典: 2011 年迄の情報について 2011 Annual Report of Ministry of Labor, July 2012, MOL、2012 年時の情報について MOL HP (2013 年 3 月)。

<sup>19</sup> Households Expenditure & Income Survey 2010, Department of Statistics 2011

<sup>20</sup> 2nd National Millennium Development Goal Report, Jordan 2010, MOPIC and UN 2012

<sup>21</sup> ヨルダン国の貧困率は、世帯支出等から算定される貧困線以下の人口、即ち等価・可処分所得が国民の等価可処分所得の中央値の半分に満たない国民の割合を示す。貧困線は収入が生活に必要な最低限の物を購入できる最低限の収入水準にあることを表し、一人の成人が 1 年間に最低限に必要な物の購入費用を積み立てて算定している。



出典：2006 年のデータについては Outlook on Jordan – Economy Situation during FY 2011, JICA Jordan Office (second source from DoS Report 2006)、2008 年のデータについては Report of Poverty Status in Jordan “Based on the Household Expenditures & Income Survey Data 2008”, Department of Statistics of July 2010 より。

図 3-10 貧困率 (%) (貧困線以下の人口割合)

2008 年以降に考慮されうる貧困調査がないため最近の状況を判断できないが、世帯支出額の地域間格差と同様に、貧困率にも地域間格差がみられ、マフラク県は 2006 年及び 2008 年の双方で貧困率が最も高い県である。マフラク、マダバ、タフィラ、マアーン県などでは、上述の貧困率と世帯支出額の双方の情報から、貧困化傾向が推測される。

### 3.3. 対象セクターの現状分析

#### 3.3.1. 職業訓練セクター

ヨルダン国政府は、2008 年以降の経済停滞や失業者増に対応するため、国家雇用戦略を 2011 年に発表し、移民労働者の雇用抑制、若年層をターゲットとした自国人の就労拡大、自国人の障害者の就労機会拡大等に取り組んでいる。貧困地域での訓練機会の提供や雇用拡大は、同戦略の重要な活動である。さらに政府は、職業訓練・技術教育が産業・市場ニーズに基づく技能育成の場となり、かつ自国人労働者の競争力を高めることを狙いとして、高等教育・科学研究省、教育省、経済産業省、職業訓練公社等と協力した、新たな技術訓練・職業教育の資格認定制度の創設を進めている。<sup>22</sup>

こうした中で、職業訓練公社 (VTC) は、若年層の職業訓練を担う基幹組織であり、全国 44 の訓練校を通じて、産業職種別に、180 の実技・就労志向型の訓練プログラムを提供している。1976 年設立以降の訓練実績は、2011 年時に 30 万名に達した。訓練校は 16 歳以上の青少年から壮年層までを幅広く受入れている。また、中等教育試験の結果により公立大学や短大への入学資格がない子女も出願できることから、技能労働者を目指す青少年の受け皿として重要な役割を担う。

期間 1 年を超えるフルタイムプログラムのほか、数時間～数日間の多様な短期プログラムがあり、プレサービスとインサービス双方で、青少年と成人を対象とした多様なプログラムを設けている。入学者は年々増加しており、2011 年度の訓練登録者数は、10,078 人に上る。

<sup>22</sup> 現在、e-TVET 審議会の主導で、技術訓練プログラムの評価と資格認証制度の整備が進められている。同カウンシルは MoL を議長 (代表) として、高等教育・科学研究省、保健省、通商産業省、職業訓練公社などがメンバーである (e-TVET カウンシルへの聴き取り、2012 年 11 月)。

表 3-19 2011 年時の職業訓練校登録者数

レベル	専門技術職 (Craftsman)	熟練技能職 (Skilled)	准熟練技能職 (Semi-skilled)	専門技術職 (Craftsman)	短期・ アップグレード	登録者計
男性	124	3,947	595	1,324	719	<b>6,709</b>
女性	335	1,038	943	213	849	<b>3,378</b>
小計	<b>459</b>	<b>4,985</b>	<b>1,538</b>	<b>1,537</b>	<b>1,568</b>	<b>10,087</b>
割合	4.6%	49.4%	15.2%	15.2%	15.5%	100%

出典：VTC Annual Report 2011, VTC (2012 年 7 月)

注記：上記数値には職業訓練公社が所轄する他 3 種の訓練校（労働安全衛生校、指導員訓練校、自動車運転士訓練校）の登録数は含まない。

2011 年の修了生（2009 年以前の登録者）は、5 つのプログラムで計 6,442 人である（男子 4,139, 女子 2,323）。プログラム別の修了生数は、工芸コース 265 人、技工コース 2,668 人、準技工コース 1,182 人、レベル 1・ディプロマコース 857 人、短期・アップグレードコース 1,490 人である。<sup>23</sup>

更に、上記 5 プログラムのほか、労働安全衛生訓練校、指導員訓練校、自動車運転士訓練校の 3 種の専門訓練校があり、上級者を対象とした短期訓練プログラムを提供している。

表 3-20 2011 年度のプログラム別・職業訓練校卒業生（2009 年以前登録者）

レベル	専門技術職 (Craftsman)	熟練技能職 (Skilled)	准熟練技能職 (Semi-skilled)	専門技術職 (Craftsman)	短期・アップ グレード	登録者計
男性	78	2,077	480	789	732 *	<b>4,156</b>
女性	187	591	702	68	758	<b>2,306</b>
小計	<b>265</b>	<b>2,668</b>	<b>1,182</b>	<b>857</b>	<b>1,490</b>	<b>6,462</b>
割合	4.1%	41.3%	18.3%	13.3%	23.1%	100%

出典：VTC Annual Report 2011, VTC (2012 年 7 月)

注記：上記数値には職業訓練公社が所轄する他 3 種の訓練校（労働安全衛生校、指導員訓練校、自動車運転士訓練校）の登録数は含まない。

表 3-21 2011 年度の短期専門訓練校の卒業生数

学校名	卒業生数
労働安全衛生校	476
指導員訓練校	1160
自動車運転士訓練校	821

出典：VTC (2012 年 11 月)

労働市場への新規参入若年層の人口増や、中等教育試験における不合格者の人口規模（中等教育・第 12 学年卒業生の約 40%）もあり、技能労働人材の育成媒体としての VTC のニーズは高い。過去数年の訓練生受入れ充足率は 100%を上回り、指導員あたりの訓練生数が定員を超過するプログラムもある。2011 年の訓練登録生の大幅な増加からも、訓練環境の量的拡大が、求められている。<sup>24</sup>

<sup>23</sup> VTC Annual Report 2011, VTC 2012

<sup>24</sup> VTC への聴き取り (2012 年 11 月)

訓練の質的向上もまた、取り組むべき事項である。VTC 訓練校・卒業生の就労率は、2011 年時には前年を下回り、過去 5 年間に大きな向上が見られていない。障害をもつ訓練生の就労率は更に低く、2007 年以降に向上が見られるものの、2011 年時は 35%に留まる。又、職業訓練センター卒業生の、就業先での（雇用者の）卒業生（被雇用者）についての満足度は、72%であることから、訓練生の技能レベルの底上げを図る必要がある。

表 3-22 VTC 訓練校卒業生の雇用率

年	2007 年	2008 年	2009 年	2010 年	2011 年
VTC 卒業生の雇用率 %	72.2%	74.6%	74.6%	75.0%	74.3%

出典：Executive Development Program 2011-2013: 2011 Progress Report, MOPIC（2012 年）

表 3-23 全訓練生における障害者の割合

年	2007 年	2008 年	2009 年	2010 年	2011 年
障害者の占める割合	20.0%	20.0%	20.0%	30.0%	35.0%

出典：Executive Development Program 2011-2013: 2011 Progress Report, MOPIC（2012 年）

就労率や雇用先満足度の問題は、経済停滞に伴う雇用創出数の減少や就労競争の激化などの外的要因と併せて、急速に変化する産業構造や技術・活用機材の変化に対応した訓練プログラムが整備されていない、或いは、ラボ、機材の更新がされていない、といった、内的要因の双方がある。<sup>25</sup>

雇用促進の分野では、労働省が IT 技術を用いた求人・求職登録と、同省地域事務所でのキャリアカウンセリング等を合せた国家雇用サービス事業を 2004 年に開始しており、2006 年までは成果が見られるが、2007 年以降には毎年縮小してきており、サービス量の拡大と質的改善が、課題といえる。<sup>26</sup>

とりわけ、失業率が高く、かつ、雇用創出数の限られている貧困地域や県においては、職業訓練機会の提供と、雇用の創出、就労の斡旋という、3 つの側面における取り組みが総合的に働くメカニズムを培う必要がある。

表 3-24 労働省に登録する求職者雇用率（労働省斡旋サービスによる）

年	2006 年	2007 年	2008 年	2009 年	2010 年	2011 年
労働省斡旋サービスによる雇用率	62%	49%	36%	31.40%	32%	29.50%

出典：Executive Development Program 2011-2013: 2011 Progress Report, MOPIC（2012 年）

こうしたことを背景に、労働省では、地域における雇用促進業務の拡大を図ることを狙いとして、地域局の情報マネジメント業務に係る能力向上を目指しており、かつ、他の関係組織<sup>27</sup>とのネットワークの拡大に取り組む意向を見せている。

しかしながら、2012 年度の同省支出予算は 4.2%減となっており、事業拡大や継続において、財源確保が困難な状況にある。

<sup>25</sup> Ibid.

<sup>26</sup> 2006 年以降の斡旋率低下の理由として、登録者数増に対し斡旋側のマンパワーやサービス量が伸びていないこと、大学・短大進学者増に伴い省の斡旋事務所ではなく大学等の情報・斡旋サービス利用者が増えたこと、省事務所を利用せず直接民間等への就職活動をする人口が増えたこと、等が考えられる。

<sup>27</sup> 関係省庁は産業・通商省、内務省、職業訓練公社、社会保護省、NGO など。

### 3.3.2. 高等教育セクター

ヨルダン国政府は、同国において高い人口構成率を占める若年層・青少年人口（24 歳以下人口 59.8%、15-24 歳人口 11.0%）<sup>28</sup> に対する人材の育成が、経済・社会発展のための効果的投資であると認識しており、高等教育就学者を拡大する努力を続けている。政府の支出予算は 2011 年度には前年比 266.3% 増しとなり、今年度には、前年比 10.5% 増しで、過去 2 年の支出予算のこうした伸びからも、同セクターの優先度の高さがうかがえる。

ここ数年の特記される進展は、大学・短大の新規設立、高等教育機関によって構成される高等教育審議会と大学評価認証審議会設立に係る取り組みなどのほか、新高等教育法（New Higher Education Law, Law No.41 / 2001）の成立<sup>29</sup>、更に、高等教育評価認証に係る取り組み、科学研究の推進、経済的に困窮する有能な学生への奨学金プログラムの提供、若者の革新的アイデアを支援する工学インキュベーターの設立、などが挙げられる。又、全大学での、運営管理業務のコンピューター化については、EMIS の効率化と併せて、政府の優先目標の一つである。これに係り、2011 年度には、コンピューター化を導入する大学の割合は、目標の 75%に達した。<sup>30</sup>

大学・短大数は、2011 年度に、公立・私立の両方あわせて計 132 校であり、学部課程と修士課程の両課程を設置している大学の数は 28 大学で、学部学生の 2012 年度の就学登録数は 22 万 6,713 名である。学士卒業生の専攻別割合をみると、商学・経営管理学科（19.8%）、工学科（14.3%）、人文・宗教学科（14.1%）、数学・コンピューター学科（8.1%）、パラメディカル学科（6.5%）、自然科学科（4.7%）、薬学科（3.1%）、等である。卒業生の男女比は、男子が 45%、女子が 55%となっている。

表 3-25 2010/2011 年度の学部卒業生数（公立・私立）

プログラム種	公立・私立大学の卒業生数					
	男性	割合	女性	割合	計	割合
教育・教員養成	904	4.3%	4,675	18.5%	5,579	12.1%
人文・宗教	1,879	9.0%	4,653	18.4%	6,532	14.1%
芸術・美術	876	4.2%	417	1.6%	1,293	2.8%
法律	1,105	5.3%	385	1.5%	1,490	3.2%
社会科学・人間行動学	582	2.8%	957	3.8%	1,539	3.3%
商務・経営管理	5,436	26.1%	3,712	14.7%	9,148	19.8%
マスコミュニケーション・ジャーナリズム	228	1.1%	225	0.9%	453	1.0%
体育	427	2.0%	346	1.4%	773	1.7%
自然科学	678	3.3%	1,512	6.0%	2,190	4.7%
数学・コンピューター学	1,775	8.5%	1,949	7.7%	3,724	8.1%
医学	448	2.1%	244	1.0%	692	1.5%
歯学	131	0.6%	210	0.8%	341	0.7%
薬学	400	1.9%	1,025	4.0%	1,425	3.1%
パラメディカル	1,240	5.9%	1,781	7.0%	3,021	6.5%
エンジニアリング・工学	4,235	20.3%	2,386	9.4%	6,621	14.3%
建築・都市計画	194	0.9%	323	1.3%	517	1.1%
農業	256	1.2%	450	1.8%	706	1.5%
獣医学	13	0.1%	12	0.0%	25	0.1%
サービス業	39	0.2%	66	0.3%	105	0.2%
総計	20,846	100%	25,328	100%	46,175	100%

出典: Annual Statistical Report 2011, MOHSR

<sup>28</sup> Jordan Statistical Yearbook 2011, Department of Statistics 2012

<sup>29</sup> 同法は現在改訂法案が審議を待つ段階。新・改訂「新法」が成立すれば、バルク応用大学が現在担う短大の監督業務は高等教育・科学研究省に委譲される。高等教育・科学研究省によれば、法案の通過は 2013 年の 3 月頃になる見込み。出所: Interview with MoHESR, November 2012.

<sup>30</sup> Executive Development Program 2011-2013: 2011 Progress Report, MOPIC, 2012

政府は、新規・大学や短大を設置するなど、ヨルダン人青少年が国内の大学・短大へ進学できよう促す取り組みを行ってきており、統計からもその成果がうかがえる。同国は、周辺アラブ諸国を中心とした、国外青少年への高等教育についても重要な役割を担っている。ユネスコ統計による 2009 年時の外国人学生登録数は、2 万 6,637 人に上り、これは年間就学登録数の約 10%を占めている。<sup>31</sup> 又、2011 年以降には、「アラブの春」及びシリア内紛を契機とした、シリア、エジプト、リビアからの転入学生の急増があるとされる。<sup>32</sup>

表 3-26 外国で学ぶヨルダン人留学生

学年度	外国で学ぶ学生数	前年比増減
2000/2001	23,003	0.8%
2001/2002	25,329	10.1%
2002/2003	19,221	△24.1%
2003/2004	17,727	△7.8%
2004/2005	16,974	△4.2%
2005/2006	17,220	1.4%
2006/2007	16,753	△2.8%
2007/2008	19,696	14.9%
2008/2009	20,854	5.6%
2009/2010	19,451	△7.2%
<b>2010/2011</b>	<b>14,613</b>	<b>△33.1%</b>

出典：Data of 1998/99 to 2009/10 from DoS and MOHESR, Data of 2010/2011 from MOHESR (2012 年 10 月)

表 3-27 ヨルダンの大学で学ぶ外国人留学生 (2010/2011 年度、上位 10 か国)

出身国	留学生数
パレスチナ自治区	7,755
サウジアラビア	4,350
イラク	3,363
イスラエル	2,913
シリア	1,810
クウェート	1,661
オマーン	1,051
イエメン	969
バーレーン	739
エジプト	411

出典：UNESCO (2012 年)

高等教育への進学率は伸びているものの (2012 年時は 9.6%)<sup>33</sup>、2011 年時の短大進学率は、政府目標を下回り前年の 12.7%から 11%に減少した。高等教育年齢人口が増加していることと、公立大学出願・進学有資格者 (中等教育試験合格者) の割合が減少するのに伴って、短大への進学希望者数そのものは増加していると見られるが、現在の学生受入れ数は十分なものではない。又、高等教育全体での総就学率は 41%にとどまり、イスラエルの 63%、レバノンの 53%など、周辺国に比して尚も低い状況にある。<sup>34</sup>

<sup>31</sup> Global Education Report 2012, UNESCO 2012

<sup>32</sup> MOHESR への聴き取り (2012 年 11 月)

<sup>33</sup> Ibid.

<sup>34</sup> Ibid. UNESCO

更に、高等教育は、競争力・生産力ある産業人材を輩出して、経済社会を活性化するという重要な役割をもつが、2010年－2011年時の大学卒業者の失業率は15%、短大卒業者の失業率は12%で、夫々政府の目標（14.5%、11.5%）を下回った。

こうした就学率の停滞や、就労への効果の停滞の理由としては、多様な事項が考えられる。すなわち、高等教育年齢人口が急増していること、進学希望者数に対して高等教育機関の受入れ規模が十分でないこと、既存の教育プログラムが産業界へ有効な技能を十分に提供するものとなっていないこと、産業界との連携によって実践的技術応用を可能とする科学研究が不足していること<sup>35</sup>、高等教育政策策定のための情報管理システムが全大学で十分に普及していないこと、雇用創出数が十分でないことなど、内的・外的双方での要因が指摘できる。特に、中等教育卒業生人口の急増がある北部地域や、経済的理由で進学できない（貧困家庭の）中等卒業生が多い貧困地域などでは、公立大学・短大において学生受入れ数の規模を拡大するニーズや、新規の公立大学・短大を設立するニーズが高まっている。<sup>36</sup>

政府は、産業界で労働人口吸収力の高いと考えられる職業に係る専門技術教育を拡大して、競争力のある人材を育成することと、雇用率を改善すること、及び、大学・短大卒業生の就職率を上げることなどを目指しており、このために、技術系短期大学の新規設立や工学教育・研究機材のアップグレード、科学研究の刷新など取り組みを進める計画があるが<sup>37</sup>、財源の確保が大きな課題となっている。

### 3.3.3. 教育セクター<sup>38</sup>

ヨルダンにおける学齢児童・青少年人口は、15歳未満人口37.3%、20歳未満人口48.3%にのぼり<sup>39</sup>、政府は基礎・中等教育（第1学年～第12学年）を政府投資の基盤分野とみなしている。1990年には、無償基礎教育期間を9年から10年と延長して、純就学率を1990/1991年時の86.7%から2008/2009年には97.6%に高めるなど<sup>40</sup>、全人教育の実現に向けた顕著な成果をあげている。又、早期教育を重視して、就学前教育（2年制幼稚園）の総就学率向上を、国家上位開発計画の短期目標の一つに掲げており、2011年度には目標値を上回った。<sup>41</sup>

他方、こうした進展にもかかわらず、全人教育の実現と就学前教育の普及は、なおも政府の課題である。幼稚園就学率については2009年以降に大きな進展が見られものの、いまだ50%代に留まっている。識字率については、過去5年に順調に向上してきたものの、2011年には、男女生産年齢人口の識字率が、政府目標（15歳以上女性90.7%、16歳以上男性96.5%）をわずかに下回り、成人女性識字率に関しては、低下傾向にある。<sup>42</sup>

<sup>35</sup> MOHESRによれば、科学研究の約80%以上は、理論的学術研究であり、この理由の一つとしては、実践的・実験的研究を可能とする研究機材が十分に整備されていない。

<sup>36</sup> 高等教育科学研究省への聴き取り（2012年11月）

<sup>37</sup> Technical Education Sector in Jordan, prepared by Munther Bataineh, Secretary General Assistant, MOHESR, October 2012

<sup>38</sup> Education to be discussed here includes general pre-school, basic and secondary education and special education for children with special needs.

<sup>39</sup> Jordan Statistical Yearbook 2011, Department of Statistics 2012

<sup>40</sup> Executive Development Program 2011-2013: 2011 Progress Report, MOPIC, 2012

<sup>41</sup> Ibid. ERfKE プログラム (Programme of Economy Reform for Knowledge for Knowledge Economy)は2003年に開始された教育セクターにおける政府の代表的モデル開発プログラムである。

<sup>42</sup> Ibid.

表 3-28 就学前教育（二年制・幼稚園）の総就学率（%）

目標指標	2006	2007	2008	2009	2010	2011
全国平均	33.0	39.7	51.80	56.0	57.0	58.0
開発途上地域（貧困地域・農村部）	16.0	16.5	18.0	49.1	51.0	52.0

出典：Executive Development Program 2011-2013: 2011 Progress Report, MOPIC（2012 年）

表 3-29 識字率（%）

目標指標	2006	2007	2008	2009	2010	2011
識字率（15 歳以上）	90.7	92.1	92.3	92.5	92.8	93.3
失業率（15 歳以上、女性）	95.1	95.7	95.9	89.6	89.7	90.1
失業率（16 歳以上、男性）	84.7	88.4	88.6	98.3	96.3	96.4
失業率（15~24 歳男女）	92.7	99.1	99.0	99.0	99.2	99.2

出典：Executive Development Program 2011-2013: 2011 Progress Report, MOPIC（2012 年）

基礎教育の純就学率は、全国平均で 100% に達しておらず、地域格差も見られる。純就学率が最も高いのはカラック県（99.5 %）で、続いてタフィラ県（99.3%）である。イルビット県（96.8 %）、ジェラッシュ県（93.8%）、マフラック県（94%）、マアーン県（95.8%）、アカバ県（95.5%）では、全国平均（97.6%）を下回る。女子の純就学率が最も低いのはマフラック県で、同県は、貧困率が高くかつ貧困ギャップも大きい地域である。

43

表 3-30 基礎教育の純就学率

県	男性（%）	女性（%）	平均（%）
アンマン	97	99	98
バルカ	95	97.5	96.3
ザルカ	97	97.8	97.4
マダバ	99	100	99.5
イルビット	95.8	97.8	96.8
マフラック	96	92	94
ジェラッシュ	94.5	93	93.8
アジュローン	99	99	99
カラック	99	100	99.5
タフィラ	98.5	100	99.3
マアーン	95.5	96	95.8
アカバ	95	96	95.5
全国平均	97.5	97.7	97.6

出典：Keeping Promise and Achieving Aspiration: 2nd National Millennium Development Goal Report, Jordan 2010, MOPIC and UN 2010

中等教育の内部効果と質の問題は、もう 1 つの大きな課題である。生徒の学習能力を高めて高等教育進学者を増やすことが政府の目標であるが、中等教育は、この目標に貢献できていない。中等教育試験（Tawjihi）の合格率（スコア 50% 以上の成績）は、2001 年時には、政府目標の 59.8 %を達成せず、約 40%の生徒が公立大学・短大への出願資格を満たす成績を得ていないことになる。政府は、とりわけ数学を、産業界で活躍する基

<sup>43</sup> Keeping the Promise & Achieving Aspirations: 2nd National Millennium Development Goal Report, Jordan 2010



盤教科と見做しているが、ヨルダン人生徒の国際数学理科学習達成度試験（TIMMS）の数学スコアは 427 点（2007 年試験）であり、世界平均（500 点）を下回る。<sup>44</sup>

表 3-31 中等教育試験（Tawjihi）の合格率

年	2006	2007	2008	2009	2010
合格者の割合（％）	46.8%	46.2%	50.1%	50.8%	51.0%

出典：Executive Development Program 2011-2013: 2011 Progress Report, MOPIC（2012 年）

障害児の教育アクセスは、極めて厳しい。2004 年の人口世帯調査（国勢調査、ヨルダン統計局）によれば、5 歳～15 歳児の 22.9% が何らかの障害をもつが、障害児のうち特殊教育に就学できている児童は、2010 年時において全体の 9.3%に過ぎず、これは一般教育の就学率と大きな格差がある。<sup>45</sup>

表 3-32 特殊教育プログラムを受けられる障害児童の割合

年	2006	2007	2008	2009	2010
割合	11.2%	11.5%	12.0%	6.5%	9.3%

出典：Executive Development Program 2011-2013: 2011 Progress Report, MOPIC（2012 年）

以上に述べた、就学アクセスや学習達成度の問題は、学校数・教室数・幼稚園が不足していることや、学校施設が授業や学習環境に応じたものでないこと、カリキュラムを満たす教育機材がないこと、学校施設が教育環境に適したものでないことなど、居住地域の教育インフラや教育現場のハードウェアの状況に、大きく起因している。

学齢児童数に対応した教育を提供するには、学校数・教室数が足りないことから、フルタイムや一部制授業を実施できずに二部制授業を行う学校があり、2011 年時にはこうした二部制学校は 248 校で、二部制学校で学ぶ生徒の割合は、実に 11.1 % にものぼる。又、公立学校の 33.6% は、賃貸建物による学校であるため、学習カリキュラムに対応した教室や実験室を備えていない。こうした賃貸建物で学ぶ生徒は、全体の 10.5% に至る。

就学前教育では、公立の幼稚園施設が極端に少なく、このため、経済的に余裕のない家庭は、子どもを私立の幼稚園に通園させることは容易ではない。

更に、障害児教育については、公立の障害児学校は、2011 年現在で 26 校に過ぎず、このため NGO や民間経営の障害児学校に通学させる保護者が多くいるとともに、経済力のない家庭や、通学可能な距離に学校がない家庭では、障害児を一般学校に通学させるか、学校教育を諦めざるをえない状況があることから、早急な対策が求められている。<sup>46</sup>

### 3.3.4. 保健医療セクター

近年ヨルダンは、市民の健康増進やプライマリヘルスケアの分野で、大きな進展を遂げた。2011 年時には、1990 年時に 69 歳であった平均寿命は 73 歳（男性 71.6 歳、女性 74.4 歳）に伸び、2006 年時に十万人当たり 41 人であった妊産婦死亡率について 19 人に低減し、2%であった結核死亡率は 0.9%にまで低減した。

<sup>44</sup> Trends in International Mathematics and Science Study Report 2011, International Education Assessment

<sup>45</sup> Ibid. MOPIC, and Basic Information on Disabilities in the Jordan Hashemite Kingdom (revised version), JICA 2009

<sup>46</sup> 教育基本法と政府の EFA 方針により公立学校は障害児の入学を許可する義務がある。

表 3-33 基礎保健指標

年	2007	2008	2009	2010	2011
合計特殊出生率（出生 1,000 人あたり）	29.1	28	29.1	30.1	28.9
平均寿命（男女平均）	73	73	73	73	73
結核・死亡率	1.5%	1.0%	1.0%	0.8%	0.9%
妊産婦死亡率（出産 100,000 人あたり）	41	19.1	19.1	19.1	19.1
乳幼児死亡率（児童 1,000 人あたり）	19	19	23	23	23

出典：Annual Statistical Report 2011, MOH（2012 年）

ヨルダン国政府は、市民が遠方に転院することなく居住地域で必要な保健医療サービスを受けられるように、国内全域への公的・地域医療サービスの普及を進めている。2009 年には、政府一般財源の 8%、対 GDP 比 6.59%の公的医療支出によって、保健医療施設と人材の拡大に取り組んだ。2007 年から 2009 年には新規の 2 病院が建設され（1 院は児童医療専門病院）、及び、37 のプライマリヘルスケアセンターが建設された実績は、特記される。

プライマリヘルスケアは、3 種のセンター（総合センター、プライマリケアセンター、地域保健センター）において国内全域に提供されており、2011 年時の施設数は、計 679 に上る。このほか、母子保健ケアセンターが 435 施設、歯科医院が 377 施設、胸部疾患センターが 12 施設ある。病院は計 106 施設で、うち 31 施設が保健省の所轄であり、ロイヤルメディカルサービスによる軍病院が 12 施設、大学病院が 2 施設<sup>47</sup>、私立病院が 61 施設ある。2011 年時の病院ベッド数は、一万人あたり 19 で、最も多いのはアンマンの 27（計 52 病院）、カラック県の 19（計 6 病院）、続いてイルビット県の 18（計 17 病院）である。1 万人あたり病院ベッド数が最も少ないのはマフラック県の 8（計 4 病院）、ジェラッシュ県の 9（計 2 病院）、及び アジュローン県の 9（1 病院）である。都市部と農村部の地域間格差が、顕著である。

表 3-34 病院ベッド数（10,000 人あたり）

県	病院ベッド数(計)	ベッド数（1 万人当たり）
アンマン	6455	27
バルカ	665	16
ザルカ	1020	11
マダバ	188	12
イルビット	1951	18
マフラック	235	8
ジェラッシュ	170	9
アジュローン	130	9
カラック	457	19
タフィラ	120	14
マアーン	203	17
アカバ	207	15
全国平均	11,801	19

出典：Annual Statistical Report 2011, MOH（2012 年）

医療人材の分野では、看護師の増員が特記され、過去 5 年間に順調な伸びを見せている。他方、医師数は 2011 年に 1 万人あたり 25.5 人であるが、過去 5 年は減少傾向にあり、医師の確保が課題である。

<sup>47</sup> 大学病院はJordan University Hospital (Amman) とKing Abdullah Hospital (Irbid)である。

表 3-35 医療従事者数（10,000 人あたり）

職種	2007	2008	2009	2010	2011
医師	26.7	24.9	24.5	26.5	25.5
認定看護師（学士取得者）	15.0	16.3	20.3	23.1	25.6
看護師（ディプロマ取得者）	4.7	5.7	5.8	6.1	6.7
准看護師（ディプロマ取得者）	10.7	7.9	9.9	9.3	8.2
歯科医	8.5	8.7	7.3	9.3	9.8
薬剤師	14.1	13.2	14.1	15.0	12.8
助産師	3.2	3.3	3.0	3.4	3.2

出典：Annual Statistical Report 2011, MOH（2012 年）

プライマリヘルスケアは充実しつつあるが、妊産婦ケアや乳幼児ケアなど母子保健の充実、現在もヨルダンの課題である。5 歳未満の乳幼児死亡率は安定しておらず、2010 年には出生 1,000 児あたり死亡率が前年の 28 人から 26 人に改善したものの、2006 年及び 2007 年の 21 人からは悪化している。また、2011 年時の 1 歳児時点の麻疹予防接種率は 97%に、ポリオ接種率は 96%（OPV3 が 95%、OPV4 が 97%）であるが、2009 年比では、双方とも接種率が低下した。<sup>48</sup>

年少人口・若年層人口の構成比は大きい、社会様式の現代化による生活習慣の変化と緩やかな高齢化によって、今日のヨルダンは、感染症に取り組む社会から多様な癌疾患や糖尿病、心臓疾患等の非感染症(慢性疾患・生活習慣病)に取り組む社会へと移行しつつあり、病院施設での高度医療診断や治療のニーズが高まっている。

疫学的移行期の課題として、乳幼児予防接種などの基本的な周産期・乳幼児ケアやリプロダクティブケアを今後も持続すること、病院の高度医療技術のレベルアップを図ること、医師・看護師など医療人材を増員すること、現代的疾患に対応する治療薬の普及とアクセス向上を図ること、検査・診断・手術・血液バンク・解剖分析などを目的とした医療・検査機材・設備を充実させること等が、必要な事項として指摘される。

同セクターにおける、このほかの特記事項としては、医療施設の業務・治療業績を基準とした施設認証のテーマがあげられる。高度医療を品質管理し、医療技術の標準化を図るために、政府は医療施設における情報管理のコンピューターシステム化に取り組んでいるところであるが、業務・治療双方分野でのコンピューター化を導入した医療施設は、2011 年時において 1 施設に留まることから、今後もさらに投入が必要な分野といえる。

### 3.3.5. セクター別課題と対策

前節にて述べた横断的社会状況及びセクター状況分析から抽出された課題、特記される原因、有効と考えられる対策は、以下のとおりにまとめられる。

#### (1) 人材育成・雇用促進

##### 1) 職業訓練

セクター課題	特記される原因	有効と考えられる対策	選定案件に直接関わる対策
VTC の訓練効果が十分でない ・訓練生の訓練満足度が不十分 ・修了率が 100%に達していない	・訓練登録数が定員過剰である ・訓練ラボ・機材が旧式で、産業現場の機材との格差がある	・訓練校の増設・新規設立 ・産業界の技術に合せた訓練ラボと機材のアップグレード	○

<sup>48</sup> Annual Statistical Report 2011, MoH 2012

セクター課題	特記される原因	有効と考えられる対策	選定案件に直接関わる対策
<p>(中退率は 15%)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・修了生の就労率が低い</li> <li>・障害者訓練生の就労率が十分でない</li> <li>・修了生雇用者の満足度が不十分</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・訓練プログラムでは、内容が旧来で、産業ニーズの技術に合致しないものがある</li> <li>・技術訓練における指導員の指導能力が不十分である</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・産業界のニーズに合わせた、訓練プログラムの刷新（改訂）</li> <li>・指導員訓練の拡大・指導員の指導技術の向上</li> </ul>	○
<p><u>貧困地域住民における女性の訓練機会が限られている</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・貧困率の高い地域は失業率も高い傾向がある</li> <li>・農村部では女性が遠方(居住コミュニティの外)で訓練受講・就労するのが難しい</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・貧困家庭は経済力がないために、職能を得るための、訓練受講経費を支払えない</li> <li>・貧困地域では、貧困家庭の子女が訓練を受けられる施設が十分でない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・貧困地域での職業訓練機会の提供</li> <li>・貧困地域での就労サービスの拡大</li> <li>・貧困家庭若年層への訓練・就労機会をできる職業訓練・就労支援工場など施設の設立</li> <li>・民間企業との OJT-就労クォーター制などパートナーシップの拡大</li> </ul>	○ ○ ○
<p><u>政府の雇用促進サービス効果が不十分である</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・就労斡旋サービスの提供において地域間格差がある</li> <li>・雇用促進サービスへの登録数が低迷している</li> <li>・雇用促進サービス利用者の就業率が急速に低下している</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・貧困地域での就労斡旋・キャリアカウンセリングサービスが極めて不足している</li> <li>・政府の就労斡旋サービス量が増えていない</li> <li>・労働省の雇用促進情報マネジメントシステムが停滞している</li> <li>・労働市場に新規参入する若年層人口が急増している</li> <li>・雇用創出数が伸びていない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・貧困地域での就労サービスやキャリアカウンセリングの量的拡大</li> <li>・雇用促進サービスの量的拡大のための IT ネットワークに係るインフラ整備</li> <li>・労働省及び関係組織間の IT ネットワークに係るインフラ整備</li> <li>・関連省庁間との協力による、産業ニーズ調査の実施</li> <li>・民間企業との協力連携拡大</li> <li>・雇用の創出</li> <li>・全域での職業斡旋・キャリアカウンセリングサービスの拡大</li> <li>・ヨルダン人若年層への、高度な職能と競争力育成訓練機会の提供</li> <li>・労働市場の、新規職の創出</li> </ul>	○ ○ ○ ○

## 2) 高等教育施設改善

セクター課題	特記される原因	有効と考えられる対策	選定案件に直接関わる対策
<p><u>高等教育機関への受入れ規模が十分でない</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・貧困地域では高等教育進学率は都市部との格差がある</li> <li>・ヨルダン人短大進学率が伸びていない</li> <li>・高等教育総就学率が十分でない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・貧困家庭の学生が通学可能な高等教育施設が十分でない</li> <li>・急増する短大進学志願数に対し短大が不足している</li> <li>・急増する大学進学志願者数に対し大学が不足している</li> <li>・外国人就学生の割合が高くなっている</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・貧困地域における、高等教育施設の拡充・新設</li> <li>・全域の、大学・短大の拡充・新設</li> <li>・中等教育の学習達成度の向上（中等教育試験 Tawjihi 合格者数の増加）</li> </ul>	○ ○
<p><u>高等教育プログラムが産業ニーズに十分に合致していない</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大学卒業生の失業率が高い</li> <li>・短大卒業生の失業率が高い</li> <li>・多くの大学が資格認証要件を満たしていない</li> <li>・実践的・実験的な科学研究が十分になされていない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大学・短大の教育プログラムが産業界で応用可能な実践的技術習得に繋がっていない。</li> <li>・短大教育の専攻に技術系教育が少ない（人文に偏り）</li> <li>・実践的・実験的な科学研究のための機材が不足している</li> <li>・科学技術研究の約 80%以上が理論研究であり、産業・経済効果のための実践的な研究が十分に実現されていない</li> <li>・多くの大学で学術・運営管理業務でのコンピューターシステム導入が不十分である</li> <li>・高等教育政策策定のための統計整備が不十分である</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・産業ニーズと労働市場に合致させるための、大学教育プログラムの刷新・改革</li> <li>・高等教育機材の整備</li> <li>・科学研究と産業界の連携拡大による、実践的研究の拡大</li> <li>・科学研究機材の整備</li> <li>・技術系短大の設立</li> <li>・大学業務（学術及び運営管理）のコンピューターシステム化のための IT インフラ整備</li> <li>・高等教育政策に必要な高等教育情報マネジメントシステム（EMIS）拡大のための IT インフラ整備</li> </ul>	○ ○ ○ ○

## (2) 社会インフラ改善

### 1) 初等・中等・特殊教育施設改善（就学前・基礎・中等）

セクター課題	特記される原因	有効と考えられる対策	選定案件に直接関わる対策
就園・就学の地域間格差が大きい ・就園率の低さ ・純就学率は100%を達していない ・識字率が向上していない（15歳以上女性は悪化） ・普遍教育が実現されていない	・公立幼稚園の極端な不足 ・早期教育への理解の不足 ・家計・経済力の地域格差 ・基礎・中等学校の不足 ・中退者・非識字成人を受け入れる識字教室の不足	・幼稚園の増設・新規設立 ・就学前教育についての啓発活動 ・基礎・中等学校の拡充 ・貧困・低就学率地域での学校建設 ・識字教室の教育機材の整備 ・識字教室の建設	○  ○ ○ ○
教育の内部効果・効率性が不十分 ・中等教育試験合格率低さ ・数学科（TIMSS）の成績が世界平均を下回る ・中等教育卒業生の就労率の低さ	・一教室当たり生徒数の過剰 ・不適切な教育・学習環境（貸貸学校・二部制学校が多い） ・教師の教授能力の質的問題 ・地域局の学校への教育指導が十分でない ・中等教育政策の改善に要する調査・統計が不足している	・基礎・中等教育学校の建設 ・基礎・中等教育学校の教室の増設 ・カリキュラムの刷新 ・教師の教授能力向上の訓練 ・教育地域局の能力向上の訓練 ・政策策定のための中等教育調査の実施 ・教育統計(EMIS)IT インフラ整備	○ ○     ○
特殊ニーズをもつ子（障害児・秀才児）が適切な教育を受けられない ・障害児の特殊教育プログラムへの就学率が極めて低い ・秀才児の特殊教育プログラムへの就学率が極めて低い	・特殊教育プログラムを提供する学校が少ない ・特殊教育プログラムが十分に開発されていない ・特殊教育プログラムを実施できる教師が少ない ・特殊教育プログラム策定に要する統計が整備されていない	・障害児学校の施設拡充・教室増設 ・特殊才能児学校の拡充・教室増設 ・特殊教育機材の整備 ・特殊教育プログラム開発 ・特殊教育教師の増員（育成） ・特殊教育統計（EMIS）に資するIT インフラ整備	○ ○ ○  ○

### 2) 保健医療施設改善

セクター課題	特記される原因	有効と考えられる対策	選定案件に直接関わる対策
プライマリヘルスケアが全市民に行き届いていない ・プライマリヘルスケアの地域間格差が大きい ・乳幼児死亡率が悪化している ・乳幼児予防接種率が、低下している	・年少人口が急増し、既存のプライマリヘルスケア施設数は十分でない。 ・予防接種ワクチン配布が十分でない。	・産前・産後ケア、母子保健サービスの拡充 ・貧困地域でのプライマリヘルスケア施設の建設 ・予防接種ワクチン配布の拡大	○
病院診療サービスが全市民に行き届いていない ・病院医療アクセスの地域間格差が大きい ・病院治療のために遠方に転院せざるを得ない患者が多い ・市民1万人あたりベッド数の地域間格差が大きい	・貧困地域では、病院施設数が不足している ・疾患治療薬が全域に十分に配布されておらず、アクセスの地域格差がある ・慢性疾患治療薬の量・配布の増加に対して、高度医療を提供できる病院が不足している	・貧困地域および1万人あたりベッド数が少ない地域での病院施設の拡充・新規建設 ・病院医療機材のアップグレード ・治療薬の配布拡大・運搬システムの改善（運搬車輛の整備）	○  ○ ○
標準化された高い質の医療ケアに満たない医療施設がある ・評価認証条件を満たす病院、医療センターは、未だ少数である（全体の1.8%～3.1%）	・省による病院の監督・指示活動が不十分である ・業務の完全コンピューターシステム化は、全医療施設に導入されていない	・医療施設モニタリング車輛の整備 ・医療業務・運営管理業務の双方の業務改善のためのITインフラ整備	○ ○
医療専門人材が不足している ・医師数が伸びていない ・看護師数はまだ十分でない（ニーズが高まっている）	・国外医療機関に就職する医師が増加している ・慢性疾患患者が急増している ・病院ケアを必要とする患者人口の伸びに対して、医師・看護師養成数が十分でない	・医療専門職人材の育成 ・医療専門職養成学校への施設拡充 ・医療専門職養成学校の教育機材の整備	○

上記分析から、本件円借款事業による支援活用が可能なセクター別の取り組み概要は、以下のとおりに把握できる。

### 本円借款事業における主要な取り組み分野と目的

セクター	取り組み・目的
職業訓練	<ul style="list-style-type: none"> <li>・産業要請・技術ニーズに基づく VTC プログラム刷新に資する、訓練ラボと訓練機材のアップグレード</li> <li>・貧困削減と失業者低減のための、貧困地域における職業訓練と就労支援サービスの拡大、</li> <li>・貧困家庭の子女や若年層を対象とした、キャリアカウンセリング・就労支援サービスの拡充に資する、IT インフラ改善</li> </ul>
高等教育施設改善	<ul style="list-style-type: none"> <li>・貧困家庭青少年の高等教育就学促進に資する、貧困地域での大学・短大施設の拡充、</li> <li>・高等教育における実践技術の習得と就労効果に資する、産業ニーズの高い技術分野での教育・研究機材のアップグレード、</li> <li>・高等教育政策立案に資する、省・大学・短大間の EMIS 導入とネットワーク拡大</li> <li>・大学・短大の評価認証を促進するための、学術・運営管理業務のコンピューターシステム化・IT インフラ改善</li> </ul>
初等・中等・特殊教育施設改善	<ul style="list-style-type: none"> <li>・就学前教育の地域格差是正に資する、幼稚園の拡充、</li> <li>・学齢児童増加率の高い貧困地域を中心とした、賃貸学校・二部制学校の縮減のための、学校施設と教室の拡充、</li> <li>・中等教育の学習達成度向上のための、中等教育機材の整備、</li> <li>・特別なニーズをもつ児童の特殊教育プログラムへのアクセス向上に資する、特殊教育学校施設と教室の拡充、</li> <li>・貧困地域に特に見られる非識字者の根絶と、識字教育の向上に資する識字教育機材の整備。</li> </ul>
保健医療施設改善	<ul style="list-style-type: none"> <li>・プライマリケア・アクセスの地域格差是正のための、貧困地域におけるプライマリヘルスセンターの拡充、</li> <li>・母子保健（妊産婦の産前・産後ケア、及び、乳幼児ケア）の地域間格差是正に資する、プライマリヘルスセンター施設と医療機材のアップグレード、</li> <li>・病院医療アクセス地域間格差是正に資する、病院施設の拡充と医療機材の整備、</li> <li>・医療専門職の養成拡大に資する、養成学校施設への教育機材整備、</li> <li>・医療施設の評価認証の促進に資する、診療・運営管理業務への IT インフラ整備。</li> </ul>

## 4. 會計監理業務





## 4. 会計監査業務

### 4.1. 会計・調達の現状

#### 4.1.1. 本円借款事業の会計・調達の仕組みの概要

本円借款事業の目的はヨルダン国の開発ニーズを支援すると共に、我が国の ODA 方針に基づき、ソフト・コンポーネントよりもインフラ整備を優先的に支援することである。

本円借款事業における全ての支援は、次のヨルダン国の条例と法令に従い、実施される。

- i) 政府工事条例第 71 条（1986 年）
- ii) 1993 年供給法第 32 条（1993 年）

は本円借款事業の調達方式として、現地競争入札（LCB）が適用される。各サブ・プロジェクトの契約は現地通貨による契約のみが用いられている。

また、本円借款事業の支払い手続きには、スペシャル・アカウント方式が適用されることが、JICA およびヨルダン国政府双方にて合意されている。ディスバースメントとリプレニッシュメントは、ヨルダン国側から JICA に提出される支払概要書（SOE）に基づき、指定されたスペシャル・アカウントを介し実施される。この SOE は、円借款事業における支払い手続きのために必要な情報を包含し、会計と支払いの妥当性を保証するために独立した監査役によって毎年監査される必要がある。

#### 4.1.2. ヨルダン国における調達方法の現状

ヨルダン国における公共事業に関するすべての入札は、①施設建設等インフラ整備と技術的サービスの提供（研究、技術開発、設計、監理等）を担う公共事業・住宅省（以下「MPWH」）傘下の政府入札庁（以下「GTD」）、②機材・家具調達およびそれに関わる技術的サービスの提供を担う財務省（MOF）傘下の政府調達庁（以下「GSD」）の下、実施される。

表 4-1 GTD と GSD の現状

GTD（政府入札庁）	GSD（政府調達庁）
<b>概要</b>	
1982 年に設置。本庁長官は閣議決定で任命される。公共事業・住宅省（MPWH）大臣直属機関。	本庁長官は閣議決定で任命される。財務省（MOF）大臣（MOF）直属機関。
<b>設立目的</b>	
<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 本庁担当責務の近代化と促進に資する電子化システムの開発準備およびその普及（入札担当機関・契約者等へ）</li> <li>2. 本庁内の財政および事務管理の電子化</li> <li>3. インターネット上での本庁の全情報開示を目的とする翻訳</li> <li>4. インターネットでの許認可承認、契約者分類証明書、およびコンサルタント資格取得証明書を発行するための法整備</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 本庁の一般方針の策定</li> <li>2. 現行の供給法に基づく、他省庁からの要請機材・家具等の購入</li> <li>3. 他省庁の共通消耗品および予備品の保管</li> <li>4. 本庁の発展に資する研究の実施</li> <li>5. 供給品の維持管理の手法策定を目的とする他省庁との協調</li> <li>6. 政府資金の有効活用（購買時の条件下における最安値での最高品質の入手）</li> <li>7. 提示価格による現地産品入手の優先</li> <li>8. 国内企業および応札者の優先</li> </ol>
<b>業務／責務</b>	
<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 契約者およびコンサルタントのランク付け、資格付与・認証化、および各機関の情報更新</li> <li>2. 政府関連業務（技術サービスの提供を含む）の入札管理と分析</li> <li>3. 中央入札委員会と建設部門の最高委員会のための秘書業務の遂行</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 消耗品の管理とその方針の実施手段のための一般方針の説明</li> <li>2. 条例に基づく消耗品の購入</li> <li>3. 共通消耗品および予備品の中央倉庫での保管、必要に応じた省庁への配布、および省庁間で交換のための他省庁の共通消耗品と予備品の維持管理</li> </ol>

GTD (政府入札庁)	GSD (政府調達庁)
<p>4. 契約・技術サービス契約・実施要項・入札手続きの遂行のための一般条件および特有条件の標準化、および現行法、規則および指示に基づくこれらの条件と手順の策定</p> <p>5. 建設部門、建設資材費および労務費に関する定期的な情報公開</p>	<p>4. 機材・家具等管理の向上のための研究の実施</p>
<b>政府関連業務条例</b>	
「1986 年政府工事条例第 71 条」(1987 年 1 月 1 日施行)	供給法第 32 条 (1993 年施行)
<b>調達手順</b>	
<b>A. 契約の形態と規模</b>	
JD10 万以上のすべての契約は、GTD を通じて入札され、JD10 万に満たない契約は、本庁の入札委員会または現地の入札委員会他により行われる。一段階・二札入札方式が採用されている。	JD1 万以上のすべての供給品は、GSD を通じて購入され、JD1 万 JD に満たない供給品の購入は担当大臣の下、実施される。 提案書による要請と消耗品の直接の購買の 2 つの方法がある。通常は、一段階・二札入札方式を採用するが、場合によっては、一段階・一札入札方式と技術価格評価 (QCBS) も採用される。
<b>B. 入札公示と資格審査</b>	
GTD は、少なくとも 1 日以上、GTD の公式ウェブサイトの電子メディアを含む 2 紙以上の地方紙で、入札公告を公表しなければならない。 通常、入札の種類と規模にふさわしいカテゴリーに分類された業者が入札に招かれるため、現地競争入札では事前資格審査は行われていない。	GSD は、少なくとも 1 日以上、GTD の公式ウェブサイトの電子メディアを含む 3 紙以上の地方紙で、入札公告を公表しなければならない。 通常、応札者の事前資格審査はないが、応札者は産業貿易省によって交付される商業登記または登録証明書を提出することが求められている。
<b>C. 入札図書</b>	
入札図書は、入札の募集、入札指示書、入札の様式、契約の様式、契約条件、技術仕様、数量明細書および図面等から構成される。 標準的な入札の募集、入札指示書、入札の様式、契約の様式、契約条件は GTD から提供される。また、ヨルダン国においては基本的に、FIDIC に基づく契約条件が適用されている。 技術仕様、数量明細書、図面は、設計コンサルタントにより準備され、入札前に MPWH に承認される。	入札図書は、入札の募集、入札指示書、入札の様式、契約条件、供給品の仕様から構成される。 供給品の仕様は、受益部門によって準備され、GSD は、購入予定供給品の条件と仕様を審査する。 なお、PC の仕様は、国家情報技術センターにより審査される。
<b>D. 開札・入札評価・契約</b>	
入札の準備および応募に与えられる時間は、価格提案のプロジェクトの場合は 30 日間、技術提案と価格提案のプロジェクトの場合は 45~60 日間である。 GTD は開札を生中継し、本庁のインターネット・ウェブサイトで視聴できるよう、入札会場の整備を予定している。 中央入札委員会は長官が議長を務め、次のメンバーから構成されている：財務省の代表、省庁の代表、管轄部門の 2 人の代表と大臣により任命される 2 人の個人。 技術委員会は、受益部門の職員、GTD の調達担当職員、監査局の職員を含む 7~9 人で構成される。 通常、入札は価格提案だけで実施され、最も低価格かつ無条件で入札の仕様と条件を完全に満たす応札者が落札となる。 技術委員会は、入札評価および落札価格が最低価格であることを示す評価報告書を準備する。本報告書は、中央入札委員会により審査される。	入札の準備および応募に与えられる時間は、2 週間以上 45 日間以内である。 GSD は入札を生中継し、本庁のインターネット・ウェブサイトで視聴できるよう、入札会場の整備を予定している。 中央入札委員会は政府調達庁長官により率いられ、他には産業貿易省の代表、財務省の代表、競争入札会計部の会計監査役の代表に加えて民間入札委員会からの 2 人の委員により構成される。 委員会は、入札、再入札招待またはキャンセルに関する決定権等、購入活動における最大限の権限を有す。 技術委員会は、受益部門職員、GTD の調達担当職員、監査局の職員より構成される。 技術委員会は、入札評価と応札価格が最低であることを示す評価報告書を準備する。本報告書は、中央入札委員会により審査される。 落札者の名前、落札価格、供給者の名前と住所、契約金額を含む主要な落札内容は GSD により公表される。
<b>D. その他</b>	
契約遂行中の追加業務と数量が契約金額の 25%を上回り、かつ、その金額が施工業務：JD5 万以下、設計業務：JD1 万以下、施工監理業務：JD1 万 5 千以下の場合、本庁により契約変更が命じられる。	①本契約より 60 日間以上の遅延の場合、あるいは、②仕様が本契約に適合しない場合、GSD が受益部門を支援し、再入札等の処置が講じられる。

出典：JICA 調査団作成

### 4.1.3. ヨルダン国における会計監査の現状

#### (1) ヨルダン国の会計監査局の概要

##### 1) 設立背景等

ヨルダン国の会計監査局（以下「AB」）の設立は、国民の政治・経済・立法上の発展により 3 つの段階を経てきた。

第 1 段階は、トランスヨルダン首長国で「会計監理部門」が設立された 1928 年 1 月に遡る。その業務はトランスヨルダン首長国家の会計監査に及んだ。1930 年末頃には、この部門は 1930 年 8 月 9 日付の官報第 271 条で発令された閣僚令に従って「会計監査部門」に置き換えられた。

第 2 段階は、「会計監査法」が発布された 1931 年に遡る。この法に従い、トランスヨルダン首長国の憲法第 19 条に基づいて、会計監査部門が設立された。この部門の責務は、収益・支出・保証金とローン（国の財政部門に登録される特別な資金を含む）に関連した政府会計を調査することであった。この法律には、監査部門は首相に配属されると記されている。しかし、これは続かず、本局は 1939 年に財務省に配属された。その後 1942 年から 1949 年までは、本局は再び首相に、1949 年には財務・経済省に配属された。これは 1952 年まで続いた。「会計監査法」は、会計監査局法第 28 条が発出された 1952 年まで適用された。

第 3 段階は、1952 年 1 月 8 日に遡る。ヨルダン国憲法の発布と同時に、AB 設立の第 3 段階が始まった。本憲法第 119 条には「会計監査法は国の収益、および支出と出費方法を監視することを目的とする」と記されている。

この条項を踏まえて、1952 年会計監査局法第 28 条は、1952 年 4 月 16 日付けの官報で発出された。この法律は、その公告日の 1 ヶ月後に施行された。過去 50 年間にこの法律は 5 回改正された。これらの改正は、行政活動と共に、ヨルダン国がこの間に経験した経済・社会発展の増加に伴うものであり、監視方法、目的と範囲、その適用と利用技術の要求の進歩を含むものであった。

AB の発展は、独自の目的を達成することを目的とし、先進国の監査を手本として、会計監査の分野における地域ならびに国際的な成長に合わせて進んだ。改正の多くは、経済と情報技術の分野の成長に伴って行われた。会計監査局法は 2002 年に改正された。

この改正は、2002 年の暫定法第 3 条によるものであった。この改正は、以下を含むいくつかの項目を含む。

- 支払い後の会計監査。総計が JD5 千以上を上回る場合は支払い前に監査を行うというこの改正前は、他の手順も首相の承認が必要。
- 財政的な監視に加えて、AB によって実施される新たな審査として管理的監視を導入。この制定以来、AB は、財政的な問題に関する行政決定と手順の管理的監視を実施。
- 管轄官庁と協調した成果モニタリングの導入と共に環境法の適用を確実にするための環境監視の導入。
- 公共機関を含む AB の業務領域の拡大
- 専門家や特定の専門知識を要する問題に精通した専門家への意見聴取権利の付与
- 監査役への書類提示辞退の場合、また、所定の期間内に AB の質疑に応じない場合の審問

## 2) 会計監査局の業務責務と権限

1952 年の会計監査局法第 28 条とその改正より、会計監査局（AB）の責務と権限は、以下のとおりに把握できる。

## 3) 会計監査局（AB）の責務

- 歳出・歳入の方法、保証金や前金に関する会計、貸付、調停・差し押さえの登録等の監視
- 被会計監査機関へのコンサルティング・サービスの提供
- 合法的かつ効果的な歳出を保証するための国家財政の監視
- 所轄団体との連携による現行の環境法の確実な適用
- 関連機関によって採択される行政上の決定事項と手順の現行法に基づく監査実施
- AB の意見と見解を記した年次報告書の提出（毎年 6 月頃に提出。議会の各期間初頭、および下院の要求に応じ随時提示。下院の会計年度毎に、違反のないこと、および違反に関する説明責任のないことを確認する。）

## 4) 会計監査局（AB）の権限

会計監査は、会計が正しく処理され、不正防止のための対応が十分で効果的なことを確実にするために実施される。これに基づき、上記の責務を遂行するため、AB は、以下の権限を有する。

- 会計の監査、現金・印紙・その他財政的価値を持つ文書と証書の目録および資産目録の作成
- 高精度が要求される監査書類・登記簿・文書の監査、全部門のあらゆる水準の金融取引の監査（収支を問わず）、およびその会計に携わる職員への聴取
- 財政と会計に関する法規の順守要請、および欠陥や誤りに対する見解の提示（財務上の法の目的を達成するために規則の効力内にて実施）
- 財政上のあらゆる文書・報告書（財政に関連する行政上の検査報告書や違反に関する調査報告書を含む）の入手およびこれに関する聴取（自部門での問題に対する他部門からの聴取を含む）
- コンサルタント、専門家、および専門知識を要する問題に精通する専門家への支援要請（AB 局長の権利）

## 5) 会計監査局の業務範囲

会計監査局（AB）の主な業務範囲は、下記のとおりである。

- 省庁、政府機関、政府公共機関と公共機関の会計監査
- 地方議会、村議会、および共益評議会への出席
- 会計監査大臣評議会により指定された団体の会計監査

会計監査局（AB）の組織構造を次図に示す。

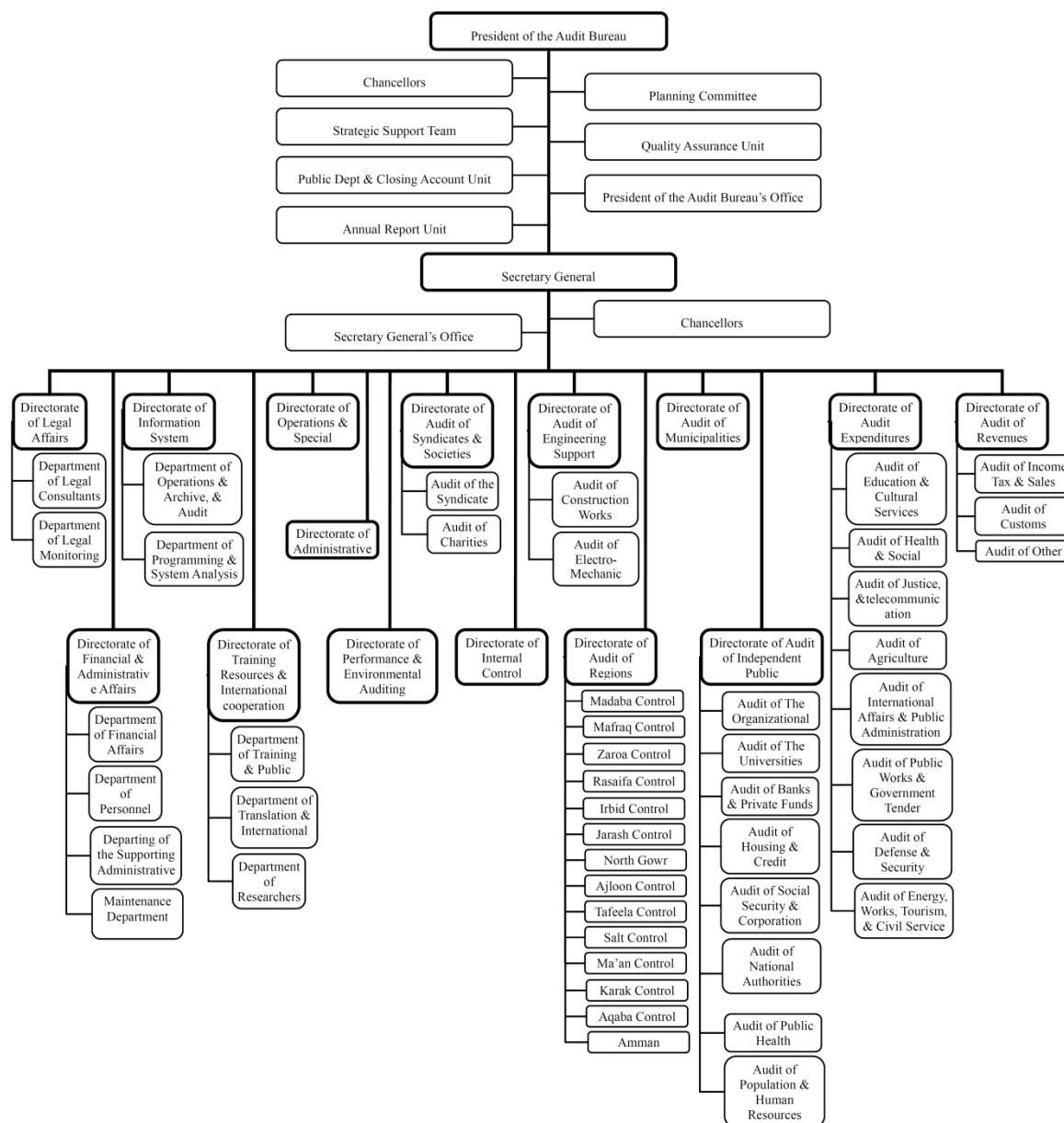


図 4-1 AB 組織図

出典：会計監査局（AB）（2012 年 11 月）

## (2) 本円借款事業における会計監査局の任務

ヨルダン国の会計監査局（AB）は、円借款事業における経験を有していないが、UNESCO による非営利文化遺産事業と国際農業開発基金（IFAD）による農業管理事業のような他の援助機関による事業に携わった経験を、本円借款事業の会計方式である SOE の監査に応用することができる。

MOPIC は AB を本円借款事業の監査役として任命した。これを受け、AB は 2012 年 6 月 18 日付の首相発出文書（参照番号 16379/6/10/56）に従い、5 人のメンバーからなる監査チームを編成した。

また、AB は、最高会計検査機関アジア地域機構（ASOSAI）と最高会計検査機関アラブ地域機構（ARABOSAI）を含む最高会計検査機関国際組織（INTOSAI）の一員である。

MOPIC は借款協定に従い、遅くとも各会計年度末より 9 ヶ月以内に、監査役である AB により作成された会計監査報告書の謄本を JICA に提出することを求められている。一方、AB は通常毎年 6 月までにすべての省庁と部門のための年次会計監査報告書を準備して、遅くとも 6 月前までに会計監査報告書を提出する予定である。

#### 4.1.4. サブ・プロジェクトの会計監理の現状

実施機関傘下のサブ・プロジェクトの会計監理方法は、①施設建設、と②機材・家具調達の 2 種類に分類することができる。施設建設の場合、契約と支払管理は、公共事業・住宅省（以下「MPWH」）により実施される。建設業者（契約者）は MPWH に請求書を提出する。MPWH は受領した請求書を精査・承認後、実施機関へ支払いを要請する。実施機関は財務省の承認を得た後、MPWH 経由で小切手にて契約者に支払いを行う。これら一連の取引に係る契約書、請求書、および小切手受領書は MPWH により、また、支払書は実施機関により、それぞれ保管される。

機材・家具調達の場合は、供給者（契約者）は実施機関に請求書を提出する。実施機関は財務省の承認を得た後、小切手を発行し、支払いをする。

一方、教育省、保健省、社会省、および財務省傘下のサブ・プロジェクトの会計は、各省内財務部によって一元管理されている（なお、これらの省傘下のサブ・プロジェクトの技術的管理は、サブ・プロジェクトの内容に関連する各省内部局が担っている）。

## 4.2. ディスバースメント請求の見通し

### 4.2.1. ディスバースメント請求のフロー

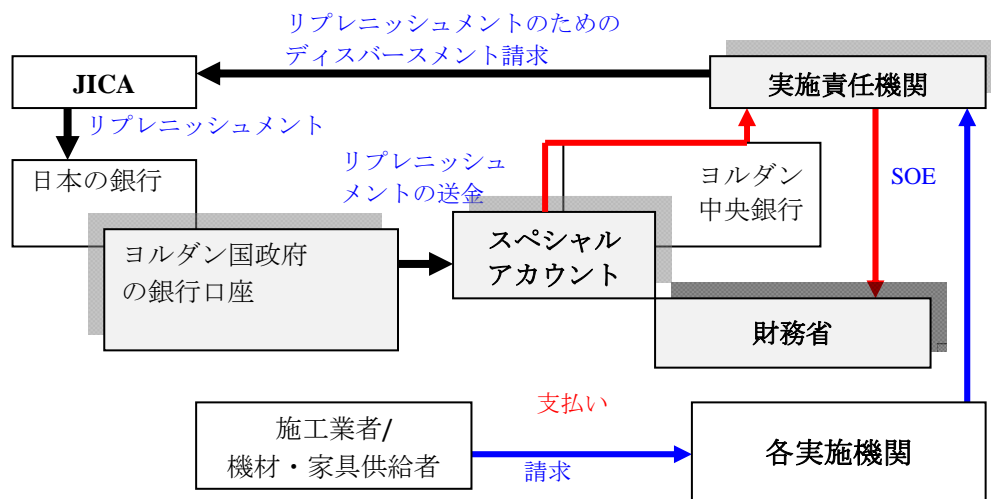


図 4-2 ディスバースメント請求プロセス

出典：JICA 調査団作成

JICA はイニシャル・ディスバースメントとして、110 億円を実施責任機関の開設したスペシャル・アカウントへ送金した。実施責任機関はこの資金を財務省に振り替え、財務省はこの資金を活用し、本円借款事業の対象サブ・プロジェクトを実施し、これに係る支出を SOE によって回収することとなる。

各実施機関は、本円借款事業の対象となる建設業者や機材・家具供給者への支払いに関する証憑を収集し、これに基づき SOE を作成し、実施責任機関に提出する。実施責任機関は、SOE と共にリプレニッシュメント請求を JICA に提出する。

本スペシャル・アカウント以外からの支払い、および本円借款事業の対象ではない支出は、如何なる場合も認められない。対象外への適用が行われた場合、実施責任機関は直ちに、相当金額をスペシャル・アカウントに返金しなければならない。

スペシャル・アカウントにおける全取引は、独立会計にて、矛盾なく、正確に記録されなければならない。

#### 4.2.2. ディスバースメント請求額の予測

##### (1) 試算方法

JICA 調査団は、現状を考慮の上、ディスバースメント請求額を試算し、予測した。試算に用いた方法およびその方法を選定した背景は、次のとおりである。

表 4-2 試算方法とその選定背景

試算方法	選定背景
➤ 各サブ・プロジェクトに対し、請求対象率を設定する。	大多数のサブ・プロジェクトは、除外されるべき非対象コンポーネントを含む。よって、対象・非対象コンポーネント間における予算配分を特定するための情報が必要である。
➤ 年度毎に試算する。	年度毎に試算することによって、各年度において、どのサブ・プロジェクトにて大きな支出が見込まれるか把握することができる。これは、ディスバースメント請求の促進、早期のサブ・プロジェクト・ショートリストの調整のために有効である。
➤ 上記にて設定した請求対象率を見直し、および調整する。	2012 年度末までの SOE と 2013 年度に公表された 2012 年度の実行予算より、上記にて設定した請求対象率と実際の請求対象率の間に大きな差があることが確認された。よって、JICA 調査団は、現状および実績に基づき、請求対象率を見直し、調整した。

出典：JICA 調査団作成

##### (2) 試算結果

JICA 調査団は、試算によって、1 次調査終了時の総ディスバースメント請求額を 12,386,000,000 円と見積ったが、第 2 次現地調査を経て 12,320,000,000 円へと下方修正した。これは、本円借款事業の借款協定上限額である 12,234,000,000 円を僅かに上回るに過ぎない。実施機関ごとの各年度のディスバースメント予測額を、次表に示す。

表 4-3 ディスバースメント予測額（概要）

実施機関名	通貨	2012 年度	2013 年度	2014 年度	合計
MOF	JD	382,500	350,000	350,000	1,082,500
	JPY	43,736,636	40,020,451	40,020,451	123,777,539
MOE	JD	4,267,490	3,122,000	3,622,000	11,011,490
	JPY	487,962,503	356,982,426	414,154,499	1,259,099,428
MOHESR	JD	11,030,000	11,266,250	11,266,250	33,562,500
	JPY	1,261,215,938	1,288,229,743	1,288,229,743	3,837,675,423
MOH	JD	13,668,333	20,870,750	22,240,194	56,779,278
	JPY	1,562,893,902	2,386,448,099	2,543,036,051	6,492,378,052
MOSD	JD	155,800	214,500	199,500	569,800
	JPY	17,814,818	24,526,819	22,811,657	65,153,295
MOL (VTC を含む)	JD	1,470,650	1,643,050	1,632,000	4,745,700
	JPY	168,160,219	187,873,150	186,609,647	542,643,017
合計	JD	30,974,773	37,466,550	39,309,944	107,751,268
	JPY	3,541,784,016	4,284,080,689	4,494,862,049	12,320,726,754

出典：JICA 調査団作成（ヨルダン側提示予算に基づく）

上表の試算は、ヨルダン国側により計画された各サブ・プロジェクトの予算を基に、次の方法にて実施した。

- 各サブ・プロジェクトの予算に対象コンポーネント率を乗じる。
- 上記で求めた値を、実施機関ごとに合計する。
- 第 1 次現地調査時に設定した本円借款対象率を、2012 年度 SOE 準備状況および 2013 年公表 2012 年度予算に基づき見直し、調整する。

#### 4.2.3. ディスバースメント請求に関する財務状況とその分析

現地調査を通じて確認できたディスバースメント請求に関する財務状況およびその分析を下表に示す。

表 4-4 ディスバースメント請求に関する財務状況とその分析

財務状況	分析結果
1. 資金不足により、進捗の停滞しているサブ・プロジェクトが多数存在する（開始出来ない、支払い出来ない等）。	イニシャル・ディスバースメントを活用せず、施工業者や供給業者に支払うことは難しいと言える。よって、ヨルダン国内における予算執行の促進は、円滑なディスバースメント請求のための要所である。 また、資金不足により、1 つの請求額に対し、複数回の少額支払いで対応している場合がある。これにより、ディスバースメント請求準備（SOE 準備）はより多大な時間を要している。
2. 各実施機関は、予算の執行に先立ち、MOF より承認を得なければならない。これに、長い時間を要する（このように予算の執行に長時間を要するため、支払いの多くは年度末（11-12 月）に行われている）。	このような状況は、予算執行およびサブ・プロジェクトの進捗の遅れを誘引している。また、これらの遅れが上記 1 に示す財務状況の要因となっていると考えられる。
3. 2010 年以降、国家レベルの財政難により、新規プロジェクトが形成されていない。	本円借款事業で開始から終了まで支援可能な新規サブ・プロジェクトを見つけることは難しい。

出典：JICA 調査団作成



上記の財務状況およびその分析に基づく、2012 年度のディスバースメント請求額は、本円借款事業借款協定における上限額の 17.58%に過ぎない（2013 年度は 33.61%、2014 年度は 35.31%。なお、2012 年度の SOE 準備最終化前は、2012 年度のディスバースメント請求額は理論上かつ現実的な試算により、28.06%と想定された）。

これらの現状より、ディスバースメント請求業務は次のとおり予期される。

- ディスバースメント請求業務は、本円借款事業の終了時まで継続される。
- 総ディスバースメント請求額は、本円借款事業借款協定における上限額に至らない可能性が高い。

#### 4.2.4. 現状および予測される課題

##### (1) 実施機関における予算執行・キャッシュフローの停滞

多くのサブ・プロジェクトはすでに着手されているものの、実施機関における資金不足にて支払いが停滞している。このため、実施機関にとって、SOE の準備および証憑の収集に困難を来している。MOF による本円借款事業におけるイニシャル・ディスバースメントを活用した関連省庁（実施機関）への追加予算の配分が無い限り、実施機関のキャッシュフローの滞りの改善は非常に難しいと推察される。このような状況を鑑み、JICA 調査団は、JICA に対し、本課題において MOPIC、MOF、および実施機関の調整役として、さらなる JICA のご支援を必要とすることを提言する。

なお、第 1 次現地調査中 2012 年 11 月 5 日の GBD、MOPIC および JICA ヨルダン事務所との打合せに引き続き、実施機関におけるキャッシュフローの活性化に向けた課題の解決のため、JICA ヨルダン事務所は MOPIC（写しを MOF）に対し、2012 年 11 月 7 日付けにて、公式文書を発行した。この公式文書にて、本円借款事業の実施およびディスバースメント請求の促進のため、サブ・プロジェクトは、2013・2014 年のみならず、2012 年の予算配分および執行において優先されるべきであることが要求された。

##### (2) 予算配分における迅速な対応の困難さ

ヨルダン国政府では、年度の途中における予算の配分や執行、特に予算の上限額や消化における優先度の変更が困難であることが分かった。また、2012 年度は、年間予算計画に本円借款事業によりサブ・プロジェクトが支援される予定であることが組み込まれていなかったことが、予算の執行にさらなる困難を来した。

##### (3) ディスバースメント請求金額の不伸

2012 年度の SOE の準備状況、および 2013 年に公表された 2012 年度の予算執行状況を考慮すると、本円借款事業の終了時でのディスバースメント請求総額は、約 10,910,000,000 円（借款協定における上限額の約 89.20%、借款金利等控除後の約 91.40%）に留まると予測される（この予測は、今後 2013 年度、2014 年度の予算が 2013 年に公表された計画予算のとおり執行された場合に成立する）。

一方、今後、執行予算が計画を下回る場合（2012 年度と同等の執行率である場合）、ディスバースメント請求総額は次表のとおりと見積もられる。

表 4-5 ディスバースメント予測額（概要）

実施機関名	通貨	2012 年度	2013 年度	2014 年度	合計
MOF	JD	189,149	315,000	315,000	819,149
	JPY	21,628,032	36,018,406	36,018,406	93,664,844
MOE	JD	928,811	2,965,613	3,465,613	7,360,036
	JPY	106,204,155	339,100,431	396,272,504	841,577,090
MOHESR	JD	8,140,624	11,657,200	11,657,200	31,455,024
	JPY	930,832,757	1,332,932,587	1,332,932,587	3,596,697,931
MOH	JD	9,104,456	20,994,000	22,339,000	52,437,456
	JPY	1,041,041,265	2,400,541,016	2,554,333,893	5,995,916,174
MOSD	JD	0	45,000	45,000	90,000
	JPY	0	5,145,487	5,145,487	10,290,973
MOL (VTC を含む)	JD	380,562	1,420,598	1,474,688	3,275,847
	JPY	43,515,038	162,437,009	168,621,884	374,573,931
合計	JD	18,743,603	37,388,260	39,287,350	95,419,213
	JPY	2,143,221,248	4,275,128,686	4,492,278,511	10,910,628,445

出典：JICA 調査団作成（ヨルダン側提示予算に基づく）

### 4.3. ディスバースメント請求必要書類作成の支援

#### 4.3.1. ディスバースメント請求における必要書類

ディスバースメント請求において、ヨルダン国側の準備すべき書類は次のとおりである。

- レプレニッシュメント要請書（RFR）
- SOE（レプレニッシュメント要請書の添付資料）

調査団の会計監理業務は、ディスバースメント請求における必要書類作成支援としての SOE の準備支援を対象としている。

一方、実施機関は、AB による会計監査のため、SOE に関する全証憑を準備・収集することが求められている。

#### 4.3.2. SOE 準備方法

調査団は次の方法によって、ヨルダン国側へ SOE の記載方法を伝授した。

##### (1) 説明資料の準備－SOE の記載方法

調査団は SOE の記載方法および準備促進に関する次の事項について実施機関に説明した。

- 実施機関は、本円借款事業による支援をいかに見込むことが出来るか？
- SOE では、どのような情報が要求されているか？

上記のうち、第 2 項目目の説明のため、調査団は次表に示す説明を加えた。

表 4-6 SOE の各項目における要求事項

項目*	要求事項	記入例
1. Transaction	「サブ・プロジェクト番号」 – 「支払/取引の通し番号」	123-1, 123-2, 123-3
2. Purchaser	契約書に明記されている購入者名	Ministry of XXXXX, University of XXXXX, MPWH (for building), MOF (for equipment and furniture)
3. Supplier	契約書に明記されている施工業者名/供給業者名	XXX Corporation
4. Nationality of Supplier	施工業者/供給業者の法人登録をしている国名	Jordan
5. Description of Goods and/or Services	当該支払いに関するコンポーネントの種類	Construction of laboratory, Procurement of furniture, Renovation/Repair of classroom
6. Category	本円借款事業での全支払い対象は、「A」に分類される。「A」と記入。	A (no need to change)
7. Origin	機材の原産国名。もし、機材調達以外のコンポーネントであれば、本欄は空白。	Japan, China, Germany
8. Contract Amount, Contract No., and JICA Concurrence No. for Contract	LCB の場合: 「契約額」と 「契約番号」 ICB の場合: 「JICA 認証番号」も必要。	JD1,000,000, BE-###-01
9. Date of Payment	領収書発行日と同日 (2012 年 1 月 1 日以降の支払いが対象)	1 <sup>st</sup> January 2012
10. Amount of Payment (without tax)	税抜き価格	JD431,034 (=JD500,000 – JD68,966 (tax) )
11. Nature of Payment	支払いの種類	Down payment, Instalment payment, Final payment
12. Method of Procurement	入札が採用	LCB (Local Competitive Bidding), DP (Direct Purchase)
13. Amount applied for Financing (without tax)	もし、全支払い金額が円借款案件の対象コンポーネントであれば、第 10 項目「Amount of Payment (without tax)」と同じ金額	JD431,034
14. Disbursement Ratio	「第 13 項目/第 10 項目」の計算結果。もし、全て本円借款事業の対象コンポーネントであれば、「100%」。	100%

注記\*: SOE の書式のとおり、英語表記とする。

出典: JICA 調査団作成

## (2) 2つの方法の組み合わせ－説明方法

JICA 調査団は、2012 年 11 月 8 日、実施責任機関、会計監査局、JICA ヨルダン事務所および関係機関の臨席のもと、全実施機関に対し一同に、SOE の記載方法の説明を行った。これに加え、適宜、各実施機関にて、個別に説明を行った。

## 4.3.3. SOE 準備の支援結果

## (1) SOE 準備に関する実施機関等からの質疑

JICA 調査団は、上記説明会等を通じ、SOE の準備に対し実施機関等より質疑を受けた。主な質疑およびそれらに対する回答を下表に示す。

表 4-7 SOE 準備に関する実施機関等からの質疑とその回答

質疑 (EA、IAS、AB より)	回答 (JICA 調査団より)
<b>[第 1 項目]: Transaction</b>	
どのような番号を記載すべきか？	「The transaction No.」は、容易に参照できるよう、プロジェクト・リストに記載されるサブ・プロジェクト番号に、支払い番号（連番）を加え、付号される。例を示す。
<b>[第 2 項目]: Purchaser</b>	
特例の契約書では、どのように購入者を判別するか？	購入者名は、契約書に明記される名称と同じとする（例：省庁名、大学名、MPWH（施設案件）、MOF（機材・家具案件））。
<b>[第 4 項目]: Nationality of Supplier</b>	
職業訓練の提供では、当該項目（供給業者の国籍）として、どのような情報を記載すべきか？	本円借款事業対象コンポーネントであり、契約書が交わされている場合は、職業訓練提供者の国籍が、当該項目（供給業者の国籍）となる。
<b>[第 5 項目]: Description of goods and /or Services</b>	
当該項目（商品やサービスの説明）として、どのような情報が記載されるべきか？	これは契約の性質を示すよう要約される必要がある。これまでの実施機関にて得た情報によると、契約名称が商品やサービスの説明となっている場合が多い。
<b>[第 8 項目]: Contract Amount and Contract No.</b>	
設計変更により、契約額が増額された場合、当該項目にはどのような情報が記載されるべきか？	設計変更等が生じた場合には、契約額は、当初契約額に承認された設計変更による増額を加えた金額となる（ただし、加えて良い設計変更等は、本円借款事業対象コンポーネントに限る）。
契約番号とは何か？	契約番号は、実施機関により設定されている既存の番号である。公式書類に記載されている。
<b>[第 9 項目]: Date of Payment</b>	
省庁内内規により、支払日が覚書に記載されている日付と異なる場合がある。	施工業者もしくは供給業者に対し支払い小切手を発行した日を、実際の支払日とする。
<b>[第 10 項目]: Amount of Payment (without tax)</b>	
支払い額に税金が含まれており、かつ税額が分離不可能な場合（例：施設施工）、もしくは税額が分離可能な場合（例：機材供給）、それぞれ、SOE では、どのような値が記載されるべきか？	請求書に明記されている税金を控除した金額を、SOE における支払金額として記載する必要がある。
<b>[第 13 項目]: Amount applied for financing (without tax)</b>	
「申請額（税抜き）」とは、何か？	全ての非対象コンポーネントに関する金額を控除した後の、税抜き支払い総額である。MOHESR の例を参照し、詳細を説明する。
<b>[署名権者]</b>	
実施機関において、誰が SOE の署名権者となるべきか？	JICA の手続き上、全 SOE は監督機関の署名権者によって署名される必要がある。よって、当該事項（実施機関における SOE の署名権者）は、監督機関と実施機関にて決定すべき事項である。 >>> 監督機関と実施機関の打合せにより、次の 2 点が合意された。 - SOE は実施機関が準備し、財務主任等担当者が署名の上、監督機関に提出すること。 - また、監督機関では SOE へ署名権者が署名の上、JICA へ提出すること。

出典：JICA 調査団作成

## (2) SOE 書式の調整

2012 年 11 月 8 日に実施したワークショップの結果に基づき、JICA の合意の上、SOE の書式のうち、実施責任機関の署名欄のとなり、実施機関による署名欄を追加した。これは、SOE の準備責任機関を明確にすることを目的とする。

## (3) SOE の準備に対するヨルダン国側の適応状況

各実施機関にとって、SOE の記入・準備方法を習得することは難しくないことが分かった。これは、各実施機関における SOE 準備担当者の多くは各機関の財務部に所属しており、SOE の準備に必要な要件（契約書の理解の仕方や税金の種類等）を既得しているためと考えられる。また、JICA 調査団からのコメントへの応答、および SOE 修正状況より、各実施機関は次の SOE の記入・準備における留意点を会得したと考えられる。

- 請求金額（税抜き）の計算方法
- 控除すべき税金の種類
- SOE の記入・計算に必要な数値の探し方
- 支払い対象物の情報として要求されている内容
- 国際的共通方法での数字の表記（コンマを用いて千単位に区切ること、小数点を用いて 1 以下を区切ること）

## (4) SOE 準備状況

2012 年度の支出に基づき各実施機関にて準備された SOE の概要を下表に示す。

表 4-8 各実施機関にて準備された SOE の概要（2012 年度末時点）

実施機関名	No	サブ・プロジェクト名	2012 年度 SOE 準備額 (JD)
財務省 (MOF)	190	Higher Board for Handicapped Persons Affairs	189,149
		機材調達	189,149
教育省 (MOE)	568	Program Administration	49,570
	570	Establishing Learning Resources Centers	0
	571	Develop the Educational Information Management System	0
	572	Vocational Education Program Administration Project	16,043
	574	Social, Sport and Educational Activities Program Administration Project	0
	583	Special Education Program Administration Project	0
	585	Establishing a school for deaf students in Kerak governorate	0
	586	Kindergarten Education Program Administration Project	0
	588	Basic Education Program Administration Project	0
	597	Secondary Education Program Administration Project	0
	602	Establishing school buildings for (Decent housing for decent life) project	863,198
	603	Development of Illiteracy Education	0
高等教育・科学研究省 (MOHESR)	606	EMIS	0
	607	Developing economics higher education	6,000
		機材調達	6,000
	615	Qualifying and developing Ayl secondary school into diploma university college/Ma'an	0
	HES	Supporting Jordanian Public University	8,134,624
		コンサルティングサービス（施工監理等）	227,204
		施設建設	7,423,757
		機材調達	451,032
		家具調達	32,632

実施機関名	No	サブ・プロジェクト名	2012 年度 SOE 準備額 (JD)
保健省 (MOH)	619	Administration Project	33,933
		施設建設	11,386
		家具調達	22,547
	620	Hospitals and Health Centers	0
	622	Developing and Applying Transport and Nursing System	131,756
		機材調達	131,756
	623	Heavy Duty Machines for the Ministry	3,738
		機材調達	3,738
	625	Updating Non-medical Furniture and Equipments in the Ministry	149,316
		機材調達	59,132
		家具調達	90,184
	626	Computerizing the Ministry of Health	0
	629	Upgrading the Efficiency of Nursing Colleges	0
	630	Primary Health Care/Health Services Centers Program Administration Project	93,021
		施設建設	45,610
		機材調達	8,250
		家具調達	39,161
	632	Establishing Health Care Centers	61,920
		施設建設	7,301
		機材調達	54,619
	633	Establishing Comprehensive Health Center	27,635
		機材調達	27,635
	635	Expanding 25 Existing Health Centers	8,345
		施設建設	8,345
	638	Establishing Institutional Competencies for Environment Health	0
	639	Providing Evaluation and Diagnoses Services in North of Jordan	0
	640	Medical Equipments and Spare Parts Health Centers	294,264
		機材調達	272,414
		家具調達	21,849
	644	Burma comprehensive medical center	0
	646	Integrated care for child health	0
	647	Early diagnosis of G6PD Enzyme	0
	649	Secondary Health Care/Hospitals Program Administration Project	84,734
		施設建設	84,734
	650	Updating and Expanding Jarash Hospital	59,500
		施設建設	59,500
	651	Updating and Expanding Mu'an Hospital	25,135
		施設建設	25,135
	652	Updating Al-Basheer Hospital	57,752
		施設建設	44,581
		機材調達	12,354
		家具調達	817
	653	Establishing Burns Clinic in Princess Besma Hospital	262,216
		施設建設	262,216
	658	Expanding Al Karak Hospital	1,842,384
		コンサルティングサービス (施工監理等)	70,991
		施設建設	1,134,403
		医療機材調達	541,409
		一般機材調達	54,647
		家具調達	40,933
	659	Establishment of Northern Desert Hospital	2,183,897
		コンサルティングサービス (施工監理等)	134,695
		施設建設	1,986,277

実施機関名	No	サブ・プロジェクト名	2012 年度 SOE 準備額 (JD)
保健省 (MOH)		医療機材調達	62,925
	661	Establishment of Al-Salt new Hospital	3,745,549
		コンサルティングサービス（施工監理等）	137,404
		施設建設	3,608,145
	663	Updating Labs Equipments and Blood Banks	39,362
		機材調達	39,362
	667	Hotel services for hospitals	0
	671	Controlling medicine provision	0
社会開発省 (MOSD)	680	Handicapped Affairs Program Administration Project	0
労働省 (MOL) (VTC を含む)	714	Automation of the Ministry of Labour	57,532
		機材調達	57,532
	715	Restructuring the education and training council	2,890
		機材調達	2,890
	718	Accreditation center and quality assurance	8,032
		施設建設	2,310
		機材調達	5,722
	722	Transferring Investment to Remote Areas	143,936
		施設建設	143,936
	723	Vocational Training	142,629
		機材調達	128,757
		職業訓練	13,872
	VTCS	Supporting Vocational Training Institutes	24,708
		訓練教材	24,708
	727	Linking municipalities, civil society organizations and social partners	410
		機材調達	410
	729	Activate and expand services and systems of vocational employment and guidance	425
		機材調達	425
	730	National System for E-operation	0
合計			18,743,603

出典：JICA 調査団作成

#### 4.4. 証憑の精査および選定

##### 4.4.1. 適切な証憑に求められる情報とヨルダン国におけるその現状

一般的に、「契約書」、「請求書」および「領収書」は、SOE で求められている情報（契約日・支払い請求先・支払い請求額・支払い請求日・支払い額・支払日・領収額・税額等）を把握するために必要な書類として位置づけられている。

適切な証憑に求められる一般的情報と、それらに対するヨルダン国での現状は次表のとおりである。

表 4-9 適切な証憑に求められる情報とそれらに対するヨルダン国での現状比較

適切な証憑に求められる情報	ヨルダン国での現状
<b>契約書</b>	
本円借款事業対象コンポーネントは、公式かつ唯一の合意事項ー「契約書」等を有することが要求される。この合意事項は、提供されるサービスを明確にし、かつ保証するため、施主と施工業者もしくは供給業者間にて、締結される。	本円借款事業対象コンポーネントの大半は、公式かつ唯一の”契約書”を有する。いかなる「契約書」も存在しない場合（特に、機材/家具の調達案件）は、「注文書」が代用可能である。
<証憑に求められる情報>	
- 購入者名（SOE 第2項目）	含む。
- 供給業者（SOE 第3項目）	含む。
- 商品および/もしくはサービスの説明（SOE 第5項目） >>>「施設建設」、「機材/家具調達」、「職業訓練（指導員訓練を除く）」のいずれか。	含む。「納品書」等の書類にて補足あり。
- 原産国（SOE 第7項目）	
- 契約額（SOE 第8項目）	含む。
- 契約番号（SOE 第8項目）	書類に依る。
- 支払い額（SOE 第10項目）	含む。
- 支払いの性質（SOE 第11項目）	含む。
<b>請求書</b>	
「請求書」は、契約に基づき、供給業者もしくは施工業者によって、支払いを請求するために発行される。	「請求書」は、支払い毎に発行される一般的な書類である。
<証憑に求められる情報>	
- 購入者名（SOE 第2項目）	含む。
- 供給業者名（SOE 第3項目）	含む。
- 契約番号（SOE 第8項目）	含む。
- 支払い額（SOE 第10項目）	含む。
- 支払いの性質（SOE 第11項目）	含む。
<b>領収書</b>	
「領収書」は、供給業者もしくは施工業者より、購入者/施主に対し、支払いと引き換えに発行される。	一般的にヨルダン国では、小切手で支払いを行う。通常、各省庁では、「領収書」ではなく「記録書類」が作成・保管されている。なお、「記録書類」には、小切手額、小切手受領者およびその署名、小切手受領日等が記録されている。
<証憑に求められる情報>	
- 購入者名（SOE 第2項目）	「記録書類」にて確認可能である。
- 供給業者名（SOE 第3項目）	「小切手受領者」として、「記録書類」で確認可能である（「供給業者名」と同等もしくはより詳細な情報）。
- 契約番号（SOE 第8項目）	一般的に、「記録書類」には含まれていない。
- 支払日 >>> 2012年1月1日が有効。	「小切手受領日」として、「記録書類」で確認可能である。
- 支払い額（SOE 第10項目）	「小切手額」として、「記録書類」で確認可能である。
- 支払いの性質（SOE 第11項目）	一般的に、「記録書類」には含まれていない。

出典：JICA 調査団作成

#### 4.4.2. 各実施機関における証憑状況

上記のヨルダン国における一般的な会計証憑の状況のとおり、各実施機関での SOE 準備のために、下表の証憑が活用可能であると言える。なお、調査団は、SOE 準備のために必要な情報は既存の書類から入手可能であることを確認した。よって、SOE 準備のために新たな証憑を準備するのではなく、既存の書類を活用することを推奨した。各実施機関における SOE 準備のために活用可能な書類は次のとおりである。



表 4-10 各実施機関における SOE 準備のために活用可能な書類

VTC			
書類名	発行者	受領者	内容
<b>職業訓練提供</b>			
1. 指導員との契約に関するメモ	VTC	訓練提供校	指導員名、契約期間、契約番号
2. 契約書（調達サービス）	VTC	指導員	訓練場所（訓練提供校）、給料（契約額）、契約期間、契約番号、訓練内容
3. 出席表	訓練提供校	VTC	月別出席表
4. 内部メモ	訓練提供校	財務部/VTC	契約額支払い執行（契約番号、指導員名参照）
5. 支払い書類	財務部 / VTC	監査・財務管理部 / VTC	指導員名、指導時間、単価、合計額、控除額、控除後支払い額
6. 支払い領収書（控除済み）	財務部/VTC	監査・財務管理部/VTC	指導員名、控除額
<b>機材調達</b>			
1. 契約書（注文書）	購買部/VTC	供給業者	契約額、契約番号、機材の説明、供給業者名、全関係機関署名、入札番号および件名
2. 落札業者決定書および数量調書	購買部/VTC	供給業者	契約額、契約番号、機材の説明、供給業者名、全関係機関署名、入札番号および件名、入札内容
3. 請求書	供給業者	VTC	請求額、支払いの性質、契約番号、（請求書番号）
4. 納品書/受領書類	保管部/VTC	供給業者	納品内容（数量、受領者署名分）
5. 納品明細書	受取委員会/VTC	VTC	納品内容（数量・仕様、委員会署名分）
6. DLP 保証書	銀行	VTC	保証額、入札番号、供給業者名、日付
7. 供給業者の職権証明書	法務省	VTC	本書類は、供給業者における対応者を確認し、権限を付与するために作成される。
8. 支払い領収書（控除済み）	財務部 / VTC	監査・財務管理部 / VTC	供給業者名、控除額
9. 内部メモ（取引確認用）	VTC	購買・財務部 / VTC	本書類は、コンポーネントおよび供給業者によって提示された請求額の確認のために作成される。
10. 内部メモ	購買・財務部/VTC（取引確認権者）	VTC	説明（支払いが認証された場合、もしくは、調整が必要な場合）
11. 支払い書類	財務部 / VTC	監査・財務管理部 / VTC	供給業者名、支払い額、控除額、控除後支払い額
12. 記録書類	MOL	MOL（支払い先全機関による署名付き）	省内記録書類。小切手額・番号・発行日付・受領者名および署名・受領日
<b>MOHESR</b>			
書類名	発行者	受領者	内容
<b>機材調達</b>			
1. 契約書	MOHESR	供給業者	契約額、契約番号、機材の一般情報、供給業者名、契約者署名、入札番号および件名
2. 予算配分書	MOHESR（供給先部署）	供給部 / MOHESR	契約額配分要請
3. 内部メモ	MOHESR（供給先部署）	会計部 / MOHESR	支払い確認要請

書類名	発行者	受領者	内容
4. 内部メモ	MOHESR (供給先部署)	財務管理者 / MOHESR	会計報告書の参照、財務部への支払い要請
5. 請求書	供給業者	MOHESR	契約額、支払いの性質、契約番号、(請求書番号)
6. 支払い書類	財務部 / MOHESR	監査・財務管理部 / MOHESR	供給業者名、支払い額、供給業者からの控除額、控除後額
7. 記録書類	MOHESR	MOHESR (支払い先全機関による署名付き)	省内記録書類。支払い先全機関名およびその署名、小切手額・番号・日付・受領者名・受領者署名
<b>施設建設 (タイプ-1)</b>			
1. 支払い請求レター (大学発出)	大学	MOHESR	支払い額 * 「支払い請求レター (大学発出)」と「支払い請求レター (施工業者発出)」の組み合わせは、「請求書」と同等である。
2. 支払い請求レター (施工業者発出)	施工業者	大学	支払い請求額、支払い内訳 (契約番号、契約額、施工業者名等) * 「支払い請求レター (大学発出)」と「支払い請求レター (施工業者発出)」の組み合わせは、「請求書」と同等である。
3. 支払い書類	財務部 / MOHESR	監査・財務管理部 / MOHESR	施工業者名、支払い額、施工業者からの控除額、小切手番号、小切手額
<b>施設建設 (タイプ-2)</b>			
1. 支払い請求レター	施工業者	大学	支払い請求額、支払い内訳 (契約番号、契約額、施工業者名等)
2. 内部レター	大学	技術・会計部/ MOHESR	当該書類は、手続きおよび金額の確認のために作成される。
3. 内部レター	大学	財務部 / MOHESR	当該書類は、技術・会計報告書に従って、支払い手続きを進めるために作成される。
4. 支払い書類	財務部/ 大学	監査・財務管理部/ 大学	施工業者名、支払い額、施工業者からの控除額、小切手番号・額
5. 小切手 (写し) もしくは記録書類	大学	施工業者	書類の可用性は、大学に依る。
<b>MOE</b>			
書類名	発行者	受領者	内容
<b>機材調達</b>			
1. 落札者決定書類	供給部/ MOE	供給業者	入札番号・件名、供給業者名、全関係者署名、機材の一般情報
2. 契約書 (注文書) (Purchase Order)	MOE	供給業者	契約額、契約番号、機材の一般情報、契約者署名、入札番号および件名
3. 納品明細書	供給部/ MOE	供給業者	納品機材の情報 (数量を含む)、担当者署名
4. 納品書	供給部 / MOF	MOE	当該書類は、機材の受領を確認・許可するために発行される。
5. 履行保証	銀行	MOE	保証額
6. 支払い領収書 (供給業者からの控除済み)	財務部 / MOE	監査・財務管理部 / MOE	供給業者名、控除額
7. 請求書	供給業者	MOE	請求額、支払いの性質、契約番号
8. 支払いに関する内部メモ	供給部 / MOE	財務部/ MOE	支払い額

書類名	発行者	受領者	内容
9. 支払い書類	財務部/ MOE	監査・財務管 理部/ MOE	供給業者名、支払金額、供給業者からの控 除額、純支払金額
10. 記録書類	MOE	MOE（支払い 先全機関によ る署名付き）	省内記録、支払い受領者とその署名、小切 手金額・番号・発行日・受領者名・受領日
<b>施設補修</b>			
1. 落札者決定書類	MOE	施工業者	契約額、契約番号、機材の一般情報、供給 業者名、全関係者の署名、入札番号および 件名
2. 請求書	施工業者	MOE	請求額、支払いの性質、契約番号
3. 請求書に対する支払 いレター	理事会	MOE	当該書類は、省内で施工業者への支払いを 要請するために発行される。
4. 支払い書類	財務部/ MOE	監査・財務管 理部 / MOE	施工業者名、支払い額、控除額
5. 記録書類	MOE	MOE（支払い 先全機関によ る署名付き）	省内記録書類。支払い先全機関による署 名、小切手額・番号・発行日・受領者名お よび署名・受領日
<b>MOH</b>			
<b>機材調達</b>			
1. 契約書（注文書）	購買部/ MOH	供給業者	契約額、契約番号、機材の一般情報、供給 業者名、契約者署名
2. 請求書	供給業者	MOH	請求額、支払いの性質、契約番号
3. 支払い書類	財務部/ MOH	監査・財務管 理部/ MOH	供給業者名、支払い額、控除額
4. 記録書類	MOH	MOH（支払い 先全機関によ る署名付き）	省内記録書類。支払い先全機関名および署 名、小切手額・番号・発行日・受領者およ び署名・受領日

出典：JICA 調査団作成

#### 4.4.3. 証憑の精査・選定、および会計監査報告

JICA 調査団は、現地調査期間を通じ、各実施機関より提示された SOE 作成のための証憑（契約書、注文書、建設業者・機材供給業者発行の請求書、支払い指示書、支払い小切手等）の精査および選定を行った。

実施責任機関は JICA ヨルダン事務所に SOE を提出すると共に、会計監査機関（以下「AB」）に SOE およびその証憑を提出する。これを受け、AB は会計監査の観点より、SOE および証憑の精査および監査を開始する。この結果に基づき、AB は会計監査報告書を作成し、借款協定に従い、各会計年度末より 9 ヶ月以内に、実施責任機関を通じ JICA に提出することが求められている。

AB はすでに会計監査計画の策定を開始している。また、実施責任機関に対し、会計監査に必要な証憑の提供を求めた。AB によると、必要な書類の受領後、2-3 ヶ月で会計監査報告書を作成可能とのことである。現在（2013 年 3 月上旬）、実施責任機関による SOE の提出を待っている状況である。

また、AB は、JICA より発行された「SOE 手順ガイダンス」における会計基準のひとつである最高会計検査機関国際組織（INTOSAI）のメンバーである。この他現地調査結果より、AB は上記ガイダンスに示される会計監査報告書例に適合する報告書を作成するために十分な経験を有していると言える。



## 5. 成果管理業務



## 5. 成果管理

### 5.1. 運用・効果モニタリング指標

#### 5.1.1. モニタリング・評価指標

##### (1) 指標設定の目的

運用・効果モニタリングの指標設定に係る主な目的は、次のとおりである。

- 評価活動を通じて得られた教訓および提言を、将来の支援方針の決定や、事業の実施管理へフィードバックする。
- 事業の実施を円滑化する。
- 事業の実施状況と実施効果を示して説明責任を果たすとともに、円借款財源の提供者へ、本円借款事業の業績結果を報告する。

##### (2) 定期報告

JICA およびヨルダン国政府にて合意された 2012 年 3 月 26 日付け協議議事録に基づき、ヨルダン側実施責任機関（MOPIC）から JICA に提出される定期報告書において、運用・モニタリング指標のベースライン値、現状値、目標値が明記される。これは、プロジェクト実施期間中と実施完了時において、指標数値の変化を把握するためである。各定期報告書の種類および提出予定時期は、以下のとおりである。<sup>49</sup>

- 四半期報告書（QPR：2012 年 12 月より事業完了年月までの四半期ごと）
- 完了報告書（PCR：事業実施完了日より 6 か月以内）

##### (3) 評価活動

運用・効果指標は、値の変移を分析することで、本円借款事業の評価に用いられる。上記(2)にて参照した協議議事録に基づき、評価活動は、以下の予定で行われる。<sup>50</sup>

- 事業完了より 2 年後
- 借款協定締結後から 5 年目頃（2016~7 年頃）
- （必要に応じ）、借款協定締結後から 7 年目頃（2018~2019 年頃）。

#### 5.1.2. 指標選定の方法論

##### (1) 選定基準

定性的・定量的モニタリング指標の選定基準は、以下のとおりである。

- a. サブ・プロジェクトの相乗効果により得られる成果を示す項目であること。
- b. 現行の国家上位開発計画（2011-2013 年）が定める指標項目を考慮すること。
- c. サブ・プロジェクトごとに実施機関が定める指標が存在する場合は、それを考慮す

<sup>49</sup> 2012 年 3 月 26 日署名の Minutes of Discussions の Annex II. Main Points Discussed, Chapter IV. Implementation issues, point No23: Submission of Required Documents and Reports.

<sup>50</sup> 2012 年 3 月 26 日署名の Minutes of Discussions の Annex II. Main Points Discussed, Chapter IIV Other Issues, point 33: Evaluation Activities.

ること。<sup>51</sup>

- d. セクターの開発状況を測るにおいて、統計学的に標準化された項目であること。
- e. 実施機関が継続的に集約し、かつ、定期的に政府に報告する統計項目であること。
- f. 実施機関 が効果測定に適切なものと判断し、かつ、実施責任機関への四半期報告において合意した項目であること。

## (2) 指標の選定方法

指標の選定は、以下の活動を通じて行った。

- a. 国家上位開発計画（2011-2013 年）の対象セクター戦略と目標指標の把握
- b. 統計を含むセクター状況分析と、課題および有効な対策の特定
- c. サブ・プロジェクトごとの目的・コンポーネント・期待する成果、実施機関がサブ・プロジェクトに対して設定する指標（存在する場合）の把握
- d. 上記活動 a~c の結果と、1) 選定基準 a~f を考慮した、指標（案）のリストアップ
- e. 指標（案）ごとのベースライン値（案）・目標値（案）の特定
- f. 指標（案）と数値（案）に係る実施機関との協議と合意の形成

## (3) ベースライン値（2012 年 1 月時点）と目標値（2014 年時点）の特定

指標値の特定は、ベースライン指標について、本円借款事業開始年月である 2012 年 1 月時点において実施責任機関から入手可能で、かつ実施機関が統計化している数値を特定した。指標事項により 6 か月毎の取り纏めが可能な統計事項もあるが、各実施機関は、通常活動実績・年報を翌年の 6 月～7 月に取り纏めて発表している。各実施機関が通常行う MOPIC、或いは政府（VTC の場合は MOL および首相府）への報告は半期ごとに、年報については年 1 回の頻度で行われている。従って、ベースライン値、および目標値の実質的な発生期間は、半年前～前年（ベースライン値について 2011 年末まで、目標値については 2014 年前期迄の見込み統計）の実績値となる。

指標値の検討・設定に係る実施機関との協議にて、実施機関より、「数値設定の根拠資料は必ず実施機関からの情報（実施機関内のデータベース資料）を利用し、他組織による第 2 次・第 3 次編集統計数値を用いないこと」の要請があった。これは、常に省の元データからの数値を選定して、数値レビューの時期を一定化して、数値の変化判断について一貫性を確保するためであり、政府の取り組み進捗を正確に判断するためである。また、いずれの実施機関も、サブ・プロジェクトに特化した指標は設定していない。そのため、サブ・プロジェクトが構成コンポーネントである、或いは投入として関わる、実施機関の戦略目標とその指標が、指標選定における重要な参照情報となった。

表 5-1 ベースライン数値及び 2014 年目標数値特定の根拠資料

セクター	ベースライン値（2012 年 1 月入手可能数値）	目標値（2014 年内に入手可能数値）
職業訓練	<ul style="list-style-type: none"> <li>・労働省 2011 年実績報告書</li> <li>・職業訓練公社 2011 年実績報告書</li> <li>・国家上位開発計画 2011-2013（EDP）</li> <li>・2011 年度進捗報告書</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職業訓練公社 2011-2014 年戦略指標資料（VTC 内部資料）</li> <li>・国家上位開発計画 2011-2013（EDP）</li> </ul>

<sup>51</sup> 第 1 次現地調査にて、「本円借款事業のいずれのサブ・プロジェクトについても（サブ・プロジェクトベースに特化して定められた）指標の設定をしているものはない」との返答を全実施機関より得た。



セクター	ベースライン値 (2012 年 1 月入手可能数値)	目標値 (2014 年内に入手可能数値)
高等教育施設改善	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高等教育科学研究省統計 2012 年 (省内部資料)</li> <li>・国家上位開発計画 2011-2013 (EDP)</li> <li>・2011 年度進捗報告書</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高等教育科学研究省統計 (省内部資料)</li> <li>・国家上位開発計画 2011-2013 (EDP)</li> </ul>
初等・中等・特殊教育施設改善	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育省 EMIS 統計 (省内部資料)</li> <li>・教育省特殊教育局統計 (省内部資料)</li> <li>・国家上位開発計画 2011-2013 (EDP)</li> <li>・2011 年度進捗報告書</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育省 EMIS 統計 (内部資料)</li> <li>・教育省特殊教育局統計 (内部資料)</li> <li>・国家上位開発計画 2011-2013 (EDP)</li> </ul>
保健医療施設改善	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保健省 2011 年統計報告書</li> <li>・保健省統計 (省内部資料)</li> <li>・国家上位開発計画 2011-2013 (EDP)</li> <li>・2011 年度進捗報告書</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保健省戦略目標 (2006-2013) 資料 (内部資料)</li> <li>・保健省統計 (省内部資料)</li> <li>・国家上位開発計画 2011-2013 (EDP)</li> </ul>

#### (4) 中長期目標値の想定 (2016 年時点見込み値)

本調査報告書では、事業終了後 2 年目に期待する 2016 年の指標値を示している。

高等教育セクターおよび保健医療セクターの指標は、MOH および MOHESR との協議により、両省から提供され合意した、暫定的な目標値である。

職業訓練セクター及び初等・中等・障害児教育セクターの指標は、MOL、VTC、MOE との協議および調査結果により、JICA 調査団にて選定した指標である。この理由は、MOL および MOE から、次期戦略計画書・目標値の政府承認がない段階では、省は数値を表示できないとされ、かつ、JICA 調査団が選定したものとして報告書に記載することは良いとの合意を得たためである。また、その場合には、JICA 調査団の想定値である旨を必ず注記することとの要望を受けた。

これらセクターの目標値の選定は、下表に示す実施機関が、2011 年以降に指標項目の進捗推計で用いている前年比上昇・改善率（年あたり）を適用し推計するとともに、近年の指標達成状況を考慮した上で、特定した。これに係り参照した資料は、次のとおりである。

セクター	資料名称
職業訓練	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職業訓練公社 2011-2014 年戦略指標資料 (VTC 内部資料)</li> <li>・国家上位開発計画 2011-2013 (EDP)</li> <li>・2011 年度進捗報告書</li> </ul>
初等・中等・特殊教育施設改善	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国家上位開発計画 2011-2013 (EDP)</li> <li>・2011 年度進捗報告書</li> <li>・ミレニアム目標</li> <li>・第 2 次進捗報告書 (2010 年)</li> </ul>

上記背景から、借款協定締結後 7 年目に実施されうる事後評価調査では、暫定値を提供した実施機関も含めて、次期の国家上位開発計画 (2014-2016 年、3 か年計画)、同・上位開発計画に明記されるセクター戦略 (3 か年計画)、および、各実施機関が策定する 5 か年計画 (2014-2018 年) 等にて、公式に定められた指標値と併せて確認されるのが望ましい。

### 5.1.3. セクターごとの指標とその値

上記(2)の方法論に基づき選定された指標、ベースライン値および目標値は、次のとおりである。なお、指標に係る背景、現況、過去の変化等について、「第 3 章 3.3 対象セクターの現状分析」を併せて参照のこと。

#### (1) 人材育成・雇用促進

##### 1) 職業訓練セクター

分野	指標項目	ベースライン値 2012	目標値 2014	長期目標値 2016
VTC による 職業訓練	1) 職業訓練公社・訓練校の登録者数 (O) (特記を参照)	10,833	11,200	11,628
	2) 職業訓練公社・訓練校の中退率 (E)	15%	13%	11%
訓練・雇用 促進	3) 貧困地域における職業訓練・雇用斡旋サービスのサテライトセンター (工場・地方支社) の数 (O)	6	11	11
	4) 労働省県事務所に登録する求職者数 (累積) * (E)	34,243	40,000	46,656
	5) 労働省に登録する求職者の雇用率 * (E)	29.5%	36.3%	42.3%

出典:2012 年および 2014 年について 職業訓練公社 (2012 年 11 月) 及び労働省 (2012 年 12 月)

注記 1: (O) は運用指標、(E) は効果指標、\*は EDP で定める指標を意味する。

注記 2: 上記 VTC 訓練校の登録者数は、VTC 所轄の 3 校 (労働安全衛生訓練校、指導員訓練校、自動車運転士訓練校) を含む。

注記 3: 指標 5) は、労働省の雇用斡旋サービス事業に登録した求職者における雇用・就労の割合を示し、主要関連サブ・プロジェクトは No.715 及び No.730 である。

特記 1: 指標数値の原因発生時期は、2012 年ベースライン値は 2012 年 1 月時点で入手可能な最新の数値であり、2014 年目標値は、2014 年末に入手可能な最新統計を参照・利用する。

特記 2: 2016 年の長期目標数値は、JICA 調査団による想定値である。算定で用いた変動率は、過去 3 年に省および VTC が用いている前年比率を参考とした。項目 1)と 2)は年 2%増で推定、項目 3)は年 1%ポイント減で推定、項目 4)はサテライトセンターが持続的に運営管理されることを目指していることから 2014 年時数値と同じく数値維持で推定、項目 5)は年 8%増で推定、項目 6)は年 3.4%増で推定。

##### 2) 高等教育施設改善

分野	指標項目	ベースライン値 2012	目標値 2014	長期目標値 2016
高等教育の 就学	1) 高等教育で学ぶ全学生に占める短大学生の割合* (E)	11 %	11%	12.5
	2) 学士課程の学生数 (年率 12% の増加見込み) (E)	226,713	284,389	356,737
	3) 修士・博士課程の学生数 (年率 12% の増加見込み) (E)	17,532	21,992	27,587
IT/ 学校評価・ 認証	4) 大学業務の学術部門・運営管理部門の双方業務でのコンピューター化導入割合 (導入大学の割合) * (O)	70%	85%	95%
	5) 学校評価・認証の要件を満たす大学の割合* (E)	90%	100%	100%

出典: すべて高等教育科学研究省 (2012 年 12 月)

注記 1: (O) は運用指標、(E) は効果指標、\*は EDP で定める指標を意味する。

注記 2: 指標 1) は 4 年制大学・短大など高等教育に就学する全ての大学・短大学生数に占める、短大 (2 年あるいは 3 年制) 学生数の割合を示し、主要関連サブ・プロジェクトは No.615 である。省が本指標に係る計画を予定どおり進めた場合には、とりわけ貧困・農村地域における短大学生の就学の拡大が期待できる。2 年間では結果の現れ難い指標であるが、将来的 (2016 年) には当案件実施により上昇が見込まれる。

注記 3: 指標 4) は、全大学施設数に占める、学術及び運営管理の双方業務を IT 化 (コンピューターシステムの導入) した大学数の割合を示し、主要関連サブ・プロジェクトは No.606 及び No.607 である。

特記 1: 指標数値の原因発生時期は、2012 年ベースライン数値は 2012 年 1 月時点で入手可能な最新の数値であり、2014 年目標数値は、2014 年末に入手可能な最新統計数値を参照・利用する。

特記 2: 2016 年の長期目標数値は、高等教育科学技術省による、暫定的な見込み値であり、政府に承認された正式な目標数値ではない。

## (2) 社会インフラ改善

### 1) 初等・中等・特殊教育施設改善（就学前・基礎・中等・特殊教育）

分野	指標項目（*印はEDPが定める指標でもあるもの）	ベースライン値 2012	目標値 2014	長期目標値 2016
就学前教育	1) 貧困・農村地域（支援ニーズの高い発展途上地域）における幼稚園・総就学率*（O）	54 %	57 %	60%
基礎・中等教育	2) 賃貸学校で学ぶ生徒の割合 *（O）	10.6 %	10.0%	9.8%
	3) 二部制学校で学ぶ生徒の割合 *（O）	11.0%	10.8%	10.6%
	4) 第5学年を修了した生徒の割合 *（E）	99%	99%	99%
特殊教育	5) 障害児を対象とした特殊教育学校の数（O）	26	27	29
	6) 障害児のうち特殊教育プログラムを享受できる生徒の割合（第1-6学年を対象）*（E）	13.4%	13.6%	13.8%
	7) 全秀才児のうち特別プログラムを享受できる生徒の割合（第7学年以上を対象）*（E）	16%	16.2%	16.4%
識字教育	8) 女子識字率（15歳以上女子）*（E）	90.7%	90.9%	91.3%
	9) 男子・識字率（16歳以上男子）*（E）	96.5 %	96.6%	97.0%

出典: 2012年および2014年について教育省（2012年12月）

注記1:（O）は運用指標、（E）は効果指標、\*はEDPで定める指標を意味する。

注記2: 指標3)は、サブ・プロジェクトの目標（学校教育の正常化）の達成度を判断するのに効果的な基準の1つで、主要関連サブ・プロジェクトはNo.602である。ベースライン値を維持するには、ヨルダン側の尽力・投入が必要となる事項である。過去5年の指標数値変化は増減を見せ不安定で、学齢児童人口の急速な増加程度を鑑みれば、何らかの取り組み・投入がない場合は急速に数値が悪化（増加）すると推定され、具体的取り組みが必須な課題に係る指標である。

注記3: 指標7)は、関連サブ・プロジェクト(No.583)の目標に合致し、特別なニーズをもつ子等への教育に係る本円借款事業の支援効果を判断するのに、効果的な指標基準。

注記4: 指標9)は、ヨルダンが目指す「万人のための教育」（普遍教育）、「非識字の撲滅」の実現に係り、本円借款事業の貢献程度を効果的に判断できる指標基準。過去5年の数値変化は上下し不安定で、現数値は不十分と考えられている。

特記1: 指標数値の原因発生時期は、2012年ベースライン値は2012年1月時点で入手可能な最新の数値であり、2014年目標値は、2014年末に入手可能な最新統計を参照・利用する。

特記2: 2016年の長期目標値は、JICA調査団による想定値である。算定で用いた変動率は、過去3年に教育省が用いている前年比率を参考とした。項目1)は年2%伸びから推定、項目2)と3)は年0.1%ポイント減から推定、項目4)は現在の学齢人口の急増と数値維持の省の方向性から推定、項目5)は年1校増で推定、項目6)と7)は年1%ポイントの伸びで推定、項目8)と9)は年0.2%上昇で推定。

### 2) 保健医療施設改善

分野	指標項目（*印はEDPが定める指標でもあるもの）	ベースライン値 2012	目標値 2014	長期目標値 2016
プライマリヘルスケア	1) 総合ヘルスセンターの数（O）	86	90	94
	2) プライマリヘルスセンターの数（O）	371	401	404
	3) 1歳時点で麻疹予防接種をうけた幼児の割合*（E）	97%	98.0%	99.0%
病院医療	4) 病院ベッド数（O）	4,572	5,272	5,822
	5) 10,000人あたりベッド数*（E）	18	19	19.5
IT／医療施設 認証	6) 全業務にコンピューター化を導入した病院・保健センターの数（E）	1	5	15
	7) 認証・病院の数*（E）	2	8	12
	8) 認証・保健センターの数*（E）	21	50	150

医療専門職	9) 市民 1 万人あたり准看護師 (O)	6.7	6.8	6.9
	10) 市民 1 万人あたり助産師 (O)	3.2	3.3	3.4

出典: すべて保健省 (2012 年 12 月)

注記 1: (O) は運用指標、(E) は効果指標、\*は EDP で定める指標を意味する。

特記 1: 指標数値の原因発生時期は、2012 年ベースライン値は 2012 年 1 月時点で入手可能な最新の数値であり、2014 年目標値は、2014 年末に入手可能な最新統計を参照・利用する。

特記 2: 2016 年の長期目標数値は、保健省による暫定的な見込み値であり、政府に承認された正式な目標数値ではない。

#### 5.1.4. リスク要因

本円借款事業の効果、或いはモニタリング指標による成果の発現を最大化するためには、「2.3.1 (4)セクター課題への取り組み」にて特定された「有効と考えられる対策」のうち、本円借款事業の目標に関わるが、支援対象とならない部分についても、ヨルダン側が併せて努力を行うことが望ましい。

指標の改善に影響を及ぼしうるリスクの低減のために、ヨルダン側で別途措置が必要と考えられる事項は、以下のとおりである。

##### (1) 職業訓練セクター

課題分野	想定されるリスク	ヨルダン側にて手配されるべき措置
職業訓練	<ul style="list-style-type: none"> <li>施設規模が十分でないために、訓練生の受け入れ規模（登録数）が伸びない</li> <li>訓練プログラムが産業技術に合致しないために、訓練生の満足度や意欲が高まらない</li> <li>指導技術が不十分であるために、訓練生の実践技術の習得が高まらない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>訓練校施設の増設</li> <li>訓練プログラムの刷新（改訂）</li> <li>指導員訓練（TOT）による指導技術の向上</li> </ul>
貧困地域への訓練・就労斡旋	<ul style="list-style-type: none"> <li>受講経費、通勤経費・手段を手配できないために、貧困者が OJT に参加できない</li> <li>貧困地への地域工場設置と訓練・就労支援に合意する民間企業が増えないために、貧困地域の訓練生への OJT・就労斡旋ができない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>貧困者を対象とした訓練経費、就労斡旋、通学・通勤手段と経費の支援</li> <li>民間企業との工場地域施設の設置、貧困求人者雇用クォーター制等パートナーシップ・合意の拡大</li> </ul>
労働省の雇用促進サービス	<ul style="list-style-type: none"> <li>新規参入の若年層が見込みより大幅に急増し、既存の雇用数では吸収できず、就労斡旋（就労）数が伸びない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>雇用促進を目的とした産業ニーズ調査の実施</li> <li>民間との連携等による雇用の創出</li> </ul>

##### (2) 高等教育セクター

課題分野	想定されるリスク	ヨルダン側にて手配されるべき措置
短大・大学就学	<ul style="list-style-type: none"> <li>中等教育試験合格率が下がり続け、公立大学・短大への志願者が十分に伸びない</li> <li>中等教育試験に失格し民間大学への学費工面もできない貧困学生が急増し、進学数に影響する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学習達成度向上のための、中等教育のカリキュラムと、教授技術の改善（教育省の所轄）</li> <li>貧困学生奨学制度の拡大</li> </ul>
高等教育機関の業務の質的向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>研究費が確保されないために、導入した機材が有効活用されず、研究者も増加できない</li> <li>情報マネジメントシステム運用の技術が十分でないために、導入インフラが有効活用されない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>科学技術研究費の確保</li> <li>科学研究と産業界の連携拡大による、研究プログラムの刷新</li> <li>大学教職員への情報マネジメントシステム運用に係る技術支援</li> </ul>

## (3) 教育セクター

課題分野	想定されるリスク	ヨルダン側にて手配されるべき措置
就学前教育（幼稚園）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者の就学前教育への理解が低いために、就園児童数が伸びない。</li> <li>・就学前教育年齢児童が予想より大幅に急増するために、幼稚園受入れ規模が不足する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年少児童をもつ保護者への、就学前教育に係る啓発活動</li> <li>・人口増加に合せた幼稚園施設の整備</li> </ul>
基礎・中等教育	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習達成度が低いために、初等教育（第 5 学年）修了率が伸びない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習の向上を狙いとした、基礎教育のカリキュラムと教授法の刷新</li> </ul>
特殊教育	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特殊教育プログラムが、開発されていないために、適切な教育プログラムを享受できない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特殊教育プログラムの開発</li> </ul>
識字教育	<ul style="list-style-type: none"> <li>・難民・移民・中退者の非識字者が、識字クラスの受入れ規模より急増した場合、識字率に影響する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・識字教室の拡充</li> </ul>

## (4) 保健医療セクター

課題分野	想定されるリスク	ヨルダン側にて手配されるべき措置
プライマリヘルス	<ul style="list-style-type: none"> <li>・予防接種ワクチン配布が十分でないため、乳幼児予防接種が、実施できない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地方部・農村部プライマリヘルスケア施設への、予防接種ワクチン配布の拡大</li> </ul>
病院ケア	<ul style="list-style-type: none"> <li>・寿命の伸びと高齢化が、見込みより大幅に進んだために、病院ベッド数が低減する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人口増加の実際に応じた、継続した病院ベッドの整備</li> </ul>
医療施設の認可	<ul style="list-style-type: none"> <li>・省による医療施設のモニタリング・監督指導が十分になされないために、医療施設業務の質の標準化がなされない</li> <li>・医療施設における診療・運営管理業務の IT 運用技術が十分でないために、業務の質向上に繋がらない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・省による、公的医療施設の監督・指導活動の拡大</li> <li>・医療施設職員への IT 運用に係る技術支援</li> </ul>
医療専門職	<ul style="list-style-type: none"> <li>・医療系短大の就学数が拡大しないために、専門職人材の割合がのびない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・医療系短大の受入れ規模の拡大</li> </ul>

## 5.2. 四半期進捗報告書（QPR）作成支援

## 5.2.1. QPR 作成支援方法

JICA 調査団は、次の 4 つの方法にて、実施責任機関による QPR 作成を支援した。

- 1) 本円借款事業に応じた QPR 書式の整備（既定書式への変更不要もしくは当面更新不要箇所の明示等）
- 2) 「QPR 各項目への求められる対応一覧表」（作成支援シート）の提示
- 3) 作成支援シートを用いた実施責任機関への QPR 作成方法の説明
- 4) 段階的に独自に QPR 作成が可能となることを目指した PDCA サイクルの採用

## (1) 本円借款事業に応じた QPR 書式の整備

QPR は、プロジェクト現況報告書（PSR）の書式を用いて作成する。よって、JICA 調査団は、サブ・プロジェクト選定やベースライン調査等の調査結果に基づき、PSR の書式を加筆・更新することによって、本円借款事業に応じた QPR の書式を整備した。主な加筆・更新点は次のとおりである。

表 5-2 主な加筆・更新点（対応する活動）

主な加筆・更新点	JICA 調査団の加筆・更新した情報、もしくは、それに対応する活動
<b>1 Project Description (Relevance)</b>	
1-2 Necessary and Priority of the Project Actual	各セクターにおける課題の把握
<b>2 Project Implementation (Efficiency)</b>	
2-1 Project Scope	サブ・プロジェクトの選定
2-2 Implementation Schedule	サブ・プロジェクトの選定
2-4 Organizations for Implementation	
2-4-1 Executing Agency Actual	現状に関する情報収集
2-4-2 Performance Information on the contractor(s)/supplier(s) Information on the consultant(s)	サブ・プロジェクトの選定、現場視察
<b>3 Benefit Derived from the Project (Effectiveness)</b>	
3-4 Qualitative and Quantitative Data of Monitoring Indicators Indicators, Values (original (yr2012), target (yr2014))	情報収集、定性的・定量的指標の設定、ベースライン調査
3-5 Monitoring Plan for the indicators Original	情報収集、QPR 作成のための助言

出典：JICA 調査団作成

PSR 書式への加筆・更新により、JICA 調査団が整備した QPR 書式を添付資料-8 に示す。

(2) 「QPR 各項目への求められる対応一覧表」（作成支援シート）の提示

JICA 調査団は、実施責任機関が QPR 作成において各四半期に求められる対応を把握できるよう、次のシートを作成した。

表 5-3 QPR 各項目への求められる対応一覧表\*

Items	Original	Actual
<b>1. Project Description (Relevance)</b>		
1-1. Project Objective	No need to change	No change except for any revisions
1-2. Necessity and Priority of the Project	No need to change	No change except for any revisions
1-3. Rational of the Project Design	No need to change	Fill in “No change” except for any revisions
<b>2. Project Implementation (Efficiency)</b>		
2-1. Project Scope		
Table 2-1-1a: Comparison of Original and Actual Location	No need to change	Fill in “No change” except for any revisions
Table 2-1-1a b: Comparison of Original and Actual Scope	No need to change	Fill in actual scope, if any revisions
2-1-2. Reason(s) for the modification if there have been any	-	No change except for any revisions
2-2. Implementation Schedule		
Table 2-2-1: Comparison of Original and Actual Schedule	No need to change	Fill in actual schedule and progress, e.g. “2012 – 2013, ** % for building construction ** for equipment procurement”.

Items	Original	Actual
2-2-2. Reasons for any changes of the schedule, and their effects on the project.	-	Fill in actual reasons, e.g. "Actual schedules was found out in accordance with Sub-project progress."
2-3. Project Cost		
Table 2-3-1a: Comparison of Original and Actual Cost BY Item	No need to change	Fill in actual cost by item.
Table 2-3-1b: Comparison of Original and Actual Cost BY YEAR	No need to change	Fill in actual cost in 2012 on the line for 2012, actual cost in 2013 on the line for 2013, in order.
2-3-2. Reason(s) for the wide gap between the original and actual, if there have been any, the remedies you have taken, and their results.	-	Currently, fill in "No difference".
2-4. Organizations for Implementation		
2-4-1. Executing Agency	No need to change	Currently, a draft is filled in and no need to change except for any differences.
2-4-2. Contractor(s)/Supplier(s), and Consultant(s) and Their Performance		
2-4-2-1. Procurement and Consultant		
Table 2-4-2: Procurement of Contractor(s)/Supplier(s) and Consultant(s)	No need to change	Fill in selection method, e.g. "LCB", "Direct purchase".
Table 2-4-2-2: Performance		
Information on the Contractor(s)/ Supplier(s):	-	Add the name of Contractor(s) and Supplier(s) with their Sub-project no.
Evaluation	-	Fill in evaluation result of their performance.
Information on the Consultant(s)	-	Add the name of Consultant(s) with their Sub-project no.
Evaluation	-	Fill in evaluation result of their performance.
2-5. Precautions (Measures To Be Adopted/Points Which Require Special Attention)	No need to change	Fill in actual issues and countermeasure(s), if the situation is changed. If no change, fill in "No change" or "N/A" or other appropriate words depend on the items.
2-6. Photographs of Output of the project	-	Attach photos to the QPR.
<b>3. Benefit Derived from the Project (Effectiveness)</b>		
3-1. Operational and physical condition of each facility developed/supplied by the project		
□ Facilities	-	N/A
□ Description of condition	-	N/A
□ Problems, its Background and Remedial Action Plan	-	N/A
3-2. Precautions (Measures To Be Adopted/Points Which Require Special Attention)	No need to change	N/A
3-3. Environmental and Social Impacts	-	Leave the area blank. (It will be filled in at the Project completion.)
3-4. Qualitative and Quantitative Data of Monitoring Indicators	No need to change	Fill in updated data on the line of "Present". No need to change on the line of "Target".
3-5. Monitoring Plan for the indicators	No need to change	Fill in "No change" except for any revisions
3-6. Achievement of the Project Objective	-	Filled in at PCR stage

Items	Original	Actual
<b>4. Operation and Maintenance (O &amp; M) (Sustainability)</b>		
4-1. O & M Management	No need to change	Filled in at PCR stage
4-2. O & M Cost and Budget	-	Filled in at PCR stage
<b>5. Evaluation</b>		
5-1. JICA and Borrower/Executing agency Performance	-	Filled in at PCR stage
5-2. Overall evaluation	-	Filled in at PCR stage
5-3. Lessons Learnt and Recommendations	-	Filled in at PCR stage

注記\*：上表は実施責任機関に提示することを目的に作成したため、原文のとおり英語表記とする。

出典：JICA 調査団作成

### (3) 作成支援シートを用いた実施責任機関への QPR 作成方法の説明

JICA 調査団は、実施責任機関に対し、作成支援シートを参照の上、整備した QPR 書式を用いて、QPR の作成方法として、各実施機関からのデータ・情報の収集時期、収集データ・情報の整理方法等を説明した。主な説明事項は次のとおりである。

#### 1) QPR の構成および内容

- QPR は PSR の書式に基づき、次の 5 章より構成される。
  1. Project description (relevance)
  2. Project implementation (efficiency)
  3. Benefit derived from the Project (effectiveness)
  4. Operation and Maintenance (O&M) (Sustainability)
  5. Evaluation
- QPR および案件完了報告書（PCR）は、同じ書式を用い、各報告書の対象期間に応じ、設定された運営効果指標に基づくモニタリング結果を記録することが求められている。また、QPR および PCR は、事業完了より 2 年後に実施される事後評価にて参照される。

#### 2) 実施責任機関にて更新すべき箇所、および変更不可箇所

- 原則として、PSR の「Original」箇所は変更すべきではない。
- しかし、PSR の 2-1、2-2、3-4 および 3-5 章の「Original」については、本円借款事業の管理、モニタリングおよび評価により適するよう、JICA ヨルダン事務所の了解の上、JICA 調査団が記述を更新した。
- その他の QPR 作成時にとるべき対応は「QPR 各項目への求められる対応一覧表」に示す。

#### 3) 書式の記入方法

主な書式の記入方法は、QPR の 3-5 章「Monitoring Plan for the indicators」に示す。これに加え、JICA 調査団は主に次の点について説明を加えた。

- 指標のモニタリング担当部局および担当者
- 方法論（各実施機関におけるセクターごとのモニタリング、各実施機関から実施責任機関への報告、実施責任機関による総括的モニタリング）
- スケジュール（JICA への各報告書（QPR、PCR）の提出時期等）



#### 4) 第1四半期（JICA への第1回目の提出）

- 本円借款事業のモニタリングは、2012年8月14日付けのJICAとヨルダン国政府における借款協定締結後より開始する。よって、本円借款事業における第1四半期は、2012年8月14日から同年12月末までを指す。

なお、これらの説明時、実施責任機関は、QPRは重要でありモニタリングに有効な情報であるが、作成には想像以上の作業が発生する等の質疑・懸念事項が呈された。

現在は、後述するPDCAの第1サイクルの段階である。状況に応じ、より適したQPR作成体制の構築を検討することが望まれる。

#### (4) 段階的に独自にQPR作成が可能となることを目指したPDCAサイクルの採用

実施責任機関が、日本側の支援なく、独自にQPRを作成できるよう、JICA調査団は、PDCAサイクルに基づき、段階的な計画を立案した。

表 5-4 第1PDCAサイクルにおける設定活動と期限

	設定期限	担当	活動
1. P 計画	第1次現地調査終了時まで	JST	QPR作成環境の整備（本円借款事業用に書式への追記・更新、作成支援シートの準備等）
2. D 実施	2013年1月中旬まで	EA	QPR（2012年12月分）の作成
3. C 検討	“D”に後続	JICA/JST	QPR（2012年12月分）の確認
4. A 対処	第2次現地調査終了時まで	JST	（必要に応じ）QPRの改善点や作成手順の見直しに関する提言

出典：JICA調査団作成

#### 5.2.2. QPR作成支援結果

表 5-4 に従い、JICA 調査団は QPR 書式の加筆・更新、作成支援シートを作成し、実施責任機関に対し、QPR の作成方法を説明した。

第2次現地調査中に、実施責任機関がJICA調査団の支援の下、QPR（2012年12月分）の最終化を進めていることが確認された。この経験を通じ、実施責任機関がQPR作成におけるノウハウを習得していることが期待される。

### 5.3. サブ・プロジェクトの現場視察

#### 5.3.1. 整備施設・調達機材等の現物および活用状況

2012年に調達・支払い済みの機材の現物確認、および本円借款事業対象施設・機材・家具（候補を含む）の状況（建設、運営・維持管理）確認のため、JICA調査団は、サブ・プロジェクトの現場視察を実施した。視察現場は次の観点に基づき選定した。

- 2012年に建設費・機材/家具調達費が支払い済み、もしくは見込まれている現場
- 本円借款事業の受益者となる現場（特に、ヨルダン全土を対象とするサブ・プロジェクトの受益者）

現場視察により把握した本円借款事業で整備が予定されている機材・家具・施設の現状は次表のとおりである。

表 5-5 本円借款事業で支援が予定されている機材・家具の現状（現場視察より）

No.	サブ・プロジェクト名	機材	現状
607	Developing economics higher education (MOHESR)	サーバー (MOHESR 用) (富士通・シーメンス・コンピュターズ)	サーバーは、国立情報技術センターに設置されている。本センターは、官庁等に対し、サーバー設置環境を提供し、管理している。温度・湿度・セキュリティ等の面より、管理されている。2012 年に支払い完了。
HES	Supporting Jordanian Public University (MOHESR)	JUST の中央図書館用機材および家具	閲覧机、椅子、書架（400,000 冊収容）、パソコン（約 150 台）、図書貸出しセルフチェックシステム（3 台）、TV モニター（4 台）等が据え付けられ、使用されている。2012 年に支払い完了。
622	Development and Applying Transportation and Nursing System (MOH)	看護師の通勤用車両（バス）	2012 年 5 月、22 人乗りバス 1 台（三菱ふそう）が、MOH よりアル・パシール病院に供給された。当病院で、本バスを 3 交代で稼働させ、約 700 名の看護師の通勤に利用している。
640	Medical Equipments and Spare Parts Health Centres (MOH)	デジタル X 線検査装置（島津製作所）	2 台のデジタル X 線検査装置が、アル・パシール病院に設置され、1,000 名/日の診察に活用されている。現場視察中も、途切れることなく使用されていた。
658	Expanding Al Karak Hospital (MOH)	医療機材（放射線、外科、手術、歯科等）、医療家具（ストレッチャー等）	既存病院の拡張に伴う機材の調達・据付。2012 年に納品・支払いが完了した機材・家具は、建設工事の進捗の遅れにより据付出来ず、既存病院に山積みになっている。
723	Vocational Training (VTC/MOL)	溶接用変換器（金属産業特別訓練施設（セハブ））	本訓練施設は、1997 年に設立。施設は WB より、機材は JICA（技術協力）より支援を受けている（JICA はさらに JOCV を派遣している）。訓練生定員は 80 名（60 名：専門コース・3 コース各 2 名ずつ、20 名：職人コース）。  職業訓練用機材が本円借款事業にて支援される予定（溶接用変換器は 2012 年に納品・支払いが完了済み）。
723	Vocational Training (VTC/MOL)	オーブン、大型換気扇、調理用棚（マルカ女子訓練施設）	1983 年に建設された女性のための職業訓練施設である。2012 年 4 月から新しく調理コースが開設された。これに伴い、同年、数種の機材が新たに調達・納入された。
		研削盤（検査・訓練施設）	1992 年に建設された電子・自動車・IT・観光・美容・工芸等の職業訓練施設である。本研削盤は 2013 年に本施設へ供給された。施設修繕は USAID にて支援されている。
586	Kindergarten Education Program Administration Project (MOE)	園児用椅子・机等家具（アル・カシヤフィー小学校（セハブ））	2013 年に 1 教室の開設（小学校に併設）が予定されている。これに伴い、新規に園児用椅子・机等家具の調達が予定されている（2013/2/19 視察）。 →本支払いは GCC にて支援されることとなった（2013/2/28）。

No.	サブ・プロジェクト名	機材	現状
586	Kindergarten Education Program Administration Project (MOE)	園児用椅子・机等家具（ハフサ・ビント・オマール中学校（セハブ））	2011 年に開園された幼稚園（中学校に併設）の家具の更新（開園当初は他園より譲り受けた旧式家具を利用していた）。2012 年 6 月に据付が完了（2013/2/19 視察）。 →本支払いは GCC にて支援されることとなった（2013/2/28）。
597	Secondary Education Program Administration Project (MOE)	学生用椅子（アル・カンサア中等学校（マダバ））	学生数 1,200 名の中等学校への学生用椅子の調達。2012 年に納品・支払い完了（2013/2/19 視察）。 →本支払いは GCC にて支援されることとなった（2013/2/28）。

出典：JICA 調査団作成

表 5-6 本円借款事業で支援が予定されている施設の現状（現場視察より）

No.	サブ・プロジェクト名	施設	現状
658	Expanding Al Karak Hospital (MOH)	アル・カラック病院（拡張：12,000 m <sup>2</sup> ・3 層・120 床、修復：拡張工事終了後）	既存病院の拡張・修復工事。2008 年に工事開始、当初 2011 年に竣工予定だったが、現在の竣工予定は 2013 年 6 月。拡張により、手術ゾーン（ICU、CCU を含む）、病室ゾーン、検査ゾーン、事務管理棟が増築される。病室は 130 床追加され、計 250 床の病院となる。敷地内の緊急患者ゾーンは USAID により支援されているが、本事業による建設工事とは明確に分離されている。
661	Establishment of Al-Salt new Hospital (MOH)	サルト病院（4 区画、10 階建て、350 床）	契約期限は 2013 年 12 月であるが、延長される模様（88 日間：雨季、50 日間：冬季）。2012 年末までの支払い額は JD13,818,000、竣工までの総事業費は JD39,000,000 を予定。
HES	Supporting Jordanian Public University (MOHESR)	教室複合棟およびホール（JUST）	教室複合棟の仕上げ工事を遂行中。総事業費は JD800 万。その内、JD200 万が未払い。これに加え、事務管理棟の設計が終了。資金不足にて建設中断中。
		アカバ・キャンパス（バルカ応用大学）	新キャンパス建設工事（第 1～3 ステージ）が進行中。現在、3 棟の建設から構成される第 1 ステージの終盤（ホテル・カレッジ、特別センター、事務管理棟）。2013 年 3 月中旬に完了予定。第 2 ステージの図面は 2007 年に作成済みであるが、予算の都合により建設は開始されていない。なお、第 2 ステージは、4 棟（学生管理棟、図書館、教育複合棟、海事カレッジ）の建設および機材・家具調達より構成される。第 2 ステージの総事業費は JD800 万を予定。
602	Establishing school buildings for (Decent housing for decent life) project (MOE)	学校（小・中学校の複合校）（3 階建て、建設面積：3,300m <sup>2</sup> ）	ダヒアット・プリンセス・イマン学校（セハブ） 出来形：89% 建設費：JD963,047.700 2012 年 2 月 5 日に建設開始、原契約

No.	サブ・プロジェクト名	施設	現状
			工期 180 日間。 敷地および天候の状況より、工期は延長される見込み。
			カストディアル学校（ザルカ） 工事完了、2012 年 9 月、引き渡し済み。
597	Secondary Education Program Administration Project (MOE)	補修（アル・カンサア中等学校（マダバ））	学生数 1,200 名の中等学校への学生用椅子の調達。2012 年に納品・支払い完了（2013/2/19 視察）。 →本支払いは GCC にて支援されることとなった（2013/2/28）。

出典：JICA 調査団作成

表 5-7 既存機関（受益者候補）の現状（現場視察より）

No.	サブ・プロジェクト名	機関名	現状
640	Medical Equipment and Spare Parts Health Centres (MOH)	アル・サルト病院（サルト）	1961 年設立。アル・バシール病院（アンマン）より、日本の ODA にて供与された CT スキャナーを引き継ぎ、使用中。2 台の X 線検査装置は製造より 20 年以上が経過。
680	Handicapped Affairs Program Administration (MOSD)	宿泊センター（ジェラッシュ）	1990 年に設立。視察時点（2013 年 2 月）、207 名の障害者に宿泊・訓練環境を提供。176 名の従業員にて運営。施設として、本円借款事業の目的と合致する機能が果たされていることが確認されたものの、2012 年には本円借款事業対象となる支出はない。よって、本円借款による支援（予算の計上）は、2013 年度からの開始を計画。
722	Transferring Investment to Remote Areas (MOL)	アル・アリーン工場	下着製造工場。470 名の従業員を雇用。内、98%が女性、その大半は近隣地域の居住者。500 名の雇用が目標。  工場での製造品は市場にて販売。一連の流通活動より、従業員は訓練に加え、職と給料を得ることが出来ている。施設と工場運営開始当初の最低限の給料のみ、MOL より提供される。その後は、民間企業にて運営されている。本サブ・プロジェクトにて、すでに 6 工場が設立済み。これに加え 7 工場の設立が要望されている（3 工場：緊急、4 工場：将来計画）。
723	Vocation Training (VTC/MOL)	マダバ女子職業訓練センター	2000 年設立。5 コースを提供（秘書、データ入力、美容、裁縫、工芸）。各コースは、模擬実習機材を活用した実践的な訓練にて構成。年間 150-200 名の訓練修了生を輩出。
		マダバ接客・観光訓練センター	2004 年設立。2 コースを提供（初歩、上級）。年間 130-140 名の訓練修了生を輩出。

出典：JICA 調査団作成

### 5.3.2. 各実施機関における機材管理・追跡方法の状況

#### (1) 一般的状況

ヨルダン国では、全政府関連機関は資産（機材・備品、消耗品、燃料）の管理に 3 種の書式（受領シート、配分シート、登録簿）の使用が規定されていることが確認できた。

品物が納品されると、当該取引は受領シートに記録される。納品された品物が各政府関連機関内にて配分されると、当該取引（配分先名を含む）は、配分シートに記録される。登録簿は、各品物の数量情報の記録のため、受領シートおよび配分シートと共に使用される。

現在のところ、品物配分後の状況、所在地、使用者等に関する体系的なモニタリング・管理・追跡方法はない。

#### (2) 現行管理方法の電子化

効率性、効果性の向上のため、上記(1) に示す現行の紙ベースの管理方法の電子化が進められている。現在、数省庁による試行期間である。

この電子化システム（「政府資産運営管理システム（GIMCS）」）は、調達先により 2 つ（国内調達、国外調達）に分類され開発された。国内調達品の管理システム（符号化）は国内軍隊により開発された。国外調達品の管理システム（符号化）は米国のシステムを踏襲している。

本管理システムでは、符号化（コード番号付与）によって、主属性・副属性・分類・担当部局・資産の種類（消耗品／資産／廃棄待ち）・使用／耐久年数・危険注意事項等の情報が管理されている。

現在、GIMCS には、全試行対象省庁によって、約 2 万品の資産が登録されている。本格運用の開始は未定である。

#### (3) 医療機材

ヨルダン国全土にわたる 31 の病院および約 700 の保健所の医療機材は、MOH 傘下の医療技術局（DBE）にて管理されている。DBE は、122 名の技術者と 204 名の事務管理職員から構成され、約 42,000 の医療機材の管理や修理等を担っている。

当該任務を遂行するため、DBE は 2005 年より、機材管理方法を電子化した（オラクル・サーバー・フォーム・サービスを用いた「医療機材管理システム」）。本管理システムは、全資産管理、修理・維持管理、スペア・パーツ管理等より構成されている。また、本管理システムは、各機材に、資産番号・機材名称・機材所在地を示したバーコードシールを発行している。このバーコードが各機材に貼付されている。DBE の従業員には、職務に応じ、本管理システムへのアクセス権限が与えられている。

なお、DBE では、この電子化システムに加え、従来の紙ベースの書式による管理も行っている（会計監査は従来の書式で実施されるため）。

### 5.3.3. モニタリング・評価のための機材追跡方法の提案

これまでのモニタリング・評価案件を通じ、ヨルダン国では、円借款案件にて調達された機材・家具の状況を把握することが非常に困難であることが確認されている。これは、機材・家具が当初据え付けられた場所より移転され、現所在地を把握することが困難であることに起因する。

上記の状況を解決すべく、JICA 調査団は、各実施機関での現在の機材管理方法を踏まえ、本円借款事業にて調達する機材・家具の追跡方法を提案した（下表参照）。

本方法は、JICA ヨルダン事務所の合意の下、実施責任機関に説明され、採用が決定した。これに伴い、JICA 調査団は、第 2 次現地調査中にセミナーを開催し、各実施機関の調達・供給部担当者および実施責任機関に対し、本方法およびその実践方法を説明した。

#### 本円借款事業のための機材管理・追跡方法

##### (1) 「機材台帳」の採用

機材を追跡性の観点より管理するため、JICA 調査団は「機材台帳」様式（表 5-8 参照）を準備した。本「機材台帳」は各実施機関で採用されている現管理書式に基づき、作成された。本「機材台帳」の主な機能は、可能な限り少ない負担にて、本円借款事業にて調達される機材の所在地を管理することである。

##### (2) ODA ステッカーの貼り付け

円借款案件で調達される機材の認知度を高めるため、機材に ODA ステッカーを貼り付ける。ODA ステッカーを貼り付ける機材は、「機材台帳」に基づき設定する。

表 5-8 機材台帳様式

Human Resources Development and Social Infrastructure Improvement Project (L/A No. JO-P12)												
Inventory List for Purchased Equipment under Japanese ODA Loan												
Sub-Project Number: 723			Sub-Project Name: Vocational Training									
IN								OUT				
Serial No.	Description	Unit	Quantity	Unit Price	Amount	Date of Acceptance	Incoming Sheet No.	Request No.	Date of Supply	Location	Quantity	Outgoing Sheet No.
1	Welding Machine TIG/DC TELWIN brand	set	8	1,368.000	10,944.000	18-Nov-12	646479		4-Dec-12 17-Dec-12	Yajouz Institute Special Institute for Metal Industry	2 6	210323 210366

出典：JICA 調査団作成





## 6. 結論および提言



## 6. 結論および提言

### 6.1. サブ・プロジェクト選定における合意形成

第1次現地調査を通じ、本円借款事業の対象として、55件のサブ・プロジェクトが選定され、JICAにより承認された。55件選定後、合意形成の過程は次のとおりである。

2012年11月26日、JICAヨルダン事務所の同席の下、本55件のサブ・プロジェクトを本円借款事業の対象とすることについて、実施責任機関より合意を得た。これを受け、実施責任機関は、本55件のサブ・プロジェクトの選定に関し、JICAより承認を得るため、2012年12月9日付けにて、公式文書を発行した。これに対し、JICAヨルダン事務所は、2012年12月17日付け公式文書にて、本55件のサブ・プロジェクトの選定を承認する旨、返答した。

55件のサブ・プロジェクト一覧表を添付資料-4に示す。

### 6.2. 円滑なディスバースメント請求のための対策

実施責任機関により発行された要請文書に基づき、2012年12月17日付けにて、本円借款事業の借款協定書は変更された。これにより、スペシャル・アカウントのイニシャル・ディスバースメントは増額され、110億円を上限額とすることとなった。このイニシャル・ディスバースメントの増額により、ヨルダン側によるSOEやRFRの準備はより単純化されるため、ディスバースメント請求手続きは円滑化されることが期待できる。

このような状況を考慮し、JICA調査団は、円滑なディスバースメント請求のため、次の点を提案する。

- 予算配分に際し、サブ・プロジェクトに優先順位をつけること。特に主要コンポーネントの支払い対象項目を優先すること。
- 確実かつ円滑に予算を執行すること。
- 1つの請求書内に複数の支払い条件を包括しない支払いより、SOEを準備すること。

上記に加え、実施機関への予算執行時期はディスバースメント請求を促進する上での要所である。なぜならば、実施機関は十分な資金を保有していないため、建設業者への支払いが滞っており、建設業者が必要な資源の投入を躊躇するという事態が発生しているからである。この事態がサブ・プロジェクトの進捗の遅れの要因となり、結果的にディスバースメント請求の遅延を引き起こしている。機材供給においては、実施機関は使用可能な予算額を確認するまで入札を行うことができないため、サブ・プロジェクトの進捗が遅延しており、施設建設と同様の問題が発生している。

すでにJICAによって、サブ・プロジェクトの遂行に活用するためのイニシャル・ディスバースメントは支払われている。ヨルダン側の本円借款事業関連省庁への予算配分における柔軟な対応が求められる。

### 6.3. 成果向上のための対策

#### 6.3.1. プロジェクト・シートの活用（各サブ・プロジェクトの成果や進捗モニタリング）

JICA調査団は、各サブ・プロジェクトを管理するため、プロジェクト・シートを準備した。プロジェクト・シートは、一般情報・財務情報・成果や進捗モニタリングのための情報等より構成されている。各サブ・プロジェクト終了時まで更新される。本プロジェクト・シートを添付資料-17に示す。

本プロジェクト・シートは、本円借款事業全体の成果向上に資することが期待される四半期報告書の作成に活用できる。よって、各実施機関は、本プロジェクト・シートを活用して各サブ・プロジェクトの成果や進捗をモニタリングすることが望まれる。

また、本プロジェクト・シートに記載される成果指標は 2013 年度公表予算より引用している。2015 年度等後続する公表予算により見直す必要が発生する場合がある。

### 6.3.2. 四半期報告書（QPR）作成支援シートの活用

JICA 調査団は、実施責任機関が四半期報告書を作成する上で必要な対応を示した表「QPR 各項目への求められる対応一覧表」（参照：表 5-3）を作成支援シートとして準備した。

四半期報告書は JICA への報告に加え、円借款事業の実施過程および成果における改善においても活用されることが期待されている。

## 6.4. 実施における課題および我が国の ODA による今後の協力に関する提言

### 6.4.1. 実施責任機関および各実施機関担当者の能力強化

円滑な事業の実施のため、サブ・プロジェクトのモニタリングや SOE、QPR および PCR の作成等に関する実施責任機関および各実施機関担当者の能力強化を提案する。これは、特に組織における人事異動を見据え実施することが望ましい。本能力強化は、JICA ヨルダン事務所もしくはコンサルタントにより実施可能であると想定する。

### 6.4.2. ディスバースメントの促進

JICA 調査団はサブ・プロジェクトにおいてディスバースメント対象となるコンポーネントを優先的に実施することを提案する。全サブ・プロジェクトの総予算は本円借款事業の借款上限金額に達しているため、ディスバースメント対象コンポーネントが優先的に実施されれば、本円借款事業において十分なディスバースメント請求額を確保可能と推定できる。

しかしながら、JICA 調査団による 2013 年度公表予算の分析および試算では、本円借款対象全サブ・プロジェクトの有効支払い総額は JD107.87 百万と、借款上限金額である JD111.22 百万より JD3.3 百万不足することがわかった。一方、2012 年度に準備された SOE 総額は JD18.74 百万となり、当初の想定金額を JD12.43 百万分下回る。

これら SOE や有効支払い金額の当初見込みからの不足分を補うため、JICA 調査団は、JICA を通じ、実施責任機関が次の代替案を検討することを提案する。

1. サブ・プロジェクト「Supporting Jordanian Public University」の有効支払い項目への資金の投入を促進すること（本サブ・プロジェクトの 2013 年、2014 年の SOE 総額は JD40 百万超と見込まれる）。
2. 2013 年度公表予算に基づき、サブ・プロジェクトを追加すること（予算配分および SOE 準備に十分な時間が確保できるよう、可能な限り早期に加えること）。

なお、証憑回収や SOE 作成・提出の遅れ等により、円借款契約期間内に借款上限金額のディスバースメント請求手続きが完了しなかった場合、JICA はヨルダン側に対し、借款上限金額とディスバースメント請求金額（手続き完了分）との差額の返金を要請することとなる。

#### 6.4.3. ODA マークもしくは日章旗の掲示

JICA 調査団は、本事業による成果の提示のため、下記の基準を満たす施設に ODA マークもしくは日章旗の表示されている銘板を設置することを提案した。

##### 銘板設置案件（施設）の選定基準

1. 円借款対象率（総事業費カバー率）が、50%以上であること。
2. 施工において、一定の品質が確保されていること。  
（品質水準の設定・確認方法については要検討。）

JICA 調査団は、銘板の設置に加え、機材および家具の追跡方法の一案として、ODA マークもしくは日章旗のステッカーを本事業による供与機材および家具に貼付することを提案した。

この提案は JICA およびヨルダン国側より賛同を得た。また、銘板製作・設置費用は JICA ヨルダン事務所より負担可能であること、ステッカーは在ヨルダン国日本大使館より提供可能であることが確認された。銘板のデザイン（案）を、添付資料-10 に、銘板設置案件（施設）（案）を添付資料-11 に示す。

#### 6.5. 事業成果のモニタリング

サブ・プロジェクトの各コンポーネントの精査・選定後より、本円借款事業においても、ヨルダン側による各コンポーネントの進捗および成果のモニタリングが求められる。

成果のモニタリングおよび JICA への報告において、四半期報告書（JICA 調査団の準備によるプロジェクト・シートを含む）の活用は、最も適した方法である。JICA 調査団は、次の技術的観点より四半期報告書を成果のモニタリングに活用することを提案する。

- 進捗・工程管理（契約、施工、調達等）
- 建設施設および調達機材・家具の運営・管理状況
- 成果指標（ヨルダン国政府による公表予算計画より引用）の達成度（定期的モニタリングを要する。）
- 実施過程における成果低迷等に対する適切な対応の有無（原因の究明等）
- 各実施機関による継続的な SOE の準備
- 実施責任機関による継続的な RFR の提出
- 対象コンポーネントの予算およびディスバースメント請求状況
- ヨルダン側公表予算に基づく本円借款事業全体予算およびディスバースメント請求状況



添付資料





## 添付資料

添付資料-1. 調査団員・氏名 .....	A-1
添付資料-2. 活動記録.....	A-2
添付資料-3. 面談者リスト.....	A-8
添付資料-4. 選定サブ・プロジェクト一覧表.....	A-14
添付資料-5. サブ・プロジェクト選定手順.....	A-15
添付資料-6. サブ・プロジェクト選定結果.....	A-16
添付資料-7. サブ・プロジェクト選定に関する公式書簡.....	A-25
添付資料-8. 四半期報告書様式（更新版） .....	A-28
添付資料-9. 実施責任機関および実施機関の担当者.....	A-54
添付資料-10. 銘板（案） .....	A-61
添付資料-11. 銘板設置条件（施設）の推薦.....	A-62
添付資料-12. 優良案件の推薦.....	A-63
添付資料-13. 打合せメモ.....	A-64
添付資料-14. ワークショップ・セミナー資料（SOE の作成、サブ・プロジェクトのモニタリング） .....	A-91
添付資料-15. 参考資料／入手資料リスト.....	A-99
添付資料-16. 現地調査写真.....	A-102
添付資料-17. プロジェクト・シート.....	A-146



調査団員・氏名

- |          |                          |
|----------|--------------------------|
| 1. 福岡 裕一 | 総括／<br>成果管理 1（職業訓練・高等教育） |
| 2. 黄 鳳國  | 成果管理 2（保健医療・初中等教育）       |
| 3. 澤下 理恵 | 副総括／<br>会計監理 1           |
| 4. 小島 京子 | 会計監理 2                   |

## 活動記録

## 第1次現地調査（2012年10月12日～12月8日）

Date/Venue	Counterpart	Meeting Agenda
<b>AMMAN: First Week (14 – 20 October)</b>		
14 Oct 11:00～ JICA Jordan Office	01: JICA Jordan Office	Background of the Study and notable issues highlighted by JICA. Explanation of ICR by the Study Team. Comments to ICR by JICA.
16 Oct 09:00～ MOPIC	02: Ministry of Planning and International Cooperation	Introduction of the Study Team and member and person in-charge of MOPIC. Explanation of ICR. Comments by MOPIC.
17 Oct	09:10～ MOPIC	03: Ministry of Education Explanation of ICR Sub-project confirmation and selection.
	11:00～ MOPIC	04: Ministry of Higher Education & Scientific Research Explanation of ICR Sub-project confirmation and selection.
	11:35～ MOPIC	05: Ministry of Health Explanation of ICR Sub-project confirmation and selection.
	14:10～ MOPIC	06: Ma'an Development Area (Sub-project under the Ministry of Finance) Explanation of ICR Sub-project confirmation and selection
	14:50～ MOPIC	07: Greater Amman Municipality (Sub-project under the Ministry of Finance) Explanation of ICR Sub-project confirmation and selection.
	15:15～ MOPIC	08: HCAPO (handicap assistance organization) (Sub-project under the Ministry of Finance) Explanation of ICR Sub-project confirmation and selection.
	15:45～ MOPIC	09: Ministry of Finance Explanation of ICR Sub-project confirmation and selection.
18 Oct	9:00～ MOL	10: Ministry of Labour Explanation of ICR Sub-project confirmation and selection.
	12:15～ MOH	11: Ministry of Health Detailed discussion on Sub-projects Explanation and practice of filling in SOE form,
	15:25～ JICA Jordan Office	12: JICA Jordan Office Reporting of discussion result with the Jordanian sides. Highlighted issues and concerned difficulties. Planning activities for next week.
Date/Venue	Counterpart	Meeting Agenda
<b>AMMAN: Second Week (21 – 27 October)</b>		
21 Oct	10:00～ JST Office	01: JICA Jordan Office Sub-projects selection criteria for second screening and some issues Comments by JICA.
	11:00～ MOPIC	02: Ministry of Planning and International Cooperation and JICA Jordan Office Sub-projects selection criteria for second screening and some issues Comments by MOPIC.
22 Oct 10:00～ VTC	03: Vocational Training Corporation	Explanation of ICR Detailed discussion on Sub-projects and their components.
23 Oct	09:00～ MOH	04: Ministry of Health Detailed discussion on Sub-projects and their components, preparation of SOE and evidence documents.
	11:00～ MOE	05: Ministry of Education Detailed discussion on Sub-projects and their components, preparation of SOE and evidence documents
	13:35～ MOHE	06: Ministry of Higher Education & Scientific Research Detailed discussion on Sub-projects and their components, preparation of SOE and evidence documents.
24 Oct 08:30～ MOPIC	07: Ministry of Planning and International Cooperation	Detailed discussion on performance indicators and their availability. Structure of the national development plan including National Agenda and EDP.

	11:00～ MOPIC	08: Ministry of Planning and International Cooperation	Confirmation of Sub-projects selection and the estimated amount of necessary budget based on the result of second screening.
	16:00～ JICA-Jordan Office	09: JICA Jordan Office	Report on discussion results with IAs and EA. Discussion on issues to be solved and planning activities for coming weeks.
<b>Date/Venue</b>		<b>Counterpart</b>	<b>Meeting Agenda</b>
<b>AMMAN: Third Week (28 October – 3 November)</b>			
30 Oct	09:30～ JST Office	01: JICA Jordan Office	Discussion on highlighted issues (increasing initial disbursement, next schedule, etc.).
31 Oct	10:00～ MPWH	02: Government Tenders Department/Ministry of Public Works & Housing	Information collection regarding Jordanian government tendering procedure.
	10:00～ VTC	03: Vocational Training Corporation	Information collection regarding monitoring, indicators and MIS system for performance management.
	12:00～ MOHE	04: Ministry of Higher Education & Scientific Research	Information collection regarding monitoring, indicators and MIS system for performance management.
1 Nov	10:00～ MOE	05: Ministry of Education/ Engineering Affairs	Information collection regarding building projects' activity demarcation, document storage, contract style, payment procedure, etc. of MOE.
	10:00～ MOE	06: Ministry of Education/ EMIS, Monitoring and Evaluation	Information collection regarding monitoring, indicators and MIS system for performance management.
<b>Date/Venue</b>		<b>Counterpart</b>	<b>Meeting Agenda</b>
<b>AMMAN/JAPAN: Forth Week (4 – 10 November)</b>			
4 Nov	10:00～ JST Office	01: JICA Jordan Office	Discussion on highlighted issues (acceleration of disbursement, medicine provision, etc.).
	10:30～ MOPIC	02: Ministry of Planning and International Cooperation and JICA Jordan Office	Discussion on highlighted issues (Result of sub-projects selection and next action to be taken).
	13:00～ MOPIC	03: Ministry of Planning and International Cooperation (IT consultant)	Information collection regarding monitoring, indicators and MIS system for performance management.
5 Nov	12:40～ GJU	04: German Jordanian University	New campus's site visit
	13:30～ MOPIC	05: General Budget Department, MOF, MOPIC and JICA Jordan	Outline of the Project and acceleration of disbursement.
6 Nov	10:00～ MOHE	06: Ministry of Higher Education & Scientific Research	Clarification of Project's components and information prepared by MOHE and explanation how to fill in SOE.
	13:00～ MOH	07: Ministry of Health	Information collection regarding monitoring indicators for performance management.
	14:00～ (Japan time) JICA-HQ	08: JICA-HQ	Discussion on highlighted issues (Result of Sub-projects selection, definition of poverty area, medicine provision, Syrian refugee and Initial disbursement, etc.).
7 Nov	10:00～ MOE	09: Ministry of Education/ Sub-project's Project Officer	Clarification of Project's components and information prepared by MOE and explanation how to fill in SOE. Collect information regarding tender procedures for equipment and furniture under MOE.
8 Nov	9:00～ Kempinski Hotel	10: JICA-HQ, JICA-Jordan Office, MOPIC, IAs, GBD and Audit Bureau (see Annex 3-2)	Disbursement seminar conducted by JICA-HQ and exercise on filling in SOE explained by JST.

Date/Venue		Counterpart	Meeting Agenda
<b>AMMAN/JAPAN: Fifth Week (11 – 17 November)</b>			
12 Nov	13:30～ MOF	01: German Jordanian University, Ministry of Finance	Clarification of German Jordanian University project components.
	14:40～ MOF	02: Ministry of Finance	Clarification of project components and confirmation of accounting filing situation.
13 Nov	10:00～ AB	03: Audit Bureau	Information collection regarding auditing system in Jordan and discussion on requirements and methods of auditing the Project
	12:20～ GSD/MOF	04: General Supplies Department/Ministry of Finance	Information collection regarding equipment/furniture procurement and tendering procedure in Jordan
14 Nov	10:00～ MOH	05: Ministry of Health	Clarification of project components and information prepared by MOE and explanation how to fill in SOE.
15 Nov	14:00～ JICA-Tokyo HQ	06: JICA-Tokyo Headquarters	Discussion on highlighted issues. (poverty area, German Jordanian University Project, etc.)
Date/Venue		Counterpart	Meeting Agenda
<b>AMMAN: Sixth Week (18 – 24 November)</b>			
18 Nov	09:00～ MOHE	01: Ministry of Higher Education & Scientific Research	Confirmation of project management outline, effectiveness indicators for the Project.
	11:00～ VTC	02: Vocational Training Corporation	Clarification of Sub-project's components.
	13:20～ New building construction site	03: Ministry of Health	Site visit of Sub-project No. 643 to grasp current situation of a building construction.
19 Nov	10:00～ MOH	04: Ministry of Health	Information collection regarding performance indicators.
	10:30～ Al-Basheel Hospital in Amman	05: Ministry of Health	Site visit of Sub-project No. 640 to grasp current operational situation of procured equipment.
	12:00～ MOHE	06: Ministry of Higher Education & Scientific Research	Confirmation of current progress of SOE preparation.
	13:00～ MOE	07: Ministry of Education	Information collection regarding performance indicators.
	13:30～ NITC	08: National Information Technology Centre	Site visit of existence of equipment (server) procured and paid in 2012 under Sub-project No. 606.
20 Nov	09:30～ New hospital construction site in Salt	09: Ministry of Health	Site visit of Sub-project No. 661 to grasp current situation of a building construction.
	13:00～ Existing hospital in Salt	10: Ministry of Health	Site visit of existing hospital.
21 Nov	10:00～ MOL	11: Ministry of Labour	Clarification of Sub-project's components.
	13:30～ Vocational Training Institute Madaba Females	12: Vocational Training Corporation	Site visit to grasp current situation of vocational training for females in Jordan.
	14:00～ Madaba Hospitality and Tourism Training Institute	13: Vocational Training Corporation	Site visit to grasp current situation of vocational training in Jordan.
22 Nov	9:50～ JUST	14: Jordan University of Science and Technology	Site visit to grasp current situation of campus development supported by MOHESR: building construction and equipment/furniture procurement.
	15:00～	15: JICA-Jordan Office	Discussion on highlighted issues (Sub-projects

JICA-Jordan Office		shortlist, addition of sub-projects, methods of tracing equipment financed under this Project, next week meeting with MOPIC, etc.).
Date/Venue	Counterpart	Meeting Agenda
<b>AMMAN: Seventh Week (25 November – 1 December)</b>		
25 Nov 12:00～ VTC	01: Vocational Training Corporation	Discussion about monitoring indicators and their values.
26 Nov 09:00～ MOPIC	02: Ministry of Planning and International Cooperation and JICA Jordan Office	Discussion about Sub-project shortlist in order to form consensus among MOPIC, JICA and the Study Team.
	10:20～ MOPIC	03: Ministry of Planning and International Cooperation Explanation for how to develop the Quarterly Progress Report (QPR) and confirmation of duplications of donors which are going to support selected Sub-projects.
27 Nov 10:00～ MOH	04: Ministry of Health	Discussion about monitoring indicators and their values.
	11:00～ MOE	05: Ministry of Education Confirmation of current progress of SOE preparation.
28 Nov 09:00～ Sub-Projects' site	06: Sahab Education Directorate and Zarqa Education Directorate under Ministry of Education	Site visit of Sub-project No. 602 to grasp current situation of a building construction.
	11:00～ MOE	07: Ministry of Education Discussion about monitoring indicators and their values.
29 Nov 10:00～ MOL	08: Ministry of Labour	Discussion about monitoring indicators and their values.
Date/Venue	Counterpart	Meeting Agenda
<b>AMMAN: Eighth Week (2 – 10 December)</b>		
2 Dec 11:00～ WAEDAT	01: Women Access to Entrepreneurship Development and Training Society	Contractual negotiation about sub-contracted local consulting services, contract signing and guidance.
3 Dec 10:00～ MOHESR	02: Ministry of Higher Education & Scientific Research	Discussion about monitoring indicators and their values.
5 Dec 09:20～ MOH	03: Ministry of Health	Introduction of WAEDAT to MOH and explanation of its task.
	11:00～ MOHESR	04: Ministry of Higher Education & Scientific Research Introduction of WAEDAT to MOHESR and explanation of its task.
6 Dec 09:00～ MOPIC	05: Ministry of Planning and International Cooperation	Some clarifications of current and future activities to conclude the First Study
	09:30～ VTC	06: Vocational Training Corporation Introduction of WAEDAT to VTC and explanation of its task.
	13:30～ JICA-JO	07: JICA Jordan Office Wrap-up meeting for the 1 <sup>st</sup> field study (discussion about highlighted issues – SOE preparation progress, QPR preparation assistance, etc.).

## 第2次現地調査（2013年1月26日～3月10日）

Date/Venue	Counterpart	Meeting Agenda
<b>AMMAN: First Week (26<sup>th</sup> Jan. – 2<sup>nd</sup> Feb. 2013)</b>		
28 Jan. 11:30～ JST Office	01: JICA Jordan Office	Confirmation of task and activities for the Study Team during the 2 <sup>nd</sup> Field Study.
	02: Ministry of Planning and International Cooperation, JICA Jordan Office	Confirmation of critical issues and activities for the Study Team during the 2 <sup>nd</sup> Field Study.
29 Jan. 10:00～ MOHESR	03: Ministry of Higher Education & Scientific Research	Confirmation of SOE preparation progress and provision of advices to correct it.
	04: Higher Council for Affairs of Persons with Disabilities	Clarification of Sub-project's content.
30 Jan. 10:00～ MOH	05: Ministry of Health	Confirmation of SOE preparation progress and provision of advices to correct it.
	06: Ministry of Social Development	Clarification of Sub-project's content.
31 Jan. 10:30～ MOPIC	07: Ministry of Planning and International Cooperation	Explanation of how to develop and prepare the QPR to the person in charge of MOPIC.
Date/Venue	Counterpart	Meeting Agenda
<b>AMMAN: Second Week (3<sup>rd</sup> – 9<sup>th</sup> Feb. 2013)</b>		
3 Feb. 9:40～ MOL	01: Ministry of Labour	Confirmation of (1) SOE preparation progress and provision of advices to correct it, (2) current equipment/ furniture management and tracking system, and (3) consensus on adoption of ODA stickers.
	02: Ministry of Finance	Confirmation of (1) SOE preparation progress and provision of advices to correct it, (2) current equipment/ furniture management and tracking system, and (3) consensus on adoption of ODA stickers.
	03: Ministry of Social Development, Accommodation centre in Jerash	Confirmation of the current situation of the Sub-project through site visit.
4 Feb. 13:00～ VTC	04: Vocational Training Corporation	Confirmation of (1) SOE preparation progress and provision of advices to correct it, (2) current equipment/ furniture management and tracking system, and (3) consensus on adoption of ODA stickers.
5 Feb. 11:00～ MOE	05: Ministry of Education	Confirmation for duplication of Sub-projects with other donors.
6 Feb. 10:00～ MOHESR	06: Ministry of Higher Education & Scientific Research	Confirmation of (1) SOE correction and finalization progress, (2) current equipment/ furniture management and tracking system, and (3) consensus on adoption of ODA stickers and nameplate.
	07: Ministry of Health	Confirmation of SOE correction and finalization progress.
7 Feb. 11:00～ MOF	08: Ministry of Finance	Confirmation of SOE correction and finalization progress.
Date/Venue	Counterpart	Meeting Agenda
<b>AMMAN: Third Week (10<sup>th</sup> – 16<sup>th</sup> Feb. 2013)</b>		
10 Feb. 10:30～ Al Areen Factory	01: Al Areen Factory	Confirmation of the current situation of the Sub-project through site visit.
	02: JICA-Jordan Office	Reporting the result of activities during last two weeks and discussing on the following procedures for remaining weeks.
11 Feb. 10:00～ VT institute in Sehab	03: Special Training Institute for Metal Industrial	Confirmation of the current situation of the Sub-project through site visit.
13:00～ MOH	04: Ministry of Health	Confirmation of Sub-projects' progress of MOH, especially related to building construction component.



12 Feb.	11:00～ MOE	05: Ministry of Education	Confirmation for duplication of Sub-projects with other donors.
13 Feb.	13:00～ DBE	06: Directorate of Biomedical Engineering/Ministry of Health	Confirmation of the current biomedical equipment management/ tracking system in MOH.
14 Feb.	10:30～ Aqaba Campus	07: Aqaba campus/ Balqa Applied University	Confirmation of the current situation of the Sub-project through site visit.
Date/Venue		Counterpart	Meeting Agenda
<b>AMMAN: Forth Week (17<sup>th</sup> – 23<sup>th</sup> Feb. 2013)</b>			
17 Feb.	11:15～ JST Office	01: JICA-Jordan Office	Reporting the result of SOE preparation, and discussion about highlighted issues.
	12:00～ MOPIC	02: Ministry of Planning and International Cooperation, JICA-Jordan Office	Reporting the result of SOE preparation, and discussion about highlighted issues.
19 Feb.	11:20～ MFI	03: Marka Female Institute, Vocational Training Corporation	Confirmation of the current situation of the Sub-project through site visit.
	13:00～ T&T	04: Testing & Training Institute, Vocational Training Corporation	Confirmation of the current situation of the Sub-project through site visit.
20 Feb.	10:00～ KG	05: Al-Khashafieh School for boys, Educational Directorate Sehab	Confirmation of the current situation of the Sub-project through site visit.
	11:30～ KG	06: Hafsa Bint Omar School for girls, Educational Directorate Sehab	Confirmation of the current situation of the Sub-project through site visit.
Primary School & KG	12:20～	07: Al-Fayhaa School, Educational Directorate Madaba	Confirmation of the current situation of the Sub-project through site visit.
	13:30～ Secondary School	07: Al-Khansa'a School, Educational Directorate Madaba	Confirmation of the current situation of the Sub-project through site visit.
Date/Venue		Counterpart	Meeting Agenda
<b>AMMAN: Fifth Week (24<sup>th</sup> Feb. – 2<sup>nd</sup> Mar. 2013)</b>			
25 Feb.	10:30～ Al Karak Hospital	01: Al Karak Hospital, MOH	Confirmation of the current situation of the Sub-project through site visit.
	13:00～ HCD	02: Higher Council for the Affairs of Persons with Disabilities	Information collection (Project Management Outline and others related to indicators and their values).
26 Feb.	16:00～ JICA-Jordan Office	03: JICA-Jordan Office	Sharing understanding of the situation of the Study and confirmation of activities to be conducted during remaining period of the 2 <sup>nd</sup> Field Study.
27Feb.	11:00～ AB, MOPIC	04: Audit Bureau, Ministry of Planning and International Cooperation	Discussion about auditing report to be prepared by AB.
28 Feb.	10:00～ MOSD	05: Ministry of Social Development	Information collection (Project Management Outline and others related to indicators and their values).
	10:30～ VTC	06: Vocational Training Corporation	Confirmation of the current situation of the computerized inventory system in VTC.
	14:00～ MOPIC	07: Ministry of Education, Ministry of Planning and International Cooperation	Confirmation of financial demarcations of Sub-projects under MOE between JICA and GCC.
Date/Venue		Counterpart	Meeting Agenda
<b>AMMAN: Sixth Week (3<sup>rd</sup> – 10<sup>nd</sup> Mar. 2013)</b>			
3 Mar.	14:50～ Al Basheer Hospital	01: Al Basheer Hospital, MOH	Confirmation of the current situation of the Sub-project through site visit.
4 Mar.	13:30～ VTC	02: Vocational Training Corporation	Information collection regarding the current inventory management method.
5 Mar.	10:00～ Kempinski Hotel	03: Implementing agencies, Executing agency and JICA-Jordan office	Holding the seminar to explain the monitoring method for Sub-projects.
6 Mar.	10:00～ Furniture and Machines Store Section of MOE	04: Furniture and machines store section of MOE	Confirmation of the current situation of the storage for furniture and equipment which is to be received from suppliers, and donation from NGO, etc. to be distributed to each directorate.

## 面談者リスト

<u>Name</u>	<u>Title</u>
<b>JORDANIAN SIDE</b>	
<b>● Relevant Authorities Concerned</b>	
<b>[Borrower / Executing Agency]</b>	
<b>Ministry of Planning and International Cooperation (MOPIC)</b>	
Eng. Ziad Obeidat	Director of Programs and Projects Department
Mr. Mohamoud Al-Hussein	Programs and Projects Department
Mr. Mahmoud Maher	Director of Financial and Administrations Affairs Department
Ms. Wafa AL. Saket	Head of Asian Relations Section, International Cooperation Department
Ms. Feda Jaradat	Assistant Manager of Programs of Projects Department
Ms. Safa'a A. Kanaan	Head of Loans & Grants Section, Financial and Administrations Affairs Department
Ms. Rawan Salam	Asian Relations Section of International Cooperation Department
Mr. Naser Alkarak	Loan & Grant Section of Financial and Administrations Affairs Department
Mr. Hesham Hajaya	IT Consultant for MOPIC, UNDP, Parliament
<b>[Implementing Agencies]</b>	
<b>Ministry of Education (MOE)</b>	
Mr. Hesham Ibrahim Khaleel	Head of Department of Financial Planning
Mr. Mohammed Nsour	Managing Director of Engineering Affairs
Ms. Samar Quaqish	Director of Engineering Affairs
Dr. Mohammed Abu-Ghazel	Director of General Directorate of Planning & Educational Research
Mr. Kamal Khaled Al-Dakhed	Director of Department of Supplies and Provision
Mr. Farouk Mohammad Banihamad	Head of Monitoring & Evaluation Division of Educational Research and Studies Directorate
Eng. Wajed Bargouthi	Head of Division for Vocational Workshop Equipment of Directorate of Vocational Education & Production, Directorate of Education Activities
Mr. Mutaz Abu Radi	Head of Finance for Sensory and Physical Disabilities
Eng. Safa'a Al Beint	Head of MIS Division, Strategic & Planning Department
Mr. Abdel Hakim Alshobki	Head, Education
Ms. Sumira Jaber	Head of Pre-school Division
Ms. Dralia Arabiat	Early Childhood Education
Mr. Fadi Al Jazzazi	Head of School Sport Division
Mr. Akram Kurauno	Head of Kindergarten Division
Mr. Ibrahim F. Alamir	Queen Rania Al-Abdullah of Education & Information Technology Centre (QRC)
Ms. Muna Hyari	Queen Rania Al-Abdullah of Education & Information Technology Centre (QRC)
Mr. Issa Mohammad	Manager of Accounting Division, Department of Financial Planning
Mr. Ibraheem Abdulsalam	Department of Supplies and Provision
Mr. Maher Mohammad Al Otoom	Department of Financial Planning
Mr. Shafeeq Ahmad	Engineering Department
Ms. Eman al-Bawa'a	MIS Division, Policies and Strategic Planning Directorate
Mr. Mhammad Qteishat	Purchase, Department of Supplies and Provision
<b>Ministry of Higher Education and Scientific Research (MOHESR)</b>	
Eng. Monther Bataineh	Secretary General Assistance for Technical Affairs
Mr. Izzeldeen Darras	Director of Department of Financial Affairs
Mr. Raed Masoud Hamdan El Idown	Head of Division of Accounting of Department of Financial Affairs
Ms. Mariam Al zbon	Head of Division of Project Finance & Financial Support of Universities, Department of Financial Affairs
Ms. Ruba Al-Soub	Officer of Division of Project Finance & Financial Support of Universities, Department of Financial Affairs
Ms. Maiss Al. Btoosh	Accountant, Division of Accounting, Department of Financial Affairs
Mr. Ayan Massad	Web Developer

<u>Name</u>	<u>Title</u>
<b>Ministry of Health (MOH)</b>	
Mr. Moayad Barmawi	Director of Budget Directorate, Department of Financial Administration
Eng. Rateb Younes Magnam	Director of Building and Maintenance Directorate, Department of Services Administration
Dr. Khalid Adwan	Director of Administration of Planning
Mr. Mohammad Omar	Director of Expenditure Directorate, Department of Financial Administration
Mr. Mayor Hatokai	Director of Department of Health Insurance
Eng. Qays Jaradat	Director of Hostelry Services Directorate, Department of Services Administration
Dr. Nadia Abu Sabra	Assistant Director of Chest Disease & Immigrants Health Directorate, Department of Primary Health Care, Department of Primary Health Care
Mr. Maysoon Bseiso	Assistant Director of Environmental Health Directorate, Department of Primary Health Care
Dr. Ali Muhaidat	Head of Vaccine and Sera Section
Dr.Safwan Dababneh	Head of Section for Prevention of Genetic and Congenital Disorders, Directorate for Disease Control and Prevention (Non-Communicable Diseases), Department of Primary Health Care
Ms. Aya Al Ameer	Medical Advisor of Section for Prevention of Genetic and Congenital Disorders, Directorate for Disease Control and Prevention (Non-Communicable Diseases), Department of Primary Health Care
Mr. Ahmad Wageeh Awad	Programmer in Hotelry Services Department
Ms. Abeer Jameel Abu-lail	Accountant of Budget Directorate, Department of Financial Administration
Mr. Riyadh Saleh	Supply & Procurement Directorate, Department Services Administration
Mr. Izzaldeen Taras	Chief of Budget Directorate, Department of Financial Administration
Ms. Deema Fadil Zuid AL	Budget Directorate, Department of Financial Administration
Ms.Saad Hanan Saad	Budget Directorate, Department of Financial Administration
Mr. Emtithal Arabi	Budget Directorate, Department of Financial Administration
Dr. Neameh M. Barawi	Head of Planning Unit, Department of Planning Affairs
Ms. Ramnia Yousef Al Jilani	Planning & Project Management Directorate, Department of Planning
Dr. Fadwa Shawabtor	Manager of Human Resources Development Directorate, Department of Administrative Affairs
Dr. May Hadidi	Chief of Family Medicine Speciality
Dr. Eng. Firas Abu-Dalou	Director of Directorate of Biomedical Engineering
Eng. Emad Al-Hadidi	Head of Central Workshop Department, Directorate of Biomedical Engineering
Eng. Hamid Al Daaja	Head of Procurement Department, Directorate of Biomedical Engineering
Eng. Naser Titi	Head of Studies and Project Department, Directorate of Biomedical Engineering
Eng. Ahmad Elmari	X-ray service Engineer, Directorate of Biomedical Engineering
Mr. Khaled Awwad	Bio-medical Engineer, Directorate of Biomedical Engineering
Mr. Basem Al-Debec	Mechanical Engineer
Eng. Bassam Khasawneh	Engineer of Building and Maintenance Directorate, Department of Services Administration
Mr. Emad Al Hadidi	Engineer
Mr. Khitam Ahmad Issa	System Analyst
Mr. Firas Al-Ramahi	System Analyst
Ms. Faris Dababneh	Information & Studies (Technology) Directorate, Department of Planning
Mr. Samar Samuh	Director of Information & Studies (Technology) Directorate, Department of Planning
Ms. Safa El Qsoos	Information & Studies (Technology) Directorate, Department of Planning
Ms. Laura al-Homoud	Pharmacist Director of Clinical Pharmacy Directorate, Department of Services Administration
Ms. Randa Bagaeen	Head of Maternal & Child Health Directorate, Department of Primary Health Care
Dr. Nuha Adel Ikhdul	Head of Performance Evaluation Department

<u>Name</u>	<u>Title</u>
Eng. Abdel Hakim Saad	Vehicle Engineer
Mr. Monadel Al Nohaisin	
<b>Ministry of Labour (MOL)</b>	
Mr. Musa Khalaf	Director, Unit of Policy & Strategic Planning
Ms. Suha Labadi	Unit of Policy & Strategic Planning
Mr. Wael Al-Thaher	Accountant/ Head of Accounting Section, Directorate of Administration and Finance
Ms. Wafa Habash	Accountant, Directorate of Administration and Finance
Mr. Ruba Anabtawi	Directorate of Administration and Finance
Mr. Tarek Al Rashdan	E-TVET Council members, Employment Technical and Vocational Education and Training Council
Mr. Sael Al Hadid	E-TVET Council members, Employment Technical and Vocational Education and Training Council
Ms. Rabea'a Sameeh Al Haj Hassan	Head of Employment and Career Guidance Section
Mr. Awri Hadidi	J.P.A.P Accountant
<b>Vocational Training Corporation (VTC)</b>	
Mr. Ahmad Musa Al-Sawafine	Director General Assistant for Financial and Administrative Affairs
Ms. Tayeed Al-Alem	Director of Department of Planning (Policy & Strategic Planning Team)
Mr. Hussein Nairat	Director of Supplies Section, Directorate of Financial and Administrative Affairs
Eng. Zakaria Barqawi	Director of VT Directorate for Middle Region, Directorate of Financial and Administrative Affairs
Mr. Mohammad Atiya Saedodh	Head of Income & Expenditure Section, Directorate of Financial and Administrative Affairs
Ms. Zein Al-Syounf	Head of Studies / Surveys Section, Directorate of Technical Affairs
Mr. Numan Elshedat	Budget Section, Directorate of Financial and Administrative Affairs
<b>Ministry of Public Works &amp; Housing (MPWH)</b>	
Eng. Moh'd Khaled Al-Hazaim	Director General of Government Tenders Department
Eng. Jackleen Alagel	Site Engineer of Sub-project No. 661
Eng. Ali Abu Rumman	Site Engineer of Sub-project No. 661
Eng. Deef Allah Al Ja'adani	Site Engineer of Sub-project No. 602
Eng. Faris Al Jama'een	Site Engineer of Sub-project No. 602
Eng. Kamal Qandeel	Site Engineer of Sub-project No. 602
<b>Ministry of Finance (MOF)</b>	
Mr. Qassem Bashabsheh	Director of General Treasurer's Directorate
Mr. Ayman N. Abnahazalah	Head of Budget Department
Ms. Subheyeh Gnuamat	Budget Department
Mr. Mohamad Aloqaily	General Budget Department
Mr. Mainchi Al-shuraiki	General Budget Department
Dr. Mohammad A. Hiary	Assistant Director General of General Supply Department
Mr. Ali Al-Kharabsheh	Assistant Director General of General Supply Department
Mr. Emad Qassem	Technical Assistant of General Supply Department
Ms. Subbica Ghniamal	Capital Expenditure
<b>Ministry of Social Development (MOSD)</b>	
Ms. Ghada Ali Masaadeh	Director, Directorate of the Affairs of Persons with Disabilities
Eng. Ismael Shraideh	Director, Department of Facilities and Buildings
Ms. Lana M. Mhairat	Engineer, Department of Facilities and Building
Mr. Emad M. Goufad	Finance Manager, Department of Finance
Mr. Mahdi S. Alqawasmeh	Accountant, Accounting Section, Department of Finance
Mr. Ibrahim Zioy	Purchase Section, Department of Finance
<b>HCPD (Higher Council for the Affairs of Persons with Disabilities)</b>	
Mr. Ahmed Abu Siam	Director, Financial Department
Ms. Ghadeer M. Al Hares	Director, Education Program Department
Ms. Alia Zureqat	Director, Communication & International Relations Department
Ms. Hala Hamad	Director, Early Intervention & Rehabilitation Department
Mr. Mohamed Abu Khalifa	Accountant, Department of Finance

<b><u>Name</u></b>	<b><u>Title</u></b>
<b>Audit Bureau (AB)</b>	
His Excellency Mustafa Al Barari	President
His Excellency Waleed Rahahleh	Vice President
Mr. Mohammad Heissat	Director
Mr. Bilal Jamal Okasheh	Director/Consultant
Mr. Nabil Odeh	Director of Revenue
Ms. Sawsan Abu Alyanam	Auditor
Ms. Lubna Thalji	Auditor
<b>Sahab Educational Directorate</b>	
Dr. Sulaiman Mohairat	Director
Eng Fatin Salman	Engineer
Mr. Eyad Ahmad Al-Maharmah	Head of Multimedia Department
Mr. Mohammad Al Marashdah	Head of Planning Department
Mr. Anwar Sleetat	Planning Department
Mrs Haleemeh Abu Zaid	Head of Public Education
Mrs. Huda Al Mograbi	Head of Kindergarten Department
<b>1st Zarqa Educational Directorate</b>	
Dr. Nawwaf Al Doghme	Director
Eng. Ahmad Abdul Khaliq	Engineer
<b>Al-Khashafiah School for boys / Sahab</b>	
Mrs. Iman Abdil Jawad	Director of the School
<b>Hafsa Bint Omar Secondary School for girls / Sahab</b>	
Mrs. Huda Moharib	Director of the School
<b>Al-Faiha primary School / Madaba</b>	
Mrs. Alia Al Hroot	Director of the School
<b>Al-Khansa'a Secondary School / Madaba</b>	
Mrs. Wajid Hijazi	Director of the School
<b>National Information Technology Centre (NITC)</b>	
Mr. Mohammad Fayomi	Director, E-operation
<b>Grater Anman Municipality (GAM)</b>	
Mr. Mohammad AL-Zoiebi	Director of Finance
Mr. Nisreen Daond	
<b>Al-Karak Hospital</b>	
Dr. Zakaria Al Nawaysah	Director of Hospital
<b>Jordanian University of Science and Technology (JUST)</b>	
Mr. Omar Al-Jarrah	Vice President
Emad El Tabari	Project Director, Engineering Department
Dr. Abdulla Al Qudah	Director, Financial Department
<b>Balqa Applied University</b>	
Dr. Faruq Al-Azzain	Dean of the Aqaba Campus
Dr. Nibal Malkaur	Assistant of Dean for Planning
<b>Vocational Training Institute Madaba Female</b>	
Ms. Raja'a Rateb Aliyyan	Manager
<b>Madaba Hospitality and Tourism Training Institute</b>	
Mr. Jihad Ab Masandehle	Manager of Tourism Project
Mr. Wilian Dabaeen	Director
Ms. Hiba Hammad	Instructor

<u>Name</u>	<u>Title</u>
<b>Special training Centre for Metal Industrial Institute</b>	
Eng. Rasmi Ali Zghoul	Director of the Centre
Mr. Nafez Barakat	Director Assistant / Accountant
Mr. Salah Jboor	Training Instructor
Mr. Samer Abu Doas	Training Instructor
Mr. Ali Al Masri	Engineer
<b>Marka Female Institute</b>	
Mr. Yousif Al Khdoor	Director of the Institute
<b>Testing and Training Institute</b>	
Mr. Nasir elayyan	Director of the Institute
<b>Al-Areen Factory</b>	
Mr. Jibreel Quqaa	Director of the Factory
<b>Ma'an Development Company</b>	
Mr. Muhammad Tarawneh	Executive Director of Operations
Mr. Hauzan Uushaliu	Director of Finance
<b>German Jordanian University</b>	
Dr. Yasser Fajjal	Assistant of the president of German Jordanian University
Ms. Sana Farraj	Head of Finance Department
Mr. Muneer Bani Younis	Media personnel Marketing and Communication Department
<b>Accommodation Centre in Jarash</b>	
Mr. Khaleefa Al-Sharaydeh	Director of the Centre
<b>Soboh Consultant Office</b> (Consultant for Sub-project No. 658)	
Eng. Hasan Al Safareni	Consultant
<b>Dorart Al Qasim for Contracting</b> (Contractor for Sub-project No. 658)	
Eng. Ali Abu Nawwas	Engineer
Eng. Yosif Al Bustange	Engineer
<b>Arab Da Consultants</b> (Consultant for Sub-project No. 661)	
Eng. Aktham Malkawi	Project Director
Eng. Mohammad Dasouqi	Architect
Eng. Mohammad Radwan	Architect
Eng. Ghazi Saadi	Civil Engineer
<b>Arabian International For Construction&amp; Contracting</b> (Contractor for Sub-project No. 661)	
Eng. Khalid Shatnawee	Project Manager
Eng. Ahmad Al Abbadi	General Manager

**JAPANESE SIDE**

● **Relevant Authorities Concerned**

**[Japan]**

**JICA Tokyo Office**

Mr. TANAKA Osamu

Deputy Director of Middle East Division 2, Middle East and Europe  
Department

Ms. NOBUHARA Yuko

Country Officer of Middle East Division 2, Middle East and Europe  
Department

**[Amman]**

**JICA Jordan Office**

Mr. GOTO Shinji

Senior Representative

Ms. EGUCHI Chinami

Project Formulation Advisor for Jordan and Iraq

Mr. OSAKI Mitsuhiro

Representative

Ms. ARISAWA Ritsuko

Project Formulation Advisor

Mr. Rabah Al-Shanti

Economist / Project Officer &

Advisor on Economic and Financial Sectors

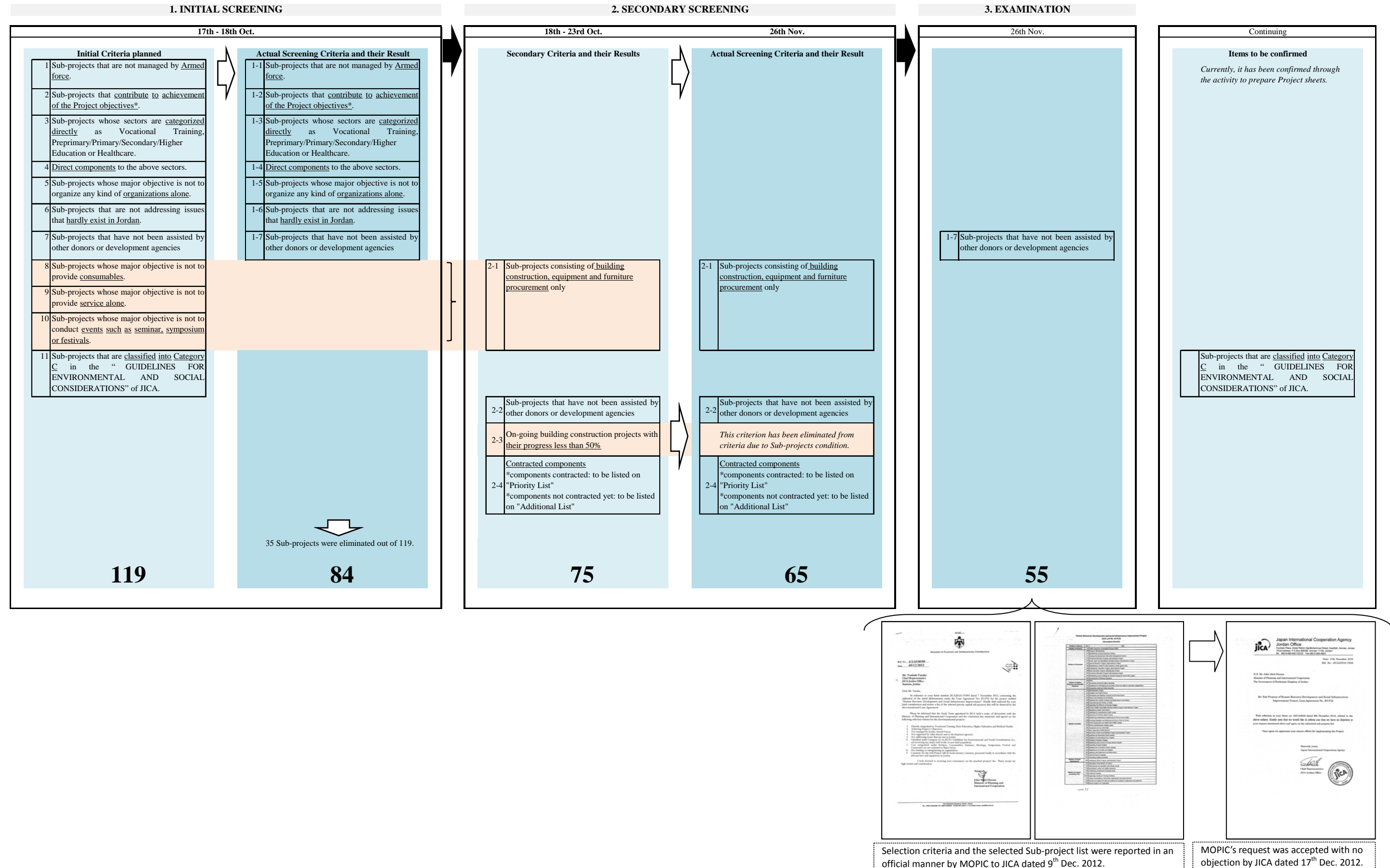
\*\*\*\*\*

## 選定サブ・プロジェクト一覧表

Ministry or Agency	No	Title
Ministry of Finance	190	Higher Board for Handicapped Persons Affairs
Ministry of Education	568	Program Administration
	570	Establishing Learning Resources Centers
	571	Develop the Educational Information Management System
	572	Vocational Education Program Administration Project
	574	Social, Sport and Educational Activities Program Administration Project
	583	Special Education Program Administration Project
	585	Establishing a school for deaf students in Kerak governorate
	586	Kindergarten Education Program Administration Project
	588	Basic Education Program Administration Project
	597	Secondary Education Program Administration Project
Ministry of Higher Education and Scientific Research	602	Establishing school buildings for (Decent housing for decent life) project
	603	Development of Illiteracy Education
	606	EMIS
	607	Developing economics higher education
Ministry of Health	615	Qualifying and developing Ayl secondary school into diploma university college/Ma'an
	HES	Supporting Jordanian Public University
	619	Administration Project
	620	Hospitals and Health Centers
	622	Developing and Applying Transport and Nursing System
	623	Heavy Duty Machines for the Ministry
	625	Updating Non-medical Furniture and Equipments in the Ministry
	626	Computerizing the Ministry of Health
	629	Upgrading the Efficiency of Nursing Colleges
	630	Primary Health Care/Health Services Centers Program Administration Project
	632	Establishing Health Care Centers
	633	Establishing Comprehensive Health Center
	635	Expanding 25 Existing Health Centers
	638	Establishing Institutional Competencies for Environment Health
	639	Providing Evaluation and Diagnoses Services in North of Jordan
	640	Medical Equipments and Spare Parts Health Centers
	644	Burma comprehensive medical center
	646	Integrated care for child health
	647	Early diagnosis of G6PD Enzyme
	649	Secondary Health Care/Hospitals Program Administration Project
Ministry of Social Development	650	Updating and Expanding Jarash Hospital
	651	Updating and Expanding Mu'an Hospital
Ministry of Labour (including VTC)	652	Updating Al-Basheer Hospital
	653	Establishing Burns Clinic in Princess Besma Hospital
	658	Expanding Al Karak Hospital
	659	Establishment of Northern Desert Hospital
	661	Establishment of Al-Salt new Hospital
	663	Updating Labs Equipments and Blood Banks
	667	Hotel services for hospitals
	671	Controlling medicine provision
	680	Handicapped Affairs Program Administration Project
	714	Automation of the Ministry of Labour
	715	Restructuring the education and training council
	718	Accreditation center and quality assurance
	722	Transferring Investment to Remote Areas
	723	Vocational Training
	VTCS	Supporting Vocational Training Institutes
	727	Linking municipalities, civil society organizations and social partners
	729	Activate and expand services and systems of vocational employment and guidance
	730	National System for E-operation



## サブ・プロジェクト選定手順





## サブ・プロジェクト選定結果

No	Title	1. Initial Screening	2. Secondary Screening	3. Examination	Result of screenings		Components			
					Status	Contents of selected components / *Reasons to be omitted or postponed / *Remarks	Building Construction	Equipment Procurement	Furniture Procurement	Remarks
Ministry of Public Sector Development										
33	Human resources development and policies management	×	-	-	×	*The Sub-project's objective does not contribute to achievement of the Project objectives.				
Ministry of Finance										
154	King Abdullah II gardens/Al-Quesmeh	×	-	-	×	*The Sub-project's objective does not contribute to achievement of the Project objectives.				
159	Supporting the projects of Jordan Olympic Committee	×	-	-	×	*The Sub-project's objective does not contribute to achievement of the Project objectives.				
162	Support the projects of the National Fund for Youth and Support Movement Support	×	-	-	×	*The Sub-project's objective does not contribute to achievement of the Project objectives.				
167	Infrastructure for Irbid and Mafrag- Al-Hussein Bin Talal Economic Area	×	-	-	×	*The Sub-project's objective does not contribute to achievement of the Project objectives.				
168	Infrastructure for ma'an development and economic area	×	-	-	×	*The Sub-project's objective does not contribute to achievement of the Project objectives, which the Sub-project's component is to invest in the private sector.				
190	Higher Board for Handicapped Persons Affairs	✓	✓	-	○	- Equipment procurement - equipment for disabled students (artificial limbs, medical headphones, wheel chairs (manual/electrical), PCs and servers, etc.) *On-going project		✓		
192	Highness Royal Initiative for governorates development	×	-	-	×	*The Sub-project's component (capacity building) is not eligible for the Project and the Sub-project does not comply with Japan's ODA policy - it is to be implemented by private sector named JEDCO (Jordan Enterprise Development Corporation).				
	German Jordanian University	-	✓	×	×	*The Sub-project's objective does not contribute to achievement of the Project objectives and comply with Japan's ODA policy.				
Ministry of Education										
568	Program Administration	✓	✓	-	○	- PC procurement		✓		
570	Establishing Learning Resources Centers	✓	✓	-	○	- Learning Resource Center building - Equipment procurement *The Sub-project will start next year, currently waiting for cost estimation.	✓	✓		
571	Develop the Educational Information Management System	✓	✓	-	○	- GIS system and MIS system equipment procurement *JD40,000 is outstanding payment in 2012.		✓		
572	Vocational Education Program Administration Project	✓	✓	-	○	- Equipment (for workshop) procurement * Workshop will ne conducted by vocational education schools in the South, Zerka, Mafrag, North-Eastern Badia.		✓		

No	Title	1. Initial Screening	2. Secondary Screening	3. Examination	Result of screenings		Components			
					Status	Contents of selected components / *Reasons to be omitted or postponed / *Remarks	Building Construction	Equipment Procurement	Furniture Procurement	Remarks
573	Additions for Vocational Education Buildings	✓	✓	×	×	*The Sub-project is to be financed by Gulf donors.				
574	Social, Sport and Educational Activities Program Administration Project	✓	✓	-	○	- Equipment procurement		✓		
576	Maintaining Scouting Camps	×	-	-	×	*Major component is camping activities for kids.				
577	King Abdullah the second sport fitness award	×	-	-	×	*Component is only awarding.				
582	Establish teachers club in Karak	×	-	-	×	*Component is only building teachers club house.				
583	Special Education Program Administration Project	✓	✓	-	○	- Equipment (ex. IQ examination kits) and furniture procurement for 4 schools * The Sub-project will start next year, tendering has not started yet due to a delay of budget allocation.		✓	✓	
585	Establishing a school for deaf students in Kerak governorate	✓	✓	-	○	- New school building (2012) - Building extension (2013) - Equipment procurement (2013) *Contract for equipment procurement has not concluded yet.	✓	✓		
586	Kindergarten Education Program Administration Project	✓	✓	-	○	- Expansion of classrooms - Furniture and equipment procurement * Training workshop is an ineligible component.	✓	✓	✓	
587	Adding Class Rooms for Kindergartens	✓	-	×	×	*The Sub-project is to be financed by Gulf donors.				
588	Basic Education Program Administration Project	✓	✓	-	○	- Equipment and furniture procurement * Capacity building for newly appointed teachers is ineligible component.		✓	✓	
589	Different Establishments and Additional Class Rooms	✓	✓	×	×	*The Sub-project is to be financed by Gulf donors.				
590	Maintaining and Repairing Buildings	×	-	-	×	*Major component is maintenance to be omitted.				
591	School Nutrition	×	-	-	×	*Component is only foods provision.				
592	Accommodating Iraqi students	×	-	-	×	*The Sub-projects objective does not contribute to achievement of the Project objectives.				
593	Equipping and furnishing school buildings	×	-	-	×	*The Sub-project was eliminated by MOPIC.				
594	Education Development Towards Knowledge Economy (The Second Stage)	×	-	-	×	*The Sub-project has been assisted by WB.				
595	Building 60 schools	✓	✓	×	×	*The Sub-project is to be financed by Gulf donors.				
596	Develop the directorate and the school	×	-	-	×	*The Sub-project was eliminated by MOPIC.				
597	Secondary Education Program Administration Project	✓	✓	-	○	- Equipment procurement *Capacity building for teachers and consumable purchase are ineligible.		✓		

No	Title	1. Initial Screening	2. Secondary Screening	3. Examination	Result of screenings		Components			
					Status	Contents of selected components / *Reasons to be omitted or postponed / *Remarks	Building Construction	Equipment Procurement	Furniture Procurement	Remarks
598	Different Establishments and Additional Class Rooms	✓	✓	×	×	*The Sub-project is to be financed by Gulf donors.				
599	Queen Rania Award for Excellence	×	-	-	×	*Component is only awarding.				
600	Maintaining and Repairing Buildings	×	-	-	×	*Component is only maintenance.				
601	Developing e-government services for schools	×	-	-	×	*The Sub-project was eliminated by MOE.				
602	Establishing school buildings for (Decent housing for decent life) project	✓	✓	-	○	- New school building in remote area *JD900,000 has been paid.	✓			
603	Development of Illiteracy Education	✓	✓	-	○	- Equipment and furniture procurement *Capacity building is ineligible component.		✓	✓	
<b>Ministry of Higher Education and Scientific Research</b>										
604	Administration Project	×	-	-	×	*The Sub-project's objective does not contribute to achievement of the Project objectives.				
605	Completing Work and adaptation of Comprehensive Strategy for Higher Education	✓	×	-	×	*The major component is capacity building which doesn't meet secondary criteria-1.				
606	EMIS	✓	✓		○	- Equipment and management software procurement to monitor the universities *The Sub-project is on the 3rd stage, JD13,000 was paid and JD20,000-25,000 is outstanding amount.		✓		
607	Developing economics higher education	✓	✓		○	- New hall construction (around 500m2) and equipent procurement *Capacity building, allowances and convention celebration cost are ineligible.	✓	✓		
608	Building and creating technological and business incubators and supporting universities computerization	×	-	-	×	*The Sub-project includes contribution to the private sector.				
611	Supporting the needy student fund	×	-	-	×	*The major component is awarding scholarship and loaning.				
612	Establishing diploma university college in Tayba and Korah districts	✓	✓	×	×	*The Sub-project is to be financed by Gulf donors.				
613	Establishing diploma university college in Bani Kenanah district	✓	✓	×	×	*The Sub-project is to be financed by Gulf donors.				
614	Establishing a diploma university college in Jarash governorate	✓	✓	×	×	*The Sub-project is to be financed by Gulf donors.				
615	Qualifying and developing Ayl secondary school into diploma university college/Ma'an	✓	✓	-	○	- Upgrading secondary vocational training school (Miscellaneous buildings construction, equipment (PC, etc.) and furniture procurement) *The Sub-project has note started yet. *Land acquisition is ineligible component.	✓	✓	✓	

No	Title	1. Initial Screening	2. Secondary Screening	3. Examination	Result of screenings		Components			
					Status	Contents of selected components / *Reasons to be omitted or postponed / *Remarks	Building Construction	Equipment Procurement	Furniture Procurement	Remarks
616	Scientific scholarships for teaching faculty members	×	-	-	×	*The major component is awarding scholarship to teachers.				
617	University infrastructure	✓	✓	×	×	*The Sub-project is to be financed by Gulf donors.				
618	Support the scientific research fund	✓	✓	×	×	*The Sub-project is to be financed by Gulf donors.				
HES	Supporting Jordanian Public University	-	✓	-	○	- Infrastructure building for 6 targeted public universities under capital budget *Financial assistance and support of the student aid are ineligible components.	✓	✓	✓	
<b>Ministry of Health</b>										
619	Administration Project	✓	✓	-	○	- Maintenance for administration buildings all over the country *On-going project	✓			
620	Hospitals and Health Centers	✓	✓	-	○	- PC procurement *Training and consulting fees for accreditation is ineligible component.		✓		
621	Updating and Developing Legislation Related to Global Health Council	×	-	-	×	- The major components are holding workshops and seminars.				
622	Developing and Applying Transport and Nursing System	✓	✓		○	- Vehicle procurement for medical staff's transportation (buses with 12 seats, buses with 23 seats, pickups 4*4 double cabinet, passenger car)		✓		
623	Heavy Duty Machines for the Ministry	✓	✓		○	- Transportation machinery (light truck) procurement *There is not any budget planned in 2012.		✓		
625	Updating Non-medical Furniture and Equipments in the Ministry	✓	✓		○	- Equipment procurement *Consumables and tools purchase is ineligible.		✓		
626	Computerizing the Ministry of Health	✓	✓		○	- Equipment procurement for establishment of a network and IT telephones which requires hardware and software *JD27,000 was paid in 2012.		✓		
627	Supporting the projects of Prince Hamza Hospital	×	-	-	×	*The Sub-project's objective does not contribute to achievement of the Project objectives.				
628	Developing the institutional abilities for the Ministry's staff	×	-	-	×	*The major component is capacity building for the Ministry's staff.				
No	Title	1. Initial Screening	2. Secondary Screening	3. Examination	Result of screenings		Components			
					Status	Contents of selected components / *Reasons to be omitted or postponed / *Remarks	Building Construction	Equipment Procurement	Furniture Procurement	Remarks
629	Upgrading the Efficiency of Nursing Colleges	✓	✓	-	○	- Building maintenance and equipment procurement *JD5,000 for equipment and JD20,000 for building maintenance. There is JD20,000 outstanding payment.	✓	✓		

No	Title	1. Initial Screening	2. Secondary Screening	3. Examination	Result of screenings		Components			
					Status	Contents of selected components / *Reasons to be omitted or postponed / *Remarks	Building Construction	Equipment Procurement	Furniture Procurement	Remarks
630	Primary Health Care/Health Services Centers Program Administration Project	✓	✓	-	○	- Renovation of health centres' buildings - Furniture procurement for health centres	✓			
631	Combating Malaria Disease	×	-	-	×	*The objective of the Sub-project is addressing issues that hardly exist in Jordan.				
632	Establishing Health Care Centers	✓	✓	-	○	- Building construction for primary health centres - Equipment procurement *To provide emergency services, general edicine, dentist, etc. is ineligible.	✓	✓		
633	Establishing Comprehensive Health Center	✓	✓	-	○	- Building construction for comprehensive health care centres - Equipment procurement *To provide emergency services, general medicine, dentist, etc. is ineligible.	✓			
634	Completing the Establishment of 18 Primary Health Centers	✓	×	-	×	*The physical progress is 100%. 5% of total amount: JD80,000 is outstanding payment as retention money.				
635	Expanding 25 Existing Health Centers	✓	✓	-	○	- Building extensions for 25 primary and comprehensive health centres	✓			
636	Health Media and Protection	×	-	-	×	*The major component is practicing wellness campaign.				
637	Replacing General Medical with Family Medical	×	-	-	×	*The major component is capacity building for doctors.				
638	Establishing Institutional Competencies for Environment Health	✓	✓	-	○	- Labo equipment procurement (around JD 16,000) in 2013 *Training for environmental health staff is ineligible component.		✓		
639	Providing Evaluation and Diagnoses Services in North of Jordan	✓	✓	-	○	- Equipment procurement *The project sheet is not provided.		✓		
640	Medical Equipments and Spare Parts Health Centers	✓	✓	-	○	- Equipment procurement to 31 hospitals and 638 medical centres all over the country		✓		
641	Health Centers Maintenance	✓	×	-	×	*The component is building maintenance only.				
642	Health of Birth and Family Organization	×	-	-	×	*The component is distribution of tools for family plan only.				
643	Establishing Building for Serums and Vaccines	✓	✓	×	×	*The Sub-project is to be financed by Gulf donors.				
644	Burma comprehensive medical center	✓	✓	-	○	- Building construction for comprehensive health care centres - Equipment procurement *To provide emergency services, general medicine, dentist, etc. is ineligible.	✓	✓		
645	Reinforcing the health capabilities in the remote villages	×	-	-	×	*The major component is capacity building.				
646	Integerated care for child health	✓	✓	-	○	- Equipment procurement (scales, thermometers, nebulizers, etc.) *Capacity building and other soft services are ineligible components.		✓		

No	Title	1. Initial Screening	2. Secondary Screening	3. Examination	Result of screenings		Components			
					Status	Contents of selected components / *Reasons to be omitted or postponed / *Remarks	Building Construction	Equipment Procurement	Furniture Procurement	Remarks
647	Early diagnosis of G6PD Enzyme	✓	✓	-	○	- Disease/G6PD diagnosis kits and instruments procurement		✓		
648	Vocational health capacity building	×	-	-	×	*The major component is capacity building.				
649	Secondary Health Care/Hospitals Program Administration Project	✓	✓	-	○	- Preparation of studies, drawings, designs and specifications for extension and renovation or construction of new hospitals	✓			including study and design works
650	Updating and Expanding Jarash Hospital	✓	✓	-	○	- Extension of building (operation section, ICU section) and Renovation of emergency department	✓			
651	Updating and Expanding Mu'an Hospital	✓	✓	-	○	- Extension and renovation of emergency section (with additional floor area of 500 m2 and 16 beds)	✓			
652	Updating Al-Basheer Hospital	✓	✓	-	○	- Extension and renovation of hospital - Rehabilitate the basement floor in emergency building to extend the kidney department	✓			
653	Establishing Burns Clinic in Princess Besma Hospital	✓	✓	-	○	- Building construction with 15 beds for burn treatment and 30 beds for plastic surgery in ICU, labs, treatment rooms, etc..	✓			
656	Tools and Medical Equipments and Spare Parts for Hospitals	×	-	-	×	*The major component is consumable purchase only.				
657	Maintenance and Updating Hospitals	×	-	-	×	*The major component is maintenance of buildings.				
658	Expanding Al Karak Hospital	✓	✓	-	○	- Building construction (additional buildings consisting of 2-floor with extra 100 beds) - Equipment and Furniture procurement *The physical progress of construction is 85%. *Suppliers for equipment and furniture procurement have not been awarded yet.	✓	✓	✓	
659	Establishment of Northern Desert Hospital	✓	✓	-	○	- Building construction with 60 beds - Equipment and furniture procurement *The physical progress of construction is 90%. *The total budget amount consists of JD2,000,000 for construction, JD800,000 for equipment, JD100,000 for bus, JD100,000 for ambulance and JD300,000 for furniture.	✓	✓	✓	
660	Updating the Medical Equipments in the Hospitals	×	-	-	×	*The Sub-project has been funded by many other donors.				
661	Establishment of Al-Sult new Hospital	✓	✓	-	○	- Building construction for a hospital with 3in according to international specifications and standards with 300 beds and total floor area of 73,540m2 - Equipment procurement *The physical progress of construction is 32%.	✓	✓		including Consulting services for building supervisio



No	Title	1. Initial Screening	2. Secondary Screening	3. Examination	Result of screenings		Components			
					Status	Contents of selected components / *Reasons to be omitted or postponed / *Remarks	Building Construction	Equipment Procurement	Furniture Procurement	Remarks
										n
662	Forensic Medicine in southern governorates	✓	✓	×	×	*The Sub-project is to be financed by Gulf donors.				
663	Updating Labs Equipments and Blood Banks	✓	✓	-	○	- Equipment and furniture procurement for all over Jordan *JD54,000 has been paid for equipment procurement.		✓		
664	Diabetes and Endocrinology	×	-	-	×	*The Sub-project is to be financed by Kuwait fund.				
667	Hotel services for hospitals	✓	✓	-	○	- Equipment and furniture procurement (Expenditures for services and tools are not included.) *JD1,900,000 including service cost was paid.		✓		
669	Equipping and furnishing Zarqa' hospital	×	-	-	×	*The Sub-project is to be financed by Kuwait fund.				
670	Establishing judicial department building	×	-	-	×	*The Sub-project's objective does not contribute to achievement of the Project objectives.				
671	Controlling medicine provision	✓	✓	-	○	- Equipment: CCTVs and smart cards procurement for medical supply* JD35,000 was paid.		✓		
672	Medicines and medical consumptions	×	-	-	×	*The components are consumable purchase including medicines.				
673	Including new categories in the health insurance umbrella	×	-	-	×	*The component is insurance cards provision.				
<b>Ministry of Social Development</b>										
676	Enhancing and supporting the Social Protection	×	-	-	×	*The Sub-project has been funded by many other donors.				
680	Handicapped Affairs Program Administration Project	-	-	✓	○	- Equipment for handicapped persons		✓		
<b>Ministry of Labor (including VTC)</b>										
713	Administration Project	×	-	-	×	*The objective does not contribute to achieving the Project objective.				
714	Automation of the Ministry of Finance Labor	✓	✓	-	○	- Equipment (PCs and servers) procurement *Session, workshops, disaster protection and any other intangible are ineligible.		✓		
715	Restructuring the education and training council	✓	✓	-	○	- Equipment procurement *Preparation and follow-up of legal and regulatory frameworks for council, accreditation, quality control, training fund and any other intangible components are ineligible.		✓		

No	Title	1. Initial Screening	2. Secondary Screening	3. Examination	Result of screenings		Components			
					Status	Contents of selected components / *Reasons to be omitted or postponed / *Remarks	Building Construction	Equipment Procurement	Furniture Procurement	Remarks
716	Reducing Child Labor	×	-	-	×	*The major component is conducting surveys, trainings and workshops.				
717	Establishing the Higher Council for Human Resources Development	×	-	-	×	*The objective is organizing a council.				
718	Accreditation center and quality assurance	✓	✓	-	○	- Equipment (PCs) procurement *Remuneration, preparation of guidelines and examinations, registration and accreditation for quality control, marketing, promotion and any other intangible components are ineligible.		✓		
721	Developing the Employees Skills from the Employer Point view	×	-	-	×	*The major component is conducting training for instructors and MOL's staff.				
722	Transferring Investment to Remote Areas	✓	✓	-	○	- Textile factories construction in Ma'an, Mafrak, Barqa and Jarash *As the 2nd phase, three factories have been under construction in Ma'an, Mafrak and Jarash since 2011, according to the documents prepared by MOL. *The function of these factories are provision of trainings and works to female in a poverty area. *The Project was started in 2004 and funded by USAID from 2004 to 2006.	✓			
723	Vocational Training	✓	✓	-	○	- Building construction (3 excellence centers) and repairing, equipment procurement (vehicles and PCs) and conducting vocational trainings for unemployed persons *The Sub-project has been implemented by VTC.	✓	✓		including Vocational Trainings provision.
VTCS	Supporting Vocational Training Institutes	-	✓	-	○	- Equipment procurement, etc. *This Sub-project contains integrated support in vocational training. Details of components are under confirmation.		✓		
724	Development and Coordination Unit (DCU)	×	-	-	×	*The Sub-project has been assisted by World Bank.				
725	Combating poverty and unemployment	✓	×	-	×	*The Sub-project consists of intangible components only.				
727	Linking municipalities, civil society organizations and social partners	✓	✓	-	○	- Equipment procurement to connect with Municipalities and establish networks between unemployees and employers *Any other intangible components such as making agreement and training are ineligible.		✓		
728	Developing a comprehensive system for labor market data	×	-	-	×	*The objective does not contribute to achieving the Project objective.				
729	Activate and expand services and systems of vocational employment and guidance	✓	✓	-	○	- Equipment procurement *Any other intangible components are ineligible.		✓		
730	National System for E-operation	✓	✓	-	○	- Equipment procurement for information system (human resources and labor market, supply and demand in labor market) *Any other intangible components such as operational trainings are ineligible.		✓		

ヨルダン国円借款「人材育成・社会インフラ改善事業」に係る案件実施支援調査

No	Title	1. Initial Screening	2. Secondary Screening	3. Examination	Result of screenings		Components			
					Status	Contents of selected components / *Reasons to be omitted or postponed / *Remarks	Building Construction	Equipment Procurement	Furniture Procurement	Remarks
731	Economic and Social Dialogue	×	-	-	×	*The major component is holding workshops and seminars.				
733	Appropriate work	×	-	-	×	*The objective does not contribute to achieving the Project objective.				
734	Humans Being Anti-trafficking unit	×	-	-	×	*The objective does not contribute to achieving the Project objective.				



## Japan International Cooperation Agency Jordan Office

Fountain Plaza, Abdel Rahim Haj-Mohammad Street, Sweifieh, Amman, Jordan  
(Post Address: P.O.Box 926355, Amman 11190, Jordan)  
Tel 962-6-585-8921/22/23 Fax 962-6-585-8924

Date: 17th December 2012

Ref. No.: JICA(JD)12-17002

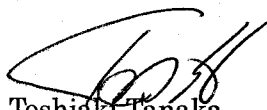
H.E. Mr. Jafar Abed Hassan  
Minister of Planning and International Cooperation  
The Government of Hashemite Kingdom of Jordan

Re: Sub-Projects of Human Resource Development and Social Infrastructure  
Improvement Project, Loan Agreement No. JO-P12

With reference to your letter no. 5/2/15/8550 dated 9th December 2012, related to the above subject. Kindly note that we would like to inform you that we have no objection to your request mentioned above and agree on the submitted sub-projects list.

Once again we appreciate your sincere efforts for implementing the Project.

Sincerely yours,  
Japan International Cooperation Agency

  
Toshiaki Tanaka  
Chief Representative  
JICA Jordan Office





MINISTRY OF PLANNING AND INTERNATIONAL COOPERATION

Ref. No. 5/2/15/8550

Date 09/12/2012

جوازات الملك عبد الله الثاني  
لتنفيذ الأعمال الحكومية والشعائرية  
شعبة المراسلة (٢٠١٢/٢٠١٠)  
المملكة الأردنية  
العمان

Mr. Toshiaki Tanaka  
Chief Representative  
JICA Jordan Office  
Amman, Jordan

Dear Mr. Tanaka,

In reference to your letter number JICA(JD)11-07004 dated 7 November 2012, concerning the utilization of the initial disbursement under the Loan Agreement No. JO-P12 for the project entitled "Human Resource Development and Social Infrastructure Improvement". Kindly find enclosed for your kind consideration and review a list of the selected priority capital sub-projects that will be financed by the abovementioned Loan Agreement.

Please be informed that the Study Team appointed by JICA held a series of discussions with the Ministry of Planning and International Cooperation and the concerned line ministries and agreed on the following selection criteria for the abovementioned projects:

1. Directly categorized as Vocational Training, Basic Education, Higher Education and Medical/Health.
2. Achieving Project's Objectives.
3. Not managed by Jordan Armed Forces.
4. Not supported by other donors and or development agencies.
5. Not addressing issues that are rare in Jordan.
6. Classified under Category (C) in JICA's Guidelines for Environmental and Social Considerations (i.e., not involving any major civil works or new land acquisition).
7. Cost categorized under Services, Consumables, Seminars, Meetings, Symposium, Festival and Ceremonies are not included as Major Items.
8. Not forming or strengthening an organization.
9. Contracts for the Sub-Project will be local-currency contracts, procured locally in accordance with the relevant laws and regulations in Jordan.

I look forward to receiving your concurrence on the attached projects' list . Please accept my high esteem and consideration.

Sincerely,

Jafar Abed Hassan  
Minister of Planning and  
International Cooperation

**Human Resources Development and Social Infrastructure Improvement Project**  
**(JICA L/A No. JO-P12)**  
**Sub-projects Shortlist**

Ministry or Agency	No	Title
Ministry of Finance	190	Higher Board for Handicapped Persons Affairs
Ministry of Education	568	Program Administration
	570	Establishing Learning Resources Centers
	571	Develop the Educational Information Management System
	572	Vocational Education Program Administration Project
	574	Social, Sport and Educational Activities Program Administration Project
	583	Special Education Program Administration Project
	585	Establishing a school for deaf students in Kerak governorate
	586	Kindergarten Education Program Administration Project
	588	Basic Education Program Administration Project
	597	Secondary Education Program Administration Project
Ministry of Higher Education and Scientific Research	602	Establishing school buildings for (Decent housing for decent life) project
	603	Development of Illiteracy Education
	606	EMIS
	607	Developing economics higher education
Ministry of Health	615	Qualifying and developing Ayl secondary school into diploma university college/Ma'an
	HES	Supporting Jordanian Public University
	619	Administration Project
	620	Hospitals and Health Centers
	622	Developing and Applying Transport and Nursing System
	623	Heavy Duty Machines for the Ministry
	625	Updating Non-medical Furniture and Equipments in the Ministry
	626	Computerizing the Ministry of Health
	629	Upgrading the Efficiency of Nursing Colleges
	630	Primary Health Care/Health Services Centers Program Administration Project
	632	Establishing Health Care Centers
	633	Establishing Comprehensive Health Center
	635	Expanding 25 Existing Health Centers
	638	Establishing Institutional Competencies for Environment Health
	639	Providing Evaluation and Diagnoses Services in North of Jordan
	640	Medical Equipments and Spare Parts Health Centers
	644	Burma comprehensive medical center
	646	Integrated care for child health
	647	Early diagnosis of G6PD Enzyme
	649	Secondary Health Care/Hospitals Program Administration Project
	650	Updating and Expanding Jarash Hospital
	651	Updating and Expanding Mu'an Hospital
	652	Updating Al-Basheer Hospital
	653	Establishing Burns Clinic in Princess Besma Hospital
	658	Expanding Al Karak Hospital
	659	Establishment of Northern Desert Hospital
	661	Establishment of Al-Salt new Hospital
	663	Updating Labs Equipments and Blood Banks
	667	Hotel services for hospitals
	671	Controlling medicine provision
Ministry of Social Development	680	Handicapped Affairs Program Administration Project
Ministry of Labour (Including VTC)	714	Automation of the Ministry of Labour
	715	Restructuring the education and training council
	718	Accreditation center and quality assurance
	722	Transferring Investment to Remote Areas
	723	Vocational Training
	VTCS	Supporting Vocational Training Institutes
	727	Linking municipalities, civil society organizations and social partners
	729	Activate and expand services and systems of vocational employment and guidance
	730	National System for E-operation

total 55

**Quarterly Progress Report**  
**on**  
**Human Resource Development**  
**and Social Infrastructure Improvement Project**

**Loan Agreement No JO-P12**

### Organization Information

<b>Borrower</b>	<p><b><u>Ministry of Planning and International Cooperation</u></b></p> <p>Person in Charge Dr. Jafar Abed Hassan Minister</p> <p>Contacts Address: 555 Amman 11118, Jordan Phone/FAX: +962-6-4644466 Email: mop@mop.gov.jo</p>
<b>Executing Agency</b>	<p><b><u>Ministry of Planning and International Cooperation</u></b></p> <p>Person in Charge Ms. Zeina Toukan Director, International Cooperation Department</p> <p>Contacts Address: 555 Amman 11118, Jordan Phone/FAX: +962-6-4649023 Email: zeina.t@mop.gov.jo</p>
	<p><b><u>Ministry of Planning and International Cooperation</u></b></p> <p>Person in Charge Ms. Wafa Sh. Al Saket Head of Asian Relations Divisions, International Cooperation Department</p> <p>Contacts Address: 555 Amman 11118, Jordan Phone/FAX: +962-6-4649023 Email: wafa.s@mop.gov.jo</p>
	<p><b><u>Ministry of Planning and International Cooperation</u></b></p> <p>Person in Charge Eng. Feda Jaradat Acting Director of Projects Department</p> <p>Contacts Address: 555 Amman 11118, Jordan Phone/FAX: +962-6-4644466 ext.541 Email: feda.j@mop.gov.jo</p>

## 1: Project Description (Relevance)

### 1-1 Project Objective

#### **Original**

To foster industries and strengthen the public services specifically by implementing vocational training programs and improving the facilities for vocational training, primary/secondary and higher education, health and medical services, thereby contributing to Jordan's economic and social stability.

#### **Modified objective and its reason(s):**

*No Change.*

### 1-2 Necessity and Priority of the Project

- Consistency with development policy, sector plan, national/regional development plans and demand of target group and the recipient country.

#### **Original**

#### **(1) Policy and Issues related to the Project**

Government of Jordan indicated issues such as improving income generation opportunity and social welfares as priority areas to be tackled in the Executive Development Program 2011 to 2013. The Project is responding to such Jordanian Government's development policy, and it will encourage the public service improvement in this regard.

Overviews of sectors related to the Project are as following.

#### a. Vocational Training Sector

The unemployment rate remains high as 12.9 % in 2009. Issues exist in matching the requirements from the labor market and educational background of the Jordanian workforce. In this regard, vocational training needs to change from a model of supply-based training to the model of demand-based training driven by market needs, provision of competitive skills, employment and development of technology to become more responsive to labor market needs.

#### b. Higher Education Sector

Jordan has achieved a number of accomplishments in the field of higher education in the past several years, for example, improving the quality of education through the amendment of the law pertaining to the accreditation committee of the higher education institutions; continuing to support research projects at the national level; establishing technology incubators in a number of public universities to support ideas and innovation. However, there are a number of challenges which can be summed up as follows: the independence of universities and the development of governance and its institutional performance; the quality of higher education outcomes; matching higher education outcomes with the labor market.

#### c. Education Sector

Jordan has achieved remarkable progress in general education that was reflected in transferring from quantitative education to education based on the knowledge economy. Noting that in 2009, spending on general education has reached 3.7% of GDP. Yet, there are several challenges to overcome, for instance, matching general



education outcomes with higher education as well as with the labor market needs; insufficient male specialization in some disciplines such as mathematics, science and English; low enrollment in vocational secondary education; low enrollment in nursery schools because of limited number of facilities, high costs and lack of awareness regarding the importance of early learning.

d. Health Sector

The health sector witnessed significant development: increased life expectancy at birth for males to 71.6 years and 74.4 years for females, reduced rate of maternal mortality to 19.2 per hundred thousand live births, the population growth rate dropped to 2.2%, and the percentage of people covered by the measles vaccine reached 100%.

Primary health care services are provided through health care centers affiliated to the Ministry of Health: (70) medical centers, (378) primary health centers and (236) sub-health centers (in 2009). Royal Medical Services are involved in the provision of primary health care services through field clinics and health centers, where the overall pilot has recently been established (5 comprehensive health centers) in various regions of the Kingdom. Secondary and tertiary health care services are provided by (104) hospitals in 2009 with (11,626) beds, in coordination between the Ministry of Health, Royal Medical Services, the University of Jordan, the King Abdullah University Hospital and the private sector.

The increasing demand for health services, as a result of population growth and the high prevalence of diseases such as heart failure, cancer, diabetes, in addition to the high proportion of the population among the elderly and children, requires efforts such as (a) Promoting equitable access to health service, (b) Stimulating the development of human resources employees in the health sector, (c) Supporting primary health care services and (d) Supporting health information systems and promotion of their use and so forth.

**(2) Assistance by Japan**

In "Japanese ODA Rolling Plan for Hashemite Kingdom of Jordan", which was released by the Ministry of Foreign Affairs of Japan in 2010, it is clarified that GOJ has its operational focus on cooperating for "Support for Self-reliant and Sustainable Economic Growth" in which Cooperation Programs of "Support for Formulation and Implementation of Development Policy", "Vocational Training" and "Self-Reliant and Sustainable Industrial Development and its Quality Improvement" are included as the targeted agendas.

Enhancement of the stability, which the Project ultimately aims at, is part of the GOJ policy for supporting MENA countries which has been expressed in G8 Summit 2011 in Deauville.

**Actual:**

**(1) Policy and Issues related to the Project**

Government of Jordan indicated issues such as improving income generation opportunity and social welfares as priority areas to be tackled in the Executive Development Program 2011 to 2013. The Project is responding to such Jordanian Government's development policy, and it will encourage the public service improvement in this regard.

Overviews of sectors related to the Project are as following.

**a. Vocational Training Sector**

The unemployment rate remains high as 12.9 % in 2011. Issues exist in matching the requirements from the labor market and educational background of the Jordanian workforce. In this regard, vocational training needs to change from a model of supply-based training to the model of demand-based training driven by market needs, provision of competitive skills, employment and development of technology to become more responsive to labor market needs.

**b. Higher Education Sector**

Jordan has achieved a number of accomplishments in the field of higher education in the past several years, for example, improving the quality of education through the amendment of the law pertaining to the accreditation committee of the higher education institutions; continuing to support research projects at the national level; establishing technology incubators in a number of public universities to support ideas and innovation. However, there are a number of challenges which can be summed up as follows: the independence of universities and the development of governance and its institutional performance; the quality of higher education outcomes; matching higher education outcomes with the labor market.

**c. Education Sector**

Jordan has achieved remarkable progress in general education that was reflected in transferring from quantitative education to education based on the knowledge economy. Noting that in 2009, spending on general education has reached 3.7% of GDP. Yet, there are several challenges to overcome, for instance, matching general education outcomes with higher education as well as with the labor market needs; insufficient male specialization in some disciplines such as mathematics, science and English; low enrollment in vocational secondary education; low enrollment in nursery schools because of limited number of facilities, high costs and lack of awareness regarding the importance of early learning.

**d. Health Sector**

The health sector witnessed significant development: increased life expectancy at birth for males to 71.6 years and 74. 4 years for females, reduced rate of maternal mortality to 19.1 per hundred thousand live births, the population growth rate dropped to 2.2%.

Primary health care services are provided through health care centers affiliated to the Ministry of Health: (86) comprehensive health centres, (371) primary health centres and (220) peripheral health centres (in 2011). Royal Medical Services are involved in the provision of primary health care services through field clinics and health centers, where the overall pilot has recently been established (5

comprehensive health centres) in various regions of the Kingdom. Secondary and tertiary health care services are provided by (106) hospitals in 2011 with (11,991) beds, in coordination between the Ministry of Health, Royal Medical Services, the University of Jordan, the King Abdullah University Hospital and the private sector.

The increasing demand for health services, as a result of population growth and the high prevalence of diseases such as heart failure, cancer, diabetes, in addition to the high proportion of the population among the elderly and children, requires efforts such as (a) Promoting equitable access to health service, (b) Stimulating the development of human resources employees in the health sector, (c) Supporting primary health care services and (d) Supporting health information systems and promotion of their use and so forth.

## **(2) Assistance by Japan**

In “Japanese ODA Rolling Plan for Hashemite Kingdom of Jordan”, which was released by the Ministry of Foreign Affairs of Japan in 2010, it is clarified that GOJ has its operational focus on cooperating for “Support for Self-reliant and Sustainable Economic Growth” in which Cooperation Programs of “Support for Formulation and Implementation of Development Policy”, “Vocational Training” and “Self-Reliant and Sustainable Industrial Development and its Quality Improvement” are included as the targeted agendas.

Enhancement of the stability, which the Project ultimately aims at, is part of the GOJ policy for supporting MENA countries which has been expressed in G8 Summit 2011 in Deauville.

## **1-3 Rationale of the Project Design**

- Timing, scale, technology of the project

### **Original:**

The project is designed to support various projects in the education and vocational training sector and health sector.

### **(1) Rationale of Timing: 2012 to 2014**

H.E. Dr. Jafar Abed Hassan, Jordanian Minister of Planning and International Cooperation, paid a visit to Tokyo in March, 2012. During the visit, H.E. Dr. Hassan expressed his expectation for the support from Japan to respond the Jordanian urgent needs for strengthening the measures for the national stability.

Considering the recent instability in neighboring countries which eventually might affect Jordan's current economic and social status, the quick implementation of the Project is urgently required.

### **(2) Rationale of the Location (selection of sites): All Jordan (especially in poorer areas)**

The Project targets especially poorer governorates where larger population is below the poverty level than the national average.

### **(3) Rationale of the Project Components:**

The Project components have been selected from a long list of the development projects in Jordan (*Attachment 2*) and the scale of each component has been duly planned.

The technology to be employed in the Project is expected to be the one available and appropriate in Jordan, and the procurement for the Project is by according to Jordanian regulations, including local competitive bidding.

**Actual:**

*No Change.*

## 2: Project Implementation (Efficiency)

### 2-1 Project Scope

Table 2-1-1a: Comparison of Original and Actual Location

<b>Location</b>	<b>Original:</b> All Jordan, giving priority to areas of poverty higher than the national average. <i>Attachment 1: Map of Jordan</i>	<b>Actual:</b> <i>No change.</i> <b>Attachment(s):</b> Map
-----------------	---	--

Table 2-1-1b: Comparison of Original and Actual Scope

#### a. Human Resources Development and Employment Promotion Sub-Project

##### a-1. Vocational Training

Items	Original	Actual (P/R,PCR)
714 Automation of the Ministry of Labor	• Equipment	• Equipment
715 Restructuring the education and training council	• Equipment	• Equipment
718 Accreditation center and quality assurance	• Equipment	• Facilities • Equipment
722 Transferring Investment to Remote Areas	• Facilities	• Facilities
723 Vocational Training	• Facilities • Equipment • Vocational Training	• Equipment • Vocational Training
VTCS Supporting Vocational Training Institutes	• Training Materials	• Training Materials
727 Linking municipalities, civil society organizations and social partners	• Equipment	• Equipment
729 Activate and expand services and systems of vocational employment and guidance	• Equipment	• Equipment
730 National System for E-operation	• Equipment	

##### a-2. Higher Education Facilities Development

Items	Original	Actual (P/R,PCR)
606 EMIS	• Equipment	
607 Developing economics higher education	• Equipment & Furniture	• Equipment
615 Qualifying and developing Ayl secondary school into diploma	• Facilities	

university college/Ma'an		
HES Supporting Jordanian Public University	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Facilities and Infrastructure</li> <li>• Equipment and Furniture for targeted universities</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Consultant Services</li> <li>• Facilities and Infrastructure</li> <li>• Equipment and Furniture for targeted universities</li> </ul>

**b. Social Infrastructure Improvement Sub-Project**

**b-1. Primary/Secondary Education and People with Disability Education Facilities Improvement**

Items	Original	Actual (P/R,PCR)
190 Higher Board for Handicapped Persons Affairs	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Equipment &amp; Furniture</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Equipment</li> </ul>
680 Handicapped Affairs Program Administration Project	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Facilities</li> <li>• Equipment &amp; Furniture</li> </ul>	
568 Program Administration	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Facilities</li> <li>• Equipment &amp; Furniture</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Equipment &amp; Furniture</li> </ul>
570 Establishing Learning Resources Centers	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Facilities</li> </ul>	
571 Develop the Educational Information Management System	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Equipment &amp; Furniture</li> </ul>	
572 Vocational Education Program Administration Project	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Facilities</li> <li>• Equipment &amp; Furniture</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Equipment &amp; Furniture</li> </ul>
574 Social, Sport and Educational Activities Program Administration Project	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Facilities</li> <li>• Equipment &amp; Furniture</li> </ul>	
583 Special Education Program Administration Project	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Facilities</li> <li>• Equipment &amp; Furniture</li> </ul>	
585 Establishing a school for deaf students in Kerak governorate	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Facilities</li> </ul>	
586 Kindergarten Education Program Administration Project	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Facilities</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Facilities</li> </ul>
588 Basic Education Program Administration Project	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Equipment &amp; Furniture</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Equipment &amp; Furniture</li> </ul>
597 Secondary Education Program Administration Project	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Equipment &amp; Furniture</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Equipment &amp; Furniture</li> </ul>
602 Establishing school buildings for (Decent housing for decent life) project	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Facilities</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Facilities</li> </ul>
603 Development of	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Equipment and Furniture</li> </ul>	

Illiteracy Education		
----------------------	--	--

**b-2. Health and Medical Facilities Improvement**

Items	Original	Actual (P/R,PCR)
619 Administration Project	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Facilities</li> <li>• Equipment &amp; Furniture</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Facilities</li> <li>• Equipment</li> </ul>
620 Accreditation for Hospitals and Health Centers	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Equipment</li> </ul>	
622 Developing and Applying Transport and Nursing System	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Transportation Equipment</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Transportation Equipment</li> </ul>
623 Heavy Duty Machines for the Ministry	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Transportation Equipment</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Transportation Equipment</li> </ul>
625 Updating Non-medical Furniture and Equipment in the Ministry	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Equipment &amp; Furniture</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Equipment &amp; Furniture</li> </ul>
626 Computerizing the Ministry of Health	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Equipment</li> </ul>	
629 Upgrading the Efficiency of Nursing Colleges	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Facilities</li> <li>• Equipment</li> </ul>	
630 Primary Health Care/Health Services Centers Program Administration Project	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Facilities</li> <li>• Equipment &amp; Furniture</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Facilities</li> <li>• Equipment &amp; Furniture</li> </ul>
632 Establishing Health Care Centers	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Facilities (HCC)</li> <li>• Medical Equipment</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Facilities (HCC)</li> <li>• Medical Equipment</li> </ul>
633 Establishing Comprehensive Health Center	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Facilities (CHC)</li> <li>• Medical Equipment</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Medical Equipment</li> </ul>
635 Expanding 25 Existing Health Centers	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Facilities</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Facilities</li> </ul>
638 Establishing Institutional Competencies for Environment Health	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Laboratory Equipment</li> </ul>	
639 Providing Evaluation and Diagnoses Services in North of Jordan	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Medical Equipment</li> </ul>	
640 Medical Equipment and Spare Parts Health Centers	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Medical Equipment and Furniture</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Medical Equipment</li> </ul>
644 Burma comprehensive medical center	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Facilities</li> <li>• Medical Equipment</li> </ul>	
646 Integrated care for child health	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Equipment</li> </ul>	
647 Early diagnosis of G6PD Enzyme	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Equipment and Kits</li> </ul>	
649 Secondary Health Care/Hospitals Program Administration Project	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Facilities</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Facilities</li> </ul>
650 Updating and Expanding	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Facilities</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Facilities</li> </ul>

Jarash Hospital		
651 Updating and Expanding Mu'an Hospital	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Facilities</li> <li>• Medical Equipment</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Facilities</li> </ul>
652 Updating Al-Basheer Hospital	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Facilities</li> <li>• Medical Equipment &amp; Furniture</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Facilities</li> <li>• Medical Equipment &amp; Furniture</li> </ul>
653 Establishing Burns Clinic in Princess Besma Hospital	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Facilities</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Facilities</li> </ul>
658 Expanding Al Karak Hospital	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Facilities</li> <li>• Medical Equipment</li> <li>• Equipment &amp; Furniture</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Consultant Services</li> <li>• Facilities</li> <li>• Medical Equipment</li> <li>• Equipment &amp; Furniture</li> </ul>
659 Establishment of Northern Desert Hospital	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Facilities</li> <li>• Medical Equipment</li> <li>• Transportation Equipment</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Consultant Services</li> <li>• Facilities</li> <li>• Medical Equipment</li> </ul>
661 Establishment of Al-Salt new Hospital	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Facilities (hospital with 350 beds)</li> <li>• Medical Equipment and Furniture</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Consultant Services</li> <li>• Facilities (hospital with 350 beds)</li> </ul>
663 Updating Labs Equipment and Blood Banks	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Medical Equipment</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Medical Equipment</li> </ul>
667 Hotel services for hospitals	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Equipment</li> </ul>	
671 Controlling medicine provision	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Equipment</li> </ul>	

**2-1-2 Reason(s) for the modification if there have been any.**

GOJ reduced the allocated 2012 budget for each ministry due to financial obstacles, thus some of the projects were not executed and postponed to 2013.  
GOJ will send an official request to add (6) projects to be funded by the Loan.

**2-2 Implementation Schedule**

Table 2-2-1: Comparison of Original and Actual Schedule

**a. Human Resources Development and Employment Promotion Project**

**a-1. Vocational Training**

Items	Original	Actual (P/R,PCR)
714 Automation of the Ministry of Labor	2012 to 2014	2012 to 2014
715 Restructuring the education and training council	2012 to 2014	2012 to 2014
718 Accreditation center and quality assurance	2012 to 2013	2012 to 2014
722 Transferring Investment to Remote Areas	2012 to 2014	2012 to 2014
723 Vocational Training	2012 to 2014	2012 to 2014
VTCS Supporting Vocational Training Institutes	2012 to 2014	2012 to 2014



727 Linking municipalities, civil society organizations and social partners	2012 to 2014	2012 to 2014
729 Activate and expand services and systems of vocational employment and guidance	2012 to 2014	2012 to 2014
730 National System for E-operation	2012 to 2014	2012 to 2014

**a-2. Higher Education Facilities Development**

Items	Original	Actual (P/R,PCR)
606 EMIS	2012 to 2014	2012 to 2014
607 Developing economics higher education	2012 to 2014	2012 to 2014
615 Qualifying and developing Ayl secondary school into diploma university college/Ma'an	2013 to 2014	2013 to 2014
HES Supporting Jordanian Public University	2012 to 2014	2012 to 2014

**b. Social Infrastructure Improvement Project**

**b-1. Primary/Secondary Education and People with Disability Education Facilities Improvement**

Items	Original	Actual (P/R,PCR)
190 Higher Board for Handicapped Persons Affairs	2012 to 2014	2012 to 2014
680 Handicapped Affairs Program Administration Project	2012 to 2014	-
568 Program Administration	2012 to 2014	2012 to 2014
570 Establishing Learning Resources Centers	2012 to 2014	2013 to 2014
571 Develop the Educational Information Management System	2012 to 2014	2012 to 2014
572 Vocational Education Program Administration Project	2012 to 2014	2012 to 2014
574 Social, Sport and Educational Activities Program Administration Project	2012 to 2014	2012 to 2014
583 Special Education Program Administration Project	2012 to 2014	2012 to 2014
585 Establishing a school for deaf students in Kerak governorate	2012 to 2014	2012 to 2014
586 Kindergarten Education Program Administration Project	2012 to 2014	2012 to 2014
588 Basic Education Program Administration Project	2012 to 2014	2012 to 2014
597 Secondary Education Program Administration Project	2012 to 2014	2012 to 2014
602 Establishing school buildings for (Decent housing for decent life) project	2012 to 2014	2012 to 2014
603 Development of Illiteracy Education	2013 to 2014	2013 to 2014

**b-2. Health and Medical Facilities Improvement**

Items	Original	Actual (P/R,PCR)
-------	----------	------------------

L/A NO. JO-P 12  
Quarterly Progress Report for December 2012

619 Administration Project	2012 to 2014	2012 to 2014
620 Hospitals and Health Centers	2012 to 2014	2012 to 2014
622 Developing and Applying Transport and Nursing System	2012 to 2014	2012 to 2014
623 Heavy Duty Machines for the Ministry	2012 to 2014	2012 to 2014
625 Updating Non-medical Furniture and Equipment in the Ministry	2012 to 2014	2012 to 2014
626 Computerizing the Ministry of Health	2012 to 2014	2012 to 2014
629 Upgrading the Efficiency of Nursing Colleges	2012 to 2014	2012 to 2014
630 Primary Health Care/Health Services Centers Program Administration Project	2012 to 2014	2012 to 2014
632 Establishing Health Care Centers	2012	2012
633 Establishing Comprehensive Health Center	2012	2012
635 Expanding 25 Existing Health Centers	2012	2012
638 Establishing Institutional Competencies for Environment Health	2012 to 2014	2012 to 2014
639 Providing Evaluation and Diagnoses Services in North of Jordan	2013 to 2014	2013 to 2014
640 Medical Equipment and Spare Parts Health Centers	2012 to 2014	2012 to 2014
644 Burma comprehensive medical center	2013 to 2014	2013 to 2014
646 Integrated care for child health	2013 to 2014	2013 to 2014
647 Early diagnosis of G6PD Enzyme	2012 to 2014	2012 to 2014
649 Secondary Health Care/Hospitals Program Administration Project	2012 to 2014	2012 to 2014
650 Updating and Expanding Jarash Hospital	2012 to 2014	Expected completion date: End of June 2014 Physical Progress(construction works): 100% Financial Progress (construction works): 100%
651 Updating and Expanding Mu'an Hospital	2012 to 2014	Expected completion date: End of June 2014 Physical Progress(construction works): 85% Financial Progress (construction works): 23%
652 Updating Al-Basheer Hospital	2012 to 2014	2012 to 2014
653 Establishing Burns Clinic in Princess Besma Hospital	2012 to 2014	2012 to 2014
658 Expanding Al Karak Hospital	2012 to 2014	<i>Expected completion date: End of June 2014 Physical Progress(construction works): 65% Financial Progress</i>

L/A NO. JO-P 12  
Quarterly Progress Report for December 2012

		(construction works): 90%
659 Establishment of Northern Desert Hospital	2012 to 2014	Expected completion date: End of June 2014 Physical Progress(construction works): 90% Financial Progress (construction works): 95%
661 Establishment of Al-Salt new Hospital	2012 to 2014	Expected completion date: End of May 2014 Physical Progress(construction works): 70% Financial Progress (construction works): 77%
663 Updating Labs Equipment and Blood Banks	2012 to 2014	2012 to 2014
667 Hotel services for hospitals	2012 to 2014	2012 to 2014
671 Controlling medicine provision	2012 to 2014	2012 to 2014

\*Project Completion was defined as December 31, 2014 at the time of Project Memorandum (March 26, 2012).

**2-2-2** Reasons for any changes of the schedule, and their effects on the project.

GOJ reduced the allocated 2012 budget for each ministry due to financial obstacles, thus some of the projects were not executed and postponed to 2013.  
GOJ will send an official request to add (6) projects to be funded by the Loan.

**2-3 Project Cost**  
**2-3-1**

Table 2-3-1a: Comparison of Original and Actual Cost BY ITEM

Breakdown of Cost	Foreign Currency Portion			Local Currency Portion			Total		
	(Mil. JPY)			(Mil. JD)			(Mil. JPY)		
	Total	JICA Portion	Others	Total	JICA Portion	Others	Total	JICA Portion	Others
Human Resources Development and Employment Promotion Project	0	0	0	145.74	35.77	109.97	16,031	3,935	12,096
Social Infrastructure Improvement Project	0	0	0	105.74	72.77	32.97	11,631	8,004	3,627
Interest during Construction	0	0	0	2.35	2.35	0	258	258	0
Commitment Charge	0	0	0	0.33	0.33	0	37	37	0
Land Acquisition	0	0	0	0	0	0	0	0	0
Administration Cost	0	0	0	0	0	0	0	0	0
Sales Tax	0	0	0	47.90	0	47.90	5,269	0	5,269
<b>Total</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>302.06</b>	<b>111.22</b>	<b>190.84</b>	<b>33,226</b>	<b>12,234</b>	<b>20,992</b>

Note:

- (1) Exchange Rate: USD 1 = JD 0.71 = JPY 78.5 (JD 1 = JPY 110)  
Base Year for Cost Estimation: February 2012
- (2) Interest During Construction (IDC) shall be financed by JICA, and be calculated on the assumption that interest rate is 0.95 %.
- (3) Commitment Charge will be financed by JICA.
- (4) Calendar Year starts in January and ends in December.

Breakdown of Cost	Foreign Currency Portion			Local Currency Portion			Total		
	(Mil. JPY)			(Mil. JD)			(Mil. JPY)		
	Total	JICA Portion	Others	Total	JICA Portion	Others	Total	JICA Portion	Others
Human Resources Development and Employment Promotion Project	0	0	0	65.61	8.52	57.09	7,512	976	6,536
Social Infrastructure Improvement Project	0	0	0	41.02	10.22	30.80	4,698	1,170	3,528
Interest during Construction	0	0	0	0	0	0	0	0	0
Commitment Charge	0	0	0	0	0	0	0	0	0
Land Acquisition	0	0	0	0	0	0	0	0	0
Administration Cost	0	0	0	0	0	0	0	0	0

L/A NO. JO-P 12  
Quarterly Progress Report for December 2012

Sales Tax	0	0	0	0	0	0	0	0	0
<b>Total</b>	0	0	0	106.63	18.74	87.89	12,210	2,146	10,064

(Note) Exchange Rate: US\$1 = JD 0.71 = JPY 81.1 (JD 1 = JPY 114.22)

Base Year for Cost Estimation: October 2012

Table 2-3-1b: Comparison of Original and Actual Cost BY YEAR

\*Fiscal Year starting in January and ending in December

Unit: (Million JPY)

Breakdown of Cost	Original			Actual		
	JICA Portion	Others	Total	JICA Portion	Others	Total
<b>2012</b>	5,242	6,450	11,692	2,146	10,064	12,210
<b>2013</b>	5,012	6,876	11,888			
<b>2014</b>	1,980	7,666	9,646			
<b>Total</b>	12,234	20,992	33,226	2,146	10,064	12,210

Unit: (Million JD)

Breakdown of Cost	Original			Actual		
	JICA Portion	Others	Total	JICA Portion	Others	Total
<b>2012</b>	47.66	58.64	106.29	18.74	87.89	106.63
<b>2013</b>	45.56	62.51	108.07			
<b>2014</b>	18.00	69.69	87.69			
<b>Total</b>	111.22	190.84	302.06	18.74	87.89	106.63

Note: Exchange Rate: USD 1 = JD 0.71 = JPY 78.5 (JD 1 = JPY 110)

Base Year for Cost Estimation: February, 2012

Exchange Rate (Actual): US\$1 = JD 0.71 = JPY 81.1 (JD 1 = JPY 114.22)

Base Year for Cost Estimation: October 2012

The actual disbursement amount can be determined in accordance with the actual demands for disbursement (subject to not exceeding the total Loan amount).

**2-3-2** Reason(s) for the wide gap between the original and actual, if there have been any, the remedies you have taken, and their results.

MOHE is still collecting Data for 2012 invoices, and we will send them separated when they are finalized to be added to 2012 sum.

## 2-4 Organizations for Implementation

### 2-4-1 Executing Agency:

- Organization's role, financial position, capacity, cost recovery etc,
- Organization Chart including the unit in charge of the implementation and number of employees.

#### Original:

##### a. Executing Agency

Programs and Projects Department of Ministry of Planning will stand as the Executing Agency. The roles of the Executing Agency are: (i) Overall project management, (ii) Monitoring and evaluation, (iii) Social consideration, (iv) Environmental consideration, (v) Financial management, and (vi) Reporting.

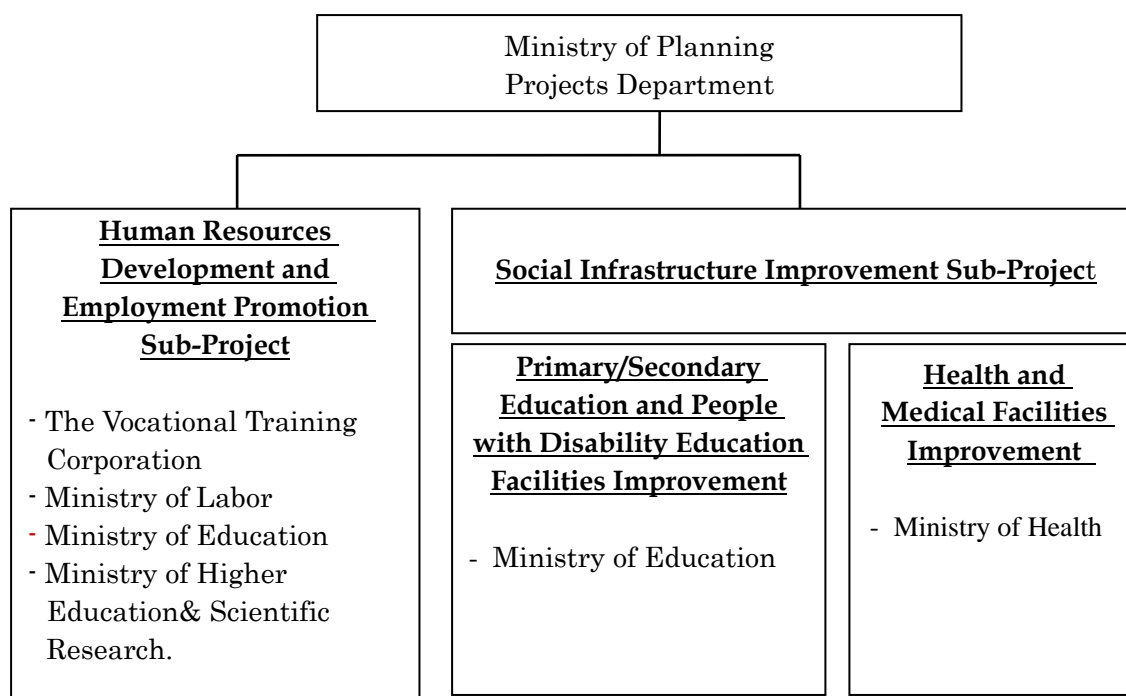
##### b. Implementing Agencies

The Projects will be implemented by following agencies. The role of the Implementing Agencies are to manage the construction works, procurement activities, implement trainings in each region and to report to the Executing Agency.

**Human Resources Development and Employment Promotion Sub-Project:** The Vocational Training Corporation, Ministry of Labor, Ministry of Education and Ministry of Higher Education & Scientific Research.

#### **Social Infrastructure Improvement Sub-Project**

- **Primary/Secondary Education and People with Disability Education Facilities Improvement:** Ministry of Education
- **Health and Medical Facilities Improvement:** Royal Medical Services, Ministry of Health



**Actual, if changed:** (P/R and PCR)

a. Executing Agency

Department of Projects of Ministry of Planning and International Cooperation will stand as the Executing Agency (due to MOPIC restructure that was approved on 28/1/2013, Department of Projects will be the concern unit). The role of the Executing Agency are, (i)Overall project management, (ii)Monitoring and evaluation, (iii)Social consideration, (iv)Environmental consideration, (v)Financial management, and (vi)Reporting.

b. Implementing Agencies

The Projects will be implemented by following agencies. The role of the Implementing Agencies are to manage the construction works, procurement activities, implement trainings in each region and to report to the Executing Agency.

**Human Resources Development and Employment Promotion Sub-Project:**

The Vocational Training Corporation, Ministry of Labor, and Ministry of Higher Education & Scientific Research.

**Social Infrastructure Improvement Sub-Project**

Primary/Secondary Education and People with Disability Education Facilities Improvement; Ministry of Education, Ministry of Finance and Ministry of Social Development

Health and Medical Facilities Improvement; Ministry of Health



**2-4-2 Contractor(s)/ Supplier(s), and Consultant(s) and Their Performance:**

**2-4-2-1 Procurement and Consultant**

All items to be financed by JICA shall be procured in accordance with following Jordanian by-law and act.

- Government works by-law No.71 for the year 1986
- Supplies Act No. (32) for the year 1993

Table 2-4-2: Procurement of Contractor(s)/Supplier(s) and Consultant(s)

Contract Package	Selection Method	
	Original: (P/M)	Actual: (P/R and PCR)
<b>Contractor(s)</b> Human Resources Development and Employment Promotion Sub-Project	LCB	LCB
Social Infrastructure Improvement Sub-Project - Primary/Secondary Education and People with Disability Education Facilities Improvement	LCB	LCB
-Health and Medical Facilities Improvement	LCB	LCB
<b>Supplier(s)</b> Human Resources Development and Employment Promotion Sub-Project	LCB	LCB
Social Infrastructure Improvement Sub-Project - Primary/Secondary Education and People with Disability Education Facilities Improvement	LCB	LCB
-Health and Medical Facilities Improvement	LCB	LCB

#### 2-4-2-2 Performance

<p>(P/R and PCR)</p> <p><b>Information on the Contractor(s)/ Supplier(s):</b>  Durret Alqasem company (Sub-project 658)/  <b>Evaluation:</b> Good  Al-qurneh &amp; salameh company / Alquds for construction (Sub-project 659)/  <b>Evaluation:</b> Good  Arab international company for engineering and construction (Sub-project 661)/  <b>Evaluation:</b> Good</p>
<p><b>Information on the Consultant(s):</b>  Subuh office for consulting engineers (Sub-project 658)/  <b>Evaluation:</b> Good  Corner office engineering for consulting engineers (Sub-project 659)/  <b>Evaluation:</b> Good  Al- dar al-arabeyyah office for engineers (Sub-project 661)/  <b>Evaluation:</b> Good</p>



**2-5 Precautions (Measures To Be Adopted/Points Which Require Special Attention)**

- Risks and issues, if any, which may affect the project implementation and planned countermeasures to be adapted, in terms of physical, environmental or social aspects.(e.g., land acquisition, resettlement , HIV awareness and prevention program, gender consideration and EIA clearance)
- Environmental Checklist or report of monitoring indicator (if applicable)

Original issues and Countermeasure(s)	Actual issues and Countermeasure(s)
<b>a. Project Coordination</b> The Project consists of various sectors and sites. Hence, smooth coordination between the Executing Agency and Implementing Agencies are required to avoid Project implementation delay.	No change
<b>b. Institutional Capacity</b> Institutional capacity of the Implementing Agencies shall be further strengthened through Project implementation activities, ex. Technical, financial, and managerial abilities.	No change
<b>c. Timely Procurement</b> Timely procurement including approval by the concerned authorities is required.	No change
<b>d. Reporting</b> It is required for the Implementing Agencies to report to the Executing Agency of the Project status in a timely manner. The Executing Agency will submit to JICA the Progress Report on a Quarterly basis.	No change
<b>e. Environmental and Social Consideration</b> It is required for the contractors to take necessary measures against environmental and social impact during the implementation activities. Implementing Agencies will instruct the contractors for necessary considerations, and the Executing Agency will monitor the overall activities and procedures.	No change
<b>f. Monitoring</b> It is required for the Executing Agency to prepare a Monitoring Plan for each Project, and to report to JICA.	No change

**2-6 Photographs of Output of the project (P/R and PCR): Attachment**

### 3: Benefit Derived from the Project (Effectiveness)

#### 3-1 Operational and physical condition of each facility developed/supplied by the project.

Facilities	Description of condition	Problems, its Background and Remedial Action Plan
<i>(P/R and PCR)</i> N/A	<i>(P/R and PCR)</i> N/A	<i>(P/R and PCR)</i> N/A

#### 3-2 Precautions (Measures To Be Adopted / Points Which Require Special Attention)

- Risks and issues, if any, which may affect the project outcome and planned countermeasures to be adapted, in terms of physical, environmental or social aspects.
- Environmental Checklist or report of monitoring indicator (if applicable)

Original issues and Countermeasure(s)	Actual issues and Countermeasure(s)
<b>(1) Management Capacity</b> Sufficient number of personnel with relevant expertise for newly constructed or expanded facilities is necessary.	<i>(P/R and PCR)</i> N/A
<b>(2) Operation and Maintenance</b> Equipment and furniture procured need to be maintained well. Necessary budget should be allocated for that purpose.	

#### 3-3 Environmental and Social Impacts

- Major environmental and social impacts have occurred during project implementation (e.g. involuntary resettlement, poverty reduction, natural environment)

Issue(s)	Action or countermeasure(s) taken and remaining problem(s)
<i>(PCR)</i>	<i>(PCR)</i>

### 3-4 Qualitative and Quantitative Data of Monitoring Indicators

- Operation and Effect Indicator, EIRR and/or FIRR
- Supporting data for computing EIRR and/or FIRR.

#### a. Human Resources Development and Employment Promotion Sub-Project

##### a-1. Vocational Training

Indicators	Original (Yr2012)	Present (Yr )	Target (Yr2014)
<i>(P/M)</i>	<i>(P/M)</i>	<i>(P/M,PCR)</i>	<i>(P/M)</i>
1) Number of registered (enrolled) trainees of VTC Institutes (2% increase per year)	10,833		11,200
2) Dropouts ratio of Trainees of VTC (%) (1% decrease per year)	15%		13%
3) Number of Satellite Centers (factory branches) for vocational training & employment services in poverty areas of Jordan (accumulative)	6		11
4) Number of job seekers registered at the Ministry's labor directorates (accumulative)	34,243		40,000
5) Employees' rate to the total number of job seekers registered at the Ministry of Labor	29.5%		36.3%

Note: \* Number of graduates and registered trainees of VTC includes; graduates from General program by Training institute, Occupational Safety Institute, Training of Trainer (TOT) Institutes, and Training Institute for Drivers  
Remark for the source of values: Baseline values of 2012 are the data available as of January 2012, and Target values of 2014 should be data available at the end of 2014.

##### a-2. Higher Education Facilities Development

Indicators	Original (Yr2012)	Present (Yr )	Target (Yr2014)
<i>(P/M)</i>	<i>(P/M)</i>	<i>(P/M,PCR)</i>	<i>(P/M)</i>
1) Percentage of community college students enrolled to the total higher education students	11 %		11%
2) Number of students in bachelor degree studies	226,713		284,389
3) Number of students in Master & PhD studies	17,532		21,992
4) Percentage of computers application used in the academic and administrative process at the universities	70%		85%
5) Percentage of universities meeting accreditation and quality assurance Standards*	90%		100%

Remark for the source of values: Baseline values of 2012 are the data available as of January 2012, and Target values of 2014 should be data available at the end of 2014.

#### b. Social Infrastructure Improvement Sub-Project

##### b-1. Primary/Secondary Education and People with Disability Education Facilities Improvement

Indicators	Original (Yr2012)	Present (Yr )	Target (Yr2014)
<i>(P/M)</i>	<i>(P/M)</i>	<i>(P/M,PCR)</i>	<i>(P/M)</i>
1) Gross enrollment rate in KG2 in rural & poor area (most needy & least developed area)	54%		57%
2) Students' ratio in rented buildings	10.6 %		10.0%

L/A NO. JO-P 12  
Quarterly Progress Report for December 2012

3) Students' ratio in double shift schools	11%		10.8%
4) Rate of pupils who complete Grade 5	99%		99%
5) Number of Special education schools for children with disabilities	26		27
6) Students benefiting from disability programs as % of the total students with special needs (G1-6)	13.4%		13.6%
7) Students benefiting from gifted students programs as % of the total talented students (G 7-)	16%		16.2%
8) Literacy rate (15-year and above) for female	90.7%		90.9%
9) Literacy rate (15-year and above) for male	96.5 %		96.6%

Remark for the source of values: Baseline values of 2012 are the data available as of January 2012, and Target values of 2014 should be data available at the end of 2014.

**b-2. Health and Medical Facilities Improvement**

Indicators	Original (Yr2012)	Present (Yr )	Target (Yr2014)
<i>(P/M)</i>	<i>(P/M)</i>	<i>(P/M,PCR)</i>	<i>(P/M)</i>
1) Number of Comprehensive Health Centre	86		90
2) Number of Primary Health Centre	371		378
3) Percentage of Children given Measles Vaccination at 1 years old *	97.0%		98.0%
4) Number of Hospital Beds	4,572		5,272
5) Beds per 10,000 citizens *	18		19
6) Number of Hospital or Comprehensive Health Centre with capacity of full Computerization *	1		5
7) Number of Accredited Hospitals *	2		8
8) Number of Accredited Health Centre	21		50
9) Associated Degree Nurses per 10,000 citizens	6.7		6.8
10) Midwives per 10,000 citizens	3.2		3.3

Remark for the source of values: Baseline values of 2012 are the data available as of January 2012, and Target values of 2014 should be data available at the end of 2014.

**3-5 Monitoring Plan for the indicators**

- Monitoring methods, section(s)/ department(s) in charge of monitoring, frequency, the term and so forth.

Original:(P/M and PCR)

**(1) Department / Personnel in Charge of Monitoring of Indicators**

Department Projects of Ministry of Planning and International Cooperation (MOPIC) takes responsibility for Overall Monitoring of value progress of indicators, while each Implementation Agency (IA) takes responsibility for its monitoring in the sector in charge.

Department/ Personnel in charge of Sector based Monitoring by IA is summarized as below.

IAs	Sector based Monitoring & Reporting to MOPIC	Collection of Statistical information for the Sector
Ministry of Education	Head of Financial Planning, Financial Affairs Department	Section of Projects Follow up
Ministry of Higher Education & Scientific Research	Secretary General Assistant for Technical Affairs	Secretary General Assistant for Technical Affairs
Ministry of Health	Accountant of Budget Department	Director of Information Technology Department
Ministry of Social Development	Director, Directorate of Persons with Disabilities	Director, Directorate of Persons with Disabilities
Ministry of Labor	Head of Accounting Department	Head of International Cooperation Section
Vocational Training Corporation	Director General Assistant of Administration & Finance Affairs	Head, International Cooperation Section
Higher Council for the Affairs of Persons with Disabilities	Director Directorate of Early Intervention and Rehabilitation	Manager, Department of Studies and Planning

Source: Project Management Outline provided by IAs through JICA Study Team

**(2) Methodology**

**1) Sector based Monitoring by IA**

Quarterly reviews are necessary to grasp both progress and issues, upon **(3) Schedule** described below. For this monitoring, Departments in Charge of Sector based monitoring (shown in above table) are requested to submit latest values of indicators in order for IAs to complete the monitoring report.

In case noted concerns or regressive status is found, Department in Charge of Sector based Monitoring shall discuss its cause and countermeasures needed with management personnel of sub-projects.

## **2) Report from IAs to MOPIC**

MOPIC quarterly requests each IA to submit latest values of indicators to MOPIC, upon **(3) Schedule** described below.

Upon MOPIC request, Department in Charge of Sector based Monitoring shall submit values of indicators by written reporting. Explanation of noted concerns and countermeasures is also mentioned in the report if there were any.

## **3) Overall Monitoring at MOPIC**

MOPIC carries out Overall Monitoring by basically two aspects; 1) review of values of indicators reported by IAs to evaluate the effectiveness of the sub-projects, and 2) provision of necessary countermeasure to be taken by each IA.

MOPIC evaluates values of indicators submitted by IAs to grasp the progress of Implementation of the Sector and sub-projects. MOPIC shall take necessary countermeasures to solve issues, including coordination among stakeholders, if necessary. Adopted countermeasures shall be explained in *Chapter 2, 2-5. Precautions of Quarterly Progress Report (QPR)*.

## **(3) Schedule (frequency)**

Monitoring report should be submitted by IAs to MOPIC and in conformity with schedule of QPR reporting by MOPIC to JICA Jordan Office described below **(4) Report Submission to JICA**.

## **(4) Report Submission to JICA**

MOPIC compiles monitoring reports submitted by IAs to formulate a Quarterly Progress Report and submits to JICA Jordan Office. Submission schedule is summarized as below.

### **a. Submission of Monitoring report by IAs**

Basically 4 times per year during the project period;

- 1<sup>st</sup> Monitoring Report: by the end of December 2012, if any;
- 2<sup>nd</sup> Monitoring Report: within March 2013, if any;
- 3<sup>rd</sup> Monitoring Report: within June 2013, if any;
- 4<sup>th</sup> Monitoring Report: within December 2013, if any;
- 5<sup>th</sup> Monitoring Report: within March 2014, if any;
- 6<sup>th</sup> Monitoring Report: within June 2014, if any;
- 7<sup>th</sup> Monitoring Report: within December 2014, if any;
- Continuing quarterly.

**Actual:**(P/R and PCR)

*No Change.*

## **3-6 Achievement of the Project Objective**

(PCR)

## 4: Operation and Maintenance (O&M) (Sustainability)

### 4-1 O&M and Management

- Organization chart of O&M
- Operational and maintenance system (structure and the number ,qualification and skill of staff or other conditions necessary to maintain the outputs and benefits of the project soundly, such as manuals, facilities and equipment for maintenance, and spare part stocks etc)

#### **Original:** (P/M)

Implementation Agencies are responsible for O&M of the Projects after completion. Therefore operation manuals and necessary trainings are required to be provided during Project implementation. Sufficient budget and human resources should be allocated for O&M activities after Project Completion.

#### **Actual:** (PCR)

### 4-2 O&M Cost and Budget

- The actual annual O&M cost for the duration of the project up to today, as well as the annual O&M budget.

(PCR)

## 5: Evaluation

### 5-1 JICA and Borrower/Executing Agency Performance

Please evaluate the performance of the two bodies.

**JICA:**  
(PCR)

**Borrower/Executing Agency:**  
(PCR)

### 5-2 Overall evaluation

Please describe your evaluation on the overall outcome of the project.

(PCR)

### 5-3 Lessons Learnt and Recommendations

Please raise any lessons learned from the project experience, which might be valuable for the future JICA assistance or similar type of projects, as well as any recommendations, which might be beneficial for better realization of the project effect, impact and assurance of sustainability.

(PCR)



## 実施責任機関および実施機関の担当者

### 労働省（MOL）

#### A. Responsible Department / Personnel at IA

Name of Ministry or Agency	Ministry of Labor
Department / personnel responsible for Management and Coordination in Japan's ODA Loan Project	Wael Al-Thaher Head, Accounting Section, Directorate of Administration and Finance Contact phone No: 0796166999

#### B. Accounting of expenditure (including book keeping)

Department in charge	Accounting Section, Directorate of Administration and Finance
Mean of Accounting	Computerized - WORD file, Excel file
Person in charge (POC)	Wafa Habash Accountant, Accounting Section Contact phone No: 06/5802666 ext. 210

#### C. Internal Audit - Approval Process (for Japan's ODA Loan Project)

Any Ministry or Department for Auditing Approval	Directorate of Internal Audit
Approval Signatories	Tayseer Othma Director of Directorate of Internal Audit Contact phone No: 06/5802666 ext. 140

#### D. Procurement for Implementation

##### a. Civil Work (e.g. building construction or rehabilitation)

Department in charge of Tender, Selection or contractor and Contract	Ministry of Public Works and Housing
Person in charge (POC)	N.A

##### b. Equipment purchase

Department in charge of Tender, Selection of contractor and Contract	Procurement Department
Person in charge	Ghassan Mhedat Head of Procurement Department Contact phone No: 06/5802666 ext. 131

#### E. Operation & Effect Indicators

##### a. Statistical Information (Strategic indicators)

Department in charge	Unit of Policy and Strategic Planning
Person in charge	Mousa Khalaf Director, Unit of Policy and Strategic Planning Contact phone No: 06/5802666 ext. 122

##### b. Line for collecting Statistical information for the Project

Department in charge	Directorate of Training & Employment
Person in charge	Mazen Karaymeh Director, Directorate of Training & Employment Contact phone No: 06/5802666 ext. 116

職業訓練公社（VTC、労働省傘下）

**A. Responsible Department / Personnel at IA**

Name of Ministry or Agency	Vocational Training Cooperation
Department / personnel responsible for Management and Coordination in Japan's ODA Loan Project	Ahmad Sawafin Director General Assistant for Financial and Administrative Affairs Contact phone No: 0797500024 & 0795163534

**B. Accounting of expenditure (including book keeping)**

Department in charge	Income & Expenditure Section, under Financial and Administrative Affairs
Mean of Accounting	Computerized - WORD file, Excel file
Person in charge (POC)	Mohammed Atiyah Saedodh Head, Income & Expenditure Section Contact phone No: 0096265858481 ext:142

**C. Internal Audit - Approval Process (for Japan's ODA Loan Project)**

Any Ministry or Department for Auditing Approval	Directorate of Auditing
Approval Signatories	Hasan Mohammad Abu Khadejeh Auditor (for Auditing Approval) Contact phone No: 0096265858481 ext:144

**D. Procurement for Implementation**

a. Civil Work (e.g. building construction or rehabilitation)

Department in charge of Tender, Selection of contractor and Contract	Supplies Section, under Financial and Administrative Affairs
Person in charge (POC)	Eng. Hussein Nairat Director, Supplies Section Contact phone No: 0096265858481 ext:120

b. Equipment purchase

Department in charge of Tender, Selection of contractor and Contract	Tender Section, Special Tender Committee
Person in charge	Fahed Sameh Alkhateeb Head, Tender Section Contact phone No: 0096265858481 ext:123

**E. Operation & Effect Indicators**

a. Statistical information (Strategic indicators)

Department in charge	Department of Planning (Policy & Strategic Team)
Person in charge	Tayeedd Al Alalem Director, Planning Department Contact phone No: 0796662765

b. Line for collecting Statistical information for the Project

Department in charge	Planning of International Cooperation Section, under Technical Affairs
Person in charge	Eng.Issa Issa Head, Planning of International Cooperation Section Contact phone No: 0096265858481 ext :338

## 高等教育・科学研究省（MOHESR）

### A. Responsible Department / Personnel at IA

Name of Ministry or Agency	Ministry of Higher Education & Scientific Research
Department / personnel responsible for Management and Coordination in Japan's ODA Loan Project	Monther Bataineh Secretary General Assistant for Technical Affairs Contact phone No: 0797227333

### B. Accounting of expenditure (including book keeping)

Department in charge	Division of Accounting, Department of Financial Affairs
Mean of Accounting	Computerized - WORD file, Excel file
Person in charge (POC)	Raed Masoud Hamdan El Idoun Head of Division of Accounting Contact phone No: 0775607371

### C. Internal Audit - Approval Process (for Japan's ODA Loan Project)

Any Ministry or Department for Auditing Approval	Division of Budget and the Internal Audit
Approval Signatories	Izz eldeen Mohammad Ibrahim Darras Head of Division of Budget and the Internal Audit Contact No: 0776769292

### D. Procurement for Implementation

#### a. Civil Work (e.g. building construction or rehabilitation)

Department in charge of Tender, Selection or contractor and Contract	Division of Project Finance & Financial Support of Universities, under Department of Financial Affairs
Person in charge (POC)	Mariam Al zbon Head, Division of Project Finance & Financial Support of Universities Contact phone No: 06-5347671 ext:1192

#### b. Equipment purchase

Department in charge of Tender, Selection of contractor and Contract	Department of Supplies at MOHE&SR (for sub-project exclusively to Ministry), and; Supplies Department at Each University
Person in charge	Hakem Bader Head of Department of Supplies, MoHESR Contact phone No: 0775686221

### E. Operation & Effect Indicators

#### a. Statistical information (Strategic indicators)

Department in charge	Secretary General Assistant for Technical Affairs
Person in charge	Mr. Monther Bataineh Secretary General Assistant for Technical Affairs Contact phone No: 0797227333

#### b. Line for collecting Statistical information for the Project

Department in charge	Secretary General Assistant for Technical Affairs
Person in charge	Mr. Monther Bataineh Secretary General Assistant for Technical Affairs Contact phone No: 0797227333

## 教育省 (MOE)

### A. Responsible Department / Personnel at IA

Name of Ministry or Agency	Ministry of Education
Department / personnel responsible for Management and Coordination in Japan's ODA Loan Project	Hesham Ibrahim Abu Khashabeh Head, Department of Financial Planning Contact phone No: 0796762839

### B. Accounting of expenditure (including book keeping)

Department in charge	Department of Financial Planning
Mean of Accounting	Computerized - WORD file, Excel file
Person in charge (POC)	Mohammad Manaseer Section of Follow-up Spending, under Department of Financial Planning Contact phone No: 5607 181 ext( 310 )

### C. Internal Audit - Approval Process (for Japan's ODA Loan Project)

Department for Auditing Approval	Department of Financial Planning
Approval Signatories (Signer)	Mohammad Manaseer Head of Follow-up Spending section Contact phone No: 5607181 ext ( 310 )

### D. Procurement for Implementation

#### a. Civil Work (e.g. building construction or rehabilitation)

Department in charge of Tender, Selection or contractor and Contract	Department of Building & International Project Administration
Person in charge (POC)	Mohammad Al Nsoor Director, Department of Building & International Project Administration Contact phone No: 0777469979

#### b. Equipment purchase

Department in charge of Tender, Selection of contractor and Contract	Department of Supplies & Provision
Person in charge	Ibrahim Fodah Local Tendering Section, Department of Supplies & Provision Contact phone No: 0785873474

### E. Operation & Effect Indicators

#### a. Statistical information (Strategic indicators)

Department in charge	Policy and Strategic Planning Directorate, General Directorate of Planning and Educational Research
Person in charge	Safaa Beirouti Head, Division of Management Information System (EMIS), under Policy and Strategic Planning Directorate Contact phone No: 0796703984

#### b. Line for collecting Statistical information for the Project

Department in charge	Section of Follow up, Monitoring & Evaluation Division
Person in charge	Shafeeq Zubaid Section of Follow-up, Monitoring & Evaluation Division, under Educational Research and Studies Directorate Contact phone No: 0788248200

## 保健省 (MOH)

### A. Responsible Department / Personnel at IA

Name of Ministry or Agency	Ministry of Health
Department / personnel responsible for Management and Coordination in Japan's ODA Loan Project	Abeer Jamil Abu Lail Accountant, Budget Directorate, under Department of Financial Administration Contact phone No: 0777076168

### B. Accounting of expenditure (including book keeping)

Department in charge	Expenditure Directorate, under Department of Financial Administration
Mean of Accounting	Computerized - WORD file, Excel file
Person in charge (POC)	Maher Mahmmoud Ouda Accountant, Expenditure Directorate Contact phone No: 0795842233

### C. Internal Audit - Approval Process (for Japan's ODA Loan Project)

Any Ministry or Department for Auditing Approval	Financial Audit & Control Directorate, under Department of Financial Administration
Approval Signatories	Fadia Abu Halawa Head, Financial Audit & Control Directorate Contact phone No: 0795043684

### D. Procurement for Implementation

#### a. Civil Work (e.g. building construction or rehabilitation)

Department in charge of Tender, Selection or contractor and Contract	Building & Maintenance Directorate, under Department of Services Administration
Person in charge (POC)	Rateb Younes Magnam Building & Maintenance Directorate Contact phone No: 0799050422

#### b. Equipment purchase

Department in charge of Tender, Selection of contractor and Contract	Biomedical Engineering Directorate
Person in charge	Eng. Feras Abu Dalow Biomedical Engineering Directorate Contact phone No: 0776711110

### E. Operation & Effect Indicators

#### a. Statistical information (Strategic indicators)

Department in charge	Information & Studies (Technology) Directorate, under Department of Planning
Person in charge	Samar Samouh Director of information & Studies (Technology) Directorate Contact phone No: 0776730177

#### b. Line for collecting Statistical information for the Project

Department in charge	Information & Studies (Technology) Directorate
Person in charge	Samar Samouh Director, Information & Studies (Technology) Directorate Contact phone No: 0776730177

## 社会開発省（MOSD）

### A. Responsible Department / Personnel at IA

Name of Ministry or Agency	Ministry of Social Development
Department / personnel responsible for Management and Coordination in Japan's ODA Loan Project	Ghada Masade Director, Directorate of the Affairs of Persons with Disabilities Contact phone No: 079-851-7709

### B. Accounting of expenditure (including book keeping)

Department in charge	Department of Finance
Mean of Accounting	-Manual (a part of record etc) -Computerized
Person in charge (POC)	Mahdi S. Alqawasmeh Accountant, Accounting Section, Department of Finance

### C. Internal Audit - Approval Process (for Japan's ODA Loan Project)

Department for Auditing Approval	Department of Audit
Approval Signatories (Signer)	Kayed Khraze Auditor, Contact phone No: 0791-851-8225

### D. Procurement for Implementation

#### a. Civil Work (e.g. building construction or rehabilitation)

Department in charge of Tender, Selection or contractor and Contract	Department of Facilities and Buildings
Person in charge (POC)	Eng. Ismael Shraideh Director, Department of Facilities and Building Contact phone No: 0777-149-8311

#### b. Equipment purchase

Department in charge of Tender, Selection of contractor and Contract	Department of Equipment
Person in charge	Ibrahim Alzyoud, Director Contact phone No: 079-190-39691

### E. Operation & Effect Indicators

#### a. Statistical information (Strategic indicators)

Department in charge	Directorate of the Affairs of Persons with Disabilities
Person in charge	Ghada Masade, Director Contact phone No: 079-851-7709

#### b. Line for collecting Statistical information for the Project

Department in charge	Directorate of the Affairs of Persons with Disabilities
Person in charge	Ghada Masade, Director Contact phone No: 079-851-7709

## 障害高等審議会（HCD）

### A. Responsible Department / Personnel at IA

Name of Ministry or Agency	Higher Council for the Affairs of Persons with Disabilities (and or through Ministry of Finance)
Department / personnel responsible for Management and Coordination in Japan's ODA Loan Project	Hala Ismael Hamad Director, Directorate of Early Intervention and Rehabilitation Contact phone No.138/5538610

### B. Accounting of expenditure (including book keeping)

Department in charge	Department of Finance
Mean of Accounting	✓ Manual ✓ Computerize
Person in charge (POC)	Ahmed Abu Siam Contact phone No.122/5538610

### C. Internal Audit - Approval Process (for Japan's ODA Loan Project)

Department for Auditing Approval	Internal Audit Unit
Approval Signatories (Signer)	Jamil Trman, Manager, Unit of Internal Audit Contact phone No.:106/5538610

### D. Procurement for Implementation

#### a. Civil Work (e.g. building construction or rehabilitation)

Department in charge of Tender, Selection or contractor and Contract	N.A.
Person in charge (POC)	N.A.

#### b. Equipment purchase

Department in charge of Tender, Selection of contractor and Contract	Department of Finance
Person in charge	Ahmed Abu Siam Contact phone No. 122/5538610

### E. Operation & Effect Indicators

#### a. Statistical information (Strategic indicators)

Department in charge	Department of Studies and Planning
Person in charge	Hussein Abu Mattress, Manager, Directorate of Studies and Planning Contact phone No :101/5538610

#### b. Line for collecting Statistical information for the Project

Department in charge	Department of Studies and Planning
Person in charge	Hussein Abu Mattress Manager, Directorate of Studies and Planning Contact phone No 101/5538610

銘板(案)

HUMAN RESOURCES DEVELOPMENT AND SOCIAL INFRASTRUCTURE IMPROVEMENT PROJECT

مشروع تنمية الموارد البشرية وتطوير البنية التحتية الاجتماعية

FROM THE PEOPLE OF JAPAN

AS A TOKEN OF FRIENDSHIP AND COOPERATION BETWEEN

JAPAN AND THE HASHEMITE KINGDOM OF JORDAN

من شعب اليابان كرمز للصداقة والتعاون بين اليابان والمملكة الأردنية الهاشمية

2013





## 銘板設置案件（施設）の推薦

## ●銘板設置案件（施設）の選定基準

1. 円借款対象率（総事業費カバー率）が、50%以上であること。
  2. 施工において、一定の品質が確保されていること。
- ※ 品質水準の設定・確認方法については要検討。

## ●推薦案件（施設）（案）

サブ・プロジェクト名	施設名および本円借款対象率（総事業費カバー率）	備考
No. No. HES : Supporting Jordanian Public University – Balqa Applied University / MOHESR	教室棟およびマリンスクール（アカバ新キャンパス内） 本円借款対象率：39.01%（2012 年末時点） ※アカバ新キャンパス全体の本円借款対象率：31.95%（2012 年末時点） ※出来高（Stage-2）：39.01%（2012 年末時点 SOE ベース）	左記施設は 1 回目支払いから本円借款対象。円借款対象率の上昇が見込める。
No. No. HES : Supporting Jordanian Public University – Albeit University / MOHESR	体育館 本円借款対象率：30.21%（2012 年末時点出来高に対する SOE 準備率） ※出来高：30.21%（2012 年末時点 SOE ベース）	左記施設は 1 回目支払いから本円借款対象。円借款対象率の上昇が見込める。施工品質について要確認。
今後のモニタリング結果により推薦可能な案件		
No. 658 : Expanding Al Karak Hospital / MOH	Al Karak 病院 本円借款対象率：11.82%（2012 年末時点）	現地視察時に現在の出来高を確認の上、最終的な対象率を予測し、銘板設置施設として推薦可能か検討。
No. 661 : Establishment of Al-Salt new Hospital / MOH	Al-Salt 新病院 本円借款対象率：72.09%（2014 年竣工時点予測） ※出来高：34.88%（2012 年末時点予測）	総事業費約 43 億円のうち、約 28 億円が 2013、2014 年に支出予定。
No. No. HES : Supporting Jordanian Public University – JUST / MOHESR	学長棟	予定通り建設が開始されれば、本円借款対象率が 100%となる可能性あり。

## 優良案件の推薦

優良案件の選定基準：

- ① 裨益人口が多く、当該セクターに与えるインパクトが大きい。
- ② 本円借款事業（JO-P12）での支援額が大きい。
- ③ サイト視察結果により、事業実施の品質が高い。
- ④ 実施期間が長期にわたり、継続的な活動が本事業で予定されている。

サブ・プロジェクト名	推薦理由	現地視察
No. HES : Supporting Jordanian Public University – JUST / MOHESR	1.2012年に教室棟建設の最終払いで約2.5億円のSOEが準備済みである。 2.今後、キャンパスの中心となる学長棟（設計完了、2013年から建設予定）の建設や中央図書館への機材・家具供与等の支出が見込める。	実施済み (2012/11/22)
No. No. HES : Supporting Jordanian Public University – Balqa Applied University / MOHESR	1.アカバで新キャンパスを建設中。現在、Stage-2（教室棟、マリンスクール）の建設を進行中である。 2.アカバ新キャンパス建設（Stage-2）の第1回目支払いよりSOEが準備済み。Stage-2は今後も継続するため、円借款対象支出の増加が見込める。 3.2013年、2014年に約5.5億円の支出が見込まれている。	実施済み (2013/2/14)
No. 658 : Expanding Al Karak Hospital / MOH	1.施設建設、機材供与、家具供与の3つのコンポーネントが含まれる唯一の単一案件である。 2.2012年のSOEとして、約1.9億円分を準備済み。 3.施設建設は、2012年末時点にて、総事業費の約11.8%が円借款案件の対象となる見込み（今後、円借款対象支出が増大するか否か、現地視察時に要確認）。 4.MOPIC提示の最新予算計画書によると、2013-14年の予算として約6.6億円の予算増額が見込まれている。	実施済み (2013/2/25)
No. 661 : Establishment of Al-Salt new Hospital / MOH	1.4区画にわたる10階建て、350床の新設病院の建設案件。竣工は2014年5月頃の見込み。 2.総事業費約43億円、うち2012年末までの支出は約15億円。 3.現在、MPWHに契約書を問い合わせ中にて、SOEが完成していないものの、2012年分として約3億円分を準備中。	実施済み (2012/11/20)
No. 652 : Updating Al-Basheer Hospital / MOH もしくは No. 643（新番号）：Equipping new hospital (Al-Basheer Hospital, Iman Hospital and Zarqa Hospital) /MOH	1.ヨルダン側（MOPIC および MOH）が案件の拡大もしくは追加を計画。他ドナー（Islamic Bank および Saudi Fund）とのデマケをMOPICにて確認中。 2.病院への機材供与業務。総事業費は約16.5億円の見込み。	未定 (拡大・追加が決定次第検討。)

\*\*\*\*\*

ヨルダン国

円借款「人材育成・社会インフラ改善事業」に係る案件実施支援調査

## 打ち合わせメモ

日時：平成 24 年 11 月 6 日（水）14:00～16:00

場所：JICA 東京本部

出席者：JICA 田中（理）、宣原

OC：福岡

### <貧困地域の定義の確認>

- ・貧困地域の限定による除外県については、公式文章で特に決めていない。ただし、外務省への供与方針の説明、和文のプロ目では貧困地域を対象とした案件と記されている。
- ・このため、前提条件を明確にして、その後その前提条件が覆ったというような説明ができるようにしておきたい。

### ■対策

1. 現地政府が話をしていた **Balqa、Irbid、Amman** がちょうと該当する統計資料（2008 年統計の世帯調査による貧困率など資料）、JICA 東京本部が認識していた **Madaba、Amman、Zalqa** が貧困地域に該当する統計資料等を根拠として、貧困除外地域は統計資料によって異なることを示す。このデータの検証はすでに実施済みであったはずである。また、ベースになるデータが古い（2004 年世帯調査に伴う貧困調査がもっともサンプリングが多く、2008 年の貧困調査は限られたサンプリングによる調査である。またこれ以降、特記される貧困調査はみられない）。一方、どの県でも都心部は比較的恵まれているが、貧困地域が混在しているところがほとんど（**Aqaba** など）である。これに関する統計資料の入手は困難と考える。
2. 特に **MOPIC** から **Justify** する公式レターの必要はないとのことであったが、**Jordan** 事務所が必要とするのであれば、もらっておく。
3. もう一つの説明は、**Amman** のサブプロジェクトでも貧困地域に裨益する、また、両者を開発しないとシステムとして機能しない（**EMIS**）などの説明を準備しておく。

### <75-38>

- ・東京本部はこの件について、ほとんど認識がなく、話の内容も伝わっていなかった（PPT などは CC していたが）。
- ・75 を 2012 年に選んでしまって、将来的に 38 にした時に落とされた 37 のうち既にローンで対応してしまった **Sub-project** はどうなるのかという疑問があった。
- ・38 の具体的な案件を知りたい、また、75=>38 への過程を知りたいとのことであった。[後日 PPT と Excel Sheet を送付する予定。]

### <薬>

- ・そもそも **Consumable** なので **OUT**。
- ・38 でも十分予算をオーバーできるのであれば、あえて薬を入れる必要はない。トレースも難しいので対象外でよいが、このためにわざわざ正式な文章が出ることもない。

### <絞り込み作業>

- ・**Sub-project** の絞り込み作業とそのスケジュールを明確にしてほしい。
- ・ローカルコンを活用してのプロジェクトシートの記載や支払い状況の確認などについては、了解した。

### <シリア難民>

- ・関連する情報を送ってほしいとのことだったので、**Rabah** 氏からの資料を転送しておいた。[難民キャンプの情報だけではなく、自分の車でヨルダン入りした人や親類を訪ねてき

た人などの情報や新聞記事などあったら保管しておいてください。]

・シリア関連については、外務省も乗り気、現地側が求めるのであれば、国境地域の案件を追加で入れてもらっても構わない。当初現地政府側は、難民が増えたことで迷惑をしている、難民向けの支援は全くヨルダンの市民に還元されていないので、わざわざ日本の援助で難民の支援は不要との話であったとか。[難民を切り口にして、ヨルダン側の **Infra** (クラス数の増加など) が整備できてしまえば良とする最近の **MOPIC** の考え方でよいと思う。]

<Initial Disburse>

・更に 60 億円を追加で **Initial Disburse** したい。現地側が困ることはあるか？  
・現地側としても、外貨準備高が高まるので **IMF** などに説明がし易いはず。  
・ただし、現地側からの要請が出てこない **Disburse** できないので、現地側とも調整を図ってほしい。[現地側が記述すべき外務省向け説明文章は、**JICA** から入手した。]

<GDB>

・**GDB** 訪問の結果は **JICA** 東京本部にはまだ伝わっていなかった。この課題については、**Jordan** 事務所マターになっている感じ。

以上

打ち合わせメモ

日時：平成 24 年 11 月 15 日（水）14:00～15:00

場所：JICA 東京本部

出席者：JICA 宣原

OC：福岡

<貧困地域の定義の確認>

- ・外務省のプレスリリースで既に職訓 10 県、大学 6 県、貧困地域 8 県を対象とするという文章を出してしまっているの、なるべくこれに合わせてくれるとよいのだが、とのこと。
- ・また、今回仕上げるプロジェクトシートで、75 件のそれぞれについて、貧困地域との関連性や Justification について記述をしておいて欲しいとのことであった（重要）。

<75-38=>Cashflow Activation=>次の ID>

- ・38 で議論するのは難しそうという話が Jordan 事務所からきているので、75 で今月中に Minutes を結ぶ（JICA=MOPIC 間）。その際、当たり障りのない Criteria は選定経緯として入れてもらうと助かる。
- ・一方その Minutes と並行して、次の ID を Disburse するためには、まず、50 億円の資金が流れ始める必要があるの、JICA のレターを受け、MOPIC と MOF が予算を IAs に Allocate してくれれば、次の ID の申請を MOPIC から出してもらうこととする。

<GJU>

- ・上記貧困地域限定のような観点からすると、GJU は基本的に Rich な学生を対象とした大学との認識なので、貧困地域への裨益にならないので全く対象外ではないのか。もっとも、そのようなことを現地側に言えば、貧しい学生もたくさん来ているという話になるであろうが。
- ・また、そもそも 75 に入っていないのであれば、さらに入れる必要もない。予算上のすみわけが可能というものの、ドイツが何らかの支援をしていることへ、わざわざ円借款を優先的に活用する意図が見えない、更に案件名に German と出てきてしまうことから、外務省への説明は難しい。ただでさえ、貧困地域限定の支援の説明で窮しているところ、さらにドイツとなると通すのは難しい。[正面で落とすのが難しければ、75 案件同様 SOE 段階で外すなどできないか。]

<評価指標>

- ・Sub-project や Component 毎の評価をすることは難しいので、4 セクターについての、評価指標を収集、設定してもらうことでよいが、一方では、本円借款の効果が学校一校だけでセクター全体へ与える影響も難しいであろうから、地域別で見なくてはならない場合も想定する。
- ・今回、前の教育円借款事業の評価を行っているが、機材や家具のトレースが全くできない状況となっており、非常に困ったことになっているとのこと。[このことから、むしろ評価の重要性和、将来トレースができるような仕組みを今のうちに構築する必要がある。]

<現地再委託調査>

- ・効果指標の収集についての方向転換に基づき、当初考えていたほどの Baseline 調査の必要はなく、むしろ案件立ち上げ段階における IA への支援を行うこと、また、既に開始している案件の視覚化を図ることとしたい。サイト調査の際、収集できるデータも合わせて拾ってくる程度で、近々にその Sub-projects を決める（福岡報告）。

以上

## **Minutes of Meeting**

Date : 21<sup>st</sup> October 2012  
Time : 11:00-12:30  
Venue : MOPIC  
Attendance : MOPIC: Mr. Ziad, Mr. Maher, Ms. Wafa, Ms. Feda, Ms. Safa's, Ms. Rawan  
JICA: Mr. Osaki, Ms. Eguchi and all JICA study team  
Agenda : Sub-Project Selection Procedure

---

### **1. Latest development regarding project selection**

1-1 Will work to facilitate the selection process to maximize the disbursement, so there will be first batch disbursement on 1<sup>st</sup> December 2012 and the second payment on 2<sup>nd</sup> March 2013.

1-2. To select priority projects to go through screening in order to assure all selected subprojects will meet the JICA criteria.

1-3. JICA will support in the aspects technical and financial matters.

JICA and MOPIC to finalize the selection process and follow the criteria mentioned earlier (majority of project covered by the JICA ODA loan, to validate that the project is financed by JICA and not with other donors.

### **2. MOPIC's explanation**

MOPIC explained that majority of invoices not paid yet for projects approved in January 2012. There were no new capital project for the last 2 years (2010 & 2011), therefore most projects are already in the middle or achieved more than 50% of progress.

Category C projects: means no duplication and no land appropriation required.

A letter may be required from the Ministry of Environmental Protection to MOPIC for some projects (the projects will be selected by both JICA & MOPIC).

Duplication of donors: Need to eliminate from the selected Sub-projects and also need the evidencing documents for that. MOPIC can provide such documentations because it is clear from the general budget law.

It is possible to obtain a copy of general budget law from MOPIC web site.

MOPIC cannot transfer budget to MOF to specific project.

### **3. SOE Preparation**

3-1. After finalizing project sheet, to prepare SOE, so all pending invoices should be paid at the end of year.

JD 20 million has already paid to MOF.

Last day to accept invoices will be 15<sup>th</sup> December 2012 in Jordan.

After preparation of SOE by each ministry to forward to MOPIC then they will forward to JICA for RFR.

- There will be second batch for payment mostly for new projects for 2013 & 2014 and may include: new constructions, equipment and furniture for schools, renovation and repair.
- SOE then to send all documents by collecting the invoices, review by MOPIC then forwarded to JICA for complete all disbursement procedure.
- MOE has a lot of small payments to be prepared therefore JST need to meet the Ministry. Also vocational training cooperation & MOHE as well.
- MOPIC requested to keep Medicine project still needed but with low priority.
- JST requested some data: Number of students (which is available at MOE), rate of mortality for infants and mothers (done every 5 years), rate of employment, progress report which they have from 2006-2012 at MOPIC web site, strategy for MOE which is available at Arabic  
(OC to have meeting with Mr. Ziad for MOPIC) on Wed. 24<sup>th</sup> 2012 at 08:30
- To expedite SOE JST needs to meet MOE, MOHE & vocational training cooperation at their sites and it will be arranged tomorrow 22<sup>nd</sup> October 2010 by MOPIC.

\*\*\*\*\*

### Minutes of Meeting

Date : 5<sup>th</sup> November 2012  
 Time : 13:30-15:30  
 Venue : MOPIC  
 Attendance : Mr. Ayman N. Abnahazalah (Current expenditure / Ministry of Finance),  
 Ms. Subhiea Ghnimat (Current expenditure / Ministry of Finance),  
 Mr. Mohamad Alogaily (General Budget Dep. / Ministry of Finance),  
 Ms. Maischi Al-shuraiqi (General Budget Dep. / Ministry of Finance),  
 Ms. Wafa Al. Saket (Head of Asian division, International cooperation Dep./ MOPIC),  
 Ms. Feda Jaradat (Assistance of Manager, Programs of project Dep./MOPIC),  
 Ms. Safa'a Kanaan (Head of Loans & Grants Division, MOPIC),  
 Ms. Rawan Sclan (Asian division, International cooperation Dep./ MOPIC),  
 Mr. Mitsuhiro Osaki (Representative, JICA-JO)  
 Ms. Chinami Eguchi (Project Formulation Advisor, JICA-JO)  
 JICA Study Team (Wong, Sawashita, Reema)  
 Agenda : Outline of the Project and Study, and Acceleration of disbursement

#### 1. Loan Disbursement

##### 1-1. Loan Amount and Description

- JICA explained to the attendance from the GBD and MOF that the value of this loan is around 110 Million JD.
- This loan is to support the general budget of the Hashemite Kingdom of Jordan through on-going projects.

##### 1-2. Detailed Presentation

- JICA Study Team explained the current status for the loan, loan objective, selected sub-projects.
- JICA Study Team highlighted the importance of having all the evidences related to the SOE.
- JICA study team raised their concern regarding those sub-projects already with outstanding invoices but not paid yet, which required acceleration of payment in order to accelerate the preparation of SOE for the loan.
- JICA study team emphasized that acceleration of disbursement is required to achieve the disbursement of total loan amount within the loan period.

#### 2. Mechanism of disbursing the fund for the approved project

- The representative of GBD promised that they will discuss this issue with the department manager and the Minister of Ministry of Finance to find possible way to ensure disbursing the loan money on the selected sub-projects.
- JICA will send letter to MOPIC and copy to related authorized ministries and departments requesting to have internal arrangement to accelerate the payments so that those selected sub-projects can provide SOE as quickly as possible.
- MOPIC need to arrange with related ministries and departments on this issue (MOF and GBD).

\*\*\*\*\*



### **Minutes of Meetings**

Date : 12th November 2012  
 Time : 13:30-16:15  
 Venue : Ministry of Finance, Amman  
 Attendance : MOF and GJU and JICA Study Team (Ms. Rie, Mr. Wong, Eng. Reema)  
 (See the List of interviewees attached hereto.)  
 Agenda : Clarifications about some projects, Clarifications about GJU

## **1. Clarifications about the German Jordanian University**

### **1-1 Agreements between the Jordanian and German Governments**

- The Attendances from the GJU explained that the agreement between the Jordanian Government and the German Government is that there is no financial support from the German side for the construction, all building construction and infrastructure development works should be funded by the Jordanian Government.
- The German support includes only:
  - 1- Technical support by sending lecturers from Germany.
  - 2- Paying the salaries only for the German Lecturers.
  - 3- Special equipments for labs can be provided by the German side.
  - 4- Scholarships for the university students to Germany, and some scholarships in Jordan.
- The GJU team explained that as the University is still in the beginning and there are many construction works for the permanent campus, the University is getting support from the Ministry of Higher Education and Scientific Researches (same as other universities) and from the Ministry of Finance (construction works at initial stage of the university development).

### **1-2 Constructions in the GJU**

- German Jordanian University staff explained that the works executed now are only three building from the first phrase of construction, the other 4 buildings of first phrase were suspended due to shortage in finance.( Though the tender documents for them are ready).
- Those four buildings are: Library, School of Applied Science, Restaurant and Culture Centre.
- There are other construction phrases did not start yet, including building for school of languages, Technical science building, Sport City.
- Now rescheduling of all phrases is done due to shortage in finance.
- The estimated construction cost for all buildings in the university campus is 124 million JD.

### **1-3 Components in the GJU project (proposed for JICA ODA loan)**

#### **1-3-1 Multiuse Building Project**

- GJU team explained that there is a New Multiuse Building Project, with 7,000m2 and total construction cost is 2,759,265JD.
- This project expenses 1.5 million JD in 2012

- Expected expenditure in 2013 is 1.0 million JD.
- Expected expenditure in 2014 is 272,000 JD.
- This project is awarded in 2012 and preparation works have been started.
- Main building construction works should be started by the end of 2012 and complete at the beginning of 2014. The Construction Period of the component is 500 days.

### **1-3-2 School of Applied Medical Science Building**

- The GJU team explained that the University is planning to construct a new building for the School of Applied Medical Science with approximate value of 5.2 million JD.
- The plan for this project to be started on 2013 and construction will continue through 2014.

### **1-4 Conclusion:**

- The JICA study team will report the obtained information to JICA HQ, but the GJU will be with lower priority for this loan.

## **2. Other sub-projects for MOF**

- Clarifications about some projects under the MOF were requested by the JICA Study Team, as the projects sheet for those projects were not provided.
- MOF promise to provide JICA Study Team with the project sheet for the three projects (162,190 and 192).
- As the MOF team explained to JICA Study Team about those three projects most probably project No 190 which is the High Board for Handicapped Persons Affairs the eligible components for this sub-project can be included in this loan.
- MOF explained to JICA Study Team the procedures for all projects under the MOF and the method of auditing the payments and allocation of them.
- Samples of payments and required documents were shown to JICA Study Team.

## **3. List of Jordanian Attendee**

Name	Directorate	Contact
Subheyeh Gniamat	Direct of Capital Budget, MOF	0799097585
Ayman N. Abu Ghazaleh	Head of Public Expenditure / Budget Department, MOF	0799062765
Qassem Bashabsheh	General Treasury Directorate, MOF	0799062899
Dr. Yasser Fajjal	Assistant of the president of GJU	
Ms. Sana Farraj	Head of Finance Department, GJU	

\*\*\*\*\*

## Minutes of Meetings

Date : 13th November 2012  
 Time : AM 10:00-12:00  
 Venue : Audit Bureau, Amman  
 Interviewees : (See the List of interviewees attached hereto.)  
 Interviewers : JICA Study Team (Ms. Rie, Mr. Wong, Eng. Reema)  
 Agenda : Clarifications about the AB procedures

### 1.0 Welcome Introduction:

#### 1-1 Audit Bureau Introduction:

- The President of Audit Bureau welcome the JICA Study Team and show his appreciation of the Japanese Government support to the Jordanian Government, and express his proud about the Jordanian-Japanese relationship which is under the support of his Majesty the King.
- JICA Study Team thanked the president of AB for his time and his welcoming introduction, and brief all the interviewers about the loan agreement and status.

#### 1-2 Discussion about the AB rule and responsibilities:

- JICA Study team explained that upon the agreement of sub-projects between JICA and MOPIC, all SOE and their relevant documents should be prepared by the line ministries then send to MOPIC, MOPIC will do their checking and submit it to JICA.
- The moment JICA received the SOE endorsed by MOPIC the disbursement procedure will be completed.
- At the end of each year AB will execute the auditing for this fund for MOPIC, and their audit report including auditor's opinion is important to ensure the submitted SOE expenditure for the loan is eligible.
- The AB president emphasized on that AB is an independent Department, which has specialist team who work within the International standards, to ensure the clear procedures in all the government departments, they are responsible about their opinion about the projects, methods of expenditure .
- The AB president also clarified that by the Jordanian law it is their responsibilities to check and audit all the procedures and disbursement for loans, grants, etc.
- The AB president explained that there is a special team formed from 6 members to follow the JICA ODA loan, to ensure a good coordination and performance for the audit.
- AB president ensured that if there is any problem a letter of recommendation will be sent from JICA to MOPIC to solve the problem.
- The AB president also described that now there is agreement between MOPIC and the AB that AB will be the external audit for this loan; the draft of this letter is ready. AB president promised

to provide JICA Study Team with a copy of the agreement upon signing it.

- AB president showed the JICA study team the form all the staff need to sign on when they are responsible to do auditing, where they committed to be honest, responsible, follow all the ethics, do their job cleanly and clearly, concerning about the public money. Also ensure that there is no conflict in interest in their mission. (a copy of the signed form was provided to the JICA study team).
- Samples of some external audits done by AB were shown to the JICA Study Team.
- Also AB ensures that there are aware of all the forms and requirements of JICA and they are complying with the international standards.
- AB president mentioned that although the loan agreement stated that the AB report should be issued after 9 months of the next year, the AB will issue their report in the first 3 months of the next year.
- To ensure the above short duration and performance of auditing reporting the AB will send by the end of this month a letter with all required necessary documents for their audit, to facilitate their work and MOPIC as well as related ministries preparations.

## **2.0 Technical Session:**

- AB team explained that the audit the AB perform for the Government ministries and departments is following the International standards of the internal audit of the government departments, where by the beginning of the next year all the founding will be reported and send to the council of Senators and the council of Parliament.
- The AB team explained that each Ministry has Internal Auditor in the ministry who is NOT AB member, but this auditor will be linked with the top management or with the minister in that Ministry.
- Another member in each ministry will be under the AB which is a non-official member in the tendering committee and audit the progressive procedures in the ministry.
- A question was raised by the JICA Study Team about the method of AB is responsible to do external auditing for this loan; AB team explained that for this loan a decree from the cabinet (The Prime Ministry) to assign the AB as external auditor for this loan.
- And reference to this decree, His Excellency the AB President will sign the Memorandum Agreement with MOPIC.
- AB team clarified that for the next year the AB will set an Auditing plan to do regular check and audit for the loan projects in the line ministries.
- JICA Study Team asked about the procedures taken by the auditors to ensure corrections and/or improvement for founding (if any) is done by the related ministry.
- AB team explained that each auditor in each ministry will send his report to the centre of AB and to the ministry, the ministry has one month to respond and correct/improve the founding otherwise will be reported to the prime ministry.
- Also all findings will be checked quarterly, another check will be done before issuing the Annual Audit Report all un-solved findings will be recorded and included in the report, and

*Special Assistance for Project Implementation of  
Human Resource Development and Social Infrastructure Improvement Project*

the solved items will be removed.

### 3.0 List of interviewees:

Name	Directorate	Contact
His Excellency Mustafa Al-Barari	President of the Audit Bureau	
His Excellency Waleed Rahahleh	Vice President of Audit Bureau	
Mohammad Heiassat	Director of Quality Assurance Department	0776004288
Bilal Okasheh	Consultant/ Director of Companies Audit Department	795303553
Sawsan Abu Al ganam	Auditor	0772283888
Nabil Odeh	Head of the Revenue Unit	
Monther Naber	Head of Companies Department	0799071475

\*\*\*\*\*

### **Minutes of Meetings**

Date : 13th November 2012  
 Time : PM 12:00-14:30  
 Venue : General Supplies Department, Amman  
 Interviewees : (See the List of interviewees attached hereto.)  
 Interviewers : JICA Study Team (Ms. Rie, Mr. Wong, Eng. Reema)  
 Agenda : Clarifications about the Tender procedures for Procurement of Goods

---

#### **1. Introduction**

- JICA Study Team explained to the GSD staff about the nature of this Loan, the Ministries involve and the categories covered by this loan.
- JICA Study Team introduces the team and explained their duty in this loan.
- GSD Staff welcome JICA study Team and promise them to provide them with all information and support to make their mission easier.

#### **2. GSD Responsibilities and Duties:**

- The GSD explained that this department is under MOF to provide procurements for all government departments and ministries, either goods or services.
- The GSD explained that under the Jordanian law and regulations; all supplying projects for the government ministries and department with a value more than 20,000JD should be tendered through the GSD.
- The GSD divided the types of tenders in to two types in reference to the initiation:
  - 1- Tenders initiated by the department direct for those goods and services commonly used in most of ministries and departments such as stationary, PC, etc.
  - 2- Tenders initiated upon official request from the ministries for special goods such as medical equipment.

#### **3.0 Tendering Procedures:**

- For tenders under the second type; the ministry should send a procurement request to the GSD including list of the items needed with all their technical specifications with its quantities needed and detailed requirements information. This should be attached with a Financial Obligation (Financial Statement) from the financial department under each ministry with approximate budget signed and approved by the GBD.
- When those documents are ready the tender documents will be prepared and the call for tender in 3 news paper (different date in different newspaper) and the website of GSD, specifying the duration for tenders submission, and the day of opening tenders should be mentioned clearly.
- Tender period is 2 weeks (minimum) and 45 days (maximum). Minimum Tenderer is 3, if less than 3, extension of tender period will be done. If the participants still less than 3 after the extended period, the tender will effective even only have 1 tenderer.
- Opening of tenders should be done on the mentioned date and time, bidders can watch the opening

of the tenders in the department opening tenders room, or on line using the live broad cast from the GSD.

- After opening tenders one copy will be send to the Technical Committee for their evaluation, the other copy will be kept in the secretary of the GSD.
- Technical Committee consists of 3~5 members but not limitation, is formed from ministry representative, GSD, member of Audit Bureau.
- Technical committee is responsible to study the tenders and evaluate it from the complying with the required specifications.
- GSD explained that there are three types of evaluation:1- Technical & Financial proposals are submitted in one-envelope (One-envelope Bidding Procedures). 2- Separate evaluation for proposals, first open technical then financial for technically responsive tenderer (Two-envelope Bidding Procedures). 3-Making scoring for both technical and financial proposals (QCBS). The type of evaluation should be decided when calling for tender.
- GSD explained that the first type of evaluation is mostly used (98% of the tender packages).
- The winner will be selected for the complied offers with lowest price.
- The Technical committee will send there selection report to the Central Committee including all the technical details, numbers, unit price, total price,.....etc
- The Central Committee for tenders for general use goods will be formed from 3 members ( one from GSD, one from ministry and one from Ministry of Trade and Industry) with the chairman who is usually the head of the GSD or some one he nominate. AB will also participate as non-official member.
- The Central Committee for special tenders will be formed from 5 members the three mentioned earlier with 2 members from the technical department from the line ministry.
- If the Central Committee is convinced by the Technical Committee report then a primary award will be sending to the bidder and announced to public for four working days, for other bidders to submit their objections if there is any.
- If there are objections, all will be collected and send to the Technical Committee to study and report to the Central Committee. If the objection causes the re-evaluation, either new Technical Committee shall be re-formed or add new members in the Technical Committee.
- The award decision will be sent (there is a typical form for that only some of numbering and names to be filled) after the primary award and clarification of objection, if any.
- For award decisions is for common use goods only, the MOF will sign the award decision, if the special use goods, the award decision will be signed by both ministers; the MOF and the Minister of the related line ministry.
- After signing the award decision the committee will prepare the Purchase Order including all the details and signed by the MOF (sometime both ministers) and supplier. Purchase Order also will be signed by the GSD.
- A copy of the purchase order will be sent to the beneficial department or ministry.
- After receiving the Purchase Order, the beneficial department should follow the contract except if

there is any problem ( for example Late delivery, Specifications of delivered materials are not complied, change of origin country); then the GSB will be involve again to solve it.

- The minimum number of participants in the first time should be 3, if not then extension of time, if the committee finds that there is no hope to get 3 number of participants then they have the right to open the tenders with any number they have.
- Qualifications and requirements for bidders: to submit Professional License, Commercial register in the MOTI, Financial certificate.
- If any bidder did not perform well during the contract, the GSD has the right to conduct a new tender and supply the goods on supplier's expenses and supplier will responsible the amount different between the two contracts.
- In some special cases the GSD may add this supplier to a black list or suspend bidding for certain time.

#### **4.0 List of interviewees:**

Name	Directorate	Contact
Dr.Mohammad A. Hiary	Assistant Director General	0799028760
Ali Al-Kharabsheh	Assistant Director General	0796200366 0776683833
Emad Qassem	Technical Assistant	

\*\*\*\*\*



### **Minutes of Meetings**

Date : 26th November 2012  
 Time : AM 9:00-11:00  
 Venue : Ministry of Planning and International Cooperation, Amman  
 Interviewees : (See the List of interviewees attached hereto.)  
 Interviewers : JICA Advisor Mr.Chinami Eguchi, JICA Study Team ( Mr. Fukouka, Ms. Rie, Mr.Wong, Eng. Reema, Ms.Kojima, Ms.Majida )  
 Agenda : Confirm the Final Projects List and Quarterly Progress Report.

#### **1.0 Introduction:**

- JICA and the Study Team explained that there are two main reasons for today's meeting; the first one is to confirm Sub-projects list upon the study and the several meetings with the ministries; the second is to discuss on the quarterly progress report.
- The updated list of Sub-projects is so important so MOPIC can send to GBD of MOF.

#### **2.0 Shortlist for the Sub Projects:**

- After studying of the projects sheets provided by the ministries and the meetings with the related ministries JICA Study Team prepare the list of sub-projects with 65 projects.
- Discussion between MOPIC and JICA Study Team upon a number of projects:

#### **2.1 Project No.162 (Support the projects of the National Fund for Youth and Support Movement Support):**

- JICA Study Team explained that for project No.162; this project doesn't achieve the project objectives according to the project sheet received from MOF.
- MOPIC requested JICA Study Team to meet with the person in charge Dr. Rashad Al Zo'obi.
- JICA Study Team asked MOPIC to arrange for meeting, but also MOPIC should understand the importance of the time factor.

#### **2.2 Project No.192 (Highness Royal Initiative for Governorates Development):**

- JICA Study Team explained that this is a fund run by JEDCO based on the project sheet and discussion with MOF; it was understood that this project is for investments in private sector which can't be included.
- MOPIC requested from JICA Study Team to meet with person in charge and reconsider.

#### **2.3 Project (German Jordanian University):**

- JICA Study Team explained that there is a support from MOHESR for all public universities including GJU so in this case there will be a duplication in support to this university.
- MOPIC explained that from MOHESR the support will be distributed on 6 public universities, but as the GJU is still a new university and lots of its building not constructed yet so they are still need financial support from the Ministry of Finance.

#### **2.4 Project No. 680 (Handicapped Affairs Program Administration Project):**

- JICA Study Team explained that till now the project sheet was not provided.
- MOPIC promised to provide the project sheet and asked to include this project in the project list.

#### **2.5 Project (Supporting Vocational Training Institutes):**

- JICA Study Team explained that from the several meetings they had with VTC it was understood that this is included in project No.723, which is already in the project list.
- MOPIC explained that this project is different than project No.723, and they have different allocated budget.
- JICA Study Team added this project to the list as it is different from project No.723, and requested MOPIC to provide the project sheet.

#### **2.6 Medicine Project:**

- MOPIC asked about JICA's reply regarding this project as it is not included in the list, JICA explained that this project cannot be included as medicine classify as Consumables.

#### **2.7 Summary List of Projects:**

- It was agreed on the project list after deleting sub projects no. (573,587,589,595,598,612,613,614, 617,618,643,662) as those projects will be granted by other donors.
- The final project list will be 55 projects after deleting the 12 sub projects and including 2 sub projects No.680 and VTC support.

#### **3.0 Quarterly Progress Report:**

- JICA Study Team explained that the first Quarterly Progress Report (QPR) should be submitted by MOPIC to JICA on December 2012.
- JICA Study Team discussed with MOPIC staff the content of QPR and draft copy was provided to MOPIC.
- JICA Study Team will help and assist MOPIC in preparing QPR for December 2012.

#### **4.0 List of interviewees:**

Name	Directorate	Contact
Eng. Ziad Obeidat	Director of Programs & Projects Department	0777774026
Eng. Feda Jaradat	Programs & Projects Department, Manager Assistant (Executive Agency)	0796249595
Wafa Al Saket	Asian Division International Cooperation Department MoPIC	0797322492
Rawan Salam	Asian Division International Cooperation Department MoPIC (Finance)	079749111

\*\*\*\*\*

打ち合わせメモ

日時：平成 25 年 1 月 28 日（月）11:30～12:30  
場所：インターコンチネンタルホテル・ジョルダン、1 階ロビー  
出席者：JICA：大崎、江口、有澤  
OC：黄、澤下

1. SOE

- ・ イニシャル増額による掛け率の変更は、JICA で行う。ヨルダン側は「100%」の SOE を提示して良い。

2. 優良案件の紹介

- ・ 今後のモニタリングや監査等を考慮し、対象となり得る優良サブ・プロジェクトを JICA に紹介していただきたい。
- ・ 今回調査中の現場視察スケジュールが決まれば、JICA と共有していただきたい。JICA から同行する可能性がある。

3. ITR へのコメント

- ・ MOPIC へはまだ提示・報告されていない。今回、提示・報告するか否か、JICA ヨルダン事務所が本部に確認する。

4. 来年度の回収見込み

- ・ 来年度（2013 年 4 月以降）の回収見込みを調査団から JICA に教えていただきたい。55 件では不足の可能性がある。新規案件の募集を積極的に行うよう、JICA ヨルダン事務所から MOPIC へレターで通知している。

5. ヨルダン政府から JICA への新規財政支援要請

- ・ 単なる財政支援ではあるが、ヨルダン政府から要請があった。シリア関係の案件で本円借款の対象とできる案件が多数ある模様である。

6. QPR

- ・ 第 1 次現地調査以降、MOPIC から JICA への提出はない。引き続き、今回の現地調査中に MOPIC に対し作成指導を行う。

7. プロジェクトの成果の測り方（ベースラインのモニタリング方法）

- ・ サブ・プロジェクトの成果を測るのは、全体の 50%程度が円借款対象となっているプロジェクトは単体で測定し、その他はセクターレベルの成果にまとめる等、方法を定める。

8. 機材の追跡方法

- ・ 調査団は、今回の現地調査中に、機材の保管/追跡方法を調査し、提案する予定である。
- ・ 一案として、機材に ODA ステッカーを貼ることを検討している。ODA ステッカー（大、中、小）は、JICA ヨルダン事務所より提供可能である（現在在庫あり）。MOPIC に提案する。
- ・ 機材担当者が交代しても引き継がれるよう、既存のシステムに組み込まれるような追跡方法を構築する必要がある。
- ・ 現在は、MOH のみ機材一覧表を作成している。ただし、管理は省ではなく病院で行われている模様。

9. サブ・プロジェクトリスト（55 件）の追加

- ・ ヨルダン政府では、首相が Capital Budget を増額すると宣言し、実行されている

模様である。このような状況を考慮すると、新規案件の発掘も然程難しくないと思定される。

- 第 2 次現地調査中に、55 件への追加・見直しが可能か、調査団に検討していただきたい。

10. 会計監査

- 通常、年度締め後の 9 ヶ月後に会計監査報告書が提出されることとなっている。現状では、2012 年 12 月末までの準備分を会計監査対象とすることは可能と想定される。

11. 来年度のコンサルタントの TOR

- JICA がコンサルタントに求めることは、次のとおりである。
  - 回収と残りのディスバースメント促進(本円借款を 3 年間で終了できるように)
  - 会計監査対応
  - サブ・プロジェクトのモニタリング
  - SOE や QPR の指導の継続
- ヨルダンの予算執行およびその後の案件実施スケジュールを考慮すると、年度後半にコンサルタントが現地入りする方が有効であると考えられる。
- リマさんには遠隔で従事していただくことも検討中である。その場合は、MOPIC 内に執務場所を確保してもらうことが可能だろう。(JICA コメント)

以上

### **Minutes of Meetings**

Date : 28th January 2013  
 Time : PM 12:30-14:00  
 Venue : Ministry of Planning and International Cooperation, Amman  
 Interviewees : (See the List of interviewees attached hereto.)  
 Interviewers : Mr. Mitsuhiro Osaki Representative (JICA), Ms. Chinami Eguchi JICA Advisor,  
 Mr Rabah Al Shanti Project Officer JICA,  
 JICA Study Team (Ms. Rie, Mr. Wong, Eng. Reema)  
 Agenda : Loan Status.

#### **1.0 Introduction:**

- JICA explained that the study team is back to Jordan and will stay till the beginning of March.
- JICA clarified that the study team during this time will support MOPIC and the Line ministries to finalize the preparation of the SOE, and will arrange some visits to sub projects.
- MOPIC requested JICA that they need JICA study team to check all SOE prepared by the line ministries and if they are accepted then MOPIC can start checking and submit to JICA accordingly.
- JICA clarified that the study team will support MOPIC to check the SOE prepared by the ministries and advice them about the proper way to prepare the SOE but this will be done only this time and after that it will be checked by MOPIC and the line ministries.

#### **2.0 SOE Preparation Progress:**

- JICA study team explained that through the monitoring of the SOE preparation, the ministries prepared SOE for around 21 sub projects.
- The total amount of the SOE prepared is around 2 billion Yen, which is around 21 million US Dollar.
- JICA study team explained that from the SOE received by the ministries they still notice mistakes.
- JICA study team will start to visit the line ministries to advice and check the SOE's preparation.
- MOPIC requested JICA study team to inform MOPIC upon the visits as Mr. Nasir Al Karaki will join the study team so he can provide the advice to ministries in future.
- JICA study team informed MOPIC that Tuesday, January 29, 2013 will conduct the first visit to MOHESR at 10:00am, and to the higher council to the Handicapped persons at 13:00pm.

#### **3.0 Disbursement of the Loan:**

- JICA and the study team explained that the disbursement of the loan for the 2012 is below the planned, as the planned value by the JICA study team was around JD 24.5 million and by MOPIC was around JD 42 million, while the collected SOE is only around JD 15 million.
- JICA advised MOPIC to find a way to increase the expenditure on the approved sub-projects in 2013 and 2014, or to find an alternative in case they don't reach the loan amount to prevent the

refund.

- MOPIC again asked JICA to reconsider the Medicine sub-project in case they do not reach the loan amount.
- JICA explained that MOPIC should find another project as JICA Tokyo headquarters did not approve the Medicine sub-project.
- JICA asked about the proposal to support projects in the northern region to help Jordanian government due to the impact of Syrian refugee as the letter sent from JICA to MOPIC.
- MOPIC explained that today a letter issued from the minister to refuse the utilization of any amount of the loan to the Syrian refugee.
- JICA explained that this will not be to the Syrian refugee it will be to the government of Jordan to support projects in the Northern Region. MOPIC staff explained that this is not accepted by the ministry.

#### **4.0 Agreement with Audit Bureau:**

- JICA study team asked about the status of Audit Bureau and their requirements.
- MOPIC explained that the agreement between MOPIC and Audit Bureau was signed and it was agreed that MOPIC will provide all the supporting documents requested by the AB.

#### **5.0 Sign boards and ODA stickers:**

- JICA explained to MOPIC that it is recommended to provide sign boards for those building projects funded by the loan, and stickers and Inventory to be stacked on the equipment provided under the loan.
- MOPIC explained that this is understood and accepted by the loan agreement and JICA study team can discuss this matter with the line ministries directly.

#### **6.0 Quarterly Progress Report:**

- MOPIC requested JICA study team to assist them in preparing the quarterly progress report for December 2012.
- JICA study team shows their support, and a meeting on Thursday January 31 will be held to assist MOPIC preparation of this report.

#### **7.0 List of interviewees:**

Name	Directorate	Contact
Safa'a Kana'an	Head of Loans & Grants Division (Finance department)	0799770208
Eng. Feda Jaradat	Programs & Projects Department, Manager Assistant (Executive Agency)	0796249595
Wafa Al Saket	Asian Division International Cooperation Department MoPIC	0797322492
Rawan Salam	Asian Division International Cooperation Department MoPIC (Finance)	079749111
Nasir Al Karaki	Grant and Loan Division ( Finance)	0799778067

\*\*\*\*\*

### Minutes of Meetings

Date : 31st January 2013  
 Time : AM 10:30-14:00  
 Venue : Ministry of Planning and International Cooperation, Amman  
 Participants : MOPIC (Ms. Feda Jaradat)  
                   : JICA Study Team (Ms. Rie, Mr. Wong, Eng. Reema)  
 Agenda : New projects, SOE status and QPR.

#### 1.0 New Projects:

- MOPIC staff explained that they are planning to add some Sub-projects under MOH to the shortlist to be covered by the loan project. The new Sub-project is the Expansion for Al Iman Hospital.
- JICA study team explained that there is no objection to add the project but it's MOPIC responsibility to ensure that these Sub-project components are eligible and having budget law in 2013. MOPIC also has to send an official letter to JICA to request to add new Sub-projects on the shortlist.
- According to MOPIC, the requested Sub-projects were planned to be financed by Islamic Bank and Saudi Fund.
- MOPIC staff explained that they were thinking to expand the components of some Sub-projects listed on the shortlist, such as Sub-project no. 652" improve Al Basheer hospital". MOPIC are planning to add the equipment procurement component of this hospital.
- The equipment procurement for Al Zarqa hospital which was given Sub-project number 643 as a new Sub-project, is planned to be necessary JD 15 million as the project budget.
- MOPIC will provide JICA with the updated budget estimation in 2013 and 2014.

#### 2.0 SOE Status:

JICA study team explained that the JICA study team visited some IAs this week to check the SOE and the status as the following:

- MOHESR: Some mistakes were found, JICA study team showed the persons in charge to prepare SOE how to correct it. The JICA study team will visit the ministry again next week to recheck revised one. The approximate amount for the SOE is JD 10.9 million at the end of the week.
- MOH: Out of 28 Sub-projects, 14 Sub-project SOEs have been prepared. Out of rest, 7 Sub-projects have non-eligible expenditure in 2012, the other 7 Sub-projects, MOH staff are collecting the documents to prepare SOE. The approximate amount for the SOE is JD 4.4 million.
- MOF: According to the meeting with the HCD, the HCD staff collects the documents and send

to MOF, MOF staff will accordingly prepare the SOE. JICA study team will arrange meeting next week as some corrections are required, the approximate amount of the SOE is JD 0.2 million

- MOSD: There is no eligible expenditure in 2012.
- MOL: JICA study team corrected the SOE provided by MOPIC. Some mistakes were found, the JICA study team will arrange a meeting with MOL next week. The approximate amount is JD 0.2 million.
- VTC: Meeting was arranged today for the VTC but postponed to the next Monday. The approximate amount is JD 164,000.
- MOE: Meeting was arranged next week. The approximate amount is JD 2 million.

### **3.0 Assisting in finalization of QPR:**

- As requested by MOPIC, the explanation to finalize the QPR were provided by JICA study team. Based on the further explanation, JICA study team will modify the QPR format and send it to MOPIC. The main points explained and to be modified are as below.
  - Organization chart: MOF and MOSD are to be added as implementation agencies.
  - Monitoring period: According to MOPIC, quarterly is too frequent. Thus, it will be flexibly adjusted based on the IAs' monitoring periods.

\*\*\*\*\*



打ち合わせメモ

日時：平成 25 年 2 月 10 日（日）16:00～18:00

場所：JICA ヨルダン事務所会議室

出席者：JICA：大崎、江口、有澤

OC：黄、澤下

1. SOE 準備状況

- 現在（2 月 10 日時点）のところ、SOE 累計額は 2012 年の Eligible Cost（調査団試算）の約 40% しか達していない。今後、2012 年分の SOE として金額が伸びる余地は、MOE でのドナー重複の精査、MOH での未作成分の追加のみである。これに加えても、2012 年の Eligible Cost の約 60% に到達する程度であると予測される。なお、SOE が計画を大きく下回る結果と至ったのは、2012 年に支払いが進まないことが最大の原因であると考え。支払いが進まないのは、各省庁に予算が執行されていないためと推測する。（調査団報告）
- MOE 分 SOE 値が把握できれば、JICA は MOPIC に対し公式にレターを発出する。レターには、SOE の準備状況、支払いが進まない理由を記す。支払いが進まない理由が上記以外にあれば、調査団は JICA に報告する。
- 一方、MOPIC が SOE 署名欄への署名を拒んでいる。次回 MOPIC との打合せ時に、JICA から MOPIC に署名の必要性を説明する。

2. SOE における留意点

- <他ドナーとの重複>調査団として、該当案件を特定し、内容を精査することは非常に難しい。JICA もそれを求めている。SOE はヨルダン側からの申請ベースであり、かつヨルダン側の監査機関がチェックしているため、ヨルダン側の申請内容を信頼するに留まる
- <消耗品>サブ・プロジェクトの支出の中に、消耗品の SOE が含まれている。今後、MOPIC はどこまでチェック可能かについて、確認が必要である。
- <Non-Eligible Item>今回の SOE には、軍事博物館（大学構内）の外構工事が含まれていたため、除外してもらった経緯がある。今後、MOPIC はどこまでチェック可能か要確認。

3. 優良案件の推薦

- 前回打合せ時（1 月 28 日時）の JICA から調査団への依頼に基づき、調査団より優良案件を推薦した（推薦理由、現地視察を未だ済ませていないことについて、資料を参照の上、説明した）。

4. 追加案件への対応

- MOPIC は薬剤関連のサブ・プロジェクトの追加を要求してくるものと想定される。これに対し、調査団側からは、次年度のコンサルタント TOR に、新規案件の発掘を加えることを MOPIC に提案・説明し、これに係る MOPIC 側の同意を得たいと考えている。また、MOPIC はシリア難民支援関連の案件を採用することも同意しつつある。（JICA）
- キャピタル・バジェットを財源とする新規の案件（サブ・プロジェクト）を発掘・選定するのは難しいと考えられる。停滞している案件は見られるが、その理由は、優先順位が低い案件であるためである。新規案件を発掘・選定するのではな他ドナーの財源による事業へと組み替え・移行された案件について、再度、本円借款案件を財源とする事業リストに組み直してもらうことも、一案である。ヨルダン側は、湾岸諸国ファンド支援側には、活動進捗の良い案件をリストしている。

5. 機材の管理・追跡方法

- 各省庁では、3 種のフォーム（Incoming、Outgoing、Registration）を利用し、数量の観点より、記録をつけている。このフォームでは、機材の所在地を把握することはできるが、3 種類のフォームを読まないと把握不可能である。
- よって、調査団は、現行の各省庁での管理方法を踏まえ、可能な限り少ない労力で機材が追跡できることを目的とし、新フォーム（Inventory list）の導入を提案する。これは、各省庁が現在利用しているフォームと色を揃え、視覚的にも現行方法と関連させるものである。新フォーム内“in”の情報は、SOE よりベースを作成可能である。“Out”の情報は、各省庁が、現行の Outgoing フォームからの転記および機材所在地を記載することとなる。
- 新フォームが形骸化してしまわないか（最後の評価時である 7 年後まで継続可能か）懸念が残るものの、機材の所在地を把握するため、また円借款として先方の作業が増えることは当然である。次回打合せ時に、JICA から MOPIC に当該方法の導入を提案する。

6. 銘板

- 調査団からデザイン案と設置施設選定基準および設置施設案を提示した。デザイン案については、JICA ヨルダン事務所から本部へ雛形の有無の確認、および大使館へデザインに対するコメントを確認する。
- 銘板製作および設置費用は、JICA ヨルダン事務所で負担することを検討する（JD200-300?）。調査団は費用を確認する（石と金属）。

7. ODA ステッカー

- 各省庁より、本円借款案件で供与する機材に対し ODA ステッカーを貼り付けることにに対し同意を得た。ただし、各省庁で日本（JICA）の供与機材に貼り付けるステッカーとしては、JICA マークではなく、ODA マークもしくは日章旗の印刷されたステッカーが精通している模様である。
- 大使館に ODA マークステッカー（アラビア語版）があるため、大使館から取り寄せ・提供可能である。

8. プロジェクト・シート

- これが完成されれば、プロジェクト・シートと推薦優良案件リストで、モニタリングの対応として十分である。
- ヨルダン側が更新できるように、セミナーを開催することも一案である（機材管理・追跡フォームの記入方法と合同）。

9. QPR（12 月末締め分）

- MOPIC は 12 月末時点の SOE 提出額としてゼロを記入したくないとのことである。今週末に算出される SOE 累計額を記載したいとのこと、よって、QPR の提出はそれ以降となる。

10. 来年度のコンサル TOR

- 今年度の TOR に加え、①監査報告書作成支援、②新規案件発掘、③事業モニタリング（QPR 作成）支援、④SOE のチェックを追加業務とすることを検討している。（JICA）

11. ITR へのコメント

- MOPIC へはまだ提示・報告されていない。JICA ヨルダン事務所が本部に確認する。

12. ODA セミナー（@日本）

- MOPIC より Rawan さんが参加する模様である。

ヨルダン国

円借款「人材育成・社会インフラ改善事業」に係る案件実施支援調査

1 3. 次回の予定

- 2月17日（日）、12:00（仮）に MOPIC、JICA、調査団にて打合せを行う。これに先立ち、同日午前、調査団から JICA に最新情報の報告を行う。

以上

### **Minutes of Meetings**

Date : 18th February 2013  
 Time : 12:00-14:00  
 Venue : Ministry of Planning and International Cooperation, Amman  
 Participants : See the list attached here into  
 Agenda : SOE preparation progress, QPR. And MOIPC plans

#### **1.0 SOE Preparation Progress:**

- JICA study team explained that the team completed visiting all ministries which can submit their modified SOE to MOPIC except MOE.
- JICA study team explained that MOE was confused about the demarcation between the JICA loan and the Kuwaiti Fund, but after the discussions and visits they should discuss with MOPIC and modified their SOE before submitting to MOPIC.
- MOPIC explained that after receiving the SOE from ministries, MOPIC will review and meet with the stakeholders to fill the data for the QPR.
- JICA study team informed MOPIC that the approximate amount of SOE for 2012 is 20 million JD.
- JICA study team explained that this amount is lower than the planned amount; MOPIC should think seriously about a way to increase the expenditure.

#### **2.0 MOPIC Plans:**

- MOPIC staff explained that MOPIC reviewed the 2013 budget and found that there are three new projects can be added to the JICA loan as more of there components are non-egible.
- The new projects are Expansion of Al Iman Hospital in Ajloun, Establishment of New hospital in Tafeelah and New Medical Equipments for Hospitals.
- MOPIC explained that they are planning to arrange high level meeting with MOF; to request MOF to expedite the disbursement for Sub-projects approved by the JICA ODA loan to ensure full usage of the loan amount.
- JICA study team explained that during the visits to the ministries most of them explained that the problem is getting the approval on the expenditure from MOF which cause a delay in expenditure and sometimes stop the expenditure.
- MOPIC requested JICA again to reconsider supporting Medicine project by the JICA ODA loan, JICA explained that this is very difficult as the medicine considered consumables.
- MOPIC discussed with JICA study team the possibility to add two projects under MOE; Establishment of Sports activity hall in Irbid and Establishment of sport activity hall in Aqaba.

### 3.0 Quarterly Progress Report:

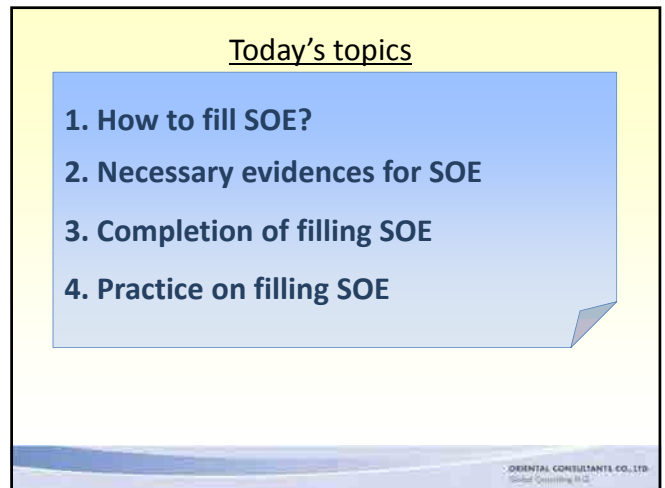
- JICA study team informed MOPIC that they will send MOPIC the modified form of QPR tomorrow.
- MOPIC informed JICA study team that after meeting with ministries they will submit a draft of the QPR by the end of next week.
- JICA study team suggested to MOPIC to use the number of Sub-projects as the budget number (as its fixed number) instead of using MOPIC number which change annually.

### 4.0 List of Participants:

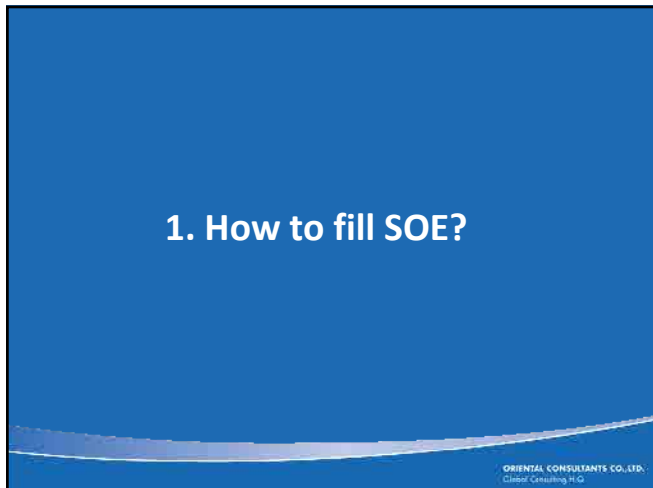
Name	Directorate	Contact
Mr. Mitsuhiro Osaki	Representative (JICA)	0799471337
Mr. Rabah Al Shanti	Project Officer (JICA)	0795861089
Ms Ritsuko Arisawa	JICA	
Eng. Feda Jaradat	Programs & Projects Department, Manager Assistant (Executive Agency)	0796249595
Wafa Al Saket	Asian Division International Cooperation Department MoPIC	0797322492
Rawan Salam	Asian Division International Cooperation Department MoPIC (Finance)	079749111
Safa'a Kanaan	Head of Loans & Grants Division (Finance MOPIC	0799770208
Naser AlKaraki	Finance Department MOPIC	799778567
Sawsan Abu Alyanam	Auditor/AB	772283888



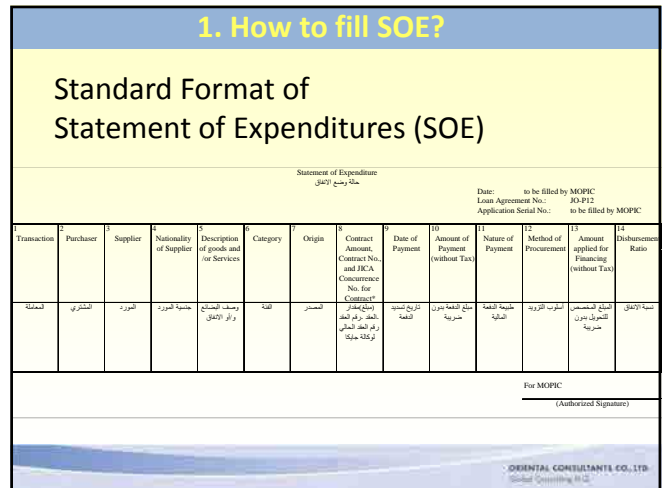
1



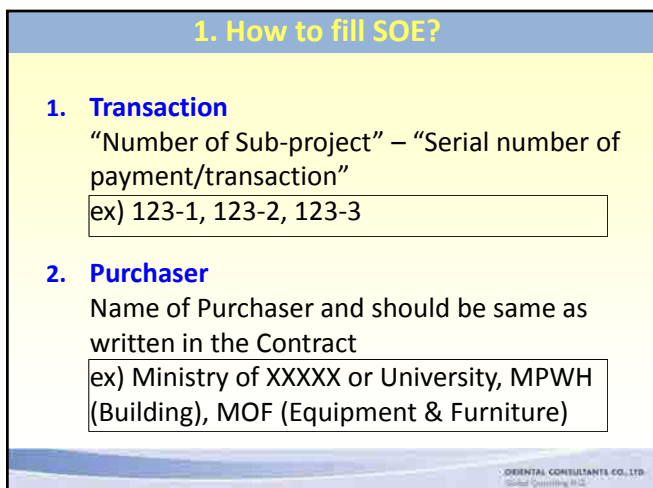
2



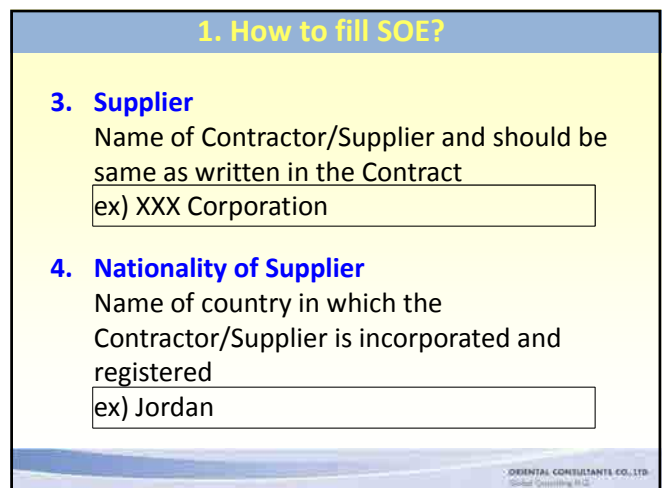
3



4



5



6

**1. How to fill SOE?**

**5. Description of goods and/or Services**  
 Type of component related to this payment  
 ex) Construction of laboratory, Procurement of laboratory Equipment, Procurement of Furniture, Renovation/Repair of classroom, etc

**6. Category**  
 All eligible pay item are category as A under loan, insert "A" in this column.  
 A

ORIENTAL CONSULTANTS CO., LTD.  
Global Consulting H.Q.

7

**1. How to fill SOE?**

**7. Origin**  
 "Country of origin" of equipment.  
 If other components, keep it blank.  
 ex) Japan, China, Germany

**8. Contract Amount, Contract No., and JICA Concurrence No. for Contract**  
 "Contract Amount" and "Contract No." for LCB.  
 JICA Concurrence No. is necessary for ICB.  
 ex) JD1,000,000, BE-###-01

ORIENTAL CONSULTANTS CO., LTD.  
Global Consulting H.Q.

8

**1. How to fill SOE?**

**9. Date of Payment**  
 To be the same day as receipt but only payment after 1<sup>st</sup> January 2012 is eligible.  
 ex) 1<sup>st</sup> January 2012

**10. Amount of Payment (without Tax)**  
 If payment including tax, tax should be deducted.  
 ex) JD500,000 – JD68,966 (Tax) = JD431,034

ORIENTAL CONSULTANTS CO., LTD.  
Global Consulting H.Q.

9

**1. How to fill SOE?**

**11. Nature of Payment**  
 Type of Payment.  
 ex) Down payment, Installment payment, Final payment

**12. Method of Procurement**  
 Tender procedures have been applied for the Contract.  
 ex) LCB (Local Competitive Bidding), DP (Direct Purchase)

ORIENTAL CONSULTANTS CO., LTD.  
Global Consulting H.Q.

10

**1. How to fill SOE?**

**13. Amount applied for Financing (without Tax)**  
 If 100% eligible component or pay item, amount shall be same as Column No. 10 "Amount of Payment (without Tax)".  
 ex) JD431,034

**14. Disbursement Ratio**  
 Calculate as the ratio of "Column No. 13/No.10".  
 If 100% eligible component or pay item, insert "100%".  
 ex) 100%

ORIENTAL CONSULTANTS CO., LTD.  
Global Consulting H.Q.

11

**2. Necessary Evidences for SOE**

ORIENTAL CONSULTANTS CO., LTD.  
Global Consulting H.Q.

12

## 2. Necessary Evidences for SOE

SOE requires the following three evidences.

☑ Contract    ☑ Invoice    ☑ Receipt

**Purchasers**  
(Ministries, Universities, MPWH, MOF)

**Contractors /Suppliers**

- ① Signing a contract
- ② Receiving an invoice from a contractor/supplier
- ③ Making a payment
- ④ Receiving a receipt from a contractor/supplier

ORIENTAL CONSULTANTS CO., LTD.  
Solely Consulting M.O.

13

## 2. Necessary Evidences for SOE

What kind of information could be obtained from Evidences when filling SOE?

Ref. # on SOE	Items	Evidences		
		Contract	Invoice	Receipt
2	Name of Purchaser	✓	✓	✓
3	Name of Supplier	✓	✓	✓
5	Description of Goods and/or Services	✓	-	-
7	Origin	✓	-	-
8	Contract Amount	✓	-	-
8	Contract No.	✓	✓	✓
9	Date of Payment	-	-	✓
10	Amount of Payment	✓	✓	✓
11	Nature of Payment	✓	✓	✓

ORIENTAL CONSULTANTS CO., LTD.  
Solely Consulting M.O.

14

## 2. Necessary Evidences for SOE

**3. Supplier**

**2. Purchaser**

**Contract**

ORIENTAL CONSULTANTS CO., LTD.  
Solely Consulting M.O.

15

## 2. Necessary Evidences for SOE

**5. Description of goods and/or services**

**Contract**

ORIENTAL CONSULTANTS CO., LTD.  
Solely Consulting M.O.

16

## 2. Necessary Evidences for SOE

**8. Contract Amount**

**Contract**

ORIENTAL CONSULTANTS CO., LTD.  
Solely Consulting M.O.

17

## 2. Necessary Evidences for SOE

**9. Date of Payment**

**Receiving Documents**

ORIENTAL CONSULTANTS CO., LTD.  
Solely Consulting M.O.

18



## 2. Necessary Evidences for SOE

**10. Amount of Payment**

**Payment Order**

19

## 2. Necessary Evidences for SOE

**11. Nature of Payment**

**13. Amount applied for financing**

**Invoice**

20

## 3. Completion of filling SOE

**ORIENTAL CONSULTANTS CO., LTD.**  
Global Consulting H.Q.

21

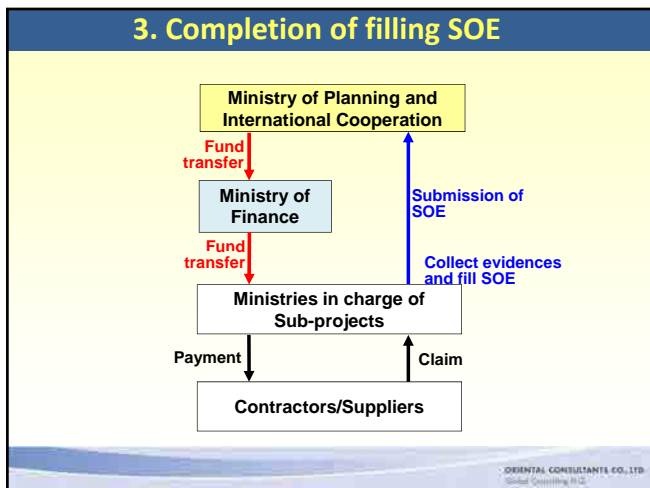
## 3. Completion of filling SOE

Date: to be filled by MOFPC Loan Agreement No.: to be filled by MOFPC Application Serial No.: to be filled by MOFPC													
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14
Transaction	Purchaser	Supplier	Nationality of Supplier	Description of goods and/or Services	Category	Origin	Contract Amount, Contract No., and ICA Concurrence No. for Contract	Date of Payment	Amount of Payment (without Tax)	Nature of Payment	Method of Procurement	Amount applied for Financing (without Tax)	Disbursement Ratio
696-1	Ministry of Higher Education	XXX Corporation	Jordan	Procurement of PC	A	Japan, China, Germany	JD.628.449 BE-46-01	8-May-12	JD1.491.101	First Payment	Direct Purchase	JD1.314.225	88.14%
Serial number of transaction	To be same as written in the Contract	To be same as written in the Contract	Name of country in which the Supplier is incorporated and registered.	Other examples; Procurement of laboratory equipment Procurement of classroom furniture	No need to change	"Country of Origin" of equipment. If other components, keep it blank	"Contract Amount" and "Contract No." are enough. ICA Concurrence No. is not necessary.	To be the same day as receipt but after 1st January 2012.	Tax to be deducted	Other examples are as follows; installment payment - final payment	Other examples are as follows; DP (Direct Purchase)	Tax to be deducted. Same figure as item No.10 if 100% eligible component or pay item.	No need to change

**ORIENTAL CONSULTANTS CO., LTD.**  
Global Consulting H.Q.

22

## 3. Completion of filling SOE



23

## 4. Practice on filling SOE

**ORIENTAL CONSULTANTS CO., LTD.**  
Global Consulting H.Q.

24

ワークショップ・セミナー資料  
(サブ・プロジェクトのモニタリング)

Japan International Cooperation Agency

Special Assistance for  
Project Implementation (SAPI) for  
Human Resource Development  
and  
Social Infrastructure  
Improvement Project (L/A No. JO-P12)

in The Hashemite Kingdom of Jordan

March 5, 2013

**Monitoring of Sub-projects**

ORIENTAL CONSULTANTS CO., LTD.  
Global Consulting H.Q.

1

**1. Objective of the Seminar**

ORIENTAL CONSULTANTS CO., LTD.  
Global Consulting H.Q.

2

**1. Objective of the Seminar**

**2012 – 2014**

**Implementation of Sub-projects**  
(building construction, **equipment/furniture procurement**)

↓

**SOE preparation by each line Ministries**

↓

**SOE Submission to MOPIC**

↓

**SOE Submission to JICA**

ORIENTAL CONSULTANTS CO., LTD.  
Global Consulting H.Q.

3

**1. Objective of the Seminar**

**Time Schedule after Project Completion**

Completion of the Project

2014 2015 2017 2022

1st Year 2nd Year 3rd Year 4th Year 5th Year 6th Year 7th Year

Ex-post Evaluation

Ex-post Monitoring

ORIENTAL CONSULTANTS CO., LTD.  
Global Consulting H.Q.

4

**1. Objective of the Seminar**

**Completion of Project in Dec.2014**

↓

**Ex-post Evaluation by JICA in 2017**  
(2 years after the Project Completion)

↓

**Ex-post Monitoring by JICA in 2022**  
(7 years after the Project Completion)

↓

**For Jordanian side**  
**Continuous Monitoring & Evaluation**  
**is required**

ORIENTAL CONSULTANTS CO., LTD.  
Global Consulting H.Q.

5

**1. Objective of the Seminar**

**in 2017**

**Criteria for Evaluation**

1. Relevance
2. Effectiveness
3. Efficiency
4. Impact
5. Sustainability

↓

**Result of Evaluation**  
**+**  
**Recommendation**

**in 2022**

**Criteria for Monitoring**

1. Re-validation  
- effectiveness  
- impact  
- sustainability
2. Confirmation  
- response to the recommendation

ORIENTAL CONSULTANTS CO., LTD.  
Global Consulting H.Q.

6

## 1. Objective of the Seminar

**Lessons Learned from the previous project**

The evaluation mission could not find the location of installed equipment / furniture financed by JICA.

**What is Jordanian side required to do?**

ORIENTAL CONSULTANTS CO., LTD.  
Global Consulting H.Q.

7

## 1. Objective of the Seminar

**What is Jordanian side required to do?**

- 1. Maintaining and Enhancing of Project Benefits** Effectiveness
- 2. Improving and Creating the management mechanism for correct monitoring and evaluation** Sustainability
- 3. Securing trace-ability of Project Benefits** Effectiveness, Sustainability

**How to secure the trace-ability of Project Benefits?**

ORIENTAL CONSULTANTS CO., LTD.  
Global Consulting H.Q.

8

## 2. Inventory List

ORIENTAL CONSULTANTS CO., LTD.  
Global Consulting H.Q.

9

## 2. Inventory List

**Current Inventory Management**

Paper-based method

"Governmental Inventory Management & Control System"

GIMCS

"Management of Medical Equipment"

ORIENTAL CONSULTANTS CO., LTD.  
Global Consulting H.Q.

10

## 2. Inventory List

**Adoption of the Inventory List**

- Current Paper-based Method
- Specializing in Equipment/Furniture financed by JICA
- Less demanding for keeping

ORIENTAL CONSULTANTS CO., LTD.  
Global Consulting H.Q.

11

## 2. Inventory List

**Adoption of the Inventory List**

Human Resources Development and Social Infrastructure Improvement Project (I/A No. J0-P12)  
Inventory List for Purchased Equipment under Japanese ODA Loan

Sub-Project Number: 723 Sub-Project Name: Vocational Training

IN							OUT						
Serial No.	Description	Unit	Quantity	Unit Price	Amount	Date of Acquisition	Inventory Sheet No.	Request No.	Date of Supply	Location	Quantity	Shipping Sheet No.	
1	Welding Machine TIG/DC TIG/WELD brand	Number	1	1,300,000	13,000,000	18-Nov-12	640175			4-Dec-12	4-District Institute	2	210123
										17-Dec-12	Special Institute for Mental Industry	4	210196

**Location**

To be filled in based on/with reference to SOE prepared.

To be filled in based on actual goods distribution.

ORIENTAL CONSULTANTS CO., LTD.  
Global Consulting H.Q.

12

## 2. Inventory List

### Adoption of the Inventory List

Human Resources Development and Social Infrastructure Improvement Project (I/A No. JO-P12)  
Inventory List for Purchased Equipment under Japanese ODA Loan

Sub-Project Number: 723 Sub-Project Name: Vocational Training

IN										OUT									
Serial No.	Description	Unit	Quantity	Unit Price	Amount	Date of Acceptance	Inventory Sheet No.	Request No.	Date of Supply	Location	Quantity	Outgoing Sheet No.							
	Welding Machine TIGDC	Number	1	1,368,000	10,944,000	18-Nov-12	646478		4-Dec-12	Yamanashi Institute	2	210523							
	TIG.WIN brand								17-Dec-12	Sevco Institute for Metal Industry	4	210546							

To fully and continuously record distributed locations corresponding to each movement of goods financed by JICA

ORIENTAL CONSULTANTS CO., LTD.  
Global Consulting H.Q.

13

## 2. Inventory List

### How to fill in the Inventory List

Human Resources Development and Social Infrastructure Improvement Project (I/A No. JO-P12)  
Inventory List for Purchased Equipment under Japanese ODA Loan

Sub-Project Number: 723 Sub-Project Name: Vocational Training

IN										OUT									
Serial No.	Description	Unit	Quantity	Unit Price	Amount	Date of Acceptance	Inventory Sheet No.	Request No.	Date of Supply	Location	Quantity	Outgoing Sheet No.							
	Welding Machine TIGDC	Number	1	1,368,000	10,944,000	18-Nov-12	646478		4-Dec-12	Yamanashi Institute	2	210523							
	TIG.WIN brand								17-Dec-12	Sevco Institute for Metal Industry	4	210546							

To fully and continuously record distributed locations corresponding to each movement of goods financed by JICA

ORIENTAL CONSULTANTS CO., LTD.  
Global Consulting H.Q.

14

## 2. Inventory List

### How to fill in the Inventory List

Human Resources Development and Social Infrastructure Improvement Project (I/A No. JO-P12)  
Inventory List for Purchased Equipment under Japanese ODA Loan

Sub-Project Number: 723 Sub-Project Name: Vocational Training

IN										OUT									
Serial No.	Description	Unit	Quantity	Unit Price	Amount	Date of Acceptance	Inventory Sheet No.	Request No.	Date of Supply	Location	Quantity	Outgoing Sheet No.							
	Welding Machine TIGDC	Number	1	1,368,000	10,944,000	18-Nov-12	646478		4-Dec-12	Yamanashi Institute	2	210523							
	TIG.WIN brand								17-Dec-12	Sevco Institute for Metal Industry	4	210546							

To fully and continuously record distributed locations corresponding to each movement of goods financed by JICA

ORIENTAL CONSULTANTS CO., LTD.  
Global Consulting H.Q.

15

## 3. Japanese ODA Stickers and Plaques

ORIENTAL CONSULTANTS CO., LTD.  
Global Consulting H.Q.

16

## 3. Japanese ODA Stickers and Plaques

- **Japanese ODA Stickers**  
To be affixed to nominated equipment and furniture financed by JICA
- **Plaques**  
To be installed to nominated buildings financed by JICA

ORIENTAL CONSULTANTS CO., LTD.  
Global Consulting H.Q.

17

## 3. Japanese ODA Stickers and Plaques

### 3-1. Japanese ODA Stickers





ORIENTAL CONSULTANTS CO., LTD.  
Global Consulting H.Q.

18

### 3. Japanese ODA Stickers and Plaques

#### 3-2. Plaques



19

### 4. Project Sheet

20

#### 4. Project Sheet

- Each Sub-project is furnished by Project Sheet.
- Contents of the Project Sheet are;
  - Technical information
  - Financial information
  - Progress (physical & financial)
  - Indicators

21

#### 4. Project Sheet

- Each Sub-project is furnished by Project Sheet.
  - Contents of the Project Sheet are;
    - Technical information
    - Financial information
    - Progress (physical & financial)
- ➡ to be quarterly updated with QPR

22

#### 4. Project Sheet

##### SAMPLE

Project Data	
Project Name	Establishment of Al-Hadi New Hospital
Location	Amman
Implementing Agency	Ministry of Health
Donor	Japan International Cooperation Agency (JICA)
Address	101, Hajjeh Al-Hadi Street
Commenced	1/1/2010
Project End Date	31/12/2015
Project Cost (USD)	15,000,000
Project Cost (JOD)	15,000,000
Project Description	Establishing the quality of health care services for the residents of Hajjeh Al-Hadi.
Objectives	1. Improving the quality of health care services for the residents of Hajjeh Al-Hadi. 2. Improving the quality of health care services for the residents of Hajjeh Al-Hadi.
Key Indicators	1. Number of patients treated in the hospital. 2. Number of patients treated in the hospital.
Performance Indicators	1. Number of patients treated in the hospital. 2. Number of patients treated in the hospital.

Financial Progress		Period: November 2012	
			
			
Financial Progress		Period: December 2012	
Breakdown of Cost (in US\$ million)		Original	Actual
Completed Services	0	0	117,000
Building Construction	29,250,000	0	3,600,147
Medical Equipment and Personnel	3,300,000	0	0
Others	0	0	0
Total	32,550,000	0	3,710,147
Breakdown of Cost (in US\$ million)		Original	Actual
2010	3,760,000	0	630,000
2011	8,000,000	0	0
2012	10,800,000	0	0
Total	22,560,000	0	630,000
Total	55,110,000	0	3,740,147

23

### Questions and Answers

24

## 参考資料／入手資料リスト

E: English, A: Arabic, J: Japanese

番号	名 称	形態／印刷・図 書・CD等	オリジナル コピー	言語	発行機関	入手日
1	<i>Executive National Development Program 2011-2013</i>	PDF file	-	E	Ministry of Planning and International Cooperation	2012年10月10日
2	<i>National Agenda 2006-2015</i>	PDF file	-	E	Ministry of Planning and International Cooperation	2012年10月10日
3	<i>Keeping Promise and Achievement Aspiration: 2nd National Millennium Development Goal Report-Jordan 2010</i>	PDF file	-	E	Ministry of Planning and International Cooperation	2012年10月10日
4	<i>Progress Report 2011 of Executive National Development Program 2011-2013 (including all the Sectors' progress and Strategic indicators)</i>	Hardcopy and PDF file	copy	E/A	Ministry of Planning and International Cooperation	2012年10月15日
5	<i>Education Statistics (selected)-Department of Statistics, Jordan Statistical Yearbook 2011</i>	PDF file	-	E/A	Department of Statistics	2012年10月15日
6	<i>Health Statistics (selected)-Department of Statistics, Jordan Statistical Yearbook 2011</i>	PDF file	-	E/A	Department of Statistics	2012年10月15日
7	<i>Population Statistics (selected)-Department of Statistics, Jordan Statistical Yearbook 2011</i>	PDF file	-	E/A	Department of Statistics	2012年10月15日
8	<i>Labor and Wage Statistics (selected)-Department of Statistics, Jordan Statistical Yearbook 2011</i>	PDF file	-	E/A	Department of Statistics	2012年10月15日
9	<i>Average Householde Member Expenditure by Governorate 2010</i>	PDF file	-	E/A	Department of Statistics	2012年10月15日
10	<i>Statistics in Higher Education at 2010/2011</i>	Excel file	-	E/A	Ministry of Higher Education and Scientific Research	2012年10月18日
11	<i>Global education digest, UNESCO 2011</i>	PDF file	-	E	UNESCO	2012年10月18日
12	<i>TIMMS -Trends in International Mathematics and Science Study Report 2011</i>	PDF file	-	E	International Education Assessment	2012年10月18日
13	<i>Outlook on Jordan – Economy Situation during FY 2011</i>	Word file	-	E	JICA Jordan Office: Prepared & Compiled by Rabah Al-Shanti	2012年10月19日
14	2010年-2012年政府支出予算概要(セクター別)	PDF file	-	A	Ministry of Planning and International Cooperation	2012年10月20日
15	<i>Main Economic Indicators (updated on 17/9/2012)</i>	PDF file	-	E	Ministry of Planning and International Cooperation	2012年10月21日
16	<i>VTC Annual Report 2011, VTC July 2012</i>	Hardcopy, PDF file, CD-ROM	copy	E/A	Vocational Training Corporation	2012年10月22日
17	<i>Ministry of Labor; 2011 Annual Report, Ministry of Labor 2012</i>	Hardcopy, PDF file, CD-ROM	copy	A	Ministry of Labor	2012年10月22日
18	<i>Needs Assess Displaced Syrianin Jordan, MOPIC and UN July 2012</i>	PDF file	—	E	Ministry of Planning and International Cooperation	2012年10月22日
19	<i>Joint Jordan-UN Appeal 2012</i>	PDF file	—	E	Hashemite Kingdom of Jordan, UNHCR, UNICEF, WFP, UNFPA,	2012年10月29日
20	<i>Syria Crisis subregional highlights - Syrian students in Jordan, UNICEF October 2012</i>	PDF file	—	E	UNICEF	2012年10月29日
21	<i>Number of Trainees update in Septermber 2012</i>	Hardcopy	copy	A	Vocational Training Corporation	2012年10月31日

番号	名 称	形態／印刷・図 書・CD等	オリジナル コピー	言語	発行機関	入手日
22	<i>Ministry of Higher Education &amp; Scientific Research Strategic Indicators and Goal 2008-2014</i>	Hardcopy	copy	A	Ministry of Higher Education and Scientific Research	2012年10月31日
23	<i>Higher Education in Jordan - Achievements &amp; Ambitions</i> , prepared by Munther Bataineh, Secretary General Assistant, MOHESR, October 2012	Hardcopy	copy	E	Ministry of Higher Education and Scientific Research	2012年10月31日
24	<i>Technical Education Sector in Jordan</i> , prepared by Munther Bataineh, Secretary General Assistant, MOHESR, October 2012	Hardcopy	copy	E	Ministry of Higher Education and Scientific Research	2012年10月31日
25	<i>Map-Directorates of Education according to Established Year by Ministry of Education Authority (year 2011/2012)</i>	PDF file	-	E	Ministry of Education	2012年11月1日
26	<i>List of Education Governorate Center at 2011/2012</i>	Hardcopy	copy	E	Ministry of Education	2012年11月1日
27	<i>Global Employment Trends 2012</i>	PDF file	-	E	International Labor Organization	2012年11月4日
28	<i>National Drug Policy 2002</i>	Hardcopy	copy	E	Drug Directorate, National Drug Policy Management &	2012年11月6日
29	<i>Annual Statistical Book 2011 of Ministry of Health</i>	PDF file	-	E & A	Directorate of Information & Research, Ministry of Health	2012年11月6日
30	Donor Meeting Presentation Material by HCD - 1	PDF file	-	E	Higher Council for the Affaris of Persons with Disabilities	2012年11月8日
31	Donor Meeting Presentation Material by HCD - 2	PDF file	-	E	Higher Council for the Affaris of Persons with Disabilities	2012年11月8日
32	Basic Information on Disabilities of Jorda Hasemite Kingdom, updated in May 2009 (国別障害関連情報-ヨルダン・ハシェミット王国, 2009年5月更新版)	PDF file	-	J	JICA Human Development Dpeartment (JICA Jordan Office)	2012年11月8日
33	<i>Jordanian Unemployed Persons Age 15+ Years by Sex and Governorate (Percentage Distribution) Fist Round - 2010</i>	PDF file	-	E	Department of Statistics	2012年11月9日
34	<i>Jordanian Unemployed Persons Age 15+ Years by Sex and Governorate (Percentage Distribution) Second Round - 2010</i>	PDF file	-	E	Department of Statistics	2012年11月9日
35	<i>Jordanian Unemployed Persons Age 15+ Years by Sex and Governorate (Percentage Distribution) Third Round - 2010</i>	PDF file	-	E	Department of Statistics	2012年11月9日
36	<i>Jordanian Unemployed Persons Age 15+ Years by Sex and Governorate (Percentage Distribution) Forth Round - 2010</i>	PDF file	-	E	Department of Statistics	2012年11月9日
37	<i>Jordanian Unemployed Persons Age 15+ Years by Sex and Governorate (Percentage Distribution) Fist Round - 2011</i>	PDF file	-	E	Department of Statistics	2012年11月9日
38	<i>Jordanian Unemployed Persons Age 15+ Years by Sex and Governorate (Percentage Distribution) Second Round - 2011</i>	PDF file	-	E	Department of Statistics	2012年11月9日
39	<i>Jordanian Unemployed Persons Age 15+ Years by Sex and Governorate (Percentage Distribution) Third Round - 2011</i>	PDF file	-	E	Department of Statistics	2012年11月9日
40	<i>Jordanian Unemployed Persons Age 15+ Years by Sex and Governorate (Percentage Distribution) Forth Round - 2011</i>	PDF file	-	E	Department of Statistics	2012年11月9日
41	<i>Jordanian Unemployed Persons Age 15+ Years by Sex and Governorate (Percentage Distribution) Fist Round - 2012</i>	PDF file	-	E	Department of Statistics	2012年11月9日

番号	名 称	形態／印刷・図 書・CD等	オリジナル コピー	言語	発行機関	入手日
42	<i>Jordanian Unemployed Persons Age 15+ Years by Sex and Governorate (Percentage Distribution) Second Round - 2012</i>	PDF file	-	E	Department of Statistics	2012年11月9日
43	<i>Jordanian Unemployed Persons Age 15+ Years by Sex and Governorate (Percentage Distribution) Third Round - 2012</i>	PDF file	-	E	Department of Statistics	2012年11月9日
44	<i>Organization Chart of Ministry of Education as of Nov. 2012</i>	JPEG file	-	A	Ministry of Education	2012年11月11日
45	<i>Ministry of Health Sector Strategy paper (2008)</i>	PDF file	-	A	Ministry of Health	2012年11月19日
46	<i>Sector policy, objectives and indicators of Health (2006-2013)</i>	Word file	-	A	Ministry of Health	2012年11月19日
47	<i>Health System Profile of Jordan 2006</i>	PDF file	-	E	World Health Organization	2012年11月19日
48	<i>List of Vocational education schools on Agriculture and Home Economics</i>	PDF file	-	A	Ministry of Education	2012年11月19日
49	<i>UNHCR Health Unit Briefing Note. Health services accessed by refugees, north. 1.10.12</i>	Word file	-	E	JICA Jordan Office	2012年11月24日
50	<i>MoH medical needs to meet influx of syrian refugees, as of 29th July 2012</i>	PDF file	-	E	JICA Jordan Office	2012年11月24日
51	<i>Project to combat poverty and unemployment (J.P.A.P)(extracted translation)</i>	Hardcopy	copy	A	Ministry of Labor	2012年11月29日
52	<i>Decent Work Country Program 2012-2015, Jordan, ILO, March 2012</i>	PDF file	-	E	International Labor Organization (Website)	2013年2月24日
53	<i>Convention on the rights of persons with disabilities (CRPD)</i>	Hardcopy	copy	A	Higher Council for the Affairs of Persons with Disabilities	2013年2月25日
54	<i>Law on the rights of persons with disabilities (law number 31 for the year 2007)</i>	Hardcopy	copy	E	Higher Council for the Affairs of Persons with Disabilities	2013年2月25日
55	<i>Accreditation standards of centers and institutions for intellectual disabilities</i>	Hardcopy	copy	E	Higher Council for the Affairs of Persons with Disabilities	2013年2月25日
56	<i>Accreditation standards for autism programmes and services</i>	Hardcopy	copy	E	Higher Council for the Affairs of Persons with Disabilities	2013年2月25日
57	<i>Accreditation standards for diagnosis centers in Jordan</i>	Hardcopy	copy	E	Higher Council for the Affairs of Persons with Disabilities	2013年2月25日
58	<i>The national strategy for persons with disabilities</i>	Hardcopy	copy	E	Higher Council for the Affairs of Persons with Disabilities	2013年2月25日
59	<i>Accreditation standards of institutions and programmes of persons with disabilities in Jordan</i>	Hardcopy	copy	E	Higher Council for the Affairs of Persons with Disabilities	2013年2月25日
60	<i>Organogram of Ministry of Social Development</i>	PDF file	-	A	Ministry of Social Development (Website)	2013年2月28日



ヨルダン国円借款「人材育成・社会インフラ改善事業」に係る案件実施支援調査

現地調査写真

**Photos of the First Week (14-20 October 2012)**



Meeting with MOPIC, JICA and JICA Study Team  
(16 Oct. 2012)



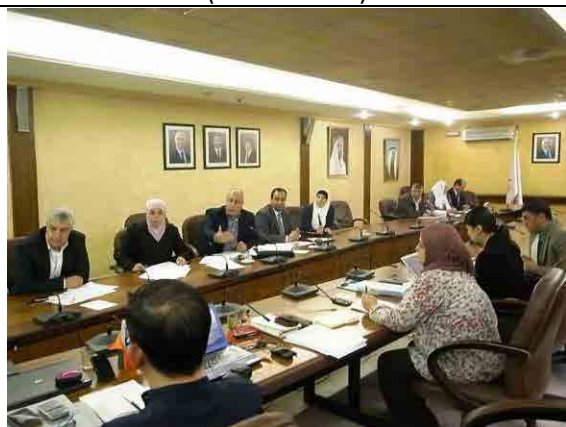
Presentation of ICR and discussion with MOE  
(17 Oct. 2012)



Presentation of ICR and discussion with MOHE  
(17 Oct. 2012)



Presentation of ICR and discussion with MOH  
(17 Oct. 2012)



Presentation of ICR and discussion with MOF  
(17 Oct. 2012)



Detailed sub-project discussion with MOH and  
practice of filling SOE  
(18 Oct. 2012)

## Photos of the Second Week (21-27 October 2012)



Discussion on Sub-projects selection criteria for Second Screening with MOPIC (21 Oct. 2012)



Detailed discussion on Sub-projects with VTC (22 Oct. 2012)



Detailed discussion on Sub-projects selection for Second Screening with MOH (23 Oct. 2012)



Detailed discussion on Sub-projects selection for Second Screening with MOE (23 Oct. 2012)

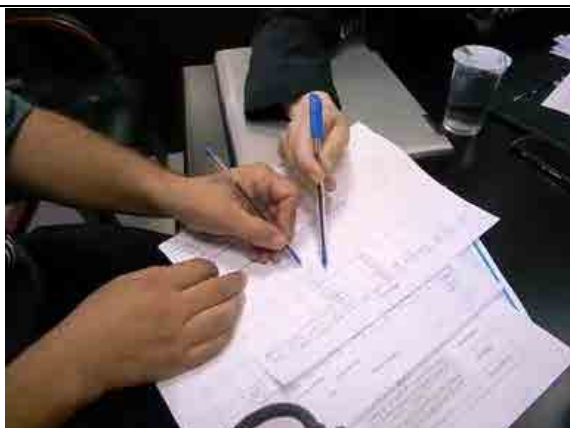


Detailed discussion on Sub-projects selection for Second Screening with MOHE (23 Oct. 2012)



Detailed discussion on Sub-projects selection for Second Screening with MOHE (23 Oct. 2012)

ヨルダン国円借款「人材育成・社会インフラ改善事業」に係る案件実施支援調査



Practice of filling SOE at MOHE (23 Oct. 2012)



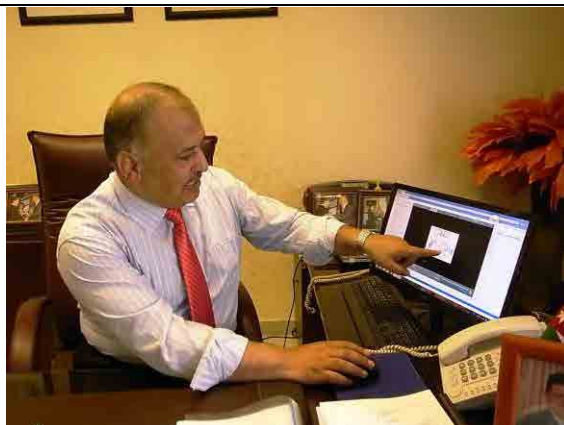
Discussion on performance indicators and the structure of the national development plan including EDP with MOPIC (24 Oct. 2012)



## Photos of the Third Week (28 October – 3 November 2012)



Interview about Jordanian government tendering procedure with MPWH (31 Oct. 2012)



Presentation of the current Jordanian government tendering procedure by MPWH (31 Oct. 2012)



Interview about building projects with MOE (1 Nov. 2012)



Information collection about Sub-projects' contract amount and payment from MOE (1 Nov. 2012)



Building perspectives presented in the Director of Engineering Affairs office in MOE (1 Nov. 2012)



Building perspective stored in the Director of Engineering Affairs office in MOE (1 Nov. 2012)

## Photos of the Forth Week (4 – 10 November 2012)



Confirmation of the result of Sub-project selection and discussion on next actions to be taken with MOPIC and JICA-Jordan Office (4 Nov. 2012)



Showing way of checking the duplication of donors assisting Sub-projects in MOPIC (4 Nov. 2012)



New campus of German Jordanian University opened by His Majesty King Abdullah II on 21 Oct. 2012 (5 Nov. 2012)



New campus of German Jordanian University (5 Nov. 2012)



New campus of German Jordanian University to be developed in five phases (at present in the first phase) (5 Nov. 2012)



Frontal road to the New campus of German Jordanian University (5 Nov. 2012)



ヨルダン国円借款「人材育成・社会インフラ改善事業」に係る案件実施支援調査



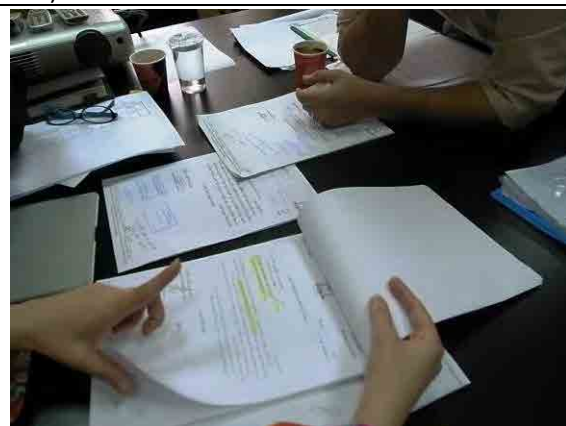
Discussion on acceleration of disbursement with GBD, MOF, MOPIC and JICA-Jordan Office-1 (5 Nov. 2012)



Discussion on acceleration of disbursement with GBD, MOF, MOPIC and JICA-Jordan Office-2 (5 Nov. 2012)



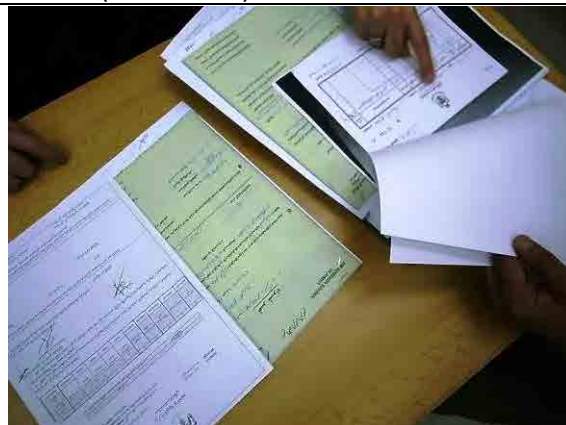
Explanation on how to fill SOE to MOHE (6 Nov. 2012)



Sampling check of evidences for SOE's preparation in MOHE (6 Nov. 2012)



Explanation on how to fill SOE to MOE (7 Nov. 2012)



Sampling check of evidences for SOE's preparation in MOE (7 Nov. 2012)

ヨルダン国円借款「人材育成・社会インフラ改善事業」に係る案件実施支援調査



1<sup>st</sup> Presentation about outline of the Project at the “Disbursement Seminar” organized by JICA-Jordan Office (8 Nov. 2012)



2<sup>nd</sup> Presentation about disbursement of JICA ODA loan at the “Disbursement Seminar” organized by JICA-Jordan Office (8 Nov. 2012)



3<sup>rd</sup> Presentation about exercise on SOE at the “Disbursement Seminar” organized by JICA-Jordan Office with attendance of 56 participants (8 Nov. 2012)



Participants from IAs taking notes during the presentation about exercise on SOE (8 Nov. 2012)



**Photos of the Fifth Week (11 – 17 November 2012)**



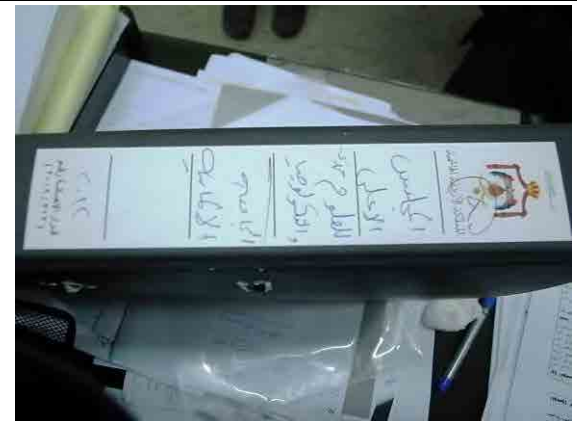
Clarification of German Jordanian University Project's component with GJU and MOF (12 Nov. 2012)



Sampling check of evidences for SOE's preparation in MOF (12 Nov. 2012)



Accounting documents in MOF (12 Nov. 2012)



Accounting documents file divided into projects in MOF (12 Nov. 2012)



Discussion on auditing in Jordan and auditing activities required for the Project with Audit Bureau (1) (13 Nov. 2012)



Discussion on auditing in Jordan and auditing activities required for the Project with Audit Bureau (2) (13 Nov. 2012)



ヨルダン国円借款「人材育成・社会インフラ改善事業」に係る案件実施支援調査



Detailed discussion on auditing procedure and confirmation of auditing plan for the Project with Auditing unit for the Project (13 Nov. 2012)



Information collection regarding governmental tendering for equipment/furniture procurement with GSD/MOF (13 Nov. 2012)



Tendering room in GSD/MOF which has audience seats over the glass window-partition (13 Nov. 2012)



Bid box in the Tendering room of GSD/MOF (13 Nov. 2012)



Clarification of Sub-project components in MOH (14 Nov. 2012)



Internal practice to fill in SOE in MOH utilizing SOE exercise material distributed by the JST during workshop (14 Nov. 2012)

## Photos of the Sixth Week (18 – 25 November 2012)



Clarification of Sub-project components with VTC and sampling check of evidences for SOE preparation (18 Nov. 2012)



Confirmation of SOE preparation in MOHESR (19 Nov. 2012)

### Site Visit of Sub-project No. 643: MOH, Establishing Building for Serums and Vaccines, in Amman



New building construction for Serums and Vaccines (18 Nov. 2012)



Total floor area is 5,000m<sup>2</sup>, 3-story building (18 Nov. 2012)



Laboratory to be furnished by specific equipment (18 Nov. 2012)



Equipment space for cold room; equipment to be procured and installed after building completion (18 Nov. 2012)



ヨルダン国円借款「人材育成・社会インフラ改善事業」に係る案件実施支援調査

Site visit of Sub-project No. 640: MOH, Medical Equipment and Spare Parts Health Centres



Al-Basheer Hospital in Amman which has been installed new procured X-ray machine.(19 Nov. 2012)



Current operational situation of procured equipment (digital X-ray, Shimadzu) in 2012 (19 Nov. 2012)



Mobile X-ray, Shimadzu made in 1993 (19 Nov. 2012)



Number of patient per day is around 1,000 for 2 units of digital X-ray (19 Nov. 2012)

Site visit of Sub-project No. 606: MOHESR, EMIS



Site visit of National Information Technology Centre to confirm current operational situation of equipment (server) procured in 2012 (19 Nov. 2012)



Entrance of server room. The security is controlled and assured. (19 Nov. 2012)

ヨルダン国円借款「人材育成・社会インフラ改善事業」に係る案件実施支援調査



Temperature and humidity are fully controlled in the server room. (19 Nov. 2012)



MOHESR's server, Fujitsu SHIEMENS (19 Nov. 2012)

**Site visit of Sub-project No. 661: MOH, Establishment of Al-Salt new Hospital in Salt**



Confirmation of current situation of a new hospital building construction in Salt (20 Nov. 2012)



10-story 4 block buildings with 350 beds (20 Nov. 2012)



Site Office of Consultant (Arab Da Consultants) for design and supervision (20 Nov. 2012)



Site Office of Contractor (Arabian International Construction & Contracting) (20 Nov. 2012)



**Visit of existing hospital – Al-Salt Hospital in Salt as an expected end-user of  
Sub-Project No. 640: MOH, Medical Equipment and Spare Parts Health Centres**



Al-Salt Hospital in Salt established in 1961 (20 Nov. 2012)



CT-scan machine financed by Japanese ODA Loan transferred from the hospital Al-Basheer Hospital in Amman (20 Nov. 2012)



X-ray machine-1 (20 Nov. 2012)



X-ray machine-2 (20 Nov. 2012)



Discussion with MOL about clarification of Sub-project components and performance indicators (21 Nov. 2012)



Persons in charge of Sub-project No. 722 and 730 under MOL (21 Nov. 2012)

Site visit of vocational training centres in Madaba: Vocational Training Institute Madaba Female as an expected end-user of Sub-Project No. 723: VTC/MOL, Vocational Training



Vocational Training Institute Madaba Female (21 Nov. 2012)



Sewing course (21 Nov. 2012)



Beauty salon course which has the highest demand in the centre due to a high employment opportunity (21 Nov. 2012)



Data Processing course (21 Nov. 2012)



Secretary course (21 Nov. 2012)



Art works produced by trainees of Handcraft course (21 Nov. 2012)



**Site visit of vocational training centres in Madaba: Hospitality and Tourism Training Centre  
as an expected end-user of Sub-Project No. 723: VTC/MOL, Vocational Training**



Housekeeping course's trainees (21 Nov. 2012)



Housekeeping course (21 Nov. 2012)



Classroom connecting to a practical room (21 Nov. 2012)



Preparation room for Kitchen Advance course (21 Nov. 2012)



Front-office service course (21 Nov. 2012)



Simulated ballroom (21 Nov. 2012)

ヨルダン国円借款「人材育成・社会インフラ改善事業」に係る案件実施支援調査

Site visit of Public University in Irbid: Jordan University of Science & Technology (JUST) as an expected end-user of Sub-Project No. 617: University Infrastructure and un-numbered: Supporting Jordanian Public University



Meeting with JUST including Vice President (22 Nov. 2012)



Complex Hall for classroom and auditorium under construction, total construction cost is JD 8,000,000 and outstanding payment is JD 2,000,000.



Complex Hall: Tiling works at entrance hall



Complex Hall: Furnished classroom



Complex Hall: Auditorium (capacity of 500 persons) under construction



Complex Hall: Open plaza under construction



ヨルダン国円借款「人材育成・社会インフラ改善事業」に係る案件実施支援調査



Library building: Capacity of 400,000 book stock. Building construction was partially financed by Islamic Bank.



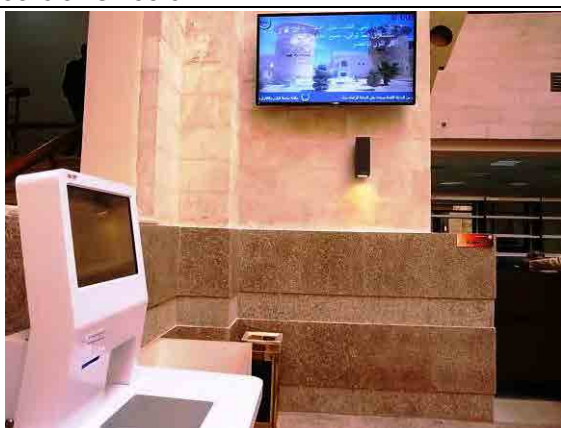
Library building: Equipment and furniture procurement, total in JD 2,000,000 is not financed by other donors.



Library building: 4-story building including 1-basement. There are PCs for library search and books on 3 floors.



Library building: Reading and PC space with around 50 PCs.



Library building: Self check system (3M) and monitors. There are 4 monitors: 55 inches and 42 inches (Mitsubishi).



Administration building construction site. Building design has been finished with total floor area around 4,000m<sup>2</sup>. Total construction amount is around JD 3,000,000 which is needed to be financially supported.

## Photos of the Seventh Week (25 November – 1 December 2012)



Discussion about Sub-project shortlist in order to form consensus among MOPIC, JICA and the Study Team (26 Nov. 2012)



Explanation for how to develop the Quarterly Progress Report (QPR) to MOPIC (26 Nov. 2012)



Confirmation of current progress of SOE preparation in MOE (27 Nov. 2012)



Correction of SOE prepared by MOE (27 Nov. 2012)

### Site Visit of Sub-project No. 602: MOE, Establishing school buildings for (Decent housing for decent life) project, "Dahiat Princess Iman Housing School in Sahab"



Dahiat Princess Iman Housing School in Sahab / Amman (28 Nov. 2012)



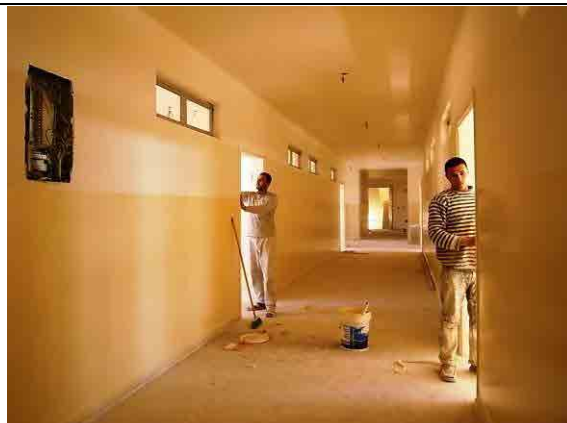
The physical progress is 89%. Original construction period is from Feb.5 to Aug.2 2012. (28 Nov. 2012)



ヨルダン国円借款「人材育成・社会インフラ改善事業」に係る案件実施支援調査



Facade of the school (28 Nov. 2012)



Finishing work (28 Nov. 2012)



Laboratory for Chemistry under construction (28 Nov. 2012)



Sanitary facilities to be installed as a part of construction work (28 Nov. 2012)



Laboratory for Home Economics (28 Nov. 2012)



Approach slope for the disabled students which are required for the public school in Jordan (18 Nov. 2012)

Site Visit of Sub-project No. 602: MOE, Establishing school buildings for (Decent housing for decent life) project, "Custodian Housing School in Zarqa"



Custodian Housing School in Zarqa (28 Nov. 2012)



Façade of the school is harmonized with its surroundings. (the photo taken from the entrance of the school to out) (28 Nov. 2012)



Laboratory for Physics with same specification to other public school (28 Nov. 2012)



Classroom furnished by a blackboard, shelves and a heater. Desks and chairs will be procured later. There are 24 classrooms for students from level 1 to 12. (28 Nov. 2012)



Expansion joint having cracks on the wall (28 Nov. 2012)



Expansion joint having cracks on the floor (28 Nov. 2012)

**Photos of the Eighth Week (2 – 8 December 2012)**



Provision of guidance to sub-contracted local consultants, WAEDAT on assistance in preparation of Project sheets (2 Dec. 2012)



Introduction of WAEDAT to MOH and explanation of its task. (5 Dec.2012)



Introduction of WAEDAT to MOHESR and explanation of its task. (5 Dec.2012)



Introduction of WAEDAT to VTC and explanation of its task. (6 Dec.2012)



(2<sup>nd</sup> Field Study)

Photos of the 1<sup>st</sup> Week (26<sup>th</sup> Jan. – 2<sup>nd</sup> Feb. 2013)



Confirmation of critical issues and the Study Team's task and activities during the 2<sup>nd</sup> Field Study with JICA-JO and MOPIC (28th Jan. 2013)



Confirmation of sub-contracted activities: development of Project sheets, and provision of advices to accelerate their activities (28th Jan.2013)



Checking SOE preparation progress in MOHESR and advising to correct it (29th Jan.2013)



Checking SOE preparation progress in MOH and advising to correct it (30th Jan.2013)



Clarification of Sub-project's content under HCD/MOF (29th Jan.2013)



Clarification of Sub-project's content under MOSD (30th Jan.2013)

ヨルダン国円借款「人材育成・社会インフラ改善事業」に係る案件実施支援調査



Explanation of how to finalize QPR to the person in charge in MOPIC - 1 (31th Jan.2013)



Explanation of how to finalize QPR to the person in charge in MOPIC - 2 (31th Jan.2013)

(2<sup>nd</sup> Field Study)

Photos of the 2<sup>nd</sup> Week (3<sup>rd</sup> – 9<sup>th</sup> Feb. 2013)



Confirmation of SOE preparation progress with MOL (3rd Feb. 2013)



Confirmation of the current management and tracking system for equipment/furniture in MOL (3rd Feb.2013)



Keys controlled under Supply and Procurement Department of MOL (3rd Feb.2013)



Confirmation of SOE preparation progress with MOF (3rd Feb.2013)

**Site Visit of Sub-project No. 680 : MOSD, Handicapped Affairs Program Administration Project – Accommodation centre in Jarash**



Accommodation centre in Jarash established in 1990 (3rd Feb.2013)



Clarification of the current situation of Sub-project under MOSD (3rd Feb.2013)



ヨルダン国円借款「人材育成・社会インフラ改善事業」に係る案件実施支援調査



There are 207 beneficiaries and 176 workers. (3<sup>rd</sup> Feb.2013)



Wheel chairs for beneficiaries (3rd Feb.2013)



Bed room for beneficiaries (3 Feb.2013)



Unusable goods are piled up in the inner court. (3 Feb.2013)



There are some parts need to be repaired in the facility. (3rd Feb.2013)



Some parts which need simple repairs were fixed by themselves. (3rd Feb.2013)

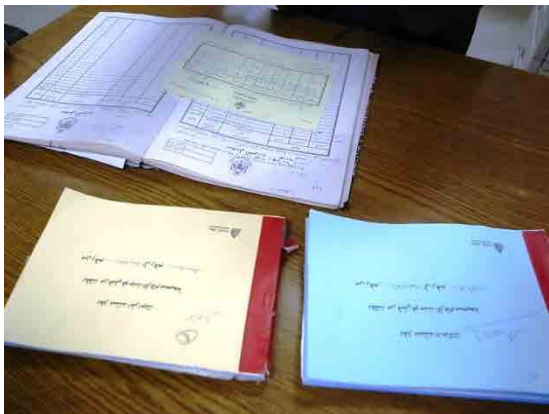
ヨルダン国円借款「人材育成・社会インフラ改善事業」に係る案件実施支援調査



Gaining consensus from VTC on ODA/JICA sticker on goods procured by the ODA Yen-Loan Project (4th Feb.2013)



Checking and correcting SOE in VTC (4th Feb.2013)



Goods management forms common to all governmental institutions (4th Feb.2013)



Storage situation of goods management form in Procurement and Supply dep. of VTC (4th Feb.2013)

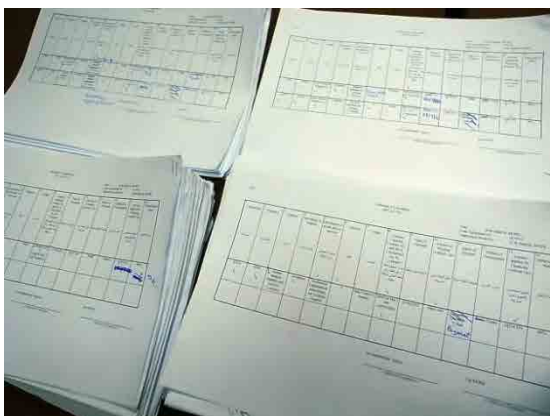


Confirmation of Sub-project situation from the viewpoint of donor duplication (5th Feb.2013)



Checking correction of SOE and gaining consensus on installation of ODA/JICA sticker on goods and plates on buildings financed by the ODA Yen-Loan Project (6th Feb.2013)

# ヨルダン国円借款「人材育成・社会インフラ改善事業」に係る案件実施支援調査



SOE prepared by MOH (6th Feb.2013)



Checking and finalizing SOE in MOF (7th Feb.2013)



(2<sup>nd</sup> Field Study)

Photos of the 3<sup>rd</sup> Week (10<sup>th</sup> – 16<sup>th</sup> Feb. 2013)

Site Visit of Sub-project No. 722 : MOL, Transferring investment to Remote Areas – Al-Areen Factory



Al-Areen Factory established by MOL (10th Feb. 2013)



There are around 470 employees and 98% of them are female living neighbourhood. (10th Feb.2013)



This factory is specialized in underwear production. (10th Feb.2013)



The productions of the factory are in the marketplace. (10th Feb.2013)

Site Visit of Sub-project No. 723 : VTC/MOL, Vocational Training – Special Training Institute for Metal Industrial in Sehab



Special Training Institute for Metal Industrial established in 1997. (11 Feb.2013)



The Institute has been financed by some donors including JICA. (11th Feb.2013)

ヨルダン国円借款「人材育成・社会インフラ改善事業」に係る案件実施支援調査



Inverter for welding whose expenditure were claimed through SOE for 2012 (11<sup>th</sup> Feb.2013)



Welding course (11th Feb.2013)



Training equipment procured by JICA technical corporation (11th Feb.2013)



ODA and JICA stickers attached to the equipment (11th Feb.2013)



Mr. Kobayashi dispatched as JOCV, and lathe/turning machine to be sent back to Japan for maintenance. (11th Feb.2013)



Construction company provides three courses; sheet metal, welding and fabrication. (11th Feb.2013)



ヨルダン国円借款「人材育成・社会インフラ改善事業」に係る案件実施支援調査



Confirmation of Sub-projects' progress on MOH, especially for related to building construction component (11th Feb.2013)



Confirmation of SOE's finalization progress of MOE (12th Feb.2013)

**Directorate of Biomedical Engineering/MOH**



Directorate of Biomedical Engineering established in 1981 (The building construction was supported by Japanese ODA.) (13th Feb.2013)



The monitor shows equipment management system. (13th Feb.2013)



Central Workshop. There are 25 maintenance units and categorized in 8 special groups: x-ray, medical gas, etc. (13th Feb.2013)



Medical equipment sent by hospitals and health centres to be repaired. "Job form" indicating information about condition of the equipment is attached to each equipment. (13th Feb.2013)

ヨルダン国円借款「人材育成・社会インフラ改善事業」に係る案件実施支援調査



Bar-code printer in Quality Department. This department fills in “Inventory form” under the equipment management system and issue the bar-code sticker to each equipment. (13th Feb.2013)



Sample of bar-code attached to the medical equipment. (13th Feb.2013)



Spare parts storage. It is organized with location code. (13th Feb.2013)



Inventory list in the paper-based convention style which is still applied in DBE. (13th Feb.2013)

**Site Visit of Sub-project No. HES : MOHESR, Supporting Jordanian Public University - Aqaba campus of Al-Balqa Applied University**



Presentation of Aqaba new campus project consisting of 3 stages. (14th Feb.2013)



Presentation of drawings. (14th Feb.2013)



ヨルダン国円借款「人材育成・社会インフラ改善事業」に係る案件実施支援調査



Hotel-College built in the Stage-1. (14th Feb.2013)



Cooking laboratory in the Hotel-College. The equipment has just been installed one day before this site visit. (14th Feb.2013)



Classroom in the Hotel-College (capacity of 50 students). (14th Feb.2013)



Exterior of the building. (14th Feb.2013)



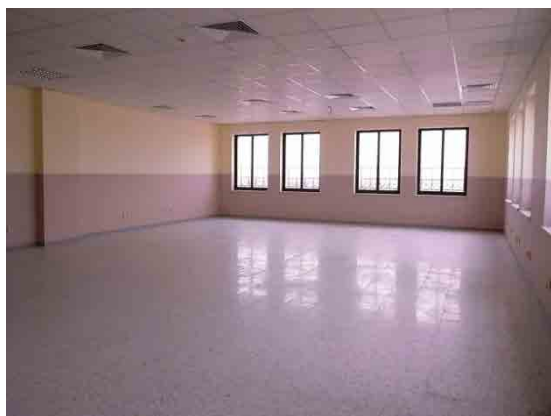
Speciality Centre built in the Stage-1. (14th Feb.2013)



Inside of the Speciality Centre. The construction works will be finished at the middle of March. (14th Feb.2013)



ヨルダン国円借款「人材育成・社会インフラ改善事業」に係る案件実施支援調査



LL (Language Laboratory) in the Speciality Centre. LL equipment will be installed here. (14th Feb.2013)



Solar panels installed on the roof of the Speciality Centre. (14th Feb.2013)



Administration building built in the Stage-1. Equipment and furniture will be moved from the current campus. (14th Feb.2013)



Inside of the Administration building. The construction works will be finished at the middle of March. (14th Feb.2013)



Site for the Stage-2 and 3. (14th Feb.2013)



Site for the Stage-2 and 3. (14th Feb.2013)

\*\*\*\*\*

(2<sup>nd</sup> Field Study)

Photos of the 4<sup>th</sup> Week (17<sup>th</sup> – 23<sup>th</sup> Feb. 2013)



Meeting with MOPIC and JICA-Jordan Office to share SOE preparation progress and discuss highlighted issues. (17 Feb.2013)



Meeting with MOPIC and JICA-Jordan Office to share SOE preparation progress and discuss highlighted issues. (17 Feb.2013)

**Site Visit of Sub-project No. 723 : VTC/MOL, Vocational Training – Marka Female Institute**



Established in 1983 as vocational training institute for women. (19th Feb. 2013)



The institute is supported by Kaizen and 5S experts dispatched from Japan as JICA's senior volunteer. (19th Feb.2013)



Food production course was newly started in April 2012. (19th Feb.2013)



Cooking duct will be financed by the Project. (19th Feb.2013)

ヨルダン国円借款「人材育成・社会インフラ改善事業」に係る案件実施支援調査



Oven made in Italy will be financed by the Project. (19th Feb.2013)



Cooking shelves and trays will be financed by the Project. (19th Feb.2013)

**Site Visit of Sub-project No. 723 : VTC/MOL, Vocational Training –Testing and Training Institute**



TTI was Established in 1992. (19 Feb.2013)



Grinding machine procured in 2013 will be financed by the Project. (19th Feb.2013)



The raw materials used for their training will be financed by the Project. (19<sup>th</sup> Feb.2013)



Maintenance work of the Building has been financed by USAID. (19th Feb.2013)



ヨルダン国円借款「人材育成・社会インフラ改善事業」に係る案件実施支援調査

**Site Visit of Sub-project No. 586 : MOE, Kindergarten Education Program Administration Project – Al-Khahsafieh School for boys (Sehab)**



2 classrooms of Kindergarten were added to the existing primary school as the extension work in 2012. (20th Feb.2013)



Furniture was procured in 2012 and to be financed by the Project. (20th Feb.2013)



This space is planned to be renovated in 2013 as a classroom for kindergarten. (20th Feb.2013)

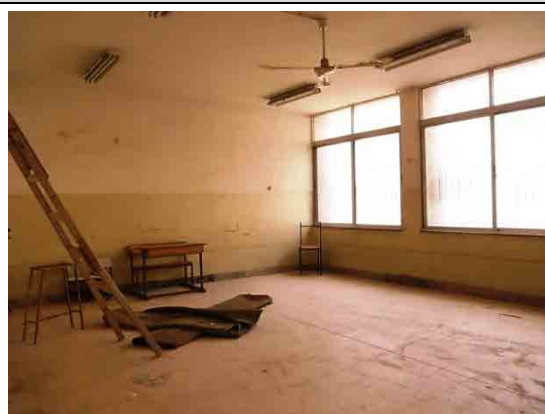


Playground and toilet building (shown in the left of the picture) were built in 2012. (20th Feb.2013)

**Site Visit of Sub-project No. 586 : MOE, Kindergarten Education Program Administration Project – Hafsa Bint Omar Secondary School for girls (Sehab)**



There are approximately 1,300 secondary school students studying in this school. (20th Feb.2013)



The space to be renovated as a classroom for kindergarten which is planned to be opened in 2013. (20th Feb.2013)

**Site Visit of Sub-project No. 588 : MOE, Basic Education Program Administration Project – Al-Fayhaa School (Madaba)**



The school was established in September 2011 as primary school and kindergarten. (20th Feb.2013)



Playground for kindergarten (20th Feb.2013)



Laboratory has not been equipped with educational equipment yet due to lack of fund. (20th Feb.2013)



Currently, the school has borrowed computers and educational furniture from other schools, due to delay in purchase and installation of their computers, desks and chairs for their computer laboratory. (20th Feb.2013)



There are three classrooms for kindergarten. Like this one has not been renovated and furnished by suitable furniture for kids' safety. (20th Feb.2013)



Newly renovated and furnished classroom for kindergarten. (20th Feb.2013)

**Site Visit of Sub-project No. 597 : MOE, Secondary Education Program Administration Project – Al-Khansa'a School (Madaba)**



There are around 1,200 secondary school students studying. (20th Feb.2013)



Laboratory has been renovated their floor tiling and wall painting. (20th Feb.2013)



Wall and floor tiles and bowl of toilet were replaced in 2012. (20th Feb.2013)



Re-tiling and re-painting of laboratory wall in 2012. (20th Feb.2013)

\*\*\*\*\*



(2<sup>nd</sup> Field Study)

Photos of the 5<sup>th</sup> Week (24<sup>th</sup> Feb. – 2<sup>nd</sup> Mar. 2013)

Site Visit of Sub-project No. 658 : MOH, Expanding Al-Karak Hospital



Existing Al-Karak Hospital. (25th Feb. 2013)



Information collection of expanding Sub-project for Al-Karak Hospital from the contractor, the consultant and MOH with JICA-Jordan Office. (25th Feb.2013)



Expanded building under construction to be completed in June 2013. After the expanding work completion, renovation works of the existing building will be proceeded. (25th Feb.2013)



Inside of the expanded building. Total floor area to be expanded is around 12,000 square meters. (25th Feb.2013)

ヨルダン国円借款「人材育成・社会インフラ改善事業」に係る案件実施支援調査



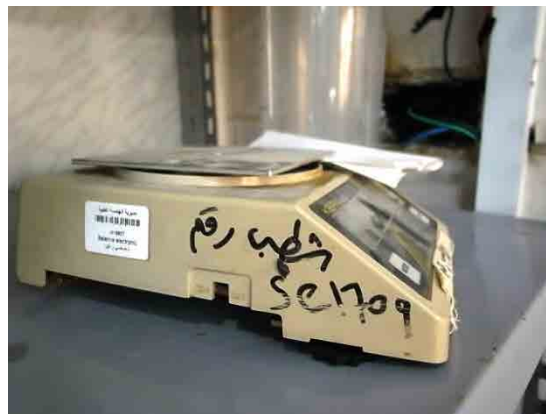
Space for two beds Patients' room. (25th Feb.2013)



Area for the operating theatre including ICU, CCU and so on. (25th Feb.2013)



Medical equipment and furniture procured to be installed in the expanded building. Currently they are stored and piled in the existing building due to delay in completion. (25 Feb.2013)



Medical equipment to be repaired. The bar-code provided by the DBE/MOH is attached on it. In addition, management number was indicated on it by hand writing. (25th Feb.2013)



The management system of DME/MOH for medical equipment has been adopted in the hospital. (25<sup>th</sup> Feb.2013)



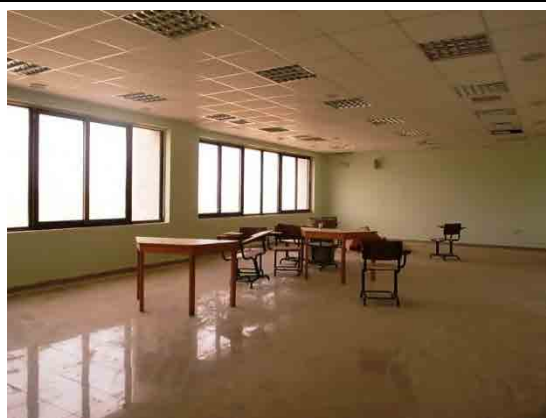
In addition to the computerized system, the paper-based conventional way has been adopted to manage medical equipment. (25th Feb.2013)



## ヨルダン国円借款「人材育成・社会インフラ改善事業」に係る案件実施支援調査



Training centre and laboratories for the medical examination under construction next to the hospital. This construction work is not included in the Project. (25th Feb.2013)



Space for training of post mortem examination will be carried out here. The construction work will be completed in March 2013. (25th Feb.2013)



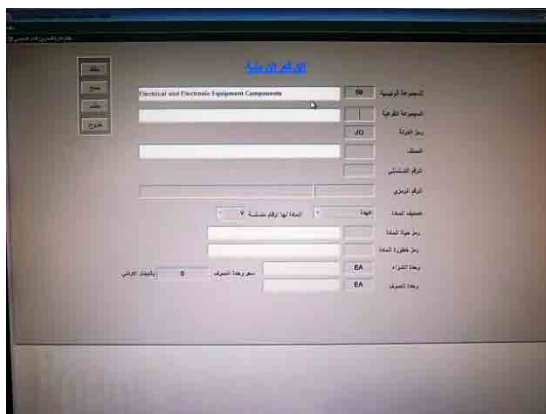
Meeting with Audit Bureau and MOPIC to confirm the preparation schedule and method of an auditing report. (27th Feb.2013)



Confirmation with MOPIC and MOE to clarify financial demarcations among donors: JICA and GCC which will support the basic educational sector. (28th Feb.2013)



Progress confirmation of activating GIMCS in IT department/VTC, which is one of the pilot institutes for adopting the system. (28th Feb.2013)



One of the input forms of GIMCS. (28th Feb.2013)

\*\*\*\*\*

(2<sup>nd</sup> Field Study)

Photos of the 6<sup>th</sup> Week (3<sup>rd</sup> – 10<sup>th</sup> Mar. 2013)

Site Visit of Sub-project No. 622 : MOH, Developing and Applying Transport and Nursing System



A 22-seaters bus was procured by MOH in 2012 and transferred to Al-Basheer Hospital for nurses' transportation. (3rd Mar. 2013)



The text "Ministry of Health" is indicated on the car. (3rd Mar. 2013)

Seminar for Monitoring of Sub-projects at Kempinski Hotel









Holding a seminar for monitoring of Sub-projects with attendance of 28 participants (21: Jordanian side and 7 : Japanese side). (5th Mar.2013)



As monitoring methods, (1) Adoption of the Inventory List, (2) Adoption of Japanese ODA stickers and plaques and (3) Project sheet were proposed and introduced by the Study Team. (5th Mar.2013)

ヨルダン国円借款「人材育成・社会インフラ改善事業」に係る案件実施支援調査

Furniture and Machines Store Section of MOE	
	
<p>Furniture and Machines Store Section of MOE (6th Mar.2013)</p>	<p>There are three buildings for storage and total floor is around 3,000 square meters. (6th Mar.2013)</p>
	
<p>Students' desks and chairs. (6th Mar.2013)</p>	<p>Students' desks and teacher's chairs. (6th Mar.2013)</p>
	
<p>Library desks. (6<sup>th</sup> Mar.2013)</p>	<p>Students' desks financed by USAID. (6th Mar.2013)</p>



ヨルダン国円借款「人材育成・社会インフラ改善事業」に係る案件実施支援調査



Inside of the storage. (6<sup>th</sup> Mar.2013)



Chemistry experiment. (6th Mar.2013)



Musical instrument. (6<sup>th</sup> Mar.2013)



Computers. (6th Mar.2013)



Stationery set for Syria refugees donated by NGO. (6<sup>th</sup> Mar.2013)



Stationery set for Syria refugees donated by NGO. (6th Mar.2013)

\*\*\*\*\*